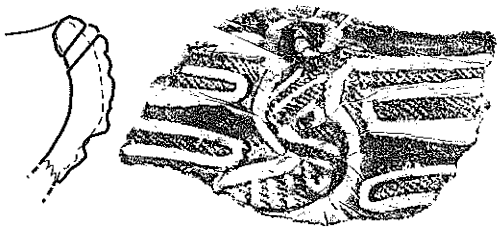
熊本大学埋蔵文化財調査報告書第８集

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅷ

（2003～2009年度）



2011

熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅷ

（2003～2009年度）

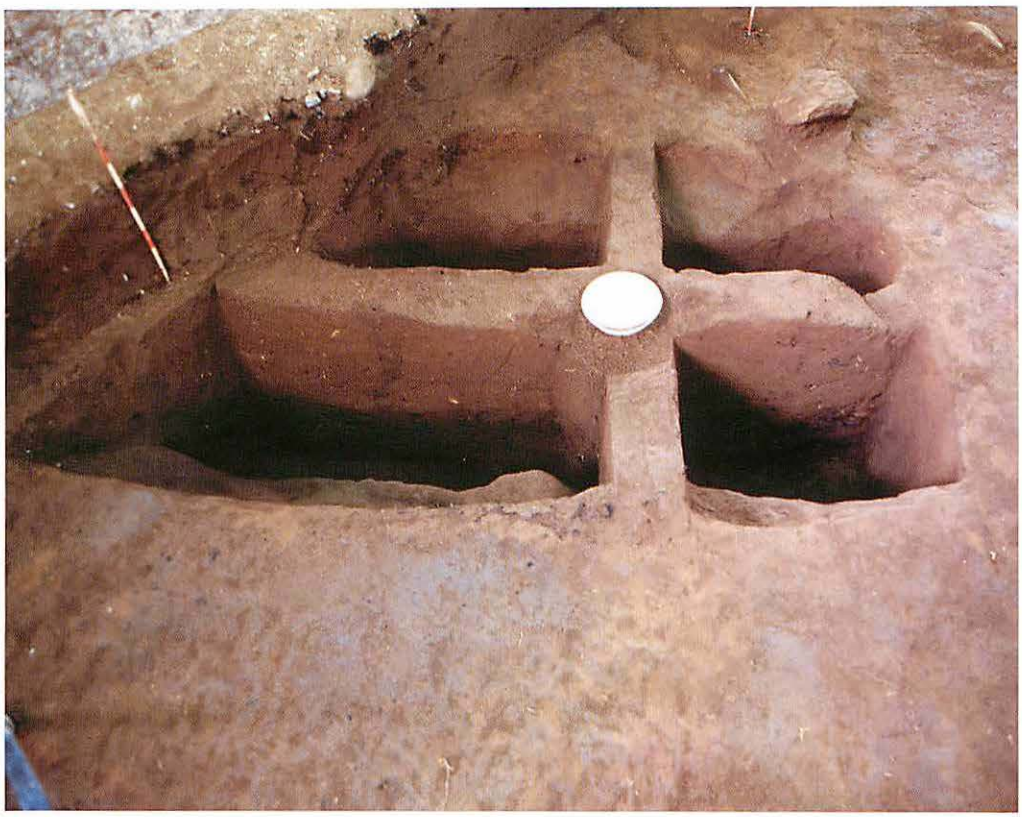
2011

熊本大学埋蔵文化財調査センター

1．0707調査地点遠景（南より）

2．0707調査地点検出の古代水田址（南より）

1．0707調査地点２号竪穴住居址北西隈甑内出土土師皿（南より）



2．0854調査地点20号土壙検出状況（南西より）

序　　文

1994年に構内再開発に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査委員会・埋蔵文化財調査室が置かれて以来、およそ17年が経過した。この間、埋蔵文化財調査室は、運営基盤管理部施設担当（旧施設部）をはじめ大学各学部および執行部の協力を得て、構内再開発に先立ち529件（2010年度調査まで）に及ぶ発掘調査・立会調査を実施してきた。これらの調査は、重要な考古学上の発見をもたらすとともに、構内遺跡の保護意識の浸透にも効果を発揮し、発足当時に比べれば学内諸機関の埋蔵文化財に関する理解はずいぶん変化した。また、この間、埋蔵文化財調査の指導を担当する部署も、熊本県教育委員会文化課から熊本市観光文化交流局文化振興課へと代わった。これらの機関の皆様の協力も忘れてはならない。

昨年10月、埋蔵文化財調査室は学内共同教育研究施設・埋蔵文化財調査センターとして新たなスタートを切った。これまで調査に携わられてきた室長をはじめとする埋蔵文化財調査室のスタッフの皆様には感謝申し上げたい。今後は、埋蔵文化財の調査業務をこれまで通り堅実に行うことはもちろんであるが、職務における研究の比重はより増してゆくことになるであろう。構内遺跡に関する十分な研究が行われ、その成果が調査の円滑化に寄与するとともに、保護・活用にも生かされることを望む。

さて、本書は、埋蔵文化財調査室が実施してきた2003年～2009年までの発掘調査に関する報告11件を収録している。それぞれ重要な成果が得られているが、これらの調査に共通するのは、大規模な面積の調査ではなく、小規模な面積の調査や既存建造物による破壊を免れた部分での調査が大半を占めるという点である。このため、立会調査から急きょ発掘調査に切り替えられた事例がほとんどである。しかし、黒髪北地区ボイラー室改修工事に伴う発掘調査で発見された古代住居址や埋葬址、医学部附属病院内の医学部図書講義棟新営工事に伴う発掘調査で発見された古代の水田址、黒髪南地区の総合研究棟共同溝設備工事に伴う発掘調査で確認された縄文時代の遺物包含層などにみるように、すでに破壊されていたと予想された建物の地下やその周辺に良好な状態で埋蔵文化財が残存し、しかもそれらがこれまでの既往の調査では確認できなかった新知見であり、学術上きわめて重要な遺構・遺物群であったことは重要である。このような断片的知見ではあるが、これらを積み重ね、紡いでいくことこそが、構内遺跡の全容を明らかにする上できわめて重要な姿勢と考える。今後とも、調査にあたっては、開発規模の大小にかかわらず、細心の注意を払っていきたい。

これらの成果が、学術研究はもとより、地域の文化財の保護・活用に少しでも役立てば幸いである。また、本学舎の立地する黒髪・本荘の地にこのような深淵の歴史が眠っていることを学生たちにも伝え、彼らが古代びとのかすかな息吹を感じながら、歴史あるこの地で学ぶことを誇りに思い、文化財や歴史を大切にする心を育んでくれればと願う。

平成24年３月26日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会

委員長　伊東　龍一

例　　言

1．本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室（平成23年10月1日より「熊本大学埋蔵文化財調査センター」に改組）が2003～2009年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。

2．本書に収録した報告は、2003～2009年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、11件の発掘調査に関する成果である。

3．上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。

Ⅱ章：黒髪北地区　0854調査地点・0935調査地点

Ⅲ章：黒髪南地区　0302調査地点・0932調査地点・0938調査地点

Ⅳ章：本荘北地区　0426調査地点・0622調査地点・0707調査地点・0814調査地点

Ⅴ章：本荘中地区　0314調査地点

Ⅵ章：本荘南地区　0830調査地点

4．以上の調査を実施した2003～2009年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。

室　　長：甲元眞之（文学部教授）（03～05年度）・木下尚子（文学部教授）（05～09年度）

調　査　員：小畑弘己（文学部助教授）・大坪志子（文学部助手）

事務補佐員：坂元紀乃（2003年度）・前田（村田）知聖（2004・2009年度）・中川木綿子（2006～2008年）

5．遺物番号は地区ごとに１から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。

6．本文は、小畑弘己、大坪志子が執筆した。

7．本書に使用した遺構実測図に関しては、小畑弘己、大坪志子をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生、株式会社埋蔵文化財サポートシステムによるものである。

8．本書に使用した遺物実測図は、江口路、古閑満代、末吉美紀、溜渕俊子、長谷智子、林田恵子、増井弘子、山嵜早苗、小畑、大坪が製作した。

9．本書に使用した図版の製図は小畑、大坪、増井、鬼塚美枝、首藤優子が行った。

10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver.3－アーケオテクノ社）、株式会社 CUBIC の遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース3D くん」を使用した。

11. 本書に使用した現場写真は小畑・大坪が、遺物写真は小山正子、末吉美紀がこれを撮影した。

12. 本書で使用した遺物観察表は、鬼塚、古閑、首藤、長谷、山嵜、小畑、大坪が作成した。

13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財調査センターで保管している。

14. 本書の編集は小畑、大坪が行った。

本 文 目 次

Ⅰ　構内遺跡と調査の概要
1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要 …… 1
2. 調査に至る経緯 …… 4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡 …… 5
Ⅱ　黒髪北地区の調査
1. 北地区ボイラー室改修工事に伴う発掘調査（0854調査地点）……21
（1）調査の目的と経過 ……21
（2）調査区の基本層序 ……23
（3）検出遺構 ……24
（4）出土遺物 ……27
（5）まとめ ……31
2. 体育館改修電気設備工事に伴う発掘調査（0935調査地点）……32
（1）調査の目的と経過 ……32
（2）調査区の基本層序 ……32
（3）検出遺構 ……32
（4）出土遺物 ……35
（5）まとめ ……36
Ⅲ　黒髪南地区の調査
1. 黒髪団地南地区総合研究棟共同溝設備工事に伴う発掘調査（0302調査地点）……37
（1）調査の目的と経過 ……37
（2）調査区の基本層序 ……39
（3）検出遺構 ……39
（4）出土遺物 ……42
（5）まとめ ……52
2. 旧図書館工学部分室他改修工事に伴う発掘調査（0932調査地点）……53
（1）調査の目的と経過 ……53
（2）調査区の基本層序 ……55
（3）検出遺構 ……55
（4）出土遺物 ……55
（5）まとめ ……56
3. エコロジーシステム実験室接地工事に伴う発掘調査（0938調査地点）……57
（1）調査の目的と経過 ……57
（2）調査区の基本層序 ……58
（3）検出遺構 ……58
（4）出土遺物 ……62
（5）まとめ ……63
Ⅳ　本荘北地区の調査
1. 本荘団地北地区防火水槽取設工事に伴う発掘調査（0426調査地点）……65

（１）調査の目的と経過 ……65
（２）調査区の基本層序 ……65
（３）検出遺構 ……65
（４）出土遺物 ……65
（５）まとめ ……68
2. 基幹環境整備（西側駐車場等）に伴う発掘調査（0622調査地点）……70
（１）調査の目的と経過 ……70
（２）調査区の基本層序 ……71
（３）検出遺構 ……71
（４）出土遺物 ……72
（５）まとめ ……73
3. 医学部図書講義棟新営工事に伴う発掘調査（0707調査地点）……74
（１）調査の目的と経過 ……74
（２）調査区の基本層序 ……75
（３）検出遺構 ……75
（４）出土遺物 ……81
（５）まとめ ……90
4. 東病棟新営工事に伴う発掘調査（0814調査地点）……91
（１）調査の目的と経過 ……91
（２）調査区の基本層序 ……91
（３）検出遺構 ……91
（４）出土遺物 ……93
（５）まとめ ……94
Ⅴ　本荘中地区の調査
本荘団地中地区医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事に伴う発掘調査（0314調査地点）
……95
（１）調査の目的と経過 ……95
（２）調査区の基本層序 ……97
（３）検出遺構 ……97
（４）出土遺物 ……98
（５）まとめ ……98
Ⅵ　本荘南地区の調査
こばと保育園新営機械設備工事（変更２）に伴う発掘調査（0830調査地点）……99
（１）調査の目的と経過 ……99
（２）調査区の基本層序 …… 101
（３）検出遺構 …… 101
（４）出土遺物 …… 101
（５）まとめ …… 102

挿　図　目　次

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（１/25000）……２
図２　黒髪北地区東半における調査地点配置図（１/2000）……22
図３　0854調査地点土層柱状模式図（１/50）……23
図４　0854調査地点遺構配置図（１/100）…23
図５　１号竪穴住居址実測図（１/50）……24
図６　15号竪穴住居址実測図（１/50）……25
図７　20号土壙実測図（１/25）……26
図８　0854調査地点出土遺物実測図１（１/４）……28
図９　0854調査地点出土遺物実測図２（１/４）……29
図10　黒髪北地区西半における調査地点配置図（１/2000）……33
図11　人孔№１遺構配置図（１/20）……34
図12　0935調査地点出土遺物実測図（１/４）……35
図13　黒髪南地区における調査地点配置図（１/2000）……38
図14　基本土層柱状模式図（１/３）……39
図15　0204・0302調査地点配置図・0302調査地点遺構配置図（１/400・１/250）……40
図16　0302調査地点Ⅰ区東壁・Ⅱ区西壁土層断面図（１/100・１/200）……41
図17　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図１（１/４）……43
図18　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図２（１/４）……44
図19　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図３（１/４）……45
図20　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図４（１/４・３/４）……46
図21　0302調査地点Ⅱ区出土遺物実測図（１/４）……47
図22　0932調査地点遺構配置図・土層断面図（１/100・１/50）……54
図23　0932調査地点出土遺物実測図（１/４）……55
図24　黒髪南地区（東部）における調査地点配置図（１/2000）……57
図25　0938調査地点遺構配置図（１/50）……59
図26　縄文土器出土状況および土層断面図（１/50）……60
図27　0938調査地点縄文土器実測図（１/４）……61
図28　本荘北地区における調査地点配置図（１/2000）……66
図29　0426調査地点遺構配置図・溝・北壁土層断面図（１/100・１/50）……67
図30　0426調査地点１・２号溝出土遺物実測図（１/４）……68
図31　0622調査地点遺構配置図（１/100）…71
図32　0622調査地点出土遺物実測図（1/４）……72
図33　0707調査地点遺構配置図（１/250）…76
図34　１・２・３・６号竪穴住居址・５号土坑実測図（１/50）……77
図35　８・12号竪穴住居址・90・91号掘立柱建物実測図（１/50・１/100）……79
図36　10・21号溝・調査区東壁土層断面図（１/50）……80
図37　0707調査地点出土遺物実測図１（１/４）……82
図38　0707調査地点出土遺物実測図２（１/４）……83
図39　0707調査地点出土遺物実測図３（１/４）……84
図40　0707調査地点出土遺物実測図４（１/４）……85
図41　0707調査地点出土遺物実測図５（１/４）……86
図42　0814調査地点遺構配置図・２号溝土層断面図（１/100・１/50）……92
図43　0814調査地点出土遺物実測図（１/４）

……93
図44　本荘中地区における調査地点配置図（1/2000）……95
図45　0314調査地点遺構配置図（1/500）…96
図46　0314調査地点出土遺物実測図（1/4）……98
図47　本荘南地区における調査地点配置図（1/2000）……99
図48　0830調査地点遺構配置図・北壁土層断面図（1/100・1/50）…… 100
図49　0830調査地点出土遺物実測図（1/4）…… 101

図　版　目　次

図版1　0854調査地点…… 103
写真1　Ⅰa区全景（西より）
写真2　Ⅰb区全景（南より）
写真3　1号竪穴住居址掘り方土層（南より）
写真4　Ⅱ区全景（西より）
写真5　15号竪穴住居址完掘状況（西より）
図版2　0854調査地点…… 104
写真6　20号土壙検出状況（南西より）
写真7　20号土壙検出状況（南東より）
写真8　20号土壙土層断面（南西より）
写真9　20号土壙土層断面（南より）
写真10　20号土壙（北西より）
図版3　0854調査地点出土遺物1…… 105
図版4　0854調査地点出土遺物2…… 106
図版5　0935調査地点…… 107
写真11　道路横断部分掘削風景（北より）
写真12　道路横断部分掘削後（北東より）
写真13　人孔№1掘削風景（北より）
写真14　人孔№1北壁土層拡大（南より）
写真15　人孔№1完掘状況（北より）
図版6　0935調査地点・同出土遺物…… 108
写真16　冠雪の武夫原（2009. 1. 13）（南より）
写真17　体育館前工区掘削風景（北より）
写真18　人孔№3掘削後状況（西より）
写真19　学生会館西側道路掘削状況（北より）
写真20　人孔№4掘削後状況（西より）
写真21　人孔№5掘削後状況（南より）
図版7　0302調査地点Ⅰ区…… 109
写真22　Ⅰ区全景（南より）
写真23　黒曜石出土状況（北より）
写真24　6号溝完掘状況1（東より）
写真25　6号溝完掘状況2（西より）
写真26　遺物出土状況（北より）
写真27　遺物集中区（南より）
写真28　土器出土状況（北より）
写真29　石器出土状況（東より）
図版8　0302調査地点Ⅱ区…… 110
写真30　完掘状況1（北より）
写真31　完掘状況2（南より）
写真32　調査区西壁土層（東より）
写真33　調査風景（南より）
写真34　包含層完掘状況（遺物出土状況）（南より）
写真35　土器出土状況1（南より）
写真36　土器出土状況2（南西より）
写真37　土器出土状況3（南西より）
図版9　0302調査地点出土遺物1…… 111
図版10　0302調査地点出土遺物2…… 112
図版11　0302調査地点出土遺物3…… 113
図版12　0302調査地点出土遺物4…… 114
図版13　0302調査地点出土遺物5…… 115
図版14　0302調査地点出土遺物6…… 116
図版15　0932調査地点・同出土遺物…… 117
写真38　Ⅱ・Ⅲ区完掘後状況（南より）
写真39　Ⅱ区遺物出土状況（東より）
写真40　1号溝1（西より）
写真41　1号溝2（東より）
写真42　赤レンガ基礎（南西より）
図版16　0938調査地点…… 118
写真43　Ⅰトレンチ調査風景（東より）

写真44　Ⅱトレンチ全景（東より）
写真45　Ⅰトレンチ１号溝（西より）
写真46　Ⅰトレンチ１号溝掘り上げ後（南より）
写真47　Ⅱトレンチ１号溝（南より）
写真48　Ⅰトレンチ縄文土器出土状況（東より）
写真49　Ⅰトレンチ西側遺物集中区（東より）
図版17　0938調査地点…… 119
写真50　Ⅰトレンチ西側遺物集中区（西より）
写真51　遺物集中区遺物出土状況（西より）
写真52　縄文土器出土状況（西より）
写真53　Ⅰトレンチ西側遺物集中区土層（南より）
写真54　Ⅰトレンチ掘り上げ後土層（東より）
写真55　遺物出土状況（東より）
図版18　0938調査地点出土遺物…… 120
図版19　0426調査地点…… 121
写真56　調査区全景（西より）
写真57　２号溝完掘土層状況（南西より）
写真58　２号溝出土馬骨（南より）
写真59　調査区北壁土層（南より）
写真60　調査区全景（北より）
図版20　0426調査地点出土遺物…… 122
図版21　0622調査地点・同出土遺物…… 123
写真61　調査区掘削開始状況（東より）
写真62　調査区掘削後状況（西より）
写真63　１号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真64　２号溝遺物出土状況（北より）
写真65　２号溝掘り上げ状況（南より）
図版22　0707調査地点…… 124
写真66　Ⅰ区全景（北より）
写真67　Ⅰ区全景（南より）
写真68　１号竪穴住居址（南より）
写真69　２号竪穴住居址遺物出土状況（東より）
写真70　２号竪穴住居址北隈遺物出土状況（北西より）
写真71　２号竪穴住居址北西隈甑（南より）
写真72　２号竪穴住居址掘り上げ状況（南東より）
写真73　２号竪穴住居址竈甑（南より）
図版23　0707調査地点…… 125
写真74　２号竪穴住居址西側（焼土）竈（東より）
写真75　２号竪穴住居址床面出土須恵器蓋（南より）
写真76　３号竪穴住居址遺物出土状況（東より）
写真77　５号土坑遺物出土状況（南より）
写真78　６号竪穴住居址遺物出土状況（西より）
写真79　６号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真80　８号竪穴住居址（西より）
写真81　８号竪穴住居址遺物状況（南西より）
図版24　0707調査地点…… 126
写真82　８号竪穴住居址遺物出土状況（西より）
写真83　90・91号掘立柱建物址（西より）
写真84　Ⅱb・Ⅱc区水田（砂埋没状況）（南より）
写真85　10号溝土層断面（東より）
写真86　Ⅱb・Ⅱc区水田（掘り上げ後）（北より）
図版25　0707調査地点出土遺物１…… 127
図版26　0707調査地点出土遺物２…… 128
図版27　0707調査地点出土遺物３…… 129
図版28　0707調査地点出土遺物４…… 130
図版29　0707調査地点出土遺物５…… 131
図版30　0814調査地点…… 132
写真87　調査区掘削風景（北より）
写真88　２号溝掘削風景（東より）
写真89　調査区北部調査風景（南より）
写真90　調査区北部遺構検出状況（南より）

写真91　２号溝土層断面１（南より）
写真92　２号溝土層断面２（南より）
写真93　調査区北部全景（北より）
写真94　調査区南部調査風景１（東より）
図版31　0814調査地点・同出土遺物…… 133
写真95　調査区南部調査風景２（北より）
写真96　調査区南部２号溝検出状況（東より）
写真97　２号溝と延長方向（北より）
図版32　0314調査地点・同出土遺物…… 134
写真98　Ⅰ区掘削前全景（南西より）
写真99　Ⅱ区調査風景（南より）
写真100　Ⅱ区調査区完掘状況（南より）
写真101　Ⅱ区５号溝土層断面（南東より）
写真102　Ⅱ区７号溝完掘状況（西より）
写真103　Ⅱ区８～11号ピット（西より）
図版33　0830調査地点・同出土遺物…… 135
写真104　建物南側調査区調査風景（東より）
写真105　建物南側調査区全景（東より）
写真106　建物南側調査区東側全景（南より）
写真107　建物南側調査区西側全景（南より）
写真108　建物東側調査区掘削風景（南より）
写真109　建物東側調査区掘削状況（東より）

表　目　次

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表……1
表２　既往調査地点と本書収録調査地点一覧表……6
表３　0854調査地点出土遺物一覧表……29
表４　0935調査地点出土遺物一覧表……36
表５　0302調査地点出土遺物一覧表……48
表６　0932調査地点出土遺物一覧表……56
表７　0938調査地点出土遺物一覧表……62
表８　0426調査地点出土遺物一覧表……68
表９　0622調査地点出土遺物一覧表……72
表10　0707調査地点出土遺物一覧表……87
表11　0814調査地点出土遺物一覧表……93
表12　0314調査地点出土遺物一覧表……98
表13　0830調査地点出土遺物一覧表…… 101

I　構内遺跡と調査の概要

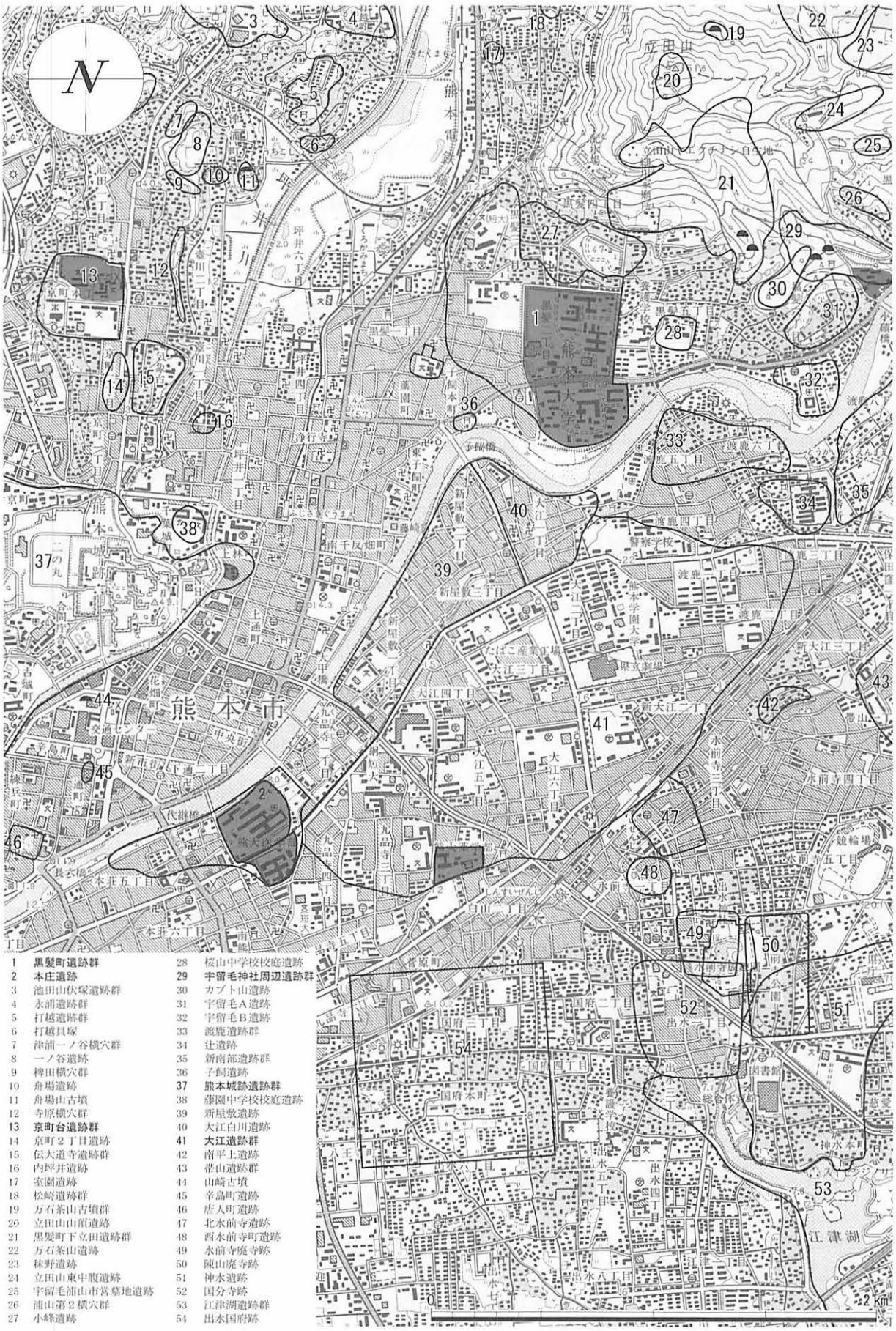
1．熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・九品寺地区・大江地区・宇留毛地区・京町地区・城東地区及び新南部地区の８区、市外の合津地区・阿蘇地区の２地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表１）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている**黒髪地区**は**黒髪町遺跡**（熊本市埋蔵文化財地図№８－88）に含まれる。本遺跡は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々學（現済々黌高校）の校庭から甕棺２基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甑などが発見されるに至り、その重要性が認識されるに至った。黒髪町式土器の指標遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々黌高校内における新たな調査によって古代の竪穴住居址と土師器・須恵器・黒色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書土器が含まれているなど古代飽田郡における拠点的な性格をもった遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第１巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「養蚕駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査センターによる発掘成果を受けて、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司郡建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告において**黒髪北地区**２地点、**黒髪南地区**３地点の発掘調査記録を収録している。

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教・大教センター) 黒髪東地区(教育学部附属特別支援学校)	熊本市黒髪２丁目40－1 熊本市黒髪５丁目17－1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪２丁目39－１	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市京町本丁５－12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東５－９	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240－１	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘中地区（医学部）	熊本市本荘２丁目２－１	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘１丁目１－１	本庄遺跡（熊大病院敷地遺跡）	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区（保健学科）	熊本市九品寺４丁目24－１	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町５－１	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿４丁目１－１	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪７丁目	宇留毛神社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	



1 黒髪町遺跡群
2 本庄遺跡
3 池田山伏塚遺跡群
4 永浦遺跡群
5 打越遺跡群
6 打越貝塚
7 津浦一ノ谷横穴群
8 一ノ谷遺跡
9 稗田横穴群
10 舟場遺跡
11 舟場山古墳
12 寺原横穴群
13 京町台遺跡群
14 京町２丁目遺跡
15 伝大道寺遺跡群
16 内坪井遺跡
17 室園遺跡
18 松崎遺跡群
19 万石茶山古墳群
20 立田山山頂遺跡
21 黒髪町下立田遺跡群
22 万石茶山遺跡
23 秣野遺跡
24 立田山東中腹遺跡
25 宇留毛浦山市営墓地遺跡
26 浦山第２横穴群
27 小峰遺跡
28 桜山中学校校庭遺跡
29 宇留毛神社周辺遺跡群
30 カブト山遺跡
31 宇留毛Ａ遺跡
32 宇留毛Ｂ遺跡
33 渡鹿遺跡群
34 辻遺跡
35 新南部遺跡群
36 子飼遺跡
37 熊本城跡遺跡群
38 藤園中学校校庭遺跡
39 新屋敷遺跡
40 大江白川遺跡
41 大江遺跡群
42 南平上遺跡
43 帯山遺跡群
44 山崎古墳
45 幸島町遺跡
46 唐人町遺跡
47 北水前寺遺跡
48 西水前寺町遺跡
49 水前寺廃寺跡
50 陳山廃寺跡
51 神水遺跡
52 国分寺跡
53 江津湖遺跡群
54 出水国府跡

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（１/25000）
（この地図は国土地理院発行１/25000地形図「熊本」を使用したものである）

医学部附属病院および医学部がある**本荘地区**は、**本庄遺跡**（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図№８－95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13～12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点が標高が高く、南東部（医学部側）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川が暗渠として流れており、古来この一帯は流道を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。『熊本市中央北地区文化財調査報告書』（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本大学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査センターにおける調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包含地がより広いことが想定されていた。この地区で最初に本格的な埋蔵文化財の調査が行われたのは、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立つ発掘調査である。この調査によってより南側の地区まで良好な状態で遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを越えるものと推定される。なお、本報告では**本荘北地区**（本大学附属病院内）で実施した発掘調査の記録4件、**本荘中地区**（医学部）１件を収録した。医学部保健学科の位置する**本荘南地区**は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていなかったため、保育園新築のための発掘調査を実施した。しかし、本地区のより西側の地域では立会調査において古代の遺物包含層が確認されていたが、今回は明確な遺構を検出することはできなかった。同地区では本調査1件を収録した。

薬学部が所在する薬学部地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№８－93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13～20mである。本遺跡群は詫間郡家および渡鹿廃寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで60次にわたる調査が実施され、各種遺物を伴って、８・９世紀代を中心とした古代竪穴住居址群、掘立柱建物址、道路址、溝址などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動公園整備に伴う調査によって古代関連の遺物・遺構群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では遺構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

附属中学校・小学校の所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№８－45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と熊本営林局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30～40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れて急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいうべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、営林署内の宿舎改築工事の際、遺構は検出されなかったが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代～近世の遺構・遺物が確認されている。

沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションの占地する合津地区は、熊本県上天

草市松島町合津に所在する。遺跡は本地区のある松島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この松島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでもある。また、縄文時代にはカルワ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションは、1956年に天草で始めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57－013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がりが合津マリンステーション敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968)。実際、1996年に合津マリンステーションの北部丘陵斜面にある宿舎が建設された際、建設業者によって７本の石斧が発見されているし、合津マリンステーションの船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。よって合津マリンステーション内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に合津マリンステーション改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畑2001)。

2．調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように８地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成５年に現地再開発することが決定されたので、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成５年10月から黒髪南地区において総合情報基盤センターの建設工事が始まったところ、熊本市教育委員会文化課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成５年４月１日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成６年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも９月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中

心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成６年４月７日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成６年５月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成６年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以下の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

３．これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成23年３月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表２のような調査が実施されてきた。本書はこの中から2003～2009（一部）年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。

2003年度は黒髪南地区において総合研究棟共同溝設備工事に伴う発掘調査（0302調査地点）と本荘中地区において医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事に伴う発掘調査（0314調査地点）、2004年度は本荘北地区において防火水槽取設工事に伴う発掘調査（0426調査地点）が実施された。さらに本荘北地区においては2006年度に基幹・環境整備（西側駐車場等）工事に伴う発掘調査（0622調査地点）、2007年度には医学部図書講義棟新営工事に伴う発掘調査（0707調査地点）、2008年度には東病棟新営工事に伴う発掘調査（0814調査地点）が実施された。ほかに2008年度に実施された調査としては、黒髪北地区での北地区ボイラー室改修工事に伴う発掘調査（0854調査地点）、本荘南地区でのこばと保育園新営機械設備工事（変更２）に伴う発掘調査（0830調査地点）がある。2009年度は、黒髪北地区で体育館改修電気設備工事に伴う発掘調査（0935調査地点）、黒髪南地区で旧図書館工学部分室他改修工事に伴う発掘調査（0932調査地点）およびエコロジーシステム実験室接地工事に伴う発掘調査（0938調査地点）が実施された。本報告では、2003～2009年度に実施した、黒髪北地区２件、黒髪南地区３件、本荘北地区４件、本荘中地区１件、本荘南地区１件の計11件の発掘調査の報告を掲載した。

表２　既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94・4・15～17	9401	（黒北）運動場整備（照明塔建設）工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報１
94・4・21	9402	（黒北・南）基幹整備（教育学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報１
94・4・25	9403	（黒北・南）地区基幹整備(工学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報１
94・5・13～14	9404	（黒北）福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報１
94・5・17～6・25	9405	（京町）附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生･近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス瓶	本報告Ⅰ
94・5・20/23/24	9406	（黒北）武夫原運動場整備（集水枡埋設）工事	発掘調査	100㎡	古代		年報１
94・5・23～7・28	9407	（黒北）福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古代		本報告Ⅰ
94・8・1～8・10	9408	（渡鹿）グランド集水枡整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	本報告Ⅰ
94・8・11	9409	（黒北）武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし，土師器片．	年報１
94・8・12	9410	（京町）附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし．	年報１
94・8・22	9411	（黒北）基幹整備（附属図書館スロープ取設）工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず，遺構・遺物なし	年報１
94・9・12～10・31	9412	（黒南）工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代	古代竪穴住居址，古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告Ⅰ
94・11・14～12・22	9413	（渡鹿）グランド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文･古代	古代竪穴住居址・道路址，古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告Ⅰ
95・1・17～21	9414	（黒北）福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報１
95・1・9～11，1・26～2・1	9415	（黒南）工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報１
95・2・27	9416	（城東）附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報１
95・3・15～23	9417	（黒南）福利施設設備工事					
1995年度							
95・4・25～5・2	9501	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代竪穴住居址・柱穴・溝，縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告Ⅰ
95・5・9～10	9502	（黒南）工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報２
95・5・15～16	9503	（黒南）工学部 RI 研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古代	集石，古代土師器・須恵器	年報２
95・5・29/30・6・21	9504～06	（黒南）工学部研究実験棟新営電気設備（その２）に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報２
95・8・21		（黒南）工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし	年報２
95・8・22	9508	（黒南）事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報２
95・9・8～10・12	9509	（合津）理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄文	集石，縄文早期土器・石器	年報２
95・11・2	9510	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認・古代土器片	年報２
95・11・6～8	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古代	古代包含層確認・竪穴住居址，古代土師器・須恵器	年報２
95・11・13～16	9512	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う排水枡設置	発掘調査	60㎡	古代	古代竪穴住居址・柱穴・包含層，縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告Ⅰ
95・11・17	9513	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報２
95・11・17	9514	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報２
95・11・21～22	9503	（黒南）工学部 RI 研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報２
95・11・22	9515	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報２
95・11・24	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし	年報２
95・11・28～29	9516	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴，縄文土器片・古代土師器	本報告Ⅰ
95・12・1	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし	年報２
95・12・4	9517	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報２
95・12・5	9518	（黒南）工学部 RI 研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報２
95・12・12～14	9519	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝，古代土師器・須恵器	年報２
95・12・18	9520	（黒北）教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報２
95・12・25～96・2・22	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文･古代	古代竪穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形竪穴遺構・土壙，縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅰ
96・3・1	9521	（黒南）工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土壙・ピット，弥生中期土器	年報２
96・3・8	9522	（黒北）文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報２
96・3・21	9523	（城東）教育学部附属幼稚園水遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報２
96・3・25～26	9524	（京町）教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報２
1996年度							
96・4・19	9601	（本荘北）医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古代	古代包含層・溝，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・5・10	9602	（黒北）法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報３
96・5・10～6・24	9603	（黒南）工学部校舎建設	発掘調査	1000㎡	縄文･弥生･古代	縄文後期包含層・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・土壙・柱穴，縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告Ⅳ

96・5・13	9604	（黒北）教育学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近代	遺構・遺物なし	年報３
96・5・14	9605	（京町）教育学部附属小学校 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	14㎡		近代磁器	年報３
96・5・15	9606	（大江）薬学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報３
96・6・17	9607	（黒北）法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古代	一部包含層確認，古代須恵器	年報３
96・6・19	9608	（黒南）工学部 RI 実験棟配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報３
96・8・5	9609	（黒北）入試保管庫建設工事（試掘）	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報３
96・8・6～9	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事（１・２・３区）	発掘調査	45.7㎡	古墳･古代	古墳時代前期竪穴住居址・古代竪穴住居址，古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・8・22～27	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（４区）	発掘調査	37.4㎡	古代	竪穴住居址・柱穴，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・8・29～30	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（５区）	発掘調査	28.2㎡	古代	竈址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・9・6	9610	（黒北）教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報３
96・10・1～9	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（６区）	発掘調査	104.3㎡	古代	古代道路・竪穴住居址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・10・11～97・1・17	9601	（本荘北）医学部校舎本体工事（本調査区）	発掘調査	1686㎡	縄文･古墳･古代	縄文包含層・古墳土壙・古代道路・竪穴住居址・掘立柱建物・土壙・近代墓地，縄文後期土器・古墳／古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本報告Ⅳ
96・10・21～29	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（７・８・９区）	発掘調査	62.5㎡	古代	古代竪穴住居址・竈，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・11・12～13	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（10区）	発掘調査	21.8㎡	古代	古代竪穴住居址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・11・12	9611	（黒南）工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報３
96・12・18	9612	（黒南）工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし	年報３
97・3・3～31	9613	（黒南）工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報３
97・3・7	9614	（黒南）工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし	年報３
1997年度							
97・4・8	9701	（本荘南）医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認・遺構なし，古代土器片	年報４
97・5・7	9702	（黒南）理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管埋設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報４
97・5・28	9703	（本荘北）医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報４
97・7・28～11・4	9704	（黒南）工学部校舎新営工事	発掘調査	1783.3㎡	弥生･古代･近世	弥生時代甕棺墓・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓，弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	年報４
97・10・29	9705	（京町）教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし	年報４
97・10・22	9706	（黒北）法文学部龍南健児像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報４
97・11・11～98・3・31	9707	（本荘北）医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代･近代	近代墓地・古代土壙・柱穴，甕・人骨・墓石等・古代土器	年報４
98・1・30～2・12	9708	（黒北）法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝	年報４
98・2・3～2・13	9709	（黒南）管財係黒髪6号宿舎取り壊し工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認・遺構なし，磨耗した古代土器	年報４
1998年度							
98・4・14	9804	（黒南）工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10㎡		掘削により遺構なし	年報５
98・6・26～7・2	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず	年報５
98・7・6	9801	（本荘南）同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報５
98・7・13	9809	（黒南）工学部３号館電気設営工事	立会調査	3㎡	古代	遺物包含層を確認	年報５
98・7・28～9・10	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	972㎡	縄文･古代･近世	竪穴住居址・掘立柱建物・溝・土坑	本報告Ⅴ
98・9・21～22	9803	（黒北）文化部室取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9㎡		遺物・遺構なし	年報５
98・9・25～11・6	9802	（黒北）文化部室取背設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文･弥生･近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土壙・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	本報告Ⅴ
98・9・28	9805	（本荘北）大学病院病棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳･古代	古墳・古代土器	年報５
98・9・29	9806	（本荘北）大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出，遺構・遺物なし	年報５
98・9・30	9807	（本荘北）大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出，古代土器片	年報５
98・10・6	9808	（黒南）工学部１・９号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面に達せず，遺物なし	年報５
98・10・28～11・20	9807	（本荘北）大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土器・石鏃等 古代竪穴住居址・土壙・溝・近代溝	本報告Ⅴ
98・11・2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		削平のため存在せず	本報告Ⅴ
98・12・14～12・18	9810	（黒南）理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出，古代土器片．	年報５
98・12・16	9802	（黒北）文化部室新営排水管敷設工事	立会調査	35㎡	古代	遺構面確認・遺構・遺物はなし	年報５
98・12・17～99・1・10	9805	（本荘北）大学病院病棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333㎡	古代	竪穴住居址，古代土器片	年報５
99・1・12	9811	（黒南）工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報５
99・1・21～3・25	9810	（黒南）理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文･古代･近代	縄文土器・石鏃等，古代竪穴住居址・柱穴・溝・近世溝	本報告Ⅴ
99・2・2	9802	（黒北）環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報５
99・2・10	9802	（黒北）環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず，遺物なし	年報５

99・2・18	9802	（黒北）環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	12.3㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認．遺構・遺物なし	年報5
99・2・9～3・9	9802	（黒北）環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表下90cmで水田土を検出．遺構・遺物なし	年報5
99・3・11～12	9812	（大江）渡鹿団地東開ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認・遺構・遺物なし	年報5
99・3・10～31	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古代	一部包含層・遺構面確認（ピット）・遺物なし	年報6
1999年度							
99・4・5～8・31	9901	（本荘北）病棟（軸）新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土壙墓・土師器・須恵器・鉄器・胞衣壺・土銭・近代溝	年報6
99・6・14～7・14	9902	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40㎡	古代	古代柱穴，溝，遺物を少量検出	年報6
99・6・17	9903	（黒南）工学部研究実験棟Ⅱ－2－2新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99・7・19/26	9904	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古代	遺構・遺物なし	年報6
99・7・29～7・30	9905	（黒南）自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99・7・2～8・7	9906	（黒南）自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200㎡	古代	古代溝6条・柱穴2個，古代土器片少量を検出	年報6
99・9・22～10・5	9907	（黒南）工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期～晩期	ピット群，縄文土器片出土	本報告Ⅵ
99・11・24～11・25	9908	（黒東）附属養護学校給食室増改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ２本設定して調査したが，遺構なし．近世磁器片	年報6
00・2・14～3・24	9909	（黒南）工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓地，近世陶磁器，煙管，銅・鉄銭	本報告Ⅵ
00・1・25	9910	（本荘北）血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2㎡		撹乱著しく，遺構・遺物ともに確認できず	年報6
00・3・6～14	9911	（黒南）水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器・古代土師器・須恵器	年報7
00・3・14	9912	（黒南・東）外灯取設工事立会	立会調査	3㎡		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00・3・2	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡		遺構・遺物なし	年報6
00・3・16～17	9914	（本荘南）さく井設備工事立会	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報6
2000年度							
00・4・7	0001	（黒南）水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・4・11	0002	（黒南）水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・4・17	0003	（本荘北）附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・10・23	0004	（黒南）工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・10・30	0005	（黒南）工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・11・6～22	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設営工事（Ⅰ区）	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	本報告Ⅵ
00・11・22	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設営工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓地	近・現代墓石・墓壙・遺骨	年報7
00・11・27～29	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・12・4～13	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅱ区）	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代	土壙状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本報告Ⅵ
00・12・8～01・1・10	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備電気設営工事（Ⅳ区）	立会調査	31.5㎡	古代	遺構なし．土師器数点	年報7
00・12・19～20	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅲ区）	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古代	住居址・土師器	本報告Ⅵ
00・12・26～28	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓地	近代墓壙・墓石・遺骨	年報7
01・1・29	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅴ区）	立会調査	7㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・1・22～30	0007	（京町）附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車	年報7
01・2・5	0008	（黒北）生涯学習境域研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		撹乱のため遺物・遺構なし	年報7
01・2・6～9	0009	（黒南）理学部1・2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古代	包含層を確認．古代土師器・須恵器	年報7
01・2・16～19	0010	（黒北）体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・2・22	0011	（大江）旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・3・5～6	0012	（黒北）外灯取付工事	立会調査	3㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・3・6	0013	（大江）屋内運動場〔尚武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・3・22	0014	（黒北）旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺物・遺構なし	年報7
2001年度							
01・4・9～・3	0101	（本荘北）附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1733.75㎡	古墳・古代・近世・近代	住居址・溝・畑址・墓鉄鏃・土師器・須恵器	本報告Ⅵ
01・5・14	0102	（黒南）基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本報告Ⅵ
01・5・14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・7・9～26	0102	（黒南）基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄文	縄文土器・寛永通宝・風倒木痕・防空壕	年報8
01・7・4～10・29	0104	（本荘北）附属病院基幹・環境整備（共同溝設置）	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生・古墳・古代	住居址・溝・縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・鉄鏃・青銅器	本報告Ⅵ
01・7・13	0105	（京町）正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺構・遺物なし	年報8

01・7・30～11・14	0106	（黒北）大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・7・31	0107	（大江）薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・8・1/13	0108	（京町）キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・8・2/21	0109	（黒北）キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・8・27	0110	（大江）薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・9・4	0111	（本荘南）医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2.78㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・8・22／9・4	0112	（黒北）食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・9・14／10・1	0113	（本荘南）医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・9・17	0114	（本荘北）附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・10・19	0115	（黒南）理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・10・22～02・2・19	0116	（本荘北）附属病院基幹・環境整備（A~D地区・ボイラー設備更新等）	立会調査	426.4㎡		遺構・遺物なし		年報8
01・12・8～02・2・9	0117	（本荘北）医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古代	住居址・柱基礎土師器・須恵器		年報8
01・12・12～02・2・4	0118	（黒南）基幹・環境整備（特高変電設備等・植栽その他）	立会調査	111.7㎡		遺構・遺物なし		年報8
02・2・25～3・20	0119	（本荘北）医療用ガス供給設備室取設工事	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・掘立柱建物址・縄文土器・土師器・須恵器・鉄鏃		本報告Ⅵ
02・3・18	0120	（本荘北）総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1492.7㎡		遺構・遺物なし		年報8
02・3・18	0121	（本荘北）附属病院西病棟（仕上Ⅱ）新営工事	立会調査	1076.4㎡		溝？・遺物なし		年報8
02・3・22	0122	（本荘北）附属病院西病棟電気設備工事（仕上Ⅱ）	立会調査	54㎡		遺構・遺物なし		年報8
2002年度								
02・4・3～4	0201	（黒北）大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・4・15～16	0202	（黒北）外灯設備工事	立会調査	199㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・4・17	0203	（黒南）インキュベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡				年報9
02・4・17	0204	（黒南）総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡				年報9
02・4・24	0205	（黒南）食堂裏エコクリーンソイル工事	立会調査	0・73㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・5・20～29	0206	（黒南）総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡		溝館		年報9
02・5・30～8・2	0203	（黒南）インキュベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近世	畑址		年報9
02・6・3	0207	（黒南）総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・6・12～8・14	0204	（黒南）総合研究棟新営工事	発掘調査	2，803㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・土師器・須恵器		年報9
02・7・2	0208	（黒北）図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・8・29	0209	（京町）附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・10・1～10・3，11・18	0210	（黒南）工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石鏃		年報9
02・10・7	0211	（本荘北）医学部総合研究棟新営工事（渡り廊下部分）	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし		年報9
02・12・3/5/11	0212	（黒南）通用門拡幅工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし		年報9
	0213	（本荘北）総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし		年報9
03・2・7	0214	（本荘北）基幹環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし		年報9
03・2・18	0215	（大江）薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし		年報9
03・2・21	0216	（黒北）外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし		年報9
03・3・7	0217	（本荘南）体育部室（プレハブ）新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし		年報9
03・3・10	0218	（黒北）外灯設備工事	立会調査	27㎡	古代	住居址・土師器・須恵器・砥石		年報9
03・3・11	0219	（本荘南）塀新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし		年報9
03・3・26	0220	（新南部）教育学部新南部農場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40㎡	古代	住居址・柱穴・溝，古代土師器・須恵器		年報9
2003年度								
03・4・10	0301	（黒南）工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・4・10	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器		年報10
03・5・20	0303	（黒南）事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・6・2～7・2	0304	（本荘北）基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・古墳・弥生・古代	住居址・溝・縄文石器・弥生土器・土師器・近代磁器		年報10
03・7・18	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・8・19	0305	（京町）附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・8・6～9・12	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事（Ⅰ区）	発掘調査	168.2㎡	縄文・古代	溝・ピット・土坑・遺物包含層・縄文土器		本書
03・9・4～9・8	0306	（本荘南）医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・9・5	0307	（薬）大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・9・29	0308	（宇留毛）小硯宿舎1棟揚水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・10・2	0309	（本荘南）動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・10・1～10・10	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	縄文・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・須恵器・縄文土器・石器		本書
03・10・27		（黒北）教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・11・6		（薬）記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古代	土師器		年報10
03・11・17～28	0310	（本荘南）発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・11・26	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事（ガス管）	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし		年報10
03・12・9		（本荘南）発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡				年報10
03・12・10	0311	（本荘北）中央診療棟（軸）設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし		年報10
04・1・13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし		年報10

04・1・14	0307	（薬）大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・15～19	0313	（黒北）教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・23～27	**0314**	**（本荘南）医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事**	発掘調査	1,000㎡	古代	溝・ピット・土師器	本書
04・1・30	0315	（本荘北）東側駐車場整備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・2・9 04・2・16	0316	（黒南）理学部４号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡			年報10
04・2・23	0317	（本荘北）倒樹の木移植	立会調査	16㎡			年報10
04・3・4	0318	（黒北）附属養護学校門横市道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・5～9	**0314**	**（本荘南）医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事**	発掘調査	1,000㎡	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	本書
04・3・9	0319	（黒北）井戸改修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	
04・3・9	0320	（黒北）福利施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0321	（黒南）外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0322	（黒南）総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0313	（黒北）教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0323	（黒北）教室新築工事（空調機取設）	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0324	（本荘南）外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0325	（本荘南）外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・15	0326	（黒北）外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片	
04・3・16	0327	（薬）外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし	
04・3・17	0323	（黒北）教室新築工事（植栽）	立会調査	8.92㎡	古代	土師器・須恵器片	
04・3・22	0328	（京町）教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	
04・3・19	0329	（黒北）消火栓応急処置	立会調査	1.08㎡		遺構・遺物なし	
2004年度							
04・4・7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事（渡廊下設置）	立会調査	33.8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・4・9		本荘団地北地区中央診療棟（軸）設営工事	試掘調査	10.44㎡	古代	溝？・土師器	年報11
04・4・13～ 5・31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1241.75㎡	古代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04・5・26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76㎡	古代	ピット・土師器	年報11
04・5・14 04・10・14	0403	本荘団地北地区中央診療棟（軸）設営工事	立会調査	150㎡	古代	土師器	年報11
04・5・21	0404	薬学部地区植物園棚支柱ほか設置工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・6・25	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	68.48㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・6・28		本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備工事	試掘調査	10㎡	古代・縄文	土師器・縄文土器・土壙	年報11
04・5・24 04・5・26 04・6・4 04・10・26～28 04・11・12 04・11・29	0406	薬学部地区宮本記念館（仮称）建設工事（旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス管配管・樹木移植）	立会調査	1332.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・26	0408	宇留毛団地小磯宿舎揚水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・29 04・8・6 04・8・20	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11㎡	古代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・8・9 04・8・10～11 04・11・5 04・11・11	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・17～ 19・23 04・9・3 04・9・14～22 05・1・27～	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（ポンプ室・ＲＩ実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連）工事	立会調査 発掘調査	420㎡		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴住居址・溝・ピット	年報11
04・9・16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス調配管修理工事	立会調査	5.7㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0415	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416－1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416－2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・12	0417	黒髪団地南地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑標柱設置工事	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・1～28	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備	発掘調査	551㎡	縄文・古墳・古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄鏃・勾玉・石器	年報11
04・11・26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・6	0422	本荘団地北地区中央診療棟（軸）工事	立会調査	66.39㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・15		黒髪北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18㎡	古代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・12・24	0423	黒髪団地北地区記念館（木造）取壊工事	立会調査	754㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・1・11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・1～2, 7～9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館事前工事（配管工事）	立会調査	160.08㎡	古代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・21～ 3・30, 5・9～6・10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1170.4㎡	古代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ

05・2・4，8～9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84㎡	近世	溝・土師器・須恵器・馬骨・銅銭	本　書
05・2・4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・21～22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・28，3・14，4・1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1,846㎡			
05・3・1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新営工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81㎡		遺構・遺物なし	
05・3・2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事（仮称）	立会調査	192.5㎡		遺構・遺物なし	
05・3・9	0435	黒髪南地区さく井設備工事（追加分）	立会調査	5.6㎡		遺構なし・土師器	
05・3・10・15・16・18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡		遺構なし	
05・3・14・16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1㎡		遺構・遺物なし	
05・3・22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14㎡		遺構・遺物なし	
05・3・23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0440	教育学部附属中学校洗濯機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05・3・24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0442	（本荘北）附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0443	（本荘北）中央診療棟連絡棟Ⅱ管工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	
05・3・25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74㎡		遺構・遺物なし	
05・3・28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355㎡		遺構・遺物なし	
2005年度							
05・4・19～4・20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・4・27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・2・4～6・10	0425	（黒髪）情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	竪穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告Ⅲ
05・5・30，6・4～6・5 6・14	0503	（本荘）発生医学研究センター施設整備事業（外構）	立会調査	2337.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・7 6・10	0504	小積宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・9～6・10 6・12	0505	（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家前）	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・20	0506	（大江）薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・21	0507	（本荘中）敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・7・8	0508	（黒髪）情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・7・13～7・14 7・19～9・30	0509	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05・7・19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・8・1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・2～8・3	0513工④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・8・2～8・25	0513理②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・8・5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・5～8・10	0513工⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・8～8・18	0513工①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05・8・18	0515	本荘団地（南地区）駐車場環境整備工事（その2），追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05・8・18～8・23	0515工⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・19～8・29	0513工⑬	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－4	立会調査	259㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・23～8・29	0513工⑫	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513工⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513工⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513理③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	65.㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513理④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・29～8・30	0513工⑪	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・30～9・1	0513工⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・1～9・13	0513理①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	竪穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05・9・1，9・20	0517	（医病）基幹・環境整備（曳き家・現在地）	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・4～9・5	0513理⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報12

05・9・12～9・27	0513工⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・14	0519	（黒髪北）学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0513工⑭	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－5	立会調査	0.79㎡		包含層・ピット	年報12
05・9・15	0513工⑮	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0521	本荘団地（北地区）台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・16～10・2	0513工②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・9・16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・27	0523	（医病）中央診療棟（仕上）	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・11～11・7	0513工③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，3	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05・10・11	0524	本荘団地（北地区）駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・13～10・14，10・17～10・18	0525	（黒髪）情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報12
05・10・14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・19～10・20	0527	（黒髪北）文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・25	0529	（医病）外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・26	0530	薬学部温床室（苗床温室）補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み湯水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0533	（黒北）ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・16，11・21	0534	黒髪南地区囲障改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・29 12・15	0513工⑯	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	48㎡	古代	住居址・柱穴	年報12
05・11・29～12・5	0513理⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	24㎡	古代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05・12・4	0513工⑰	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	117.4㎡	古代	土師器	年報12
05・12・7	0513工⑱	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	87㎡	古代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05・12・9	0513工⑲	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	25㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・12・12	0513工⑳	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・12	0535	教育学部新南部農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05・12・13	0513工21	（黒髪南）工学部他校舎改修等施設整備事業－1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工22	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工23	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工24	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0513理⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・15	0513理⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1，2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・19～12・21，12・26 06・1・6～1・11，2・27～3・2	0538	（黒髪）情報ネットワーク館設備工事（追加）	立会調査	70.235㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・12・22	0539	本荘団地（中地区）ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・26	0513理⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・4～1・19	0513理⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	89㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・1・5	0513理⑪	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・10，1・25	0540	本荘団地（南地区）埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・17	0513工25	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・20	0513工26	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26，2・2 2・10 2・27	0541	（黒髪南）理学部駐輪場整備工事（追加・再追加含む）	立会調査	1110.6㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
06・1・23	0513工27	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・24	0513工28	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26	0513工29	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・27	0542	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動経路）	立会調査	1464㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・30	0513工30	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・13	0543	附属病院職員厚生施設前庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・16，3・13	0544	（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家後）	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12

06・2・24、3・7～3・8、3・13、3・16～3・17	0546	（黒髪）情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・3・10	0547	（黒髪）北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・13	0548	本荘団地（中地区）渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・24	0549	（医病）外来化学療法センター屋外汚水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2005年度							
06・4・11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0602	（黒髪北）接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0603	（黒髪北）資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古代	土師器	年報13
06・4・11～4・12	0604	（黒髪北）資料館改修工事（屋外排水）	発掘調査	25.12㎡	古代	土師器	年報13
06・4・12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・18～4・19	0607	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・21	0608	（黒髪北）前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・11	0611①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・22、5・25	0611②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・22	0612①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	1.1㎡	古代	柱穴・土師器	年報13
06・5・22～5・24	0612②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6	発掘調査	24㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06・6・12	0614	（黒髪）環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・6・19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・6・22、6・28、7・3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備（衛生）工事	立会調査	153㎡	古代	土師器・須恵器	年報13
06・6・27、7・7	0612③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	21.98㎡	古代	土師器・須恵器	年報13
06・8・7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0617	（黒髪）プール附属家等環境配慮改修（アスベスト処理）工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・24～8・25	0611③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	20.7㎡			年報13
06・8・31～9・1	0611④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器	年報13
06・9・7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡			年報13
06・9・11	0611⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・12	0611⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・14～9・15	0611⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・20～9・21	0611⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	55.1㎡			年報13
06・10・2	0611⑨	黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2	0621	（黒髪）プール附属家等環境配慮改修（アスベスト処理）工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2、10・16、10・27、10・30、11・13	0622	（医病）環境整備（西側駐車場等）工事	発掘調査	8,077.5㎡（50.68㎡）	古代	土師器・須恵器・縄文土器	本書
06・10・10、10・12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキュームレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・16	0625	（医病）基幹・環境整備（外灯）工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・19	0626	（医病）基幹整備（ボイラー設備他更新）工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・25	0627	（大江地区）雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡			年報13
06・11・17、11・27、12・4	0629	（本荘）医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古代	土師器	年報13
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13

06・12・15 12・18～ 12・25 12・27～ 12・28 07・1・4～ 1・9	0612④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6	発掘調査	162.7㎡	古代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・25 07・4・2	0634	（本荘）医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・10～ 1・11 1・19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・18 1・22～ 1・23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古代	土師器・須恵器・礫	年報13
07・1・30	0637	（本荘）医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・1	0638	（宇留毛）ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・20	0639	（本荘）医学部保健学科校舎CT用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・1	0641	（本荘中）医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・8	0643	（黒髪南）理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古代	土師器	年報13
07・3・8	0644	（南地区）西側囲障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・20	0646	（医病）環境整備（救急棟改修）機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・22	0647	（教）附属幼稚園囲障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・26	0648	（医病）環境整備（山崎記念館外部改修）工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13
2007年度							
07・4・10	0701	（教）附属養護学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・12		（本荘）医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古代	溝・柱穴・土器	年報14
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・16 4・20	0703①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・5・7～ 5・8	0704	（黒髪南）新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	古代	土師器・須恵器	年報14
07・6・7		医病）東病棟新営工事	試掘調査				年報14
07・6・13	0705	（医病）東病棟新営に伴う支障配線替工事（電気設備）	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・19 6・21 6・27	0703②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07・6・25	0703③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・26 6・29 7・10 7・18～ 7・19	0707	（本荘）医学部図書講義棟新営工事	立会調査	1,590㎡		障害物撤去・一次掘削	年報14
07・6・28	0708	（黒髪北）大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・29	0709	（本荘北）仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・3	0703④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6，14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・4	0710	（京町）教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事（変更）	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・9～ 7・10	0703⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6	立会調査	58.75㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0711	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備）工事	立会調査	8.34㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0703⑥－1	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・19	0703⑥－2	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・30～ 9・3	**0707**	**（本荘）医学部図書講義棟新営工事**	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	竪穴住居址・水田遺構・ピット 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本　書
07・8・7	0712	（医病）東病棟新営工事	立会調査	24㎡		一次掘削	本報告Ⅴ
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	（黒髪南）理学部1・2号館掲示板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	（医病）東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳・古代・近世	縄文土器・土師器・須恵器・石器・古代鉄器・銅製袴帯・馬骨・宋銭	本報告Ⅴ
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟取り壊しに伴う機械設備）工事	立会調査	49.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25～ 9・27 10・2	0703⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6，16	発掘調査	275.5㎡	古代	住居址・ピット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・1～ 10・2	0718	（大江）薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古代	溝・土師器	年報14

07・10・4 10・15～ 10・16 10・22 10・25 08・1・30～ 1・31 2・13	0719	（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ピット・弥生土器 土師器	本報告Ⅴ
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26～ 11・28	0719	（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	竪穴住居・ピット・溝・弥生土器・土師器・須恵器・打製石鏃	本報告Ⅴ
07・12・3～ 12・4 12・6～ 12・7 08・1・18	0721	（京町附属小中）校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代・近世・近代	竪穴住居・ピット・弥生土器・土師器・須恵器・近世，近代陶磁器	本報告Ⅴ
07・12・5	0722	（黒髪）工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5 12・11	0723	（黒髪）工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7 12・10 12・12	0724	（本荘中）医学部基礎研究棟（C棟取り壊し）工事	立会調査	1,000㎡	古代	土抗・ピット・土師器	年報14
07・12・7	0725	（京町）教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10 12・17～ 12・18 08・1・16～ 1・17	0703⑧－1	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6，18	立会調査	148.75㎡	古代？	ピット	年報14
07・12・14～ 12・27	0721	（京町附属小中）校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代・近世・近代	竪穴住居・ピット・近代土坑・弥生土器・土師器・須恵器・近世，近代陶磁器	本報告
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16～ 1・17	0703⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0727	（黒髪）工学部8号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0728	（黒髪）工学部8号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・23	0703⑧－2	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業－6，18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・25	0703⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業－10	立会調査	2.04㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・29～ 1・30	0703⑧－3	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業－6，18	立会調査	96.7㎡	古代	土師器	年報14
08・2・1 2・4	0703⑧－4	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業－6，18	立会調査	53.02㎡	古代	土師器	年報14
08・2・14	0729	（黒髪南）ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・25	0730	（黒髪東）教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・27	0731	（黒髪南）旧情報処理センター改修	立会調査	11.25㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・29	0732	（本荘）特別高圧受電棟増築工事	立会調査	12㎡		土師器	年報14
08・3・11 3・26	0733	（医病）旧中央診療棟取り壊し工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・17	0734	（黒髪北）排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡			年報14
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0736	（大江北）薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・25	0737	（黒髪南）ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・27	0738	（本荘南）医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・31	0739	（黒髪北）出庫注意灯取設工事	立会調査	10.・135㎡		遺構・遺物なし	年報14
2008年度							
08・4・2	0801	（医病）旧中央診療棟とりこわし工事（追加）	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・7	0802	附属中学校散水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理舎ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・26	0804	（本荘北）駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・5	0805	（黒髪南）ボイラー室南側給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・6 6・19 6・23 6・26 7・4 7・10 7・18 7・28 8・25 12・1 12・8	0806	（黒髪）南地区福利施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古代	土師器	年報15
08・6・20 6・25～ 7・1 7・28～ 7・30 12・4 12・18～ 12・19	0806	（黒髪）南地区福利施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古代	溝・ピット・土師器・須恵器・近代陶磁器・石器	年報15
08・6・9～ 6・10	0807	（本荘）医学部図書講義棟新営機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報15

08・6・18	0808	（黒髪北）有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・23 7・1 7・3～ 7・4 7・15～ 7・16	0809	（黒髪南）福利施設樹木移植工事（追加）	立会調査／ 発掘調査	23.5㎡	古代	溝・住居址・土師器・石器	年報15
08・7・10	0810	宇留毛団地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・11	0811	（黒髪南）共用棟Ⅱ４階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・14	0812	（黒髪南）掲示板移設工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・15	0813	（本荘中）医学部基礎棟内都市ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・18	0814	（医病）東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥生	溝発見	年報15
08・8・20～ 8・22	0814	（医病）東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝 弥生土器・石器・近世陶磁器	本　書
08・8・21	0815	（本荘南）こばと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・21	0816	（本荘中）医学部基礎棟内市水道配管漏れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・29	0817	宇留毛団地油タンク警報線補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・1	0818	（黒髪北）ポンプ室西側給水管漏水修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9～ 9・10	0820	（黒髪北）文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘団地（北地区）看護師宿舎埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側側障整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・9 10・10～ 11・28	0819	（渡鹿）体育館耐震改修その他工事	一次掘削／ 発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳・ 古代	縄文土器・石器，古墳時代玉，土師器・石器・人骨	年報15
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・15	0824	（本荘南）医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	（医病）電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	（黒髪南）共用棟黒髪3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡			年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	（本荘）こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡			年報15
08・11・10	0829	（黒髪北）学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18 11・19～ 11・21 11・25	0830	（本荘）こばと保育園新営機械設備工事（変更2）	一次掘削／ 発掘調査／ 立会調査	20㎡	近代	溝 古代土師器・須恵器・石器	本書
08・11・18 11・20 12・24	0831	（渡鹿）体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	（黒髪北）教育学部本館東側汚水桝補修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	（本荘中）共用研究棟新営工事（変更）	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11 12・15～ 12・19 09・1・13～2・19	0835	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	一次掘削／ 発掘調査	580㎡		ピット・住居址・土師器・須恵器・弥生土器・縄文土器・石器・鉄器	年報15
08・12・22 12・24～ 12・25 09・1・5～ 2・27 3・10	0836	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（変更その１，その２）	一次掘削／ 発掘調査	456.54㎡	古代	溝・住居址・ピット・土師器・須恵器・石器	年報15
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹（追加）	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	（黒髪北）教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	（黒髪南）備蓄倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	（黒髪南）南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	（本荘）医学部図書講義棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	（黒髪北）ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事（変更）	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	（黒髪南）福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	（城東町）附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13 2・19	0847－1 ～2	（黒髪北）教育学部本館改修（変更）	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23～ 24 2・27 3・4～ 3・5 3・13	0848－1 ～5	（黒髪北）文法学部本館改修（変更，変更その２）	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髪団地（北地区）外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	（渡鹿）体育館耐震改修機械設備工事（追加）	発掘調査 （立会調査）	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	（医病）水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	（黒髪南）排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847－3	（黒髪北）教育学部本館改修（変更その２）	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	（黒髪北）北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15

09・2・26～ 3・12	0854	（黒髪北）北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古代	ピット・竪穴住居址・道状遺構・土壙墓・土師器・須恵器・石製紡錘車	本　書
09・2・26	0855	（黒髪南）旧情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・3	0857	（黒髪南）旧情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33.114㎡ (内1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～ 3・6 3・11	0858	（黒髪北）教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	（黒髪南）共用棟黒髪３耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ (0.32㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6 3・13	0860	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～ 3・11 3・17	0861	（黒髪北）文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	（黒髪南）共用棟黒髪３耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～ 3・11	0863	（黒髪南）ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ (4.86㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・16 3・23	0864	（黒髪北）環境整備（排水等）工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ピット・土師器	年報15
09・3・17	0865	（黒髪南）南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ (1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	（黒髪北）学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	（黒髪北）北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	（医病）カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
2009年度							
09・4・15 4・17	0901	（黒髪南）西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・4・20 4・22 4・24 4・27 4・30 5・1 5・25 5・27 5・28	0902	（黒髪南）西門改修工事	立会調査	422㎡		内原・塀新設に際し黒褐色の住居址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし	年報16
09・4・23	0903	（本荘中）中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	（宇留毛）学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	（黒髪南）屋外用水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事　その１（変更）	立会調査	11.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事　その２	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	（大江）薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	（黒髪北）ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地（東地区）インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	（黒髪北）非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	（黒髪北）特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・13	0914	（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・28	0915	（宇留毛）留学生宿舎新営電気設備工事（追加その５）	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・7	0916	（本荘中）動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・10	0917	（本荘中）構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0918	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修外構工事（変更）	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4 10・2・24	0920	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・29	0921	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	（黒髪南）工学部研究実験棟準備室Ａ種接地工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・13 10・27～ 10・30 11・12 11・13	0923	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	立会調査／ 発掘調査	工区 ①0㎡ ⑨15.9㎡ (0925含) ⑤⑥一部 50㎡ ⑪5.3㎡	古代	ピット・住居 土師器坏・須恵器蓋	年報16
09・10・19 10・23 10・27～30	0924	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その２	立会調査／ 発掘調査	工区 ③39㎡ ④54㎡ ⑦25.5㎡ ⑨15.9㎡ (0923・ 0925含)	古代	ピット	年報16

09・10・27～ 10・30 11・12 11・13 11・19 11・24～ 11・26 12・1～ 12・3	0925	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その1	立会調査／ 発掘調査	工区⑨ 15.9㎡ (0923含) ⑥7.2㎡ ⑧7.2㎡ ⑩23.7㎡	古代	ピット・住居址・溝 土師甕・高坏 土師器・須恵器	年報16
09・10・13 10・28	0926	（医病）基幹整備（自家発電設備更新）工事	立会調査	64㎡		土師器	年報16
09・10・20	0927	（黒髪南）ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器	年報16
09・10・21	0928	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	（医病）第６病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	（本荘北）基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器	年報16
09・11・10 11・18	0931	（医病）東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	14㎡		A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土器・古代土師器・須恵器	年報16
09・11・10 11・30～ 12・3 12・14	**0932**	**（黒髪南）旧図書館工学部分室改修工事**	立会調査／ 発掘調査	地中梁試掘・ピット試掘 0.98㎡ 外溝工事 230.7㎡	古代	溝 古代土師器・須恵器	本　書
09・12・9	0933	（京町）附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・7 1・12 1・19 1・28 2・2	**0935**	**（黒髪北）体育館改修電気設備工事**	立会調査／ 発掘調査	423.21㎡	古代・近代	ピット 土師器・須恵器・磁器	本　書
10・1・12	0936	（医病）旧こばと保育園駐車場整備	立会調査	12㎡		埋甕	年報16
10・1・13 2・23	0937	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・14 2・17～ 2・19	**0938**	**（黒髪南）エコロジーシステム実験室接地工事**	立会調査／ 発掘調査	10㎡	縄文	溝・包含層 縄文土器・弥生土器	本　書
10・1・15	0939	（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・26	0940	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0941	（黒髪北）体育館屋外階段改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0942	（黒髪北）体育館屋外配水管改修	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・2	0943	（黒髪南）旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7㎡		V字型遺構（溝？）	年報16
10・2・8	0944	（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0945	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0946	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）追加	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・12	0947	（大江）薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0948	（黒髪北）教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0949	（黒髪北）教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0950	（黒髪北）教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0951	（黒髪北）教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0952	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0953	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0954	（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0955	（黒髪南）環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・2	0956	（本荘中）ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・3	0957	（大江北）薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0958	（黒髪東）教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0959	（黒髪北）教育学部本館Ｂ棟配水管・連結送水管工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・5	0960	（本荘北）医学部駐輪場取設工事	立会調査	17㎡		遺構覆土検出，計画変更により保存・遺物なし	年報16
10・3・8	0961	（黒髪南）備蓄倉庫２取設工事	立会調査	0.83㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・8	0962	（黒髪南）大学院自然科学研究科実験棟地盤探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・10	0963	（京町）附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63㎡	弥生	ピット・浅い窪み 弥生時代甕棺口縁部	年報16
10・3・11	0964	（黒髪北）体育館改修電気設備工事（電柱撤去）	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・11	0965	（黒髪北）文法学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・12	0966	（黒髪北）保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・15	0967	（黒髪南）事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・16	0968	（黒髪北）共用棟黒髪６揚水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・19	0969	（黒髪東）ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0970	（京町）附属中学校教育学部同窓会弔魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0971	（黒髪北）文法学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0972	（本荘南）保健学科Ｅ棟給水配管工事	立会調査	8.7㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0973	（大江北）薬学部番遊館屋外給水配管工事	立会調査	0.34㎡		遺構・遺物なし	年報16

2010年度						
10・4・6	1001	（本荘中）ガスメータ付近ガス埋設管漏洩調査	立会調査	3.9㎡		遺構・遺物なし
10・6・25 9・1	1002	（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース設置他工事	立会調査	22㎡ 0.18㎡		遺構・遺物なし
10・6・30	1003	（黒髪南）生物生息環境音響解析室看板設置工事	立会調査	0.18㎡		遺構・遺物なし
10・8・4	1004	（黒髪北）守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04㎡		遺構・遺物なし
10・8・9	1005	（京町）附属小学校給排水設備工事	立会調査	17㎡		遺構・遺物なし
10・8・10 9・3 9・6～10 11・3・4	1006	（黒髪北）文法学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査／ 発掘調査	1211.68㎡	古代	ピット・住居址・瓦粘土 土師器・須恵器
10・8・10 9・3	1007	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事	立会調査	48.2㎡		遺構・遺物なし
10・8・11	1008	（黒髪北）高圧配電線等改修工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし
10・9・1 9・3	1009	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修電気設備工事	立会調査／ 発掘調査	1.6㎡	古代	ピット・遺物なし
10・9・15	1010	（城東）附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・9・24	1011	（黒髪南）理学部１・２号館中庭植栽	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし
10・10・4 10・5 10・7	1012	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事（追加）	立会調査	67.7㎡		遺構なし 土師器片
10・10・4 10・5 10・7	1013	（黒髪北）教育学部本館周辺移植等工事	立会調査	82㎡		遺構・遺物なし
10・11・10 11・11	1014	（黒髪北）教育学部本館耐震壁設置等工事	立会調査	91.63㎡		遺構・遺物なし
10・10・26 11・2・1 2・10 2・15 2・22 2・25 11・3・2 3・3	1015	（黒髪北）教育学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査	2101.01㎡		遺構・遺物なし
10・10・7	1016	（黒髪北）教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	98.46㎡		遺構・遺物なし
10・12・6	1017	（本荘南）テニスコート整備工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし
10・12・20	1018	（黒髪北）五高記念館樹木移植工事	立会調査	4㎡		遺構なし 須恵器・土師器片
10・12・20	1019	（黒髪北）五高記念館便所新営工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし
10・12・27	1020	（本荘南）テニスコート整備工事（追加）	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし
11・1・17	1021	（黒髪北）五高記念館便所新営電気設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
11・1・17	1022	（黒髪北）五高記念館便所新営機械設備工事	立会調査	20.2㎡		遺構・遺物なし
11・1・17	1023	（黒髪南）囲障改修工事	立会調査	6.95㎡		遺構・遺物なし
11・2・4	1024	（本荘北）カーブミラー取設工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし
11・2・24 2・25	1025	（本荘中）医学部基礎研究棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	175.5㎡		遺構・遺物なし
11・3・2	1026	（黒髪北）教育学部本館北側排水設備修理工事	立会調査	10.3㎡		遺構・遺物なし
11・3・9	1027	（黒髪北）北地区門衛所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし
11・3・10	1028	（黒髪北）教育学部本館正面入口前消火管修理	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし
11・3・16 11・3・22	1029	（本荘北）学生部室とりこわし工事	立会調査	3㎡ 0.75㎡		遺構・遺物なし
11・3・17	1030	（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし
11・3・23	1031	（黒髪北）教育学部本館西側・文法学部本館北側排水設備改修工事	立会調査	205.7㎡		遺構・遺物なし

Ⅱ　黒髪北地区の調査

1．北地区ボイラー室改修工事に伴う発掘調査（0854調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

北地区のボイラー室をポンプ室および埋蔵文化財調査室倉庫として改築するための工事であり、基礎強化のために、旧ボイラー室の基礎用坑８箇所（106m²）を地表下1.7mまで掘り下げる工事である。周辺ではくすのき会館新築のための埋蔵文化財調査しか行われておらず、埋蔵文化財についての十分な情報のない地点であった。これに先立ち、煙突撤去工事が行われた際も立会調査を実施したが、攪乱が激しく、遺構などは検出できなかった。しかし、これまでの調査経験から既存建物の基礎部分以外のところには遺物包含層や遺構が残存している可能性があり、これまでも建物内の床を掘り下げる工事においても立会調査を実施してきた。

掘削の結果、地表下1.0mから古代の土師器・須恵器を含む黒褐色土層が確認された。このため、市文化財課に届け、立会調査から、発掘調査に変更することとした。文化財課に発掘届を提出し、その日より着手する旨、了解を得た後、施設部と相談の上、２月26日より発掘調査を開始することとした。

調査は、基礎の梁が調査区内に２本入っており、この梁が深さ1.2mほどまであったため、排土の便宜を図るため、梁基礎を境に、調査区を３つに分け、北からⅠ・Ⅱ・Ⅲ区とし、Ⅰ区をまず発掘し、次に、そこを排土置き場として、Ⅱ・Ⅲ区を同時に調査した。

発掘調査の結果、７世紀中頃を中心とする竪穴住居址３基、道状遺構１基、11世紀ごろの土壙１基、古代ピット20基余を検出した。

立会調査は2009年２月24日に実施した。立会調査の掘削面積は12m²、発掘調査は106m²であった。

b．調査の経過

2009年２月26日	発掘調査開始。Ⅰ区を掘り下げ、Ⅰａ区西側において黒いしみ（遺構）を確認、その東側に硬化面１を確認する。攪乱および包含層を上げる。
2009年２月27日	１号住居址およびⅠｂ区包含層を掘り下げる。測量基準点移設する。
2009年３月２日	１号住居址ベルト実測・取り外し、２～４号ピットを掘り上げる。Ⅰａ区全体写真撮影。その後、Ⅰｂ区を掘り上げ、全体写真を撮影する。５号竪穴住居址を検出し、掘り上げる。測量ソフトを用いて、調査区全体の測量を開始する。
2009年３月３日	Ⅱ・Ⅲ区の機械による埋土・攪乱土の掘削後、Ⅱ・Ⅲ区の包含層を掘り下げ、１号竪穴住居址の南側部分を確認する。
2009年３月５日	Ⅱ区中央で確認した、15号竪穴住居址のⅢ区部分の中央部に土師皿を確認。住居床面に土壙が掘られていることを確認する。１号竪穴住居址実測。
2009年３月６日	20号土壙と命名し、掘り下げを行う。最終的に木炭が敷かれていることを確認。
2009年３月11日	20号土壙および15号竪穴住居址の写真撮影、Ⅱ・Ⅲ区の測量を行う。
2009年３月12日	発掘調査を終了する。

1．北地区ボイラー室改修工事に伴う発掘調査（0854調査地点）

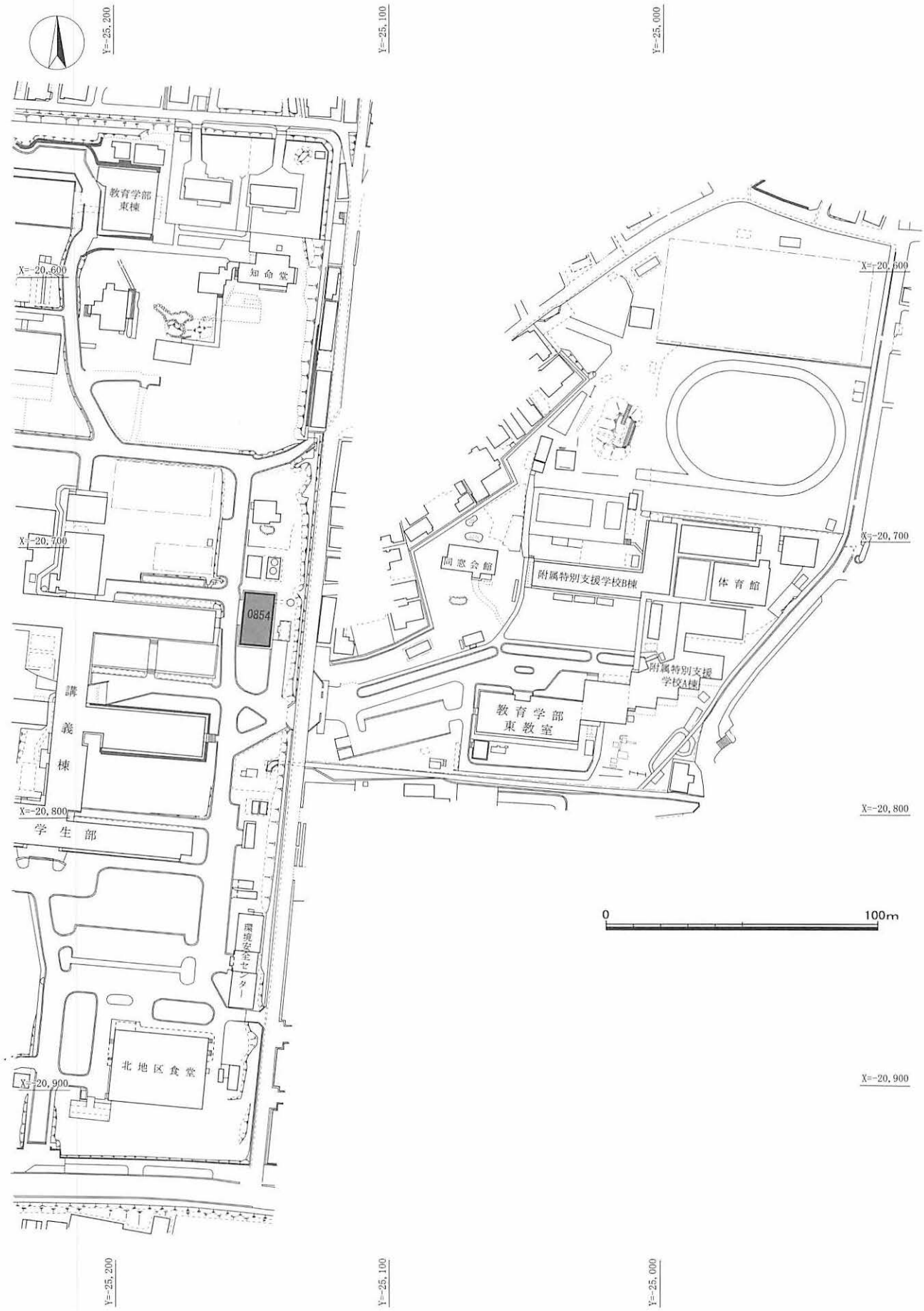


図２　黒髪北地区東半における調査地点配置図（1/2000）

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己・大坪志子

事 務 担 当：中川木綿子

発掘作業員：伊藤千代子・庄村弘幸・溜渕俊子・早川　翔・増田由美・増田理子・髙野三千代・吉永孝夫・渡邊　勇

整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・髙松あゆみ・長谷智子・増井弘子・山嵜早苗

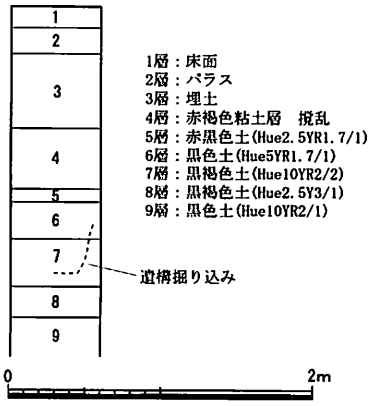


図３　0854調査地点土層柱状模式図（1/50）

（2）調査区の基本層序

周辺はすべて建物基礎に覆われているため、土層図は作成していない。基本層序は、柱状模式図（図３）のとおりで、４層

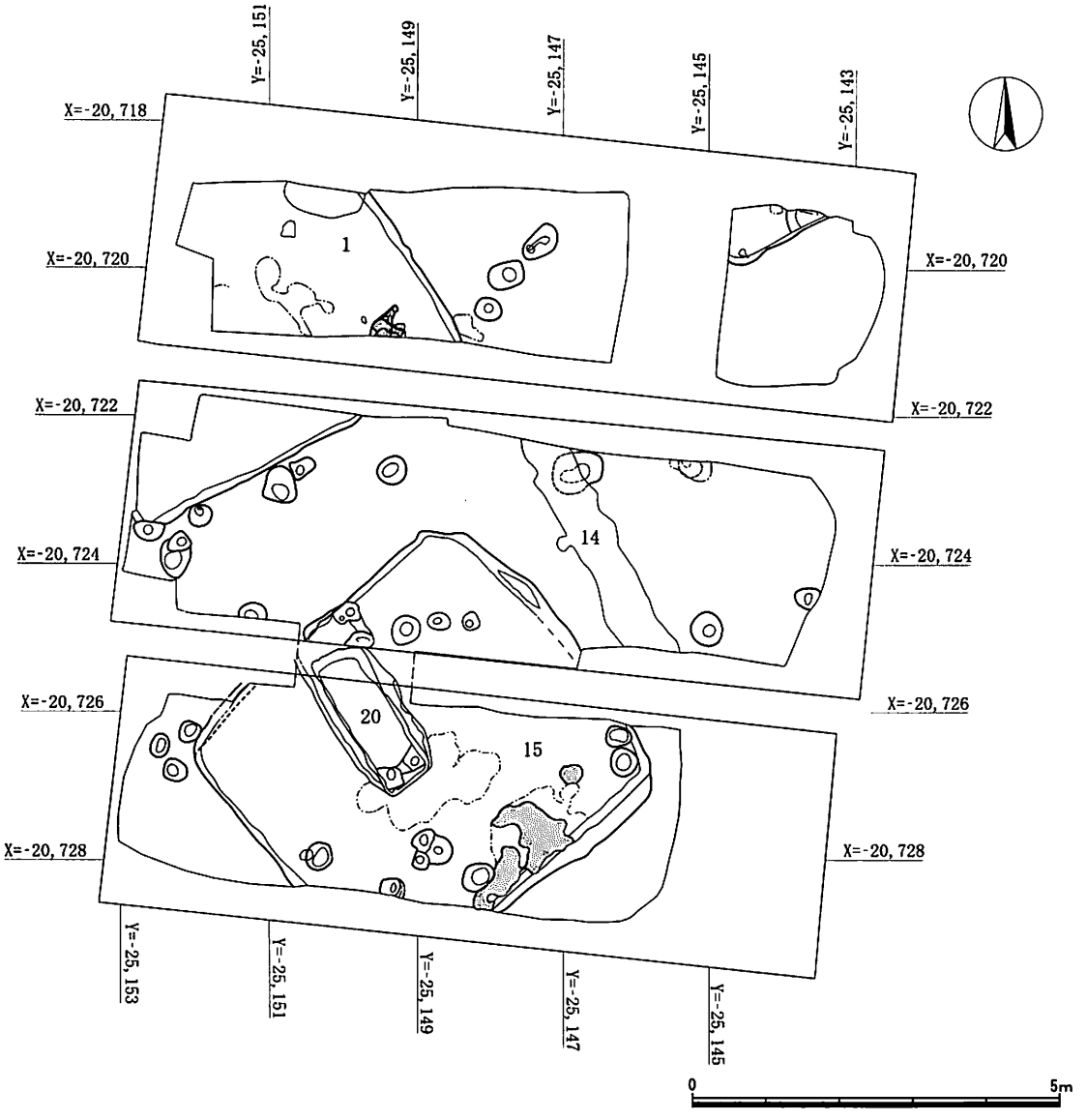


図４　0854調査地点遺構配置図（1/100）

までが現代の攪乱土である。５層以下は、５層：赤褐色土（Hue2.5YR1.7/１）、６層：黒褐色土（Hue５YR1.7/１）、７層：黒褐色土（Hue10YR２/２）、８層：黒褐色土（Hue2.5YR３/１）、９層：黒色土（Hue10YR２/１）となる。遺構ののる基盤土は黄褐色土もしくはシルト質土である。

（３）検出遺構

＜竪穴住居址＞

１号竪穴住居址（図５）

Ⅰ・Ⅱ区にまたがって検出した１辺5.0mの竪穴住居址である。住居址の方位は北東－南西である。竈は北東隅にあるが、建物梁の設置によって破壊されており、その粘土の一部と小さな砂岩ブロックが残存しているにすぎない。砂岩ブロックや粘土はⅡ区側にも広がっていた。わずかな範囲であるが、

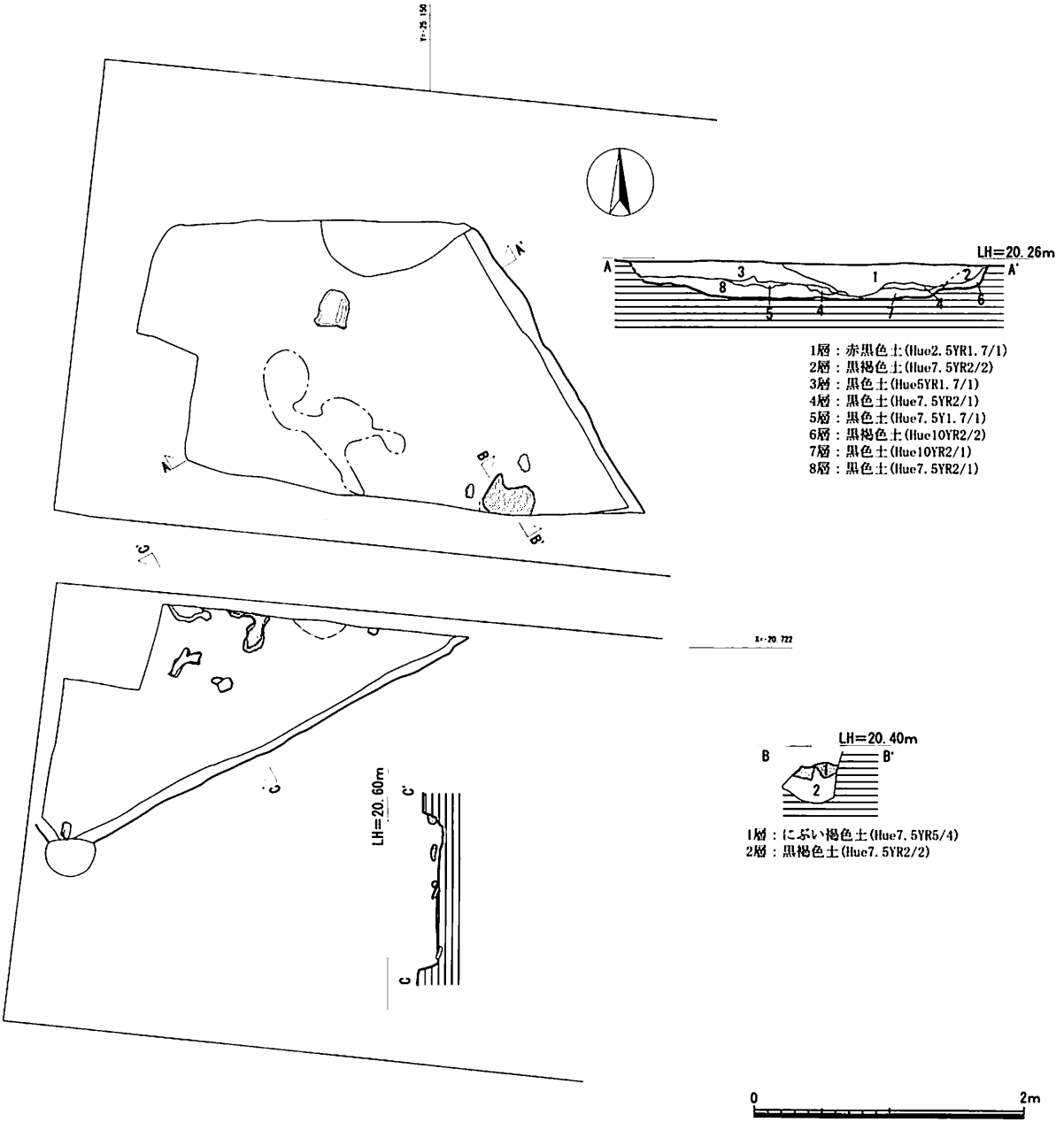


図５　１号竪穴住居址実測図（１/50）

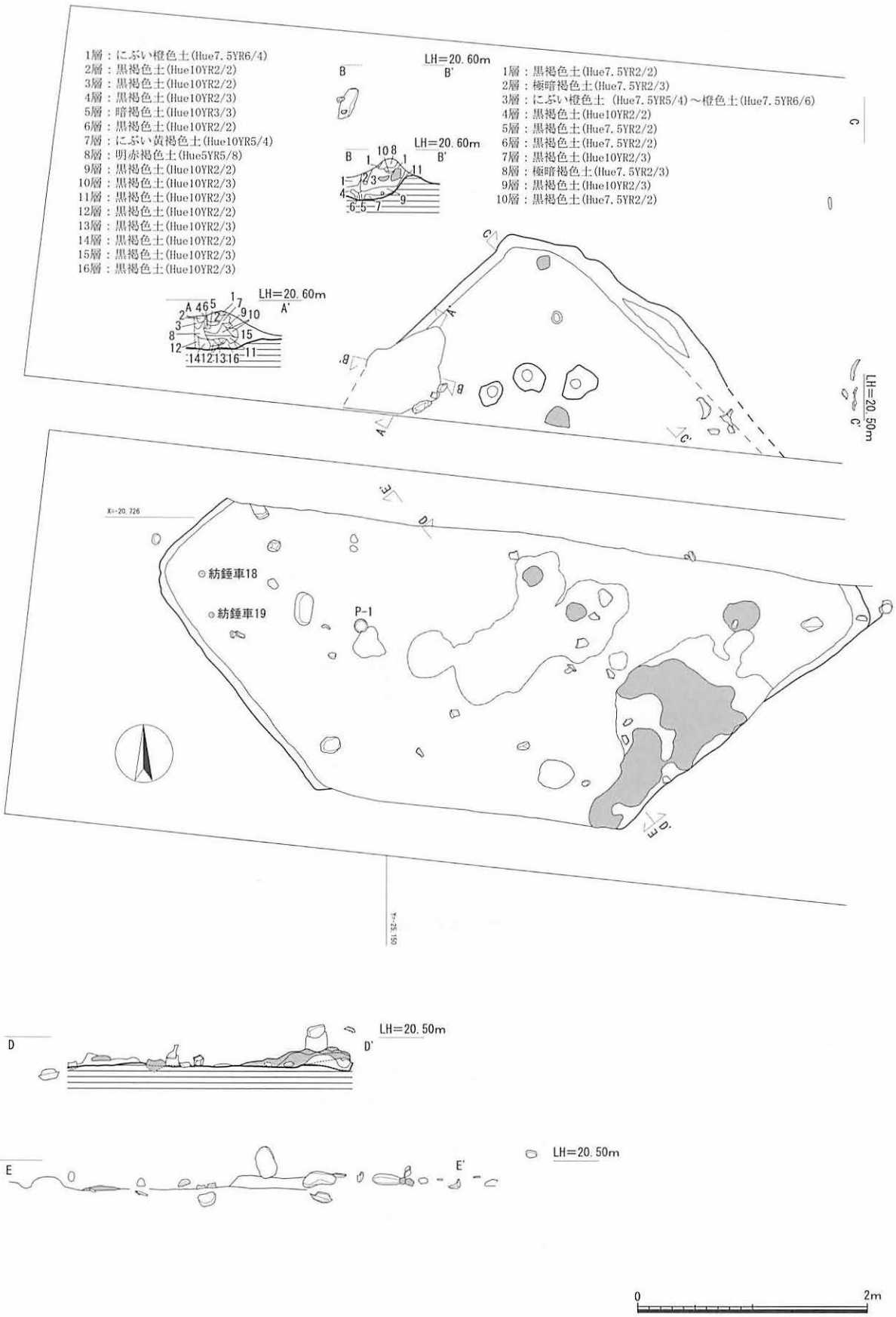


図６　15号竪穴住居址実測図（1/50）

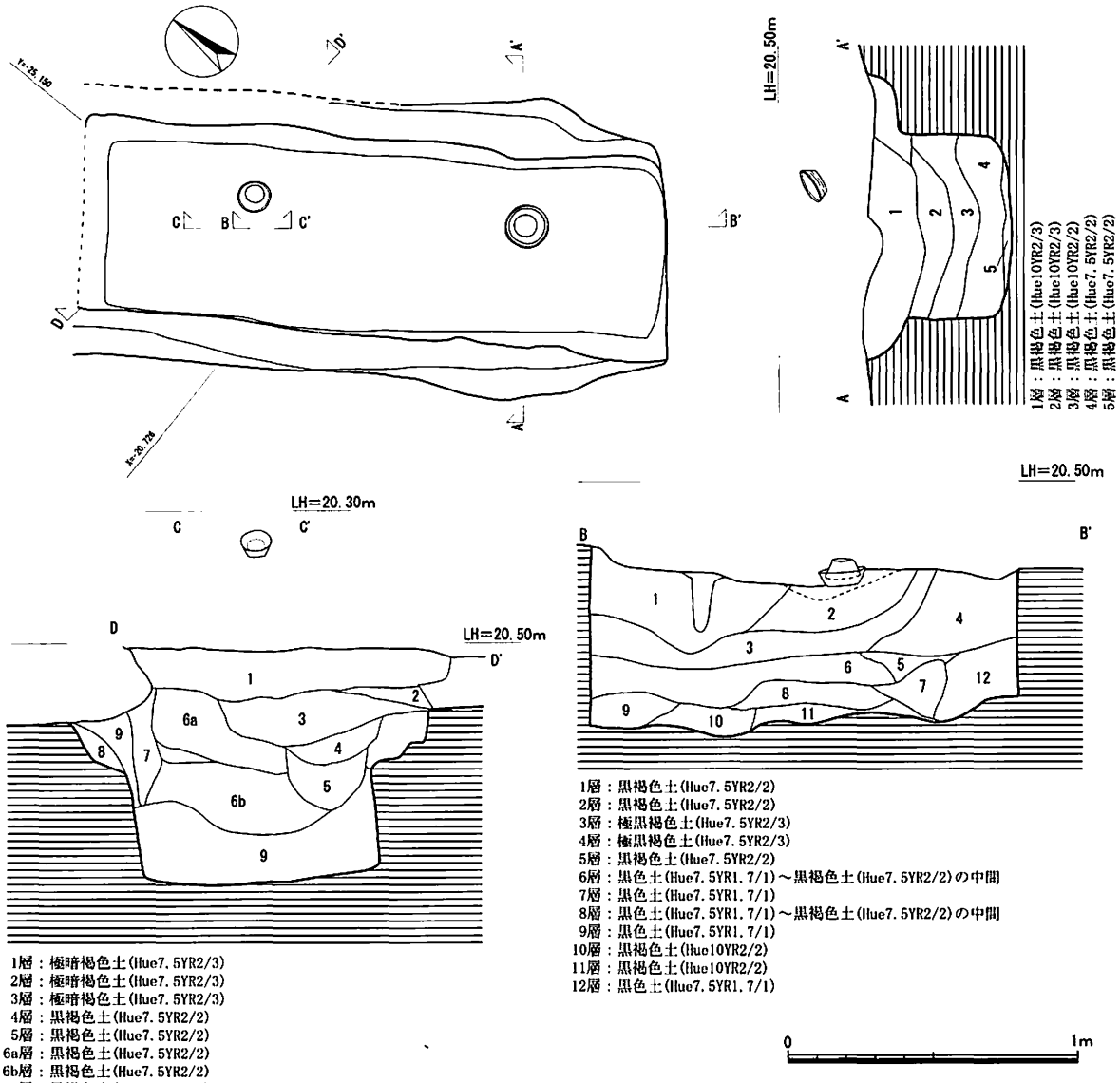


図7　20号土壙実測図（1/25）

Ⅰ区とⅡ区それぞれに硬化面が認められた。壁の立ち上がりは深いところで15cmあまりである。柱穴は検出できなかった。

15号竪穴住居址（図6）

Ⅱ・Ⅲ区にまたがって検出した5.0×4.5mあまりの大型の竪穴住居址である。1号竪穴住居址もほぼ同様の規模をもつものと思われる。住居址の方位は1号竪穴住居址と同じ、北東－南西であり、竈は北辺の中央部にある。竈対向粘土が南辺中央部に残っており、入り口がここに存在した可能性がある。中央部、南よりに0.5×2.0mの範囲の硬化面が認められる。柱穴は検出できなかった。

床面には砂岩ブロックや焼けた粘土とともに、15～30cmほどの礫が数個散乱していた。床面に張り付くようにして、図8：8の須恵器蓋が出土している。またその西側の住居址南西コーナーの床から互いに30cmほど離れて石製紡錘車（図8：18・19）が出土した。

＜土　壙＞

20号土壙墓（図７）

15号竪穴住居址に重なるように営まれた南北に主軸をもつ長方形の墓と思われる遺構である。長さ2.1m、幅1.0m、深さ0.7mを測る。15号竪穴住居址の床面を検出中に発見した。15号竪穴住居址の遺物と考えていた土師皿１点は本土壙に伴うものであった。この土師皿は上を向いた状態であり、墓壙に供えられたものである。また、掘り下げていくうちに、墓壙の南側で土師皿２枚を合わせ口にして重ねたものが発見された。北側と南側の土師皿は20cmほどの高さの差がある。床面に近づくにつれ木炭の量が多くなり、おそらく床面に敷き詰めたものと考えられる。その厚さは0.2mほどであった。これら以外には何も発見することはできなかった。土師皿内からは何も検出していない。

＜道路跡＞

14号道路跡（図４）

15号住居址の東辺に沿うように幅0.3mほどの硬化した面が検出された。人が頻繁に歩いたため堅く締まった硬化面を形成したもので、道の跡と考えられる。15号竪穴住居址には平行するが、その北側延長部にある１号竪穴住居址とは並行せず、そのまま延長すれば、一部重なるため、同時期のものとは考えられない。包含層からは８世紀後半代の遺物も出土しているが、竪穴住居址の壁の深さからみると、より古いものの可能性が高い。

（４）出土遺物

１号竪穴住居址（図８：１～５）

図８：１は須恵器の高台付坏である。高台部を欠損する。図８：２は須恵器の坏である。図８：３は土師器の甕形土器の口縁部の破片である。図８：４は口径が小さい土師器の壺形土器である。図８：５は土師器の高坏の脚部片である。図８：６は砂岩製の砥石の破片であり、裏面を欠いている。図８：７は鉄製の刀子と思われる破片である。

15号竪穴住居址（図８：８～20）

図８：８～９は須恵器のかえしのある蓋である。図８：10は須恵器の坏身である。図８：11・12は須恵器のかえしのない坏である。図８：13は肩の張る壺（長頸壺）の破片であり、図８：14は須恵器の壺の口縁部である。図８：15は土師器の鉢形土器、図８：16は甕形土器である。図８：17は甑の把手の破片である。図８：18・19はいずれも滑石製の紡錘車であり、18は断面が偏平な台形で、上面に環状の窪みが認められる。19は18に比べ小型であるが、厚く、断面形は長方形である。図８：20は鉄製刀子である。

20号土壙出土遺物（図８：21～23）

図８：21～23はすべて完形の土師皿である。ヘラ切ののち底部をナデ整形しており、23には板目が残っている。

包含層出土遺物（図８：24～34，図９：35～38）

図８：24は須恵器の壺の肩～胴部の破片である。図８：25は須恵器の壺もしくは鉢の高台部分の破片である。図８：26～29は須恵器蓋、図８：30・31は須恵器坏、図8：32は高台付碗、図８：33は須恵器壺の口縁部である。図８：34は土師器坏の底部片である。図９：35は土師質の甑の底部と思われる破片である。直径１cmほどの円形の貫通孔が３個確認できる。図９：36～38は土師器の甕の口縁部片である。

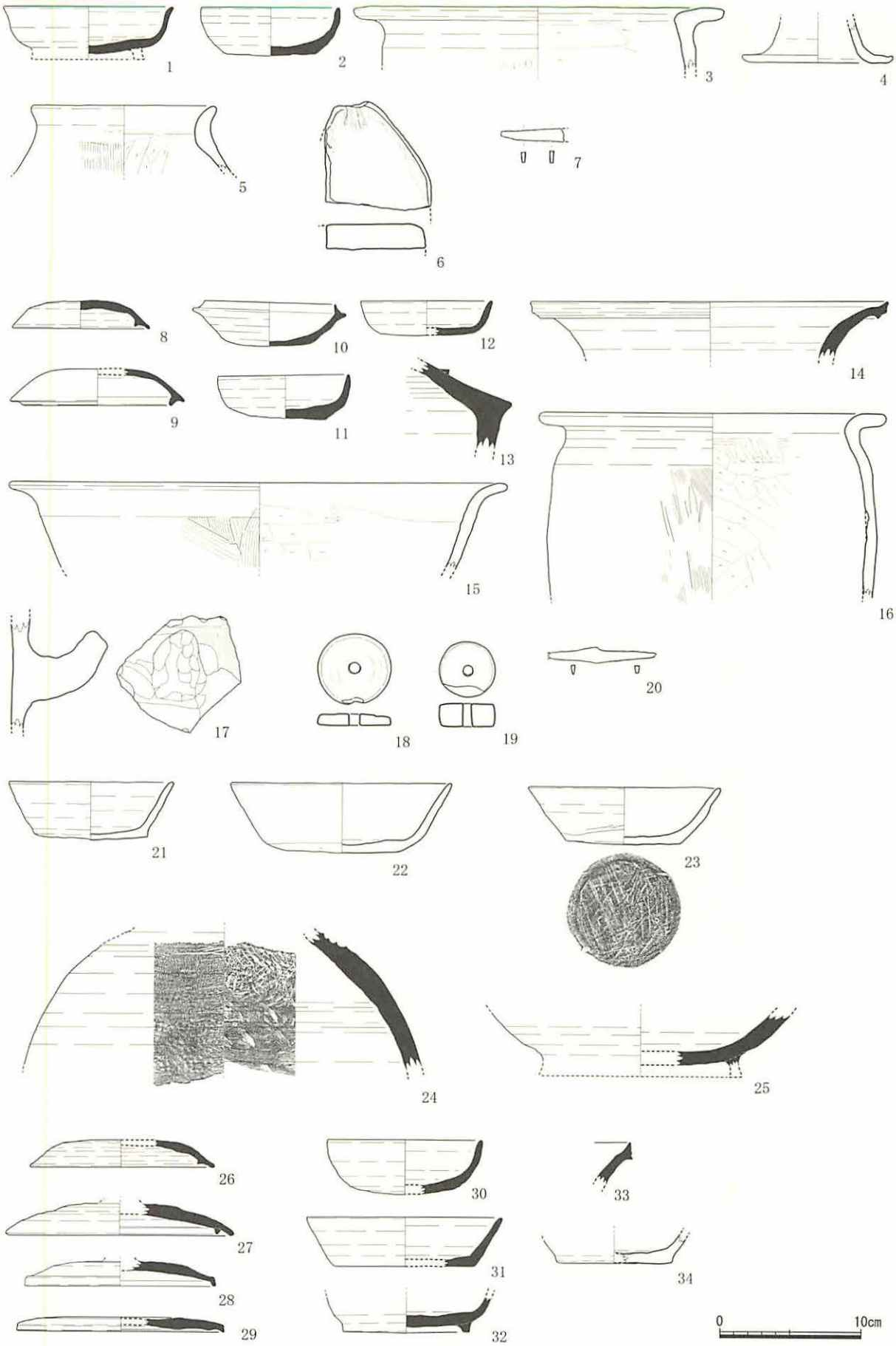


図８　0854調査地点出土遺物実測図１（1/4）

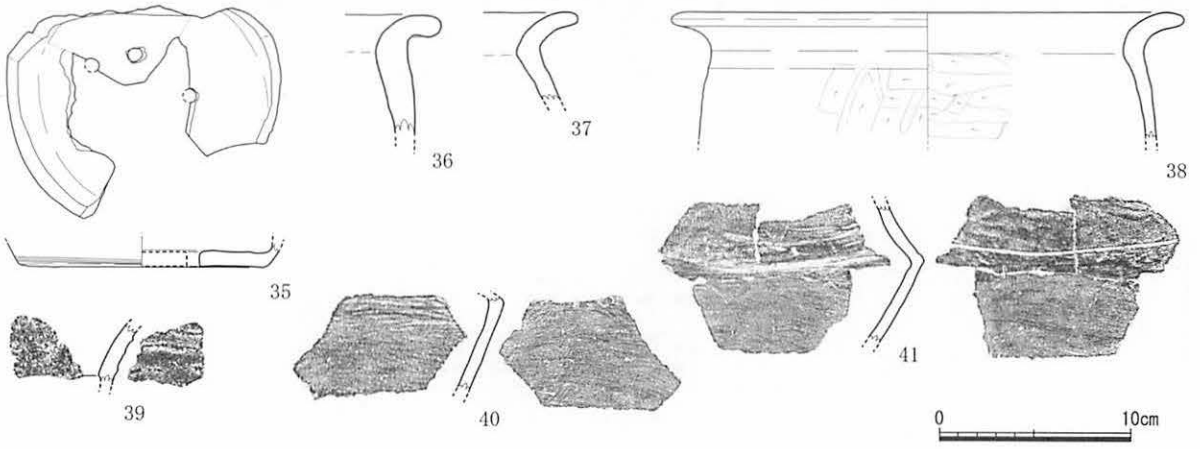


図９　0854調査地点出土遺物実測図２（1/4）

表３　0854調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
8	1	須恵器	碗	口径 11.9 底径 器高	約1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 5/1 外：Hue 7.5Y 5/1	1号竪穴住居址上層，硬化面より上	
	2	須恵器	坏	口径 9.6 底径 6.1 器高 3.5	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6/1 外：Hue 2.5Y 5/1	1号竪穴住居址上層，硬化面より上	底部ヘラ切り
	3	土師器	甕	口径 26.3 底径 器高	口縁部片	内：削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8/2 外：Hue 10YR 7/3	1号竪穴住居址上層，硬化面より上	
	4	土師器	高坏	口径 底径 10.7 器高	底部約1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8/1 外：Hue 10YR 8/4	1号竪穴住居址上層，硬化面より上・1区包含層	
	5	土師器	甕	口径 13 底径 器高	口縁部1/4	内：ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8/3 外：Hue 10YR 8/3	1号竪穴住居址上層，硬化面より上	
	6	石製品	砥石	長さ 7.8 幅 7.6 厚さ 1.85	一部残存	内： 外：	内：Hue 外：Hue 10YR 6/4	1号竪穴住居址上層，硬化面より上	重量174g
	7	鉄器	刀子	長さ 4.5 幅 1.2 厚さ 0.3	先端部			1号竪穴住居址内1	重量3.8g
	8	須恵器	蓋	口径 9.7 底径 器高 2	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 4/2 外：Hue 5Y 4/1	15号竪穴住居址P-1	
	9	須恵器	蓋	口径 12.2 底径 器高 2.6	約1/3	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10Y 5/1 外：Hue 10Y 6/1	15号竪穴住居址北側基礎ハリ下・Ⅲ区包含層	
	10	須恵器	坏	口径 9.1 底径 器高 3.2	2/3	内：ナデ，回転ナデ 外：削り，回転ナデ	内：Hue N 3/0 外：Hue N 3/0	15号竪穴住居址北側基礎ハリ下	
	11	須恵器	坏	口径 9.4 底径 5.4 器高 3.3	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 6/4 外：Hue 10Y 6/1	15号竪穴住居址床下（東半）・P18・P11	底部ヘラ切り
	12	須恵器	坏	口径 9.4 底径 6.6 器高 2.4	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 7/1 外：Hue 5Y 6/1	15号竪穴住居址P-2	
	13	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 4/2 外：Hue 5YR 4/2	15号竪穴住居址・Ⅲ区包含層	
	14	須恵器	壺	口径 25.4 底径 器高	口縁部のみ1/4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5Y 5/1 外：Hue N 7/0	15号竪穴住居址	内外面自然釉あり
	15	土師器	鉢	口径 35.2 底径 器高	口縁部1/8	内：回転ナデ，削り，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7/2 外：Hue 7.5YR 5/2	15号竪穴住居址P-9	
	16	土師器	甕	口径 24.6 底径 器高	口縁部・胴部1/4	内：回転ナデ，削り 外：ナデ，回転ナデ	内：Hue 7.5YR 8/3 外：Hue 7.5YR 7/4	15号竪穴住居址P-14	口縁部内面こげあり，外面に黒斑？あり
	17	土師器	甑	口径 底径 器高	取手のみ	内：ナデ 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	15号竪穴住居址P-8	
	18	石製品	紡錘車	長さ 5.2 幅 5.05 厚さ 0.8	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue 5G 6/1	15号竪穴住居址P-4	重量36g，滑石
	19	石製品	紡錘車	長さ 2 幅 1.9 厚さ 1.65	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue 2.5Y 8/2	15号竪穴住居址P-5	重量36.4g，滑石
	20	鉄器	刀子	長さ 7.65 幅 1.1 厚さ 0.35	尖端欠損			15号竪穴住居址	重量7g
	21	土師器	坏	口径 11.6 底径 7.9 器高 4.2	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 10YR 6/4	20号土壙No.3	底部に工具痕？あり
	22	土師器	坏	口径 15.7 底径 8 器高 5	完形	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 8/3 外：Hue 7.5YR 8/3	20号土壙No.2	外面一部にススあり

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
8	23	土師器	坏	口径 底径 8 器高 4.2	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8/2 外：Hue 10YR 8/2	20号土壙No 1	籾圧痕
	24	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部約1/6	内：回転ナデ，タタキ 外：タタキ，削り	内：Hue 10YR 4/1 外：Hue 10YR 3/2	24号ピット（1号竪穴住居址上）	
	25	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部・底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 4/1 外：Hue 5Y 5/1	27号ピット	
	26	須恵器	蓋	口径 13 底径 器高	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 7.5YR 5/4	Ⅱ区包含層（14号道路より東側）	
	27	須恵器	蓋	口径 16 底径 器高	約1/8	内：回転ナデ，ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 5/1 外：Hue 10YR 5/2	Ⅱ区包含層西半	
	28	須恵器	蓋	口径 13.4 底径 器高	約1/2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 6/2 外：Hue 5Y 6/1	Ⅰ区包含層・Ⅱ区包含層東側半分	
	29	須恵器	蓋	口径 14.6 底径 器高 1	1/2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5Y 6/1 外：Hue 5GY 6/1	Ⅰ区攪乱・Ⅱ・Ⅲ区攪乱	
	30	須恵器	坏	口径 11.2 底径 器高	約1/6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 6/1 外：Hue 7.5Y 5/1	Ⅲ区包含層	
	31	須恵器	坏	口径 14 底径 10 器高 3.5	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 7/2 外：Hue 5Y 6/2	Ⅰ区包含層	
	32	須恵器	碗	口径 底径 9 器高	底部のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 5/2 外：Hue 7.5Y 5/2	包含層	
	33	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 5/3 外：Hue N 7/0	Ⅱ区包含層（14号道路より東側）	
	34	土師器	坏	口径 底径 8.2 器高	底部・胴部1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 5/3 外：Hue 10YR 6/3	Ⅲ区包含層	
9	35	土師器	甑	口径 底径 12.7 器高	底部約2/3	内：ナデ，回転ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 7.5YR 6/4	Ⅲ区包含層	
	36	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 10YR 4/4	Ⅰ区包含層	外面にススあり
	37	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 7/6	Ⅱ・Ⅲ区攪乱	
	38	土師器	甕	口径 27 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 7/4 外：Hue 7.5YR 6/4	Ⅱ区P. 1・Ⅱ・Ⅲ区攪乱	外面にススあり
	39	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6/3 外：Hue 7.5YR 6/3	15号竪穴住居址P-18	細い凸帯数条
	40	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 8/2 外：Hue 10YR 8/2	15号竪穴住居址P-15	
	41	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6/3 外：Hue 10YR 7/4	Ⅱ区包含層西半	肩部に沈線

縄文土器（図８：39～41）

図８：39は外面に３条ほどの細い蚯蚓腫れ突帯を張り付けたもので、縄文時代前期の轟Ｂ式の深鉢土器の破片と思われる。図８：40・41は縄文時代後期後半の御領式もしくは天城式段階の深鉢形土器の胴部の屈曲部の破片である。41には屈曲部上段に細い沈線が巡る。

（5）まとめ

今回の発掘調査では、本地点の周辺で唯一本格的な発掘調査がなされた福利施設建設に伴う発掘調査（9407調査地点：熊本大学埋蔵文化財調査報告書第１集）で検出された遺構群（８～９世紀代）より一段階古い７世紀代前半の竪穴住居址群を検出した。これは、それらに先行する時期より、当地が集落の一部として機能していたことを証明している。9407調査地点は本調査地点の北50mにあり、「馬」銘刻書土器や土馬、多量の墨書土器、布目瓦などの遺物とともにほぼ南北に軸をとる掘立柱建物が検出されている。これらは越州窯青磁などの貴重な陶磁器も伴っており、当地点が官衙関連施設であった可能性を示している。今回の発掘調査は、この官衙関連の遺構が終了して久しい時期の墓が検出された。これは底部に木炭を敷いた一般墓とは異なる墓であり、領主層の墓である可能性もある。これは黒髪町遺跡群の変遷を知る上で新たな知見であった。

また、建物内部という状況にもかかわらず、比較的残りが良い状況で遺構群が検出されたという事実は、今後、再開発による既存建物の改修に際しても、埋蔵文化財の有無に関しては留意せねばならないことを強く示唆している。

2．体育館改修電気設備工事に伴う発掘調査（0935調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

法学部棟から引き込んで道路を超えて西側の武夫原内を経由して体育館へ繋がる経路である。法学部棟から武夫原の最初の人孔（人孔№1）およびその間の配線部、武夫原南東端の人孔（人孔№2）部分を立会調査した。人孔№1において土器の包含層を検出したので、市文化課に連絡し、そのまま発掘へ移行してよい旨の指導を受け、発掘調査に切り替えた。その後、立会調査を継続したが、遺構・遺物は検出していない。工事の掘削面積は423.21㎡である。

b．調査の経過

2010年1月7日　調査開始。道路横断部分・人孔№1・人孔№2を立会・発掘調査。
2010年1月13日　体育館前～武夫原南側道路・人孔№3を立会調査。雪が積もる。
2010年1月19日　便所横～学生会館西側道路を立会調査。
2010年1月22日　学生会館北側広場～西側道路・人孔№4を立会調査。
2010年1月28日　文化部室東側人孔～北地区ポンプ室・人孔№5を立会調査。
2010年2月2日　体育館南側～プール配線を立会調査。これをもって調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己
事務担当：村田知聖
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・神川めぐみ・首藤優子・末吉美紀・谷川優子・髙濱美來・田上　慶・長谷智子・早川　翔・増井弘子・山嵜早苗

（2）調査区の基本層序

人孔№1の基本層序は、上から砂層（厚さ15cm）、バラス層（厚さ15cm）、埋め土層（厚さ35cm）、2層：黒褐色土層（Hue10YR1.7/1）－遺物包含層（厚さ5cm）、3層：黒褐色土層（Hue10YR 3/2）－遺物包含層（厚さ30cm）、4層：黒褐色土層（Hue7.5YR 3/2）：地山層．肉眼では、2層が濃い黒、3層が暗茶褐色、4層が茶褐色という色感である（写真14）。

人孔№2の基本層序は、砂層（厚さ20cm）、バラス層（20cm）、1層：淡茶褐色土層（Hue10YR 3/3）－近代畑もしくは溝の覆土層（厚さ80cm）、2層：黒褐色土層（Hue10YR1.7/1）－遺物包含層、3層：黒褐色土層（Hue10YR 3/2）－遺物包含層である。

（3）検出遺構

＜人孔№1＞

人孔№1部分では、遺物包含層と地山に掘り込まれた柱穴と思われる直径0.4m、深さ0.9m余りのピット1つを検出した（写真15）。それ以外にやわらかな黒色土を含む不整形な0.3～0.4mほどのピットがあるが、深さが0.2mと浅く、遺物も含まないことから、これらは根穴と思われる。人孔№1の柱穴1（M1）からは、土師器甕・坏を中心として、須恵器も含め20点ほどの破片が出土した。これらは検出面から深さ0.5mほどのところに集中していた。

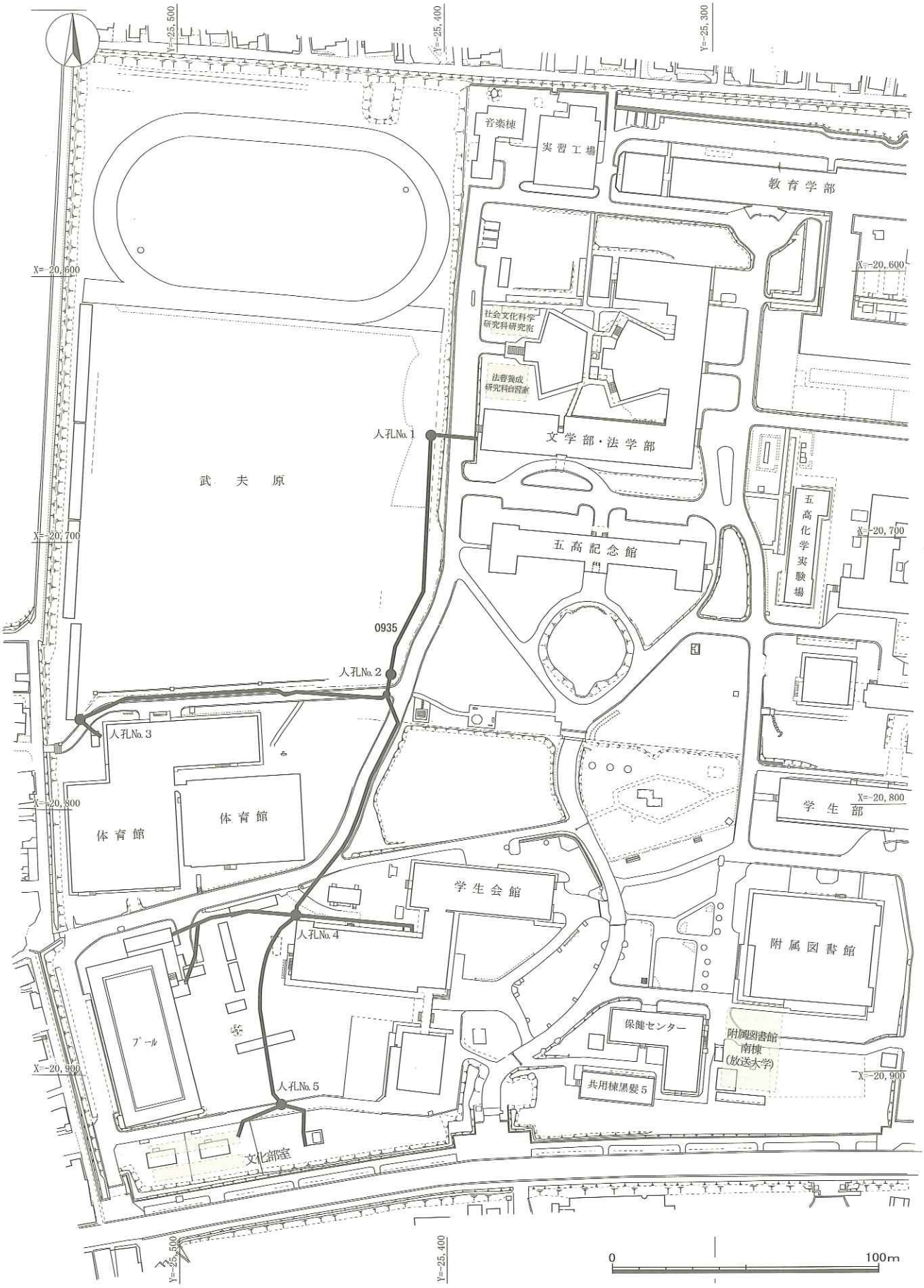


図10　黒髪北地区西半における調査地点配置図（1/2000）

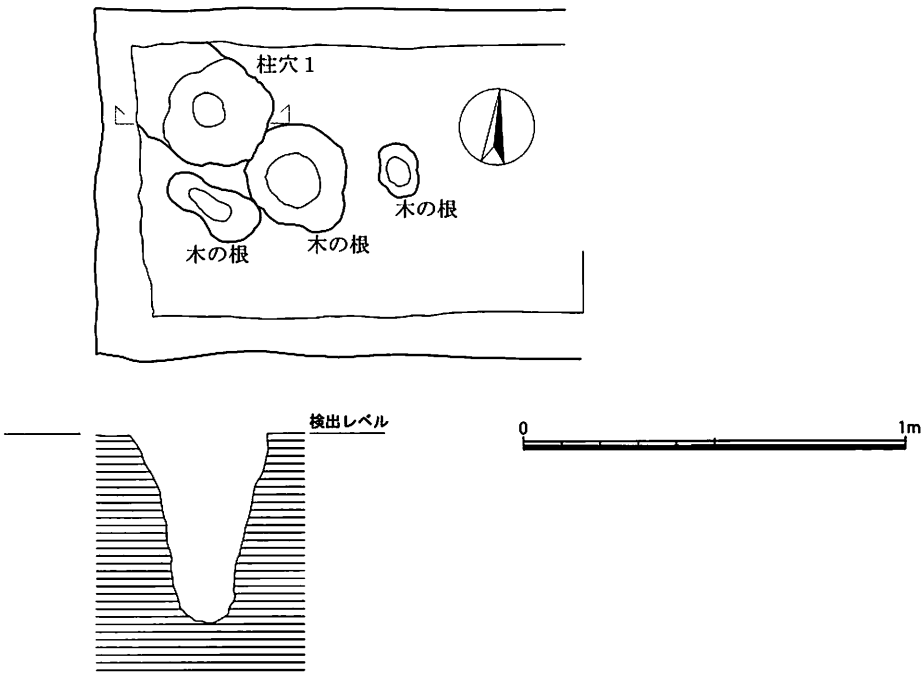


図11　人孔No.１遺構配置図（１/20）

＜人孔No.２＞

人孔No.２は、埋土層の下が、淡茶褐色土層であり、摩耗した瓦片や磁器茶碗の破片などが出土した。近代以降のものと思われ、これを本調査区の１層とした。地表面からの深さ1.2mほどを下げた時点で、人孔No.１の２層と思われる遺物包含層が厚さ0.1mほど堆積しているのを確認した。この層からは須恵器高台碗の口縁部の破片１点が出土した。掘削部の西半分は、依然１層と同じであり、南側壁の土層を確認したところ、２層を切り込んでおり、南北方向の溝になるものと思われる。掘削深度がこれ以上深く及ばないため、この面で調査を終了している。

出土遺物としては、１層から出土した瓦？2点、磁器茶碗１点、２層から出土した須恵器高台付椀破片1点がある。

これ以外に立会調査を実施した地区の調査結果を以下に記しておく。

＜道路横断部分＞

法学部棟と人孔No.１を繋ぐ配管部分の掘削は、道路下0.65mであり、この部分は0.7mで人孔No.１の遺物包含層である２層が現れる。道路西端から人孔No.１の掘削部分の間は、高圧ケーブルや給水管、暗渠などで部分的に攪乱を受けていた。遺物・遺構ともに検出していない（写真11・12）。

武夫原内の人孔No.１と人孔No.２間は、人孔部分の土層の観察により、グランドレベルから深さ0.6mまでは埋め土層もしくは近代畑土であり、遺物包含層である２層上面のレベルは南へ行くにしたがい低くなるため、掘削深度が包含層に達することはないことから、慎重に工事を進めるよう指導した。

＜体育館前～武夫原南側道路＞

2010年１月13日に体育館前の人孔部分（人孔No.３）について立会調査を実施した。地表下0.65mほどで暗褐色土になり、地山の褐色土は1.0mほどで露出する。その間の0.8m付近に厚さ２cmあまりの硬い層がレンズ状に断片的に認められたが、人為的なものである可能性は少ない。遺構・遺物ともに認められなかった（写真18）。

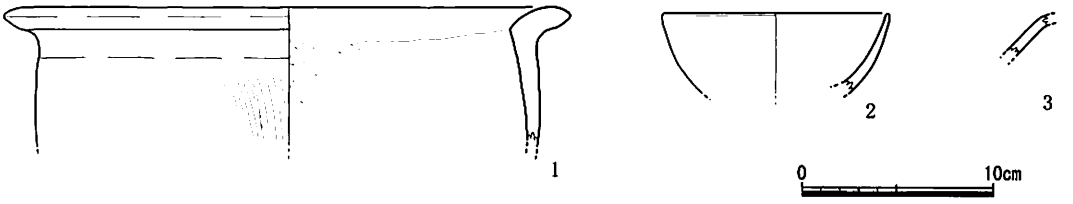


図12　0935調査地点出土遺物実測図（1/4）

＜便所横～学生会館前交差点＞

2010年１月19日に立会調査を実施した。武夫原南東端の人孔部分の調査と土層の堆積状況は同じであり、配線部分の掘削深度である地表下0.65mではまだ近代もしくは近世の畑土であり、遺構・遺物ともに検出していない。

＜学生会館北側広場～西側道路＞

2010年１月22日に立会調査を実施した。人孔部分（人孔№４）はほとんど埋設管（排水管）や不明の攪乱によって破壊されており、遺構・遺物ともに検出していない。わずかに残る未攪乱部分での土層観察によると、地表下0.8mまで埋土であり、深さ1.2～1.1m部分に黒色の強い色調の層がある。その上下は暗褐色土である。未攪乱部分においては土器などの包含される状況は確認できなかった。地表下1.35mまで掘削したが、固い地山には達していないようである。これから東側に延び、建物に引き込まれる部分については、人孔から3.0mほど掘削に立ち会ったが、掘削深度は地表下0.65mであり、埋土層内に収まるため、そのまま工事を進めるように指導した。

道路部分は人孔から横断部分と南側に延びる部分があるが、南側に延びる部分約20mの南北端2.0mずつを立会い、土層を確認したが、掘削深度0.7mの上部はすべて埋土であり、既攪乱部分に相当することから、それ以後の工事は慎重に進めるよう指導した。

＜文化部室東側人孔～北地区ポンプ室＞

2001年１月28日に立会調査を実施した。文化部室建設時の発掘調査の成果（9802調査地点）などの成果により、遺物包含層は地表下1.0mで検出されることが予想されることから、それより掘削深度が深い人孔部分（人孔№５）のみ立会調査を実施した。その結果、地表下1.05mで直径5mmほどの赤色土のパミスを含む黒色土層が現れた。遺物包含層相当層と思われ、徐々に掘削深度1.35mまで下げたが、遺物は出土しなかった。

＜体育館南側～プール配線＞

2010年２月２日に立会調査を実施した。地表下0.4mまでは現代埋め土であり、その下部は地表下0.65mまで黒褐色土であった。その下部は明茶褐色の土層となる。これにはニガ土が含まれ、地山であろうと思われるが、遺構は検出できなかった。上部の黒褐色土層を含め、遺物は出土していない。

（４）出土遺物

図12：１は人孔№１の柱穴１から出土した土師器の甕形土器の破片である。これ以外に須恵器の坏などの小片が出土している。おおよそ８世紀代の柱穴と思われる。図12：２・３は人孔№２の第１層から出土した磁器の碗と陶器皿の破片である。時期は不明であるが、近世末～近代のものと思われる。

表４　0935調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
12	1	土師器	甕	口径　29.6 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 8/3 外：Hue　7.5YR 7/4	人孔No.1，1号ピット	
	2	磁　器	碗	口径　12 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　5GY 8/1 外：Hue　5GY 8/1	人孔No.2　1層	
	3	陶　器	皿	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4/3 外：Hue　10YR 3/2	人孔No.2　1層	

（5）まとめ

今回の調査のきっかけとなった配線工事は黒髪南の西側を南北200m、東西100mあまりにわたって地下掘削を伴うものであり、黒髪町遺跡群中でも調査事例の少ない本地域の遺構の残り具合を知る上できわめて好都合の調査と期待された。ただし、配線部分は掘削幅が0.8mほどと狭く、深さも0.8mを超えることははく、遺構の状況はほとんど把握できなかった。とくに武夫原グランドから学生会館北側広場の間の工区は古代の官道推定ラインと交差するため、注目したが、掘削深度内では道路や溝などの遺構は確認できなかった。また、人孔部分では人孔No.1で古代の包含層や柱穴１個を検出したが、人孔No.2では近代の大きな溝と重なり、それ以外の地点でも既存配管による攪乱が著しく、遺構は検出できなかった。

Ⅲ　黒髪南地区の調査

1．黒髪団地南地区総合研究棟共同溝設備工事に伴う発掘調査（0302調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本調査地点は熊本大学黒髪南地区の西側中央に位置し、黒髪遺跡群に含まれる。白川右岸の標高17mの地点にあたる。本調査地点の周辺で実施された既往の調査で、古代官衙関連の遺構と考えられる建物群や、0204調査地点では、本学内に存在が推定されている古代官道の側溝と思われる溝を検出した。9909調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査室年報６）や0203調査地点（同９）では遺構検出面が下がり、土層堆積の様相が異なることが分かっていた。今回の調査区のうち、Ⅱ調査区は古代の遺構群と白川河川敷との間の様子を把握するに絶好の地点にあたり、古代道路の予想範囲に重なる可能性もあるなど、注目された。

本調査地点は、工学部百周年記念館・総合研究棟の南北に、新たに共同溝を敷設する工事である。北側のⅠ区では0203・0210調査地点の調査結果により、遺構の残存状態はほぼ良好であることが予想された。調査区の一次掘削を８月４日から行い、６日より調査を開始した。古代の包含層は良好な状態で遺存していたが、該期の遺構や遺物はほとんど検出されなかった。包含層を除去し、地山を検出する段階で黒曜石の剥片・チップが出土することが確認されたため、調査区に１辺１mのグリッドを設定し、状況に合わせ拡張しながら地山を掘り下げた。その結果、縄文早期を中心とした土器・石器が大量に出土した。このため、遺物の出土がなくなる範囲・深さになるまで掘削し、調査を終了した。調査面積は168.2m^{2}である。

Ⅱ区においては、９月25日に機械により掘削を行い、遺構検出面まで下げた。10月１日より、作業員を導入し、遺構掘り、壁面の清掃などを実施し、10月３日に作業を終了した。しかし、北半分において掘削幅が足りないことが判明し、およそ１m両側に拡張して再度、10月７日より10月10日まで、その部分の調査を実施した。調査面積はⅠ区が168.2m^2、Ⅱが253.5m^{2}である。

b．調査の経過

Ⅰ区	2003年８月４日	一次掘削開始。
	2003年８月６日	調査開始。包含層の上面精査、一部掘り下げ。
	2003年８月11日	遺構検出、順次掘下げ・測量・写真撮影。
	2003年８月19日	包含層と地山層間で黒曜石が出土し始める。
	2003年８月22日	地山までの調査区全体写真撮影。午後、グリッド設定。 石器・土器の検出、取り上げ。
	2003年９月９日	全体写真撮影。確認の掘り下げ、遺物取り上げ。
	2003年９月12日	調査終了。
Ⅱ区	2003年９月25日	重機による一次掘削。
	2003年10月１日	調査開始。遺構掘り、壁面清掃。
	2003年10月３日	写真撮影、遺物取り上げ、平面図・土層図実測。
	2003年10月７日	拡張部調査開始。
	2003年10月10日	調査終了。

1．黒髪団地南地区総合研究棟共同溝設備工事に伴う発掘調査（0302調査地点）

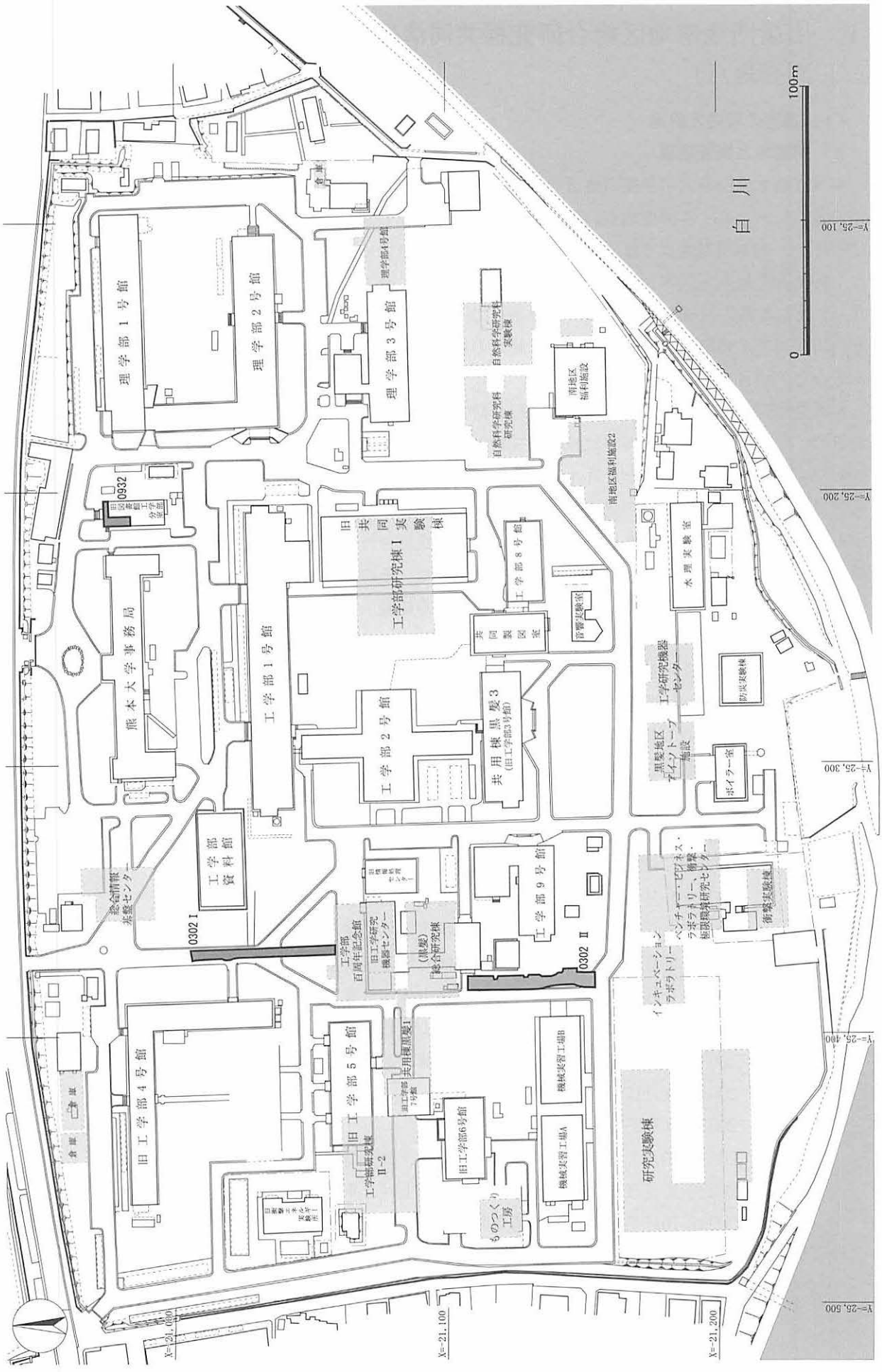


図13　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己・大坪志子

事 務 担 当：坂元紀乃

発掘作業員：稲本佳子・岡田イツ代・黒木重信・黒木タケ子・小細工洋子・溜渕俊子・西　信二・林田恵子・早田咲百合・堀川貞子・前田宏一郎・松井昭子・松本和徳・桃井哲夫

整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山嵜早苗

（2）調査区の基本層序

Ⅰ地区周辺の大略の層序は、次のとおりである（図13)。表土下1.0mまで現代埋土（1層)、その下に古代の遺物包含層（2層）があり、その下部が地山と呼ぶ遺構面の層（3層）となる。調査区の中央付近で、地山層の下に縄文時代の遺物包含層が2層（4層・5層）存在することが確認された。3層上部には、地点により縄文時代後・晩期の遺物が入ることは既応の調査で知られていたが、3層は無遺物層と認識していた。今回は、その下に縄文時代早期まで遡る遺物包含層があることが新たに判明した。5層の下は基盤となる岩盤の固い層の上面に広がる、赤く粘性の高い土（6層）になるが、調査区の南半では5層が消滅し、6層の上に直接3層が堆積する。

Ⅱ区の北半分は褐色土の地山面上に遺物包含層である黒色土が10cmほど堆積していたが、その上部は旧運動場建設のためほとんど削平されていた。また、この遺物包含層は、南側半分は近世以降に削平を受けており、当初、古代の遺構面がこの南側部分においても確認されると予想していたが、それに反してすべて削平を受けていることが判明した。

土層図（図16）の左半分の最下部の15層からは江戸期と思われる磁器の破片が出土し、44号溝より南側は削平されていることがわかる。北側調査区の黒色土の下部から黄褐色土上部にかけては、縄文時代後期以降の遺物を含む。調査区全体に広がる地山面上に堆積した黒色土は、この北側と南側とでは性格が異なる別の堆積物であることが調査終盤になって判明した。

よって、本来的な掘削面（自然の作用の可能性もある）は、調査区南側より下がる可能性があるが、今回はそれ以上掘削していない。

（3）検出遺構

Ⅰ区

a. 古代以降の遺構

本調査区では、竪穴住居址や掘立柱建物址などの遺構は検出されず、小さな溝が4条と土坑1基を検出したのみである。調査区南部では、竪穴住居址かと思われるプランを確認したが、南半分のプランが把握できなかったことと、明確な床が検出されず遺物も細片ばかりで住居址と判断する決め手に欠けた。

＜溝＞

1号溝（図15)

調査区南側1/3あたりを東西に走る幅1m、深さ0.48mの溝である。遺物はない。古代の包含層に掘り込まれており、中世以降のものであろう。

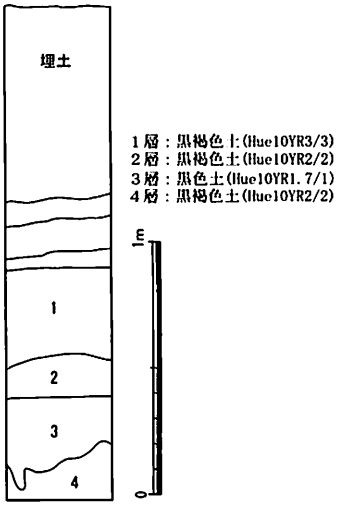


図14　基本土層柱状模式図（1/3）

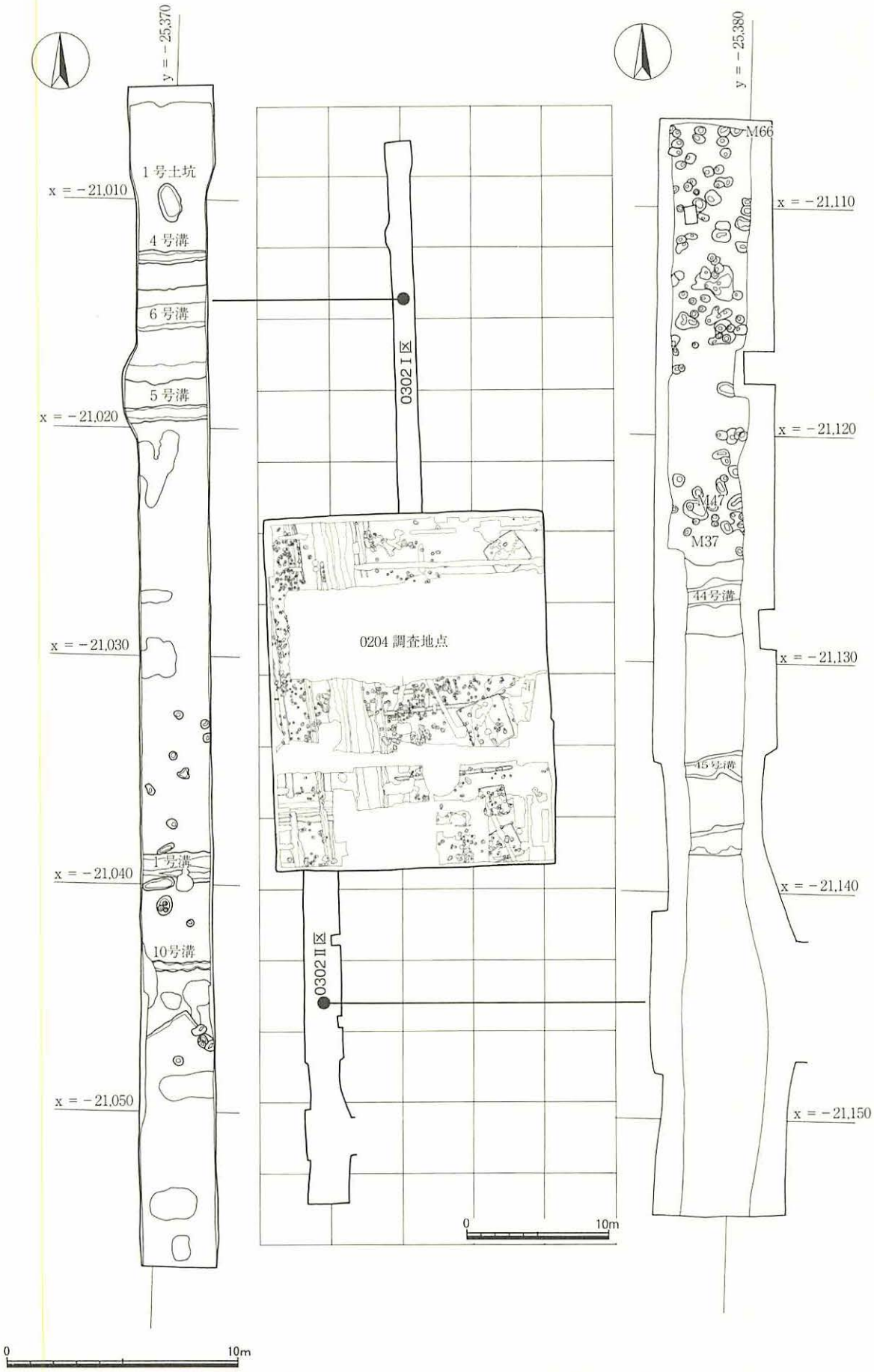


図15　0204・0302調査地点配置図・0302調査地点遺構配置図（1/400・1／250）

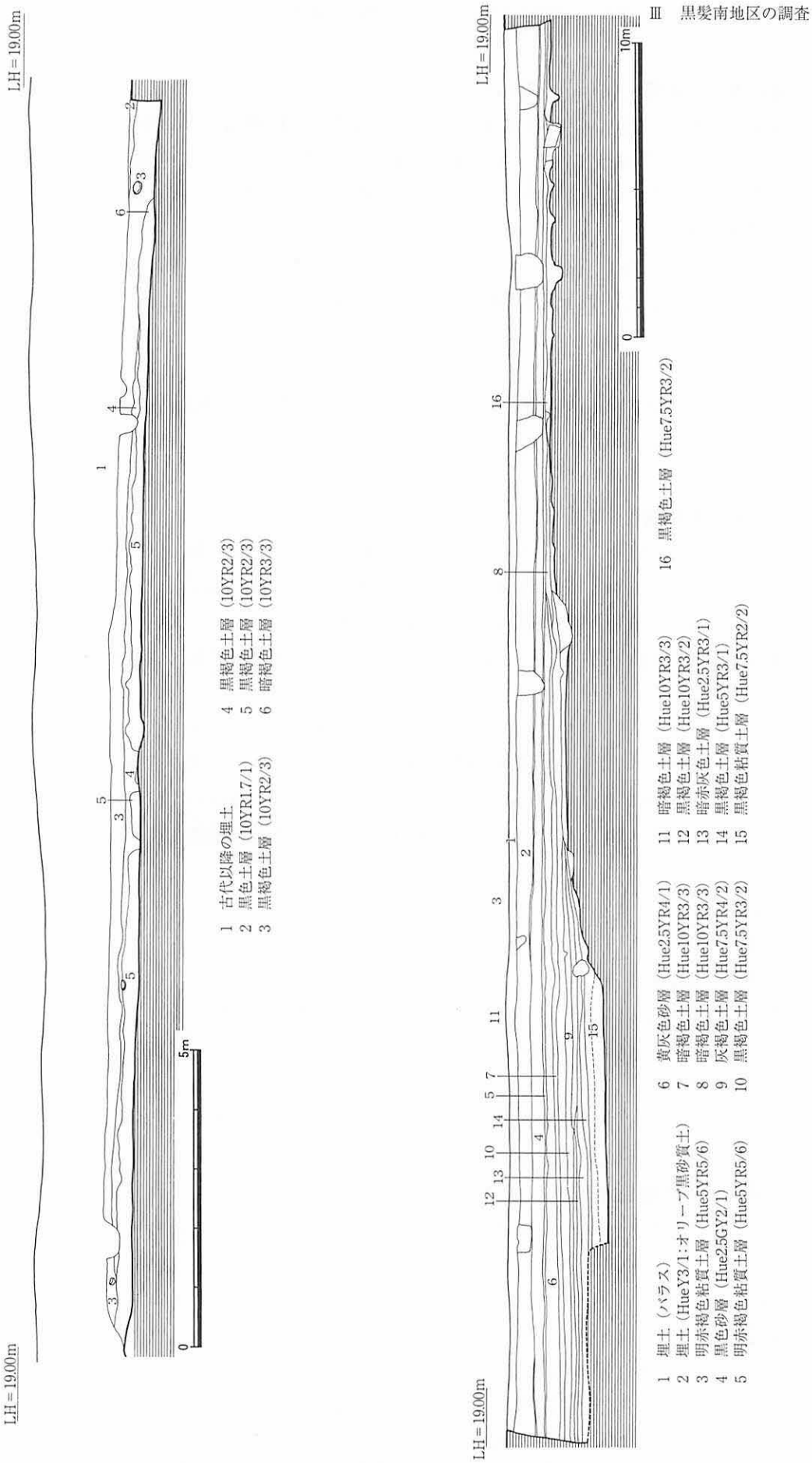


図16　0302調査地点Ⅰ区東壁・Ⅱ区西壁土層断面図（1/100・1/200）

４号溝・５号溝・６号溝（図15）

調査区北部を平行に東西方向に走る。大きさはそれぞれ幅0.4m、深さ0.2m、幅0.66m、深さ0.3m、幅約4.0m、深さ約0.9mである。６号溝は南側の壁が緩やかに落ちて平坦面を作り、さらに一段落ちる。遺物はほとんど出土しなかった。いずれも埋土の土層の観察より、古代の溝と考えた。

10号溝（図15）

調査区南部を東西に走る幅0.4、深さ0.2mほどの溝である。焼土が帯状に分布するようなもので、形も不正形であることから、近現代の撹乱の可能性が高い。

＜土壙＞

２号土坑

調査区北に位置する、長軸約1.6m、幅1.0mの楕円形である。形状から墓壙とも考えたが、出土遺物がなくその性格は不明である。

ｂ．縄文時代包含層の調査

基本層序の項で述べたように、通常地山と呼称している土層上面から縄文時代後・晩期の遺物や黒曜石片が出土したため、無遺物層に達するまで掘下げることとした。

調査区下場の北端から、調査区の中心長軸を基準として１ｍごとのグリッドを設定した。中心軸より東側をＡ列、西側をＢ列とし、北から番号を付した。千鳥格子状に掘削をおこない、遺物の出土状況に応じてグリッドを掘下げていく方針をとった。

掘削を行った結果、５号溝の南側約1.5mの範囲であるＡ・Ｂ７～A12・B13グリッド、それから２ｍ南のＡ・B16～ A25・B24の間で遺物が集中的に出土した。早期の遺物は３層上面から20～30cm下位の４・５層から出土する傾向にあり、黒曜石のチップが多いのは3層である。Ａ・B26より南側では４・５層が無くなり、それとともに遺物の出土もないことを確認した。

Ⅱ区

＜溝＞

44号溝（図15）

調査区中央をほぼ東西に走る幅3.5m、深さ0.5mほどの溝である。中からは褐色釉を掛けた陶器鉢（図21：80）が出土した。近世以降のものと思われる。

＜ピット＞

調査区北半部を中心に多数のピットが検出された。ただし、すべて建物の柱として認定できるものではなく、中には樹根の痕跡も含まれる。

＜縄文時代遺物包含層＞

調査区の北半を中心として16層の黒色土層から縄文土器がパンコンテナ１箱ほど出土した。

（４）出土遺物

Ⅰ区

今回で新たに確認された縄文時代の遺物包含層からは、縄文土器と石器が総数760点出土した。遺物の出土は調査区中央付近に集中していた。山形押型文土器、条痕文尖底鉢形土器など早期の土器を中心に僅かながら前期・中期・後期・晩期までの土器がある。石器は黒曜石の剥片が最も多く、礫や石匙（縦型・横型）、石鏃などを含む。

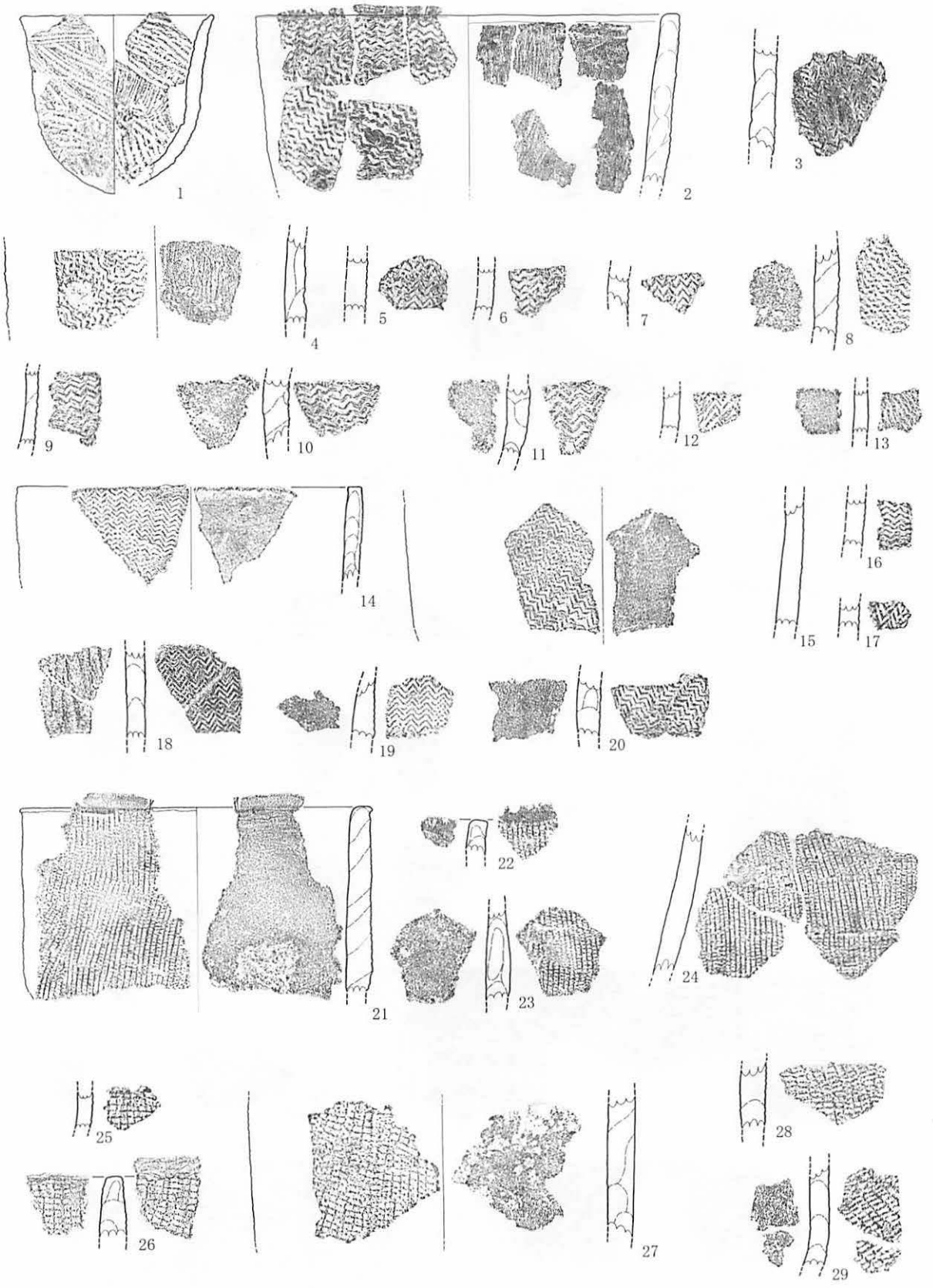


図17　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図１（1/4）

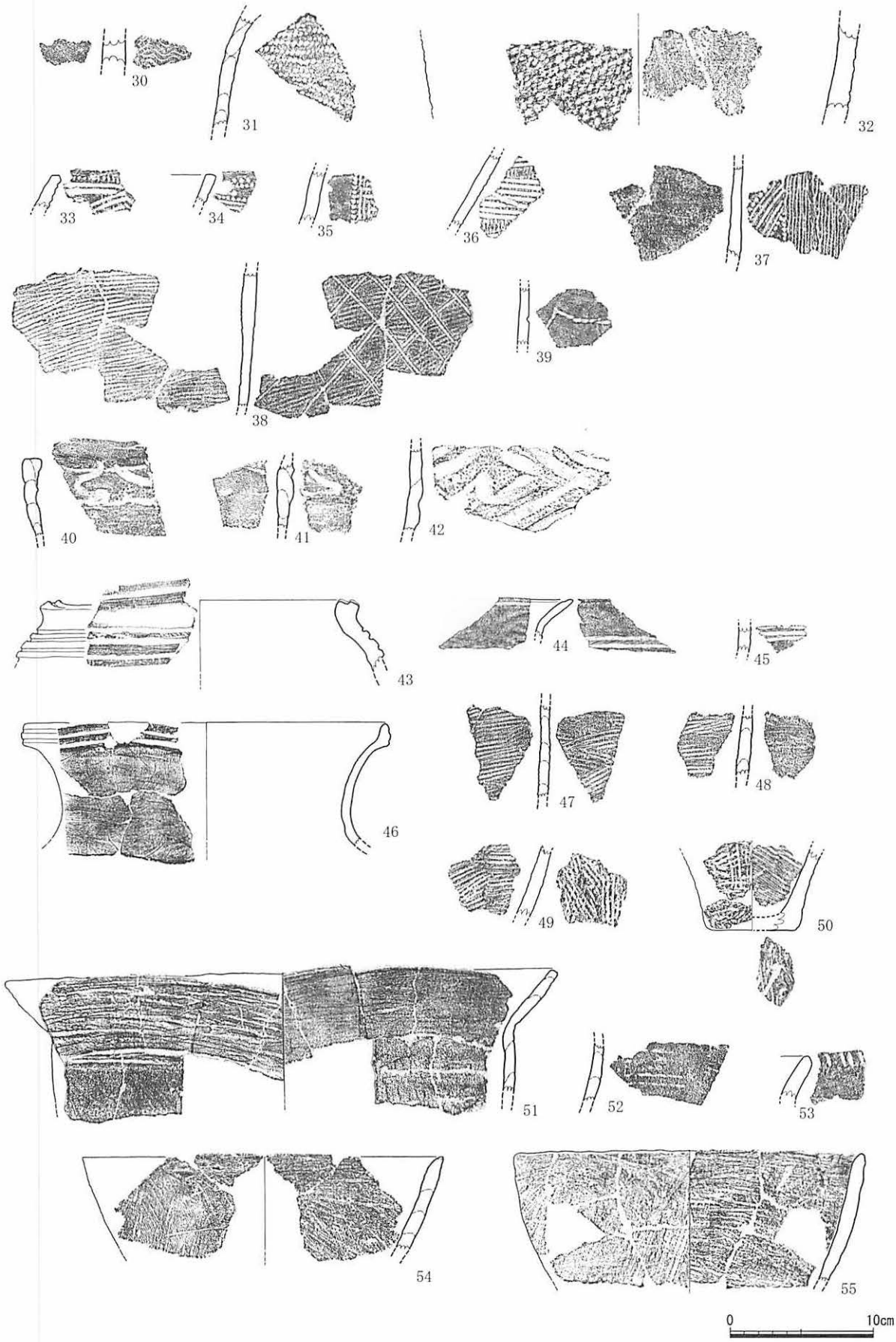


図18　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図２（1／4）

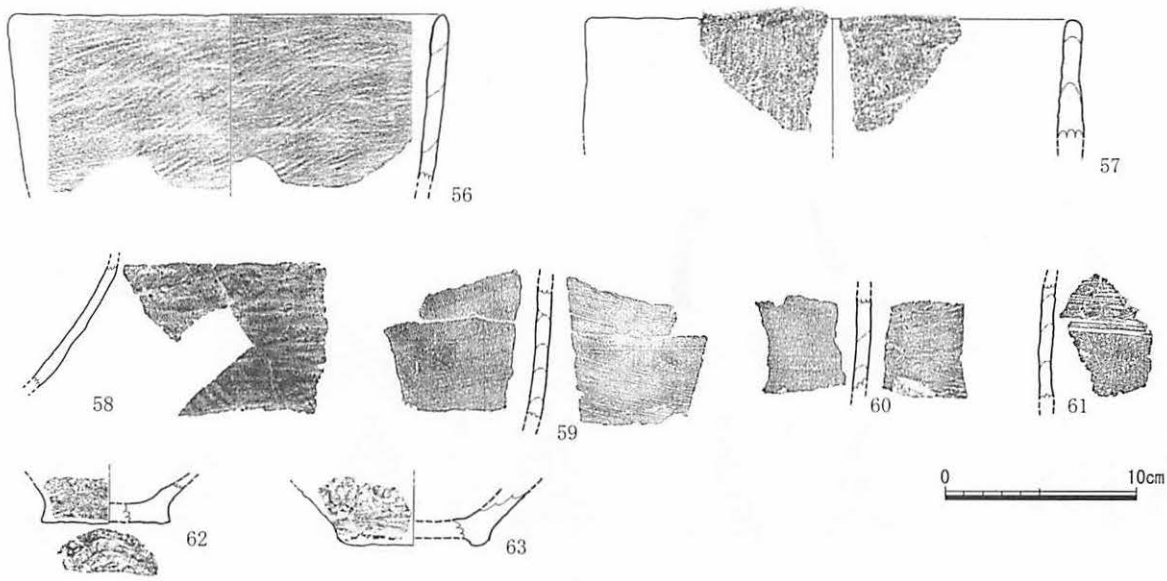


図19　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図３（1/4）

縄文土器

図17：１は砲弾形をした尖底に近い丸底の条痕土器である。口径は約13cm、器高も12cm 程度と小さい。内・外面ともに粗い条痕を施す。押型文以前の早期前葉の土器である可能性がある。

図17：２～図18：１までは、縄文時代早期の押型文土器である。図17：２～20は、山形押型文土器である。このうち、図17：２～10は、緩やかな山形の文様が施文されている。図17：６はこの中では文様がつぶれず明瞭で、やや鋭角の山形文様である。図17：２・４および３・５はそれぞれ同一個体と思われる。図17：11・12は文様の山が高く鋭角で、文様である山の単位が大きいのが特徴である。図17：13は楕円と山形の中間的な山形文である。図17：14～20までは、上記の山形文とは違い、文様単位が細かく緻密に施文されており、微細山形押型文とよばれる一群であろう。図：21～29は、格子目文の押型文土器である。このうち図17：21～24は細かな格子目文である。21・22の口縁部は、端部は平で滑らかに仕上げられている。２点は同一固体と思われる。図17：25～27は格子目の単位が図17：21～24の倍ほどの大きさである。26は口縁部であるが、唯一内面まで格子目文が施文されている。図17：28・29は、同じく大きめ格子目文をもつが、格子が正方形ではなく横長の長方形で、歪みがある。図18：１は流麗な曲線を描く山形文がほどこされた、手向山式である。これらの押型文土器は、熊本県内では瀬田裏遺跡で確認されており、早水台式などの早期中葉の頃ではないかと思われる。図18：31・32はいずれも土器の外面に縄文を施す。早期の土器であろう。図18：33～37は早期中葉の平栫式である。刺突文と沈線、撚糸文により施文されている。図18：38は、内・外面ともに丁寧な貝殻条痕を施し、外面はさらに半裁竹管状の施文具により格子文様を描く。前期中葉の西唐津式である。図18：39は細い棒状の施文具で連弧文を描く。中期中葉の春日式と思われる。図18：40～42は、後期初頭の南福寺式の口縁部、口縁部下の文様帯である。図18：43は後期中葉の鐘崎式の鉢の口縁部である。鐘崎式によくみられるが、本例にも赤色顔料が塗布された痕跡がある。図18：44は後期後葉の鳥井原式の浅鉢の口縁部で、微細な羽状文が施されている。図18：45は細片のため型式は不明である。沈線があり表面は研磨されているようである。図18：46は後期後葉の御領式の深鉢の口縁部である。図18：47～63は晩期以降の土器である。図：47・48は内・外面に丁寧な条痕を、図18：49・50は粗い

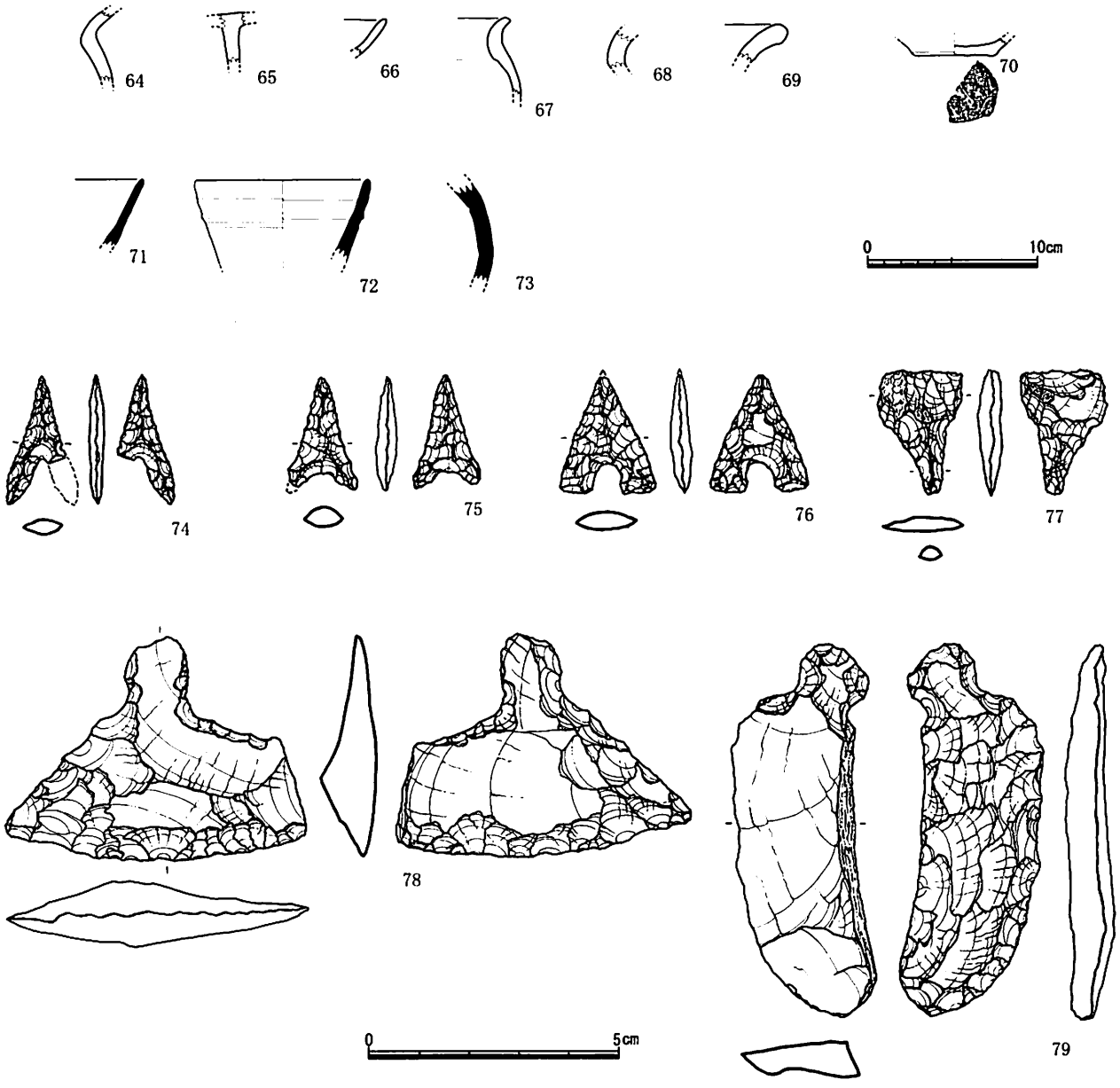


図20　0302調査地点Ⅰ区出土遺物実測図４（1/4・3/4）

条痕を施す。図18：51・52は晩期初頭、古閑式の深鉢の口縁部である。沈線は磨きのために潰れ、粗雑な印象である。図18：53は口縁部にヘラによる刻目が施されている。図：54・55はわずかに細かなハケ目が観察される。これらは同一固体の可能性もある。図19：56は条痕？がうすく残る。図19：57・58無文である。図19：59・60は、外面は粗い条痕があり、内面は平滑に仕上げ、磨かれている。図19：62・63は縄文晩期深鉢の底部である。

縄文時代の石器

図20：74～76は打製石鏃である。図20：74と同76は早期に特有の長脚鏃である。どちらも青灰色の黒曜石を素材としている。図20：75はサヌカイト製の石鏃である。細身の体部からやや開き気味の短い脚をもつ。図20：77は漆黒色の黒曜石剥片を素材とした打製の錐である。加工が粗く晩期以降の所産である可能性が高い。図20：78はサヌカイト製の横長剥片を用いた両面加工の石匙である。左側部

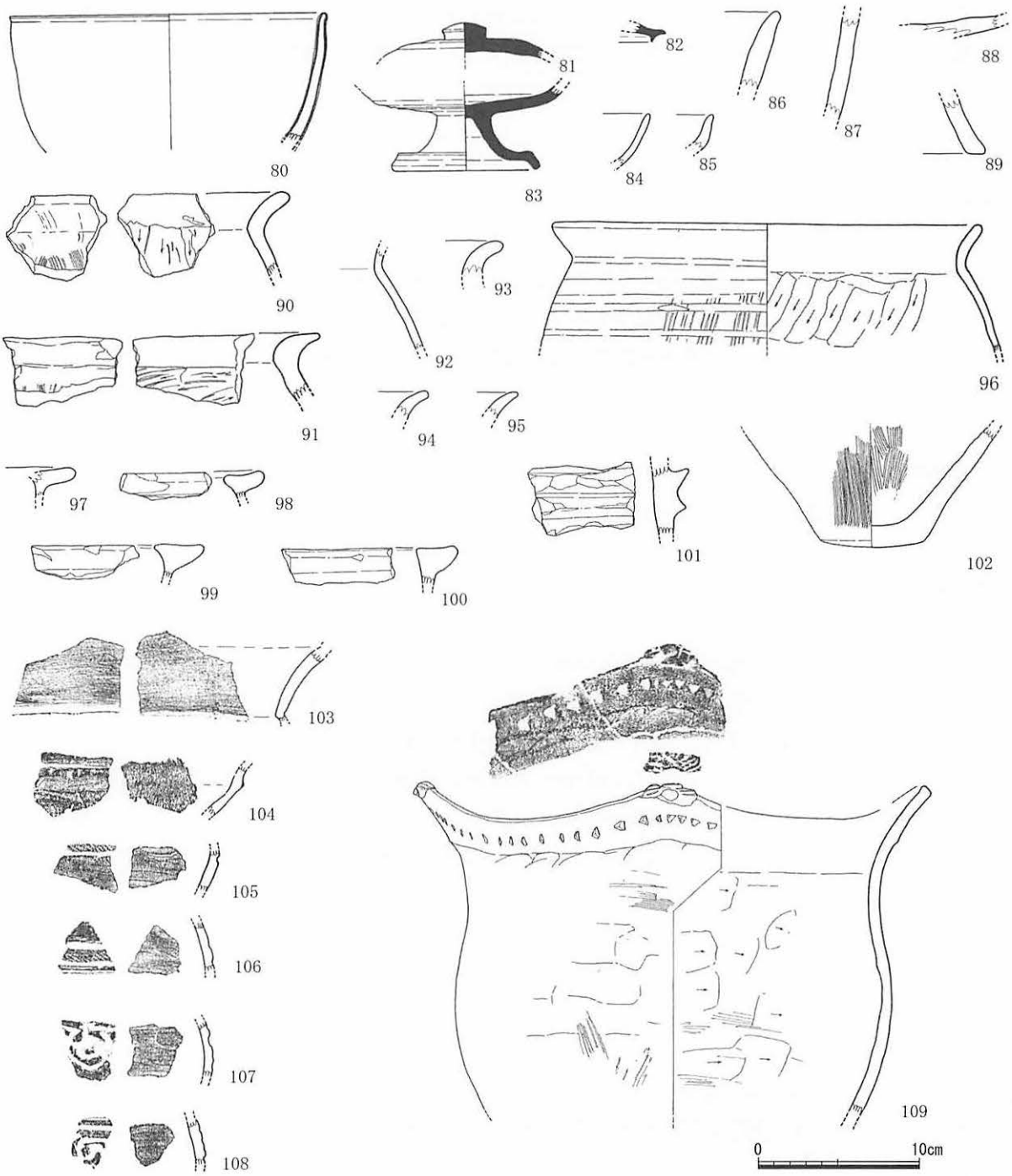


図21　0302調査地点Ⅱ区出土遺物実測図（1/4）

は尖るが、他端は直線的に片側から加工している。図20：79はサヌカイトの縦長剥片を用いた縦型の石匙である。整形加工は主に素材の主要剥離面側に背面から施されており、礫面上から行われた剥離はヒンジフラクチャーを起こしている。図20：78に比べ風化が浅く、縄文時代晩期以降のものと思われる。図20：78は早期のものである可能性が高い。

古代以降の遺物

図20：64は土師器の小型甕の口縁である。65は古代の高坏の脚部である。外面には赤色顔料が塗布されている。図20：66は古代の土師器坏、図20：67は小型壷の口縁部、図20：68は甕の頸部、図20：

69は甕の口縁部である。図20：70の土師器小皿は底部に糸切りの跡が残る。小型であり大宰府編年XXに相当か。図20：71は須恵器坏、図20：72は長頸壷または平瓶の口頸部だろう。図20：73は壷の胴部と思われる。

Ⅱ区

古代以降の遺物

図21：80は褐釉を施す陶器の鉢の破片である。44号溝から出土した。図21：81は須恵器の蓋である。図21：82はかえしのある須恵器の蓋の破片である。図21：83は須恵器の高坏の脚部の破片である。47号ピットから出土した。図21：84・85は土師器の坏の小破片である。図21：86・87は土師器の甑もしくは鉢の破片である。図21：88は土師器高坏の坏部の小片、図21：89は土師器の高坏もしくは器台の脚部の小片である。図21：89は22号ピットから、他は包含層より出土した。図21：90～96は土師器の甕形土器の口縁部片の破片である。図21：90は38号ピットから、他は包含層より出土した。

弥生時代の遺物

図21：97～102は弥生中期～後期前半の甕形土器の破片である。図21：97～100が口縁部、同101が胴部、同102が底部片である。同98は38号ピット、同99は66号ピット、他は包含層からの出土である。

縄文時代の遺物

図21：103～109は縄文土器である。図21：103は天城・古閑式段階の深鉢の頸部の破片である。図21：105・106は太郎迫式段階の深鉢形土器の胴部の破片である。図21：107・108は鐘崎式土器のような沈線による渦巻文があるが、同型式かは疑問である。縄文時代後期前半の土器であることは間違いない。同一個体の可能性もある。図21：109は縁帯文土器であり、復元すると粘土を貼りつけた4つの波状の高まりをもつもので、口縁部は幅5cmの帯状の部分のみわずかに肥厚し、その外面中央に連続刺突文を施している。内面は削り技法により削られており、器壁が薄くなっている。口縁部のつくりなども非常にシャープである。貼付文は浅い円形刺突の周囲を放射状に沈線で取り巻いている。縄文時代後期前半～中葉にかけての土器群である。

表5　0302調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
17	1	縄文土器	小型丸底土器	口径 12.9 底径 器高	1／2	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 5／2 外：Hue 10YR 6／4	Ⅰ区11607, 11663, 11671, 11672, 11655	内・外面：条痕文
	2	縄文土器	深鉢形土器	口径 25.9 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7／6 外：Hue 7.5YR 6／6	Ⅰ区 11979	外面：山形押型文
	3	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6／4 外：Hue 7.5YR 6／6	Ⅰ区 12613	外面：山形押型文
	4	縄文土器	円筒形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7／6 外：Hue 7.5YR 6／6	Ⅰ区 12122	外面：山形押型文
	5	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR 6／6	Ⅰ区 12641	外面：山形押型文
	6	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR 6／6	Ⅰ区 ベルト北	外面：山形押型文
	7	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 4／2 外：Hue 7.5YR 6／6	Ⅰ区 遺物集中区西	外面：山形押型文
	8	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 8／2 外：Hue 10YR 8／4	Ⅰ区 12128	外面：山形押型文

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
17	9	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/2 外：Hue　10YR 7/4	撹乱	外面：山形押型文
	10	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 8/4 外：Hue　10YR 7/2	Ⅰ区　11664	外面：山形押型文
	11	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　10YR 6/4	撹　乱	外面：山形押型文
	12	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　7.5YR 6/6	Ⅰ区　12543	外面：山形押型文
	13	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 6/3 外：Hue　10YR 6/3	Ⅰ区　ベルト北拡張区	外面楕円に近い山形押型文
	14	縄文土器	深鉢形土器	口径　22.8 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 8/4 外：Hue　10YR 6/3	Ⅰ区　11965	外面：山形押型文
	15	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 7/4 外：Hue　2.5Y 5/3	Ⅰ区　12002	外面：山形押型文
	16	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 7/6 外：Hue　7.5YR 7/6	Ⅰ区　ベルト北拡張区	外面：山形押型文
	17	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　10YR 7/4	Ⅰ区集中区ベルト南	外面：山形押型文
	18	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 6/6 外：Hue　5YR 6/6	Ⅰ区　6号溝中	外面：山形押型文
	19	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 7/6 外：Hue　7.5YR 5/6	Ⅰ区　12422	外面：山形押型文
	20	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 6/2 外：Hue　10YR 8/4	Ⅰ区　6号溝中	外面：山形押型文
	21	縄文土器	円筒形土器か	口径 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 8/4 外：Hue　7.5YR 6/6	Ⅰ区	外面：格子目押型文
	22	縄文土器	円筒形土器か	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 7/6 外：Hue　7.5YR 7/6	Ⅰ区　4層	外面：格子目押型文
	23	縄文土器	円筒形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　10YR 5/4	Ⅰ区　11941	外面：格子目押型文
	24	縄文土器	深鉢形土器？	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：タタキ	内：Hue　10YR 7/3 外：Hue　7.5YR 5/4	Ⅰ区 12008，11661，12537	外面：格子目押型文
	25	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue　7.5YR 6/8	Ⅰ区　集中区ベルト南	外面：格子目押型文
	26	縄文土器	円筒形土器か	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 6/6 外：Hue　7.5YR 5/4	Ⅰ区　11974	内外面：格子目押型文
	27	縄文土器	円筒形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 5/6 外：Hue　7.5YR 6/6	Ⅰ区　11998	外面：格子目押型文
	28	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 6/6 外：Hue　7.5YR 6/6	Ⅰ区　12550	外面：格子目押型文
18	29	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 7/3 外：Hue　10YR 8/4	Ⅰ区　11660　B-17	
	30	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 5/2 外：Hue　10YR 5/2	Ⅰ区　12642	外面：山形押型文
	31	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 5/4 外：Hue　10YR 6/4	Ⅰ区　11949，11959？	縄　文
	32	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　7.5YR 6/6	Ⅰ区　11964，12538	縄　文
	33	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　10YR 7/4	Ⅰ区　12003	口唇部：刻目凹線文
	34	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 6/3 外：Hue　10YR 8/4	Ⅰ区　B20	刺突文，凹線文
	35	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 8/3 外：Hue　10YR 7/4	Ⅰ区　包含層	刺突文，凹線文
	36	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 6/3 外：Hue　10YR 7/4	Ⅰ区　包含層1号土坑より南，17-A	撚糸文，凹線文
	37	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 8/4 外：Hue　10YR 8/2	Ⅰ区　20A	竹管文，撚糸文，刺突文
	38	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　5YR 4/6 外：Hue　7.5YR 4/6	Ⅰ区　12423，12424，12444，12431，5号溝	内・外面：貝殻条文，外面：格子文
	39	縄文土器	深鉢形土器？	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 6/3 外：Hue　2.5Y 5/2	Ⅰ区　12149	連弧文
	40	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 5/6 外：Hue　7.5YR 5/4	Ⅰ区　11920	太い沈線
	41	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　5YR 4/6 外：Hue　5YR 4/4	Ⅰ区　11920	太い沈線（粉瘤？）
	42	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 7/4 外：Hue　7.5YR 5/4	Ⅰ区　12200	太い沈線

1．黒髪団地南地区総合研究棟共同溝設備工事に伴う発掘調査（0302調査地点）

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
18	43	縄文土器	鉢形土器	口径 22 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 10YR 5/4	Ⅰ区 包含層	磨消縄文，丹が残る
	44	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 5/3 外：Hue 2.5Y 3/1	Ⅰ区 12635	沈線，細羽状文
	45	縄文土器		口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6/3 外：Hue 5YR 6/4	Ⅰ区 包含層	
	46	縄文土器	深鉢形土器	口径 25.5 底径 器高	口縁部・胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5YR 4/3 外：Hue 7.5YR 4/1	Ⅰ区 包含層	
	47	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 5/4 外：Hue 5YR 5/4	Ⅰ区 12426	内・外面：貝殻条痕文
	48	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR 5/4 外：Hue 5YR 5/4	Ⅰ区 12123	内・外面：貝殻条痕文
	49	縄文土器	深鉢形土器か	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 5/4 外：Hue 5YR 5/6	Ⅰ区 11943	内面は貝殻条痕，外面は粗い条痕
	50	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 5.9 器高	底部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 4/4 外：Hue 7.5YR 4/4	Ⅰ区 11958	外面：粗い条痕，内面は貝殻条痕
	51	縄文土器	深鉢形土器	口径 38.3 底径 器高	口縁部・胴部約1/8	内：ナデ，磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7/8 外：Hue 10YR 7/8	Ⅰ区 12553，包含層	外面：口縁一部煤，口縁：粗い沈線
	52	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 7/3 外：Hue 10YR 7/4	Ⅰ区 12548	51と同一個体の可能性
	53	縄文土器	深鉢形土器？	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6/2 外：Hue 10YR 5/3	Ⅰ区 包含層	
	54	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR 5/6 外：Hue 5YR 5/6	Ⅰ区 12534，12640	外面：ハケ状具ナデ
	55	縄文土器	鉢形土器	口径 24 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR 5/6 外：Hue 5YR 5/6	Ⅰ区11946，12535，11936，12639，11909	外面：ハケ状具ナデ
19	56	縄文土器	深鉢形土器	口径 22.7 底径 器高	口縁部・胴部1/8	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 5/2 外：Hue 10YR 5/2	Ⅰ区 11644	太いハケ？（貝殻条痕？）
	57	縄文土器	深鉢形土器	口径 26 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 8/4 外：Hue 10YR 8/2	Ⅰ区 12224	無文
	58	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 10YR 3/2	Ⅰ区 包含層	
	59	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5YR 5/6 外：Hue 7.5YR 5/4	Ⅰ区 1号土坑・包含層，11932	条痕
	60	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5YR 5/6 外：Hue 10YR 4/1	Ⅰ区 包含層	条痕
	61	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 8/4 外：Hue 10YR 7/6	Ⅰ区 6号溝南	条痕あり
	62	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 6.6 器高	底部1/3	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 7/4 外：Hue 10YR 6/4	Ⅰ区 3号遺構南包含層	
	63	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 7.9 器高	底部約1/4	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 7/3 外：Hue 10YR 7/6	Ⅰ区 包含層 貫上	
20	64	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，ハケ目 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR 5/6 外：Hue 5YR 5/3	Ⅰ区 包含層	
	65	土師器	高 坏	口径 底径 器高	脚部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 5YR 5/8	Ⅰ区 包含層下げ	丹塗り
	66	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	Ⅰ区 包含層	
	67	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 10YR 7/4	Ⅰ区 包含層	全体磨滅している
	68	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/8	Ⅰ区 包含層	
	69	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 10YR 6/3	Ⅰ区 包含層1号土坑より南	
	70	土師器	皿	口径 底径 4.6 器高	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8/4 外：Hue 7.5YR 7/4	Ⅰ区 包含層	底部糸切り
	71	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 7/2 外：Hue 5Y 7/2	Ⅰ区 樹木④包含層下部	
	72	須恵器	壺？	口径 底径 器高	口頸部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 5/1 外：Hue 5Y 4/1	Ⅰ区 トレンチ	
	73	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 6/2 外：Hue 7.5Y 6/2	Ⅰ区 包含層	
	74	石 器	石 鏃	口径 2.5 底径 0.85 器高 0.25				Ⅰ区 12525	青灰色黒曜石，重量0.5g
	75	石 器	石 鏃	口径 2.25 底径 1.35 器高 0.4				Ⅰ区 B-119	サヌカイト，重量0.7g
	76	石 器	石 鏃	口径 2.25 底径 1.95 器高 0.5				Ⅰ区	青灰色黒曜石，重量1.2g

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
20	77	石器	錐	口径 2.45 底径 1.75 器高 0.55				Ⅰ区 12494	黒曜石，重量1.5g
	78	石器	石匙	口径 5.6 底径 4.45 器高 1.1				Ⅰ区 12131	サヌカイト，重量18g
	79	石器	石匙	口径 7 底径 4.2 器高 0.7				Ⅰ区 11642	サヌカイト，重量17.8g
21	80	陶器	鉢	口径 19.5 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR 3/3 外：Hue 2.5Y5/3	Ⅱ区 44号溝	褐釉
	81	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6/1 外：Hue 2.5Y 6/1	Ⅱ区 47号	
	82	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6/2 外：Hue 2.5Y 6/2	Ⅱ区 拡張区黒	
	83	須恵器	高坏	口径 底径 9.8 器高	約1/2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 6/2 外：Hue 5Y 6/1	Ⅱ区 拡張区黒	
	84	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 6/6	Ⅱ区 南最下	
	85	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ　外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 2.5YR 5/6	Ⅱ区	丹塗り
	86	土師器	甑	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 7.5YR 6/6	Ⅱ区 拡張区黒	
	87	土師器	甑	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 7.5YR 6/6	Ⅱ区 拡張区黒	
	88	土師器	高坏	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 7.5YR 8/6	Ⅱ区 拡張区黒	
	89	土師器		口径 底径 器高	脚部片	内：ナデ 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 7.5YR 7/4	Ⅱ区 22号遺構	
	90	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 6/8 外：Hue 2.5Y 6/8	Ⅱ区 38号遺構	
	91	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 6/6 外：Hue 5YR 5/6	Ⅱ区 南最下	
	92	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，工具痕 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 10YR 8/4	Ⅱ区	
	93	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 7.5YR 7/4	Ⅱ区	
	94	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	Ⅱ区	
	95	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 8/4 外：Hue 10YR 7/4	Ⅱ区	
	96	土師器	甕	口径 26.9 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6/4 外：Hue 7.5YR 6/4	Ⅱ区 P-13	
	97	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 7/3 外：Hue 2.5Y 6/2	Ⅱ区	
	98	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8/3 外：Hue 10YR 7/3	Ⅱ区 38号遺構	
	99	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 10YR 8/4	Ⅱ区 66号遺構	
	100	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 8/4 外：Hue 2.5Y 7/4	Ⅱ区 拡張区黒	
	101	弥生土器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8/3 外：Hue 10YR 8/4	Ⅱ区 拡張区黒	突帯（外面）
	102	弥生土器	甕	口径 底径 6.4 器高	底部・胴部片	内：ナデ，ハケ目 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 5/1 外：Hue 7.5YR 6/4	Ⅱ区 拡張区黒	外面に吹きこぼれ痕あり，内外面刷毛目文あり
	103	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7/3 外：Hue 10YR 5/2	Ⅱ区 拡張区黒	
	104	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 8/2 外：Hue 10YR 8/4	Ⅱ区	
	105	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 2.5Y 5/4 外：Hue 10YR 6/6	Ⅱ区 P-17	
	106	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 5/2 外：Hue 10YR 7/4	Ⅱ区 P-12	
	107	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 5/2 外：Hue 2.5Y 4/1	Ⅱ区 P-10	
	108	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 5/2 外：Hue 2.5Y 4/1	Ⅱ区 P-11	
	109	縄文土器	深鉢形土器	口径 32.5 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ，削り 外：ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 5/6 外：Hue 7.5YR 6/6	Ⅱ区 P-5	口縁部下刺突文・山形部に貼付文

（5）まとめ

Ⅰ区では、これまで地山と呼び、基本的に無遺物層と認識していた土層下に、縄文時代の早期の遺物包含層が確認できたのは新たに得た知見である。これまで、地山土層上部には縄文時代後晩期の遺物が含まれることは確認されていたが、この地山土層が岩盤層までの間で少なくとも３層に分層できることが確認できた。本学の構内調査において縄文時代の遺物がまとまって出土したのは今回が最初である。Ⅰ区では検出が想定された古代の遺構はほとんど検出されなかったが、３層に形成されるはずの古代の遺構がなかったことは、縄文時代の遺物包含層の確認にとっては、幸いしたと言える。

縄文時代早期の遺物は前葉と考えられる時期から中葉までの土器がある。これらはおおむね４層から５層上部にかけて出土している。遺物検出時は、必ずしも層位の峻別が出来たわけではないが、３層はアカホヤ火山灰の二次堆積といわれ早期と前期を分ける土層であるため、早期に属する遺物は４層以下の出土と考えて差し支えないであろう。この早期の遺物包含層は0302調査地点Ⅰ区のちょうど中央部付近で消えてしまい、遺物も出土しない。道路を隔てた黒髪北地区の南西端に位置する9802調査地点ではこの４・５・６層は確認できていないが、やはり手向山式を前後する時期の押型文土器が出土している。9802調査地点では３層の下は固い岩盤層であり、押型文はこの３層中や岩盤層の窪みに入り込んでいた。9802調査地点の調査時には、４・５層を認識できなった可能性もあるが、9802調査地点では縄文時代（３層相当）・弥生時代の遺物包含層自体が薄く、４・５層は明確に形成していなかった可能性が高い。0302調査地点から20m東側に位置する0210調査地点では、やはり黒曜石が出土しているが、早期の遺物は含まれていない。もう少し掘下げていたなら、あるいは検出したかもしれないが、４・５層の南限とその範囲外に位置するため存在しない可能性のほうが高いかもしれない。このようなことから考えると、縄文時代早期の遺物包含層の分布範囲は、黒髪南地区の北側という限られた範囲であると想定される。もちろん、確認できた箇所は本調査地点のみであるため、南地区においてどのように分布するかはまだ不明であり、今後の調査時には注意が必要である。

また、Ⅱ区においては南側段丘の境目とそれを巡る溝（堀）が検出され、思いのほか削平が著しいことが明らかになった。ただし、調査区北部を中心に縄文時代後期前半～中葉の土器群が検出されており、縄文時代の遺物包含層がこの一帯に良好な状態で残っていることが明らかになった。また、Ⅱ区検出の土器群はⅠ区と一部時期が重なるものもあるが、中心となる時期を異にしている。両地点は20mほどしか離れておらず、この一帯が縄文時代の早期～晩期にかけて遺跡が営まれるような立地であったことを物語っている。

縄文土器については、水ノ江和同氏（文化庁文化財部記念物課）に多大なる御教示を賜った。文末ながら、記して感謝申し上げます。

2．旧図書館工学部分室他改修工事に伴う発掘調査（0932調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

埋蔵文化財調査室が使用していた旧図書館工学部分室を学生用サロンおよび事務局会議室へ改築するための工事である。周辺のライフラインの工事については立会調査で対応していたが、北地区ボイラー室の改築工事の際、基礎部分以外のところには遺構や遺物包含層が良好に残存していたという経験から、建物内部の地下ピット建設予定箇所において、試掘を行った。この結果、建物内の地表から約0.8mの深さで、古代の遺物包含層と思われる黒色土を確認した。検出レベルは、建物周囲のアスファルトから８cm 程度下である。熊本市文化財課に連絡し、引き続き発掘調査へ移行することとなった。施設部と協議の上、条件整備が整う11月30日より発掘調査を開始することとした。その結果、古代遺物包含層および古代の溝１条を検出した。

この他、関連工事のため2009年11月10日と12月14日に２件の立会調査を実施した。

建物内の地中梁の構造観察のため、２箇所において0.6×0.3mで梁の脇を掘削した。掘り方内であり、遺構・遺物の出土はない。地中梁については、当初予定していた掘削の必要がなくなったため、これ以上の掘削はない。

また、周辺の階段・ゴミ置き場の撤去につき立会調査を実施した。階段部分は、基礎石は地表下0.3mの深さであり、撤去には支障はなかった。ゴミ置き場は基礎鉄筋入りコンクリートが厚さ0.6m ほどあり、地表下0.5mほどまで削平されていた。遺構・遺物は検出できなかった。

調査面積は、地中梁試掘・地下ピット試掘0.98m^2、外溝工事立会230.7m^2である。

b．調査の経過

2009年11月30日　一次掘削開始。

2009年12月１日　Ⅰ区　掘り下げ、西側に溝を確認、掘り始める。
　　Ⅱ－１区　埋め土、撹乱掘り。
　　Ⅱ－２区　南西隅の１/４の表土を掘り上げ、撹乱も掘って、包含層を掘り下げる。

2009年12月２日　Ⅰ区　溝（Ｍ１）完掘。
　　Ⅱ区　撹乱部分がほぼ終わり、包含層掘削をほぼ終了。北東端にて溝（Ｍ１）の西側の立ち上がりを確認している。
　　Ⅲ区　包含層をすべて掘り下げる。

2009年12月３日　Ⅱ区　１号溝（Ｍ１）を掘り下げ、完掘。全体清掃後、写真撮影。全体測量。調査終了

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己・大坪志子
事 務 担 当：村田知聖
発掘作業員：永田大祐・乍　誠二・森山宏美・白都節子・菊池フミヨ・北村一成・福田鈴子
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・神川めぐみ・首藤優子・末吉美紀・谷川優子・髙濱美來・田上　慶・長谷智子・早川　翔・増井弘子・山嵜早苗

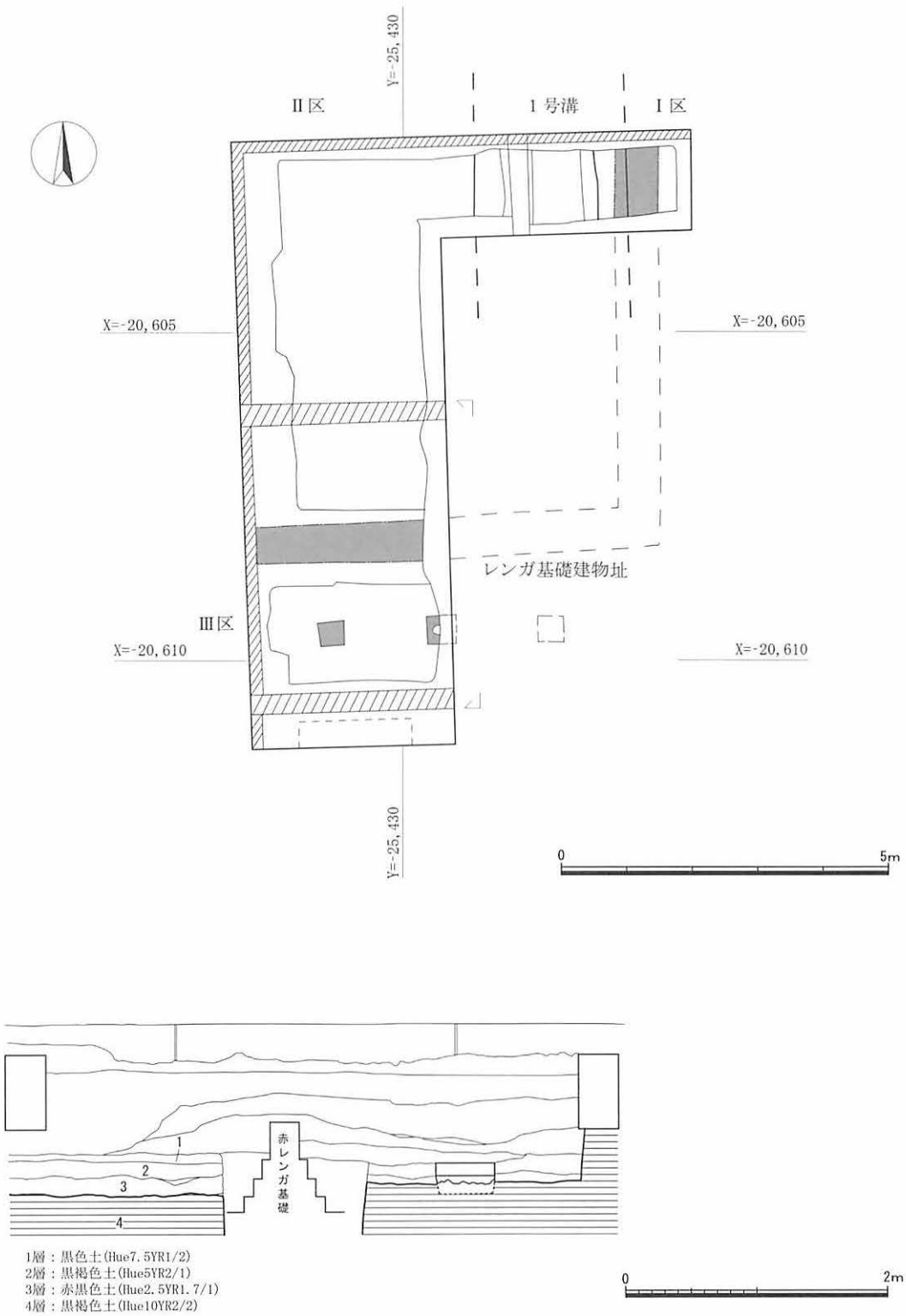


図22　0932調査地点遺構配置図・土層断面図（1/100・1/50）

（2）調査区の基本層序（図22）

建物内部であるため、そのほとんどが建物建設時の埋土であった。レンガ積み建物は１層面（旧表土）を掘り込んで作られており、それを破壊して、同じ面から旧図書館建物の基礎を作っている。梁は旧地表面に接するように作られていた。土層断面包含層は以下のとおりである。

１層：黒褐色土（Hue7.5YR１/２）、厚さ８cm

２層：黒褐色土（Hue５YR２/１）、遺物包含層、厚さ12cm

３層：赤褐色土（Hue2.5YR1.7/１）、遺物包含層、厚さ15～20cm

４層：黒褐色土（Hue10YR２/２）、基盤土

ただし、遺物は分けていない。

（3）検出遺構

掘削工事は、建物の西側と北側をＬ字形に掘削するものである。掘削単位ごとに便宜的にⅠ区～Ⅲ区と呼び分けている。本建物の基礎以外に、それ以前に建てられた建物の基礎（煉瓦つくり）が存在し、旧地表土および遺物包含層を破壊している。この煉瓦基礎は、Ⅲ区で東西方向、Ⅰ区で南北方向に延びており、これらはＬ字形に復元できる。東西方向の煉瓦基礎の南側には方形に煉瓦が組まれた柱礎石が２個ほど確認できた。これら近代以降の建物によって大部分を破壊されていたが、北西部分には遺物包含層が残っており、北東部では削平を免れた溝を１条検出した。ただし、溝（１号溝）は包含層を切り込んだような状況は確認できなかった。また、包含層（暗褐色土）下部からは大きな須恵器片なども出土しているが、ニガらしき固い面の上にのっており、当初はこれを竪穴住居址の硬化面とも考えたが、住居状のプランを確認できず、さらにニガがⅢ区まで広く広がることから、下部層に含まれるニガと判断した。よって、Ⅱ区とⅢ区には遺構は存在しないものと思われる。

＜1号溝＞（図22）

唯一検出した１号溝は、推定幅２ｍほどで、中間部に一段下がる二段掘りの断面形を示す。土師器や須恵器の小片が出土しており、古代の遺構と思われる。

（4）出土遺物

遺物はⅡ・Ⅲ区の遺物包含層（２・３層）からおもに出土した。須恵器・土師器の小さな破片のみであるが、中に黄釉陶器の水注の把手部分の破片（図23：１）があった。把手の下に貼花文をあしらい、この部分に褐釉を掛けるこのタイプの水注は、唐の長沙窯のもので、越州窯青磁・唐三彩とともに8世紀代の初期貿易陶磁器のポピュラーな製品の一つである。釉の剥離が著しい。２はヘラで記号

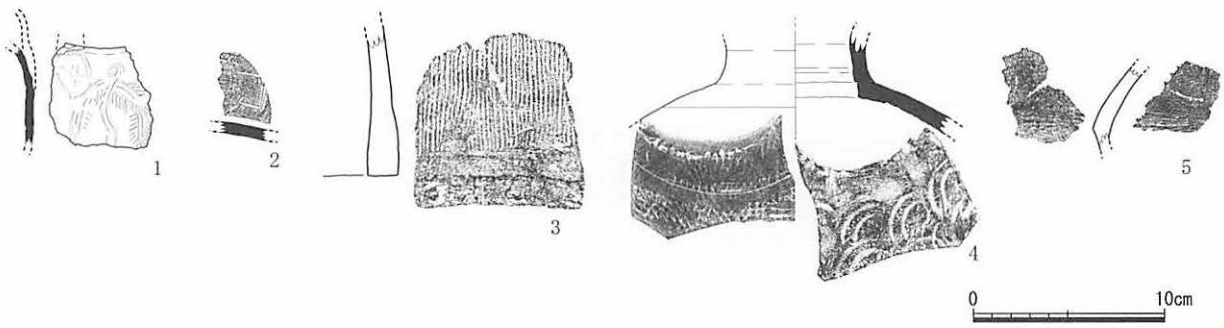


図23　0932調査地点出土遺物実測図（１/４）

表6　0932調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
23	1	磁器（長沙）	水注	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 7/1 外：Hue 5Y 8/1	Ⅲ区 包含層	型押の押花文上に褐色釉
	2	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 6/2 外：Hue 10Y 6/1	Ⅲ区 包含層	刻書・ヘラ記号？
	3	土師器	移動式竈	口径 底径 器高	底部片	内：削り 外：削り，ハケ目	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 5YR 6/8	Ⅱ区 包含層	
	4	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，タタキ，回転ナデ 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue 7.5Y 6/1 外：Hue 7.5Y 6/1	Ⅰ区 攪乱	
	5	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 7/4	Ⅰ区 1号溝	外面に刺突文あり

もしくは文字を刻んだ須恵器の蓋片である。3は移動式の竈の底部の破片である。3は須恵器の壺形土器の破片である。5は縄文時代後期後半の深鉢形土器の破片である。

（5）まとめ

今回の調査は、遺構や遺物こそ豊富ではなかったが、建物の地下にも十分に遺構や遺物が残存していることを証明した事例である。これまで、同様の事例は、黒髪北地区ボイラー室改築工事に伴う発掘調査（0854調査地点）や渡鹿地区の体育館耐震改修工事に伴う発掘調査（0819調査地点）などがある。最近の構内における建設工事は改築工事が多く、今後もこのような観点から、工事に際しては細心の注意を払う必要があろう。

黒髪町遺跡は古代官衙蚕養の駅推定地である。この本学黒髪南地区における既往の調査でも古代道路と思われる溝や南北方向に配置された掘立柱建物址や屋敷地を囲う長方形の区割り溝も検出されている。ただし、本地点周辺ではこれまでは竪穴住居址や小さな溝が検出されているだけで、官衙関連施設や有力層の存在を示す遺物はこれまで発見されていなかった。今回発見された長沙窯の褐釉水注は、破片ではあるが、8世紀代においてこのような貴重品をもてる有力層が存在したことを裏付ける重要な資料となった。

3．エコロジーシステム実験室接地工事に伴う発掘調査（0938調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

理学部において計画されたエコロジーシステム実験室（9907調査地点）のアース設置工事に伴う発掘調査である。すでに本体プレハブの建設時の発掘調査により、縄文時代の遺物包含層があることが判明していた。工事予定区のうち、プレハブの南側に南北に平行する配線部分は地表下1.0mほど掘削予定であり、そこからプレハブに繋がる部分は地表下0.35mであるので、とくに深い南北部分について掘削に立ち会った。立会調査は2010年１月14日に実施した。

その結果、地表下0.5～0.6mで暗褐色の遺物包含層が現れ、その中から縄文土器数片が出土した。また、北側配線部の東端では幅1.0mほどで断面形がＶ字形の黒褐色土を含む溝状遺構が検出されたため、掘削工事を中止し、発掘調査が必要であると判断し、関連部局と発掘調査にむけて協議を開始した。なお、縄文時代の包含層直前までで掘削をとめ、北側のトレンチをトレンチⅠ、南側のトレンチをトレンチⅡと呼称することとした。

理学部との協議の結果、発掘調査は2010年２月17日より開始した。発掘調査面積は、二つのトレンチを合わせて10m^{2}であった。

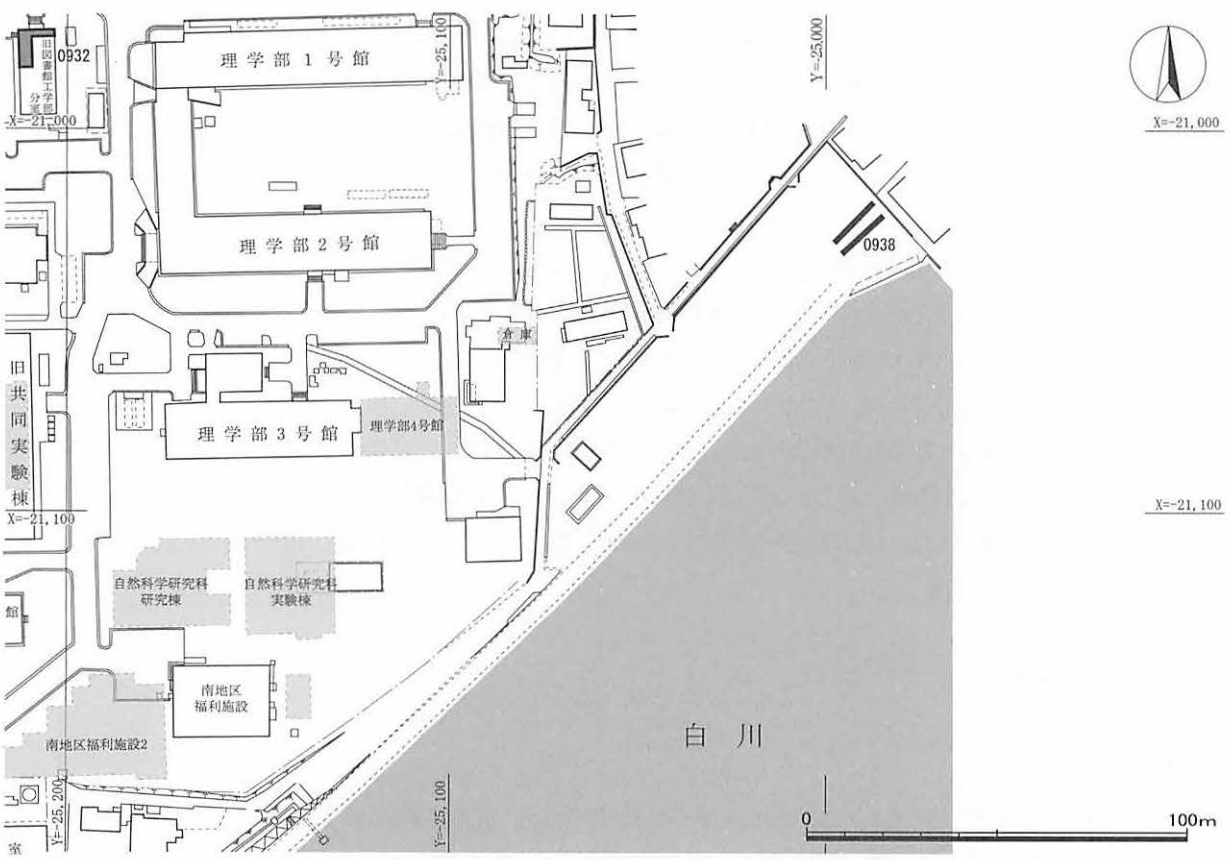


図24　黒髪南地区（東部）における調査地点配置図（1/2000）

b．調査の経過

2010年２月17日　作業員を投入して、包含層および遺構を掘り始める。

2010年２月18日　トレンチⅠの南側の２回目の掘り下げを行う。鐘崎式土器の鉢の口縁部が発見される。１号溝の図面を取り、石を取り除き、下まで掘り下げる。トレンチⅡ２号溝を掘り上げ、実測の後、１号溝を掘り上げる。

2010年２月19日　トレンチⅠの包含層の３回目の掘り下げを行い、トレンチⅠとトレンチⅡの全体写真を撮影する。トレンチⅠの遺物を取り上げ、トレンチⅡも１号溝・３号遺構の実測と西側６点ほどの遺物を実測し、取り上げる。その後、１トレンチ北側壁面の土層の写真撮影と実測を行う。トレンチ位置の測量点を行う。発掘を終了する。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己・大坪志子

事 務 担 当：村田知聖

発掘作業員：菊池フミヨ・北村一成・乍　誠二・白都節子

整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・神川めぐみ・首藤優子・末吉美紀・谷川優子・髙濱美來・田上　慶・長谷智子・早川　翔・増井弘子・山嵜早苗

（２）調査区の基本層序（図26）

Ⅰトレンチを基本にして述べる。土層は基本的に８枚に分離できる。１～４層までが現代の埋土である。５層が近世・近代、６層が古代、７層・８層が縄文時代包含層と考えられる。古代の遺物は、攪乱土の中に磨耗したものが若干数認められるので、本来は包含層があったものと思われるが、５層によって削平されたものと思われる。古代と思われる６層は部分的にしか確認できていない。以下、５層以下の土層の特徴を述べる。

５層（黒褐色土層：Hue7.5YR ２/２、固くしまる）近世・近代耕作土？

６層（黒褐色土層：Hue10YR ３/２、やわらかい）古代相当層

７層（黒褐色土層：Hue7.5YR ３/２、やわからい）遺物包含層

８層（褐色土層：Hue7.5YR ４/４、やわらか）　遺物包含層

７層と８層からは縄文時代の遺物が出土しているが、層位ごとに遺物の型式が区分できる出土状況ではない。９層は無遺物層であり、地山層である。トレンチⅠの西側ではまだ露出していないが、トレンチ中ほどで露出しており、西側へいくに従い低くなるものと思われる。遺物はこの傾斜の低い部分に集中する傾向がある。

（３）検出遺構

＜溝＞

１号溝（図26）

トレンチⅠの東端で検出した幅1.5m、深さ0.8mの断面Ｖ字形の溝である。トレンチⅡまで延びている。トレンチⅡでは２号溝に切られているが、幅80cm、深さ35cmほどが残っていた。底面近くは幅80cmほど２段掘りされているが、この状況はトレンチⅡでは確認できなかった。トレンチⅠでは、この２段掘り上面に人頭大の礫４個ほどが投げこまれていた。覆土はやわらかい暗赤褐色～黒褐色の

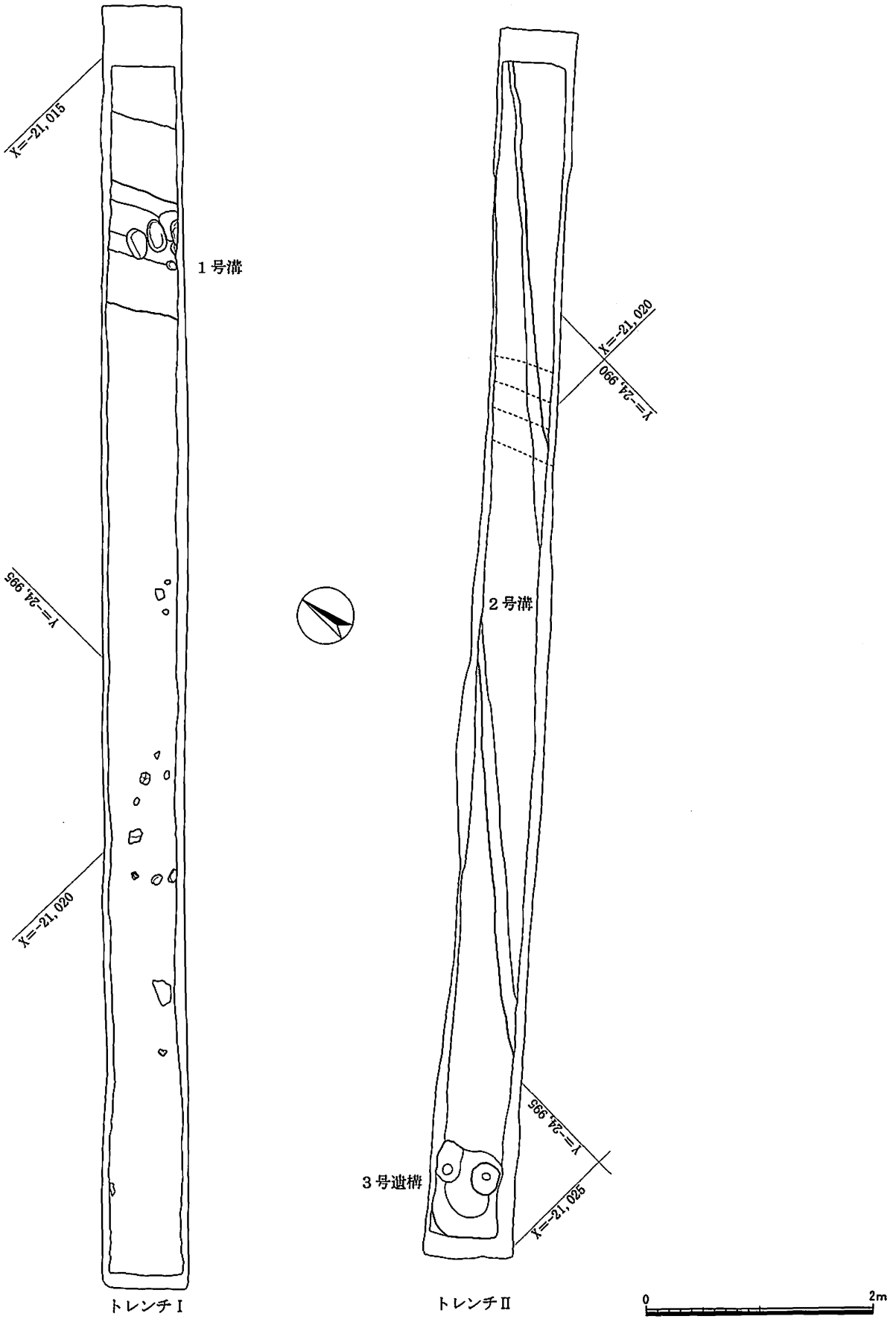


図25　0938調査地点遺構配置図（1/50）

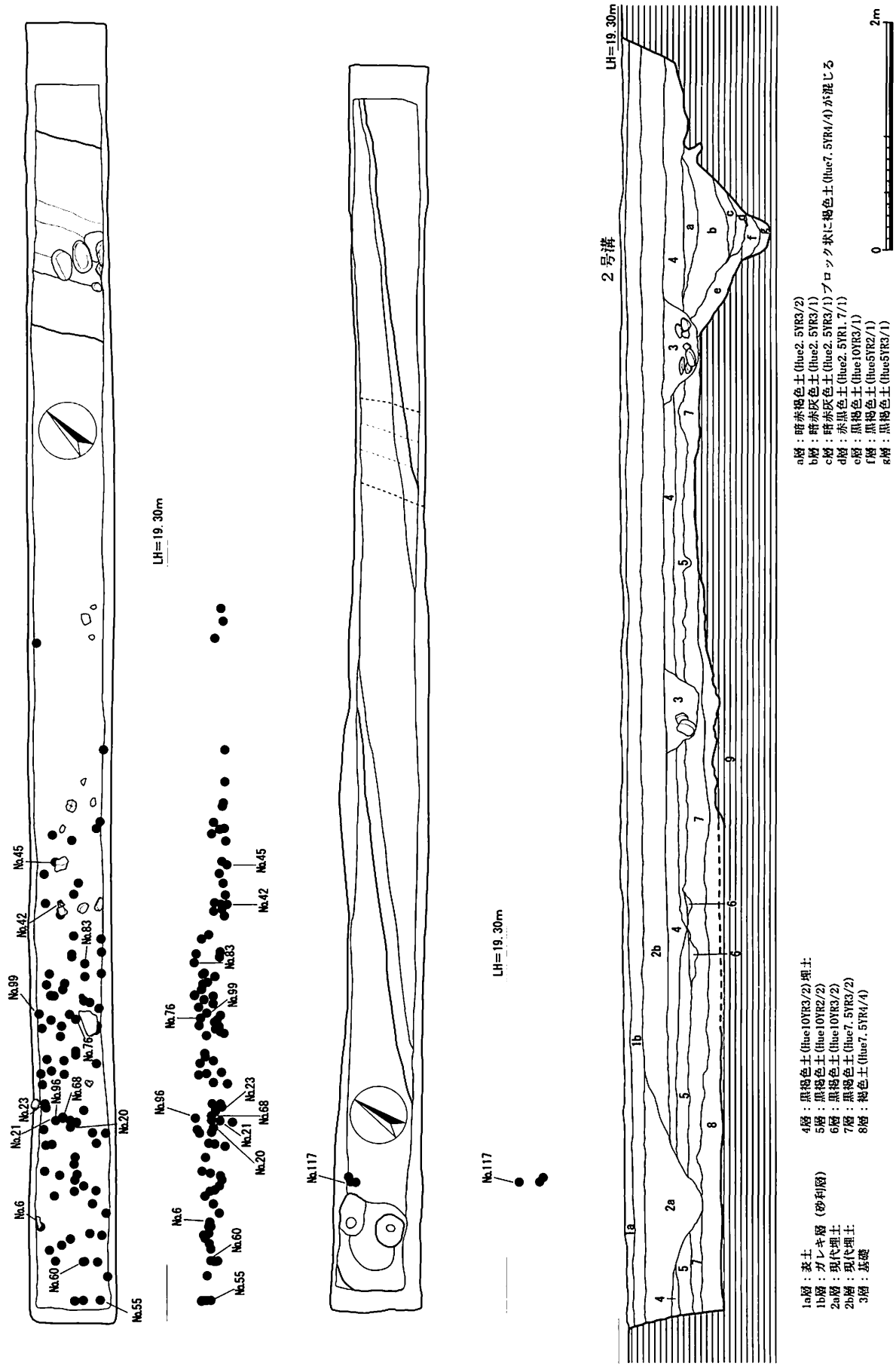


図26　縄文土器出土状況および土層断面図（1/50）

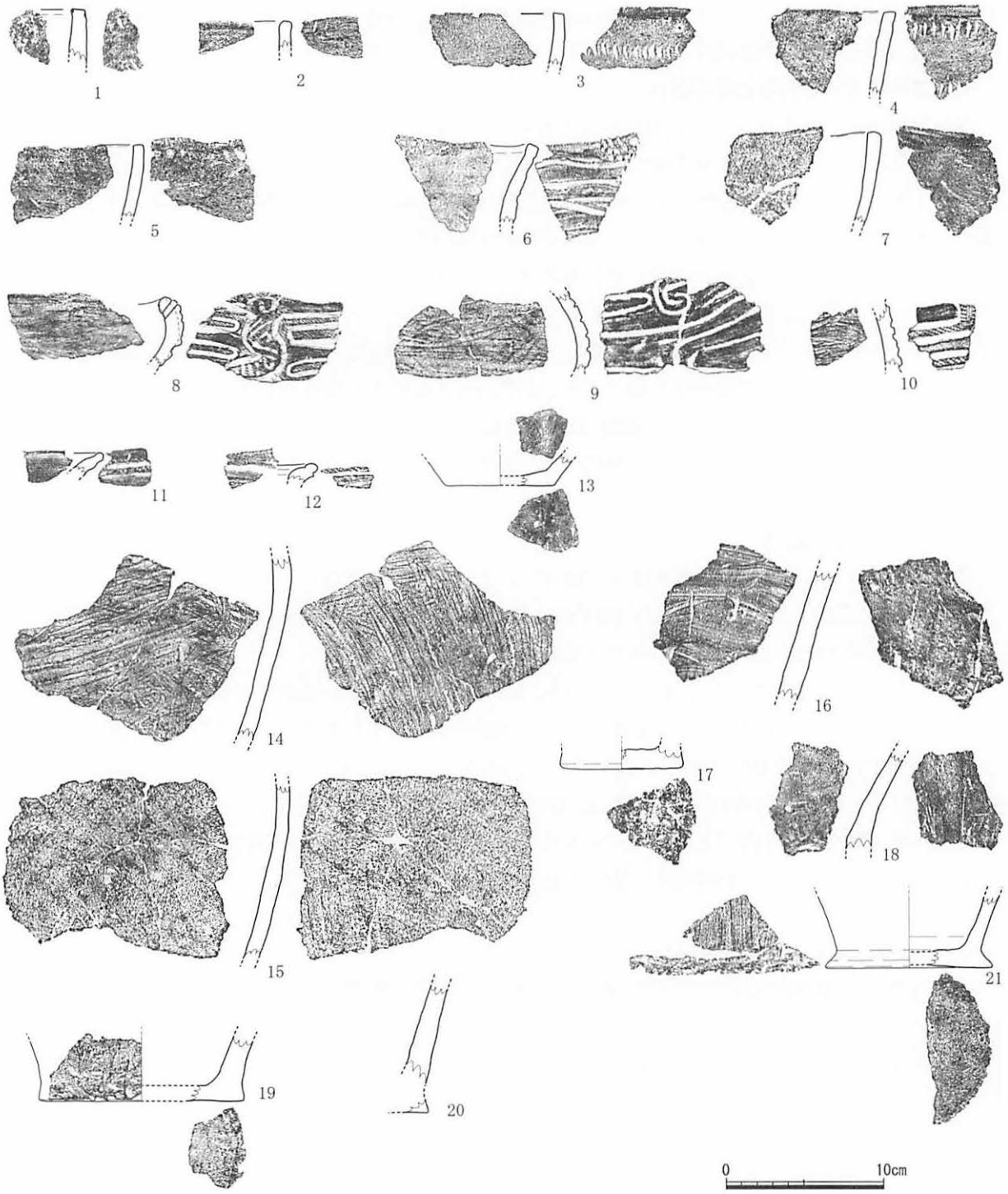


図27　0938調査地点縄文土器実測図（1/4）

土である。溝の方向は北から西に40度ほど振れている。水の流れは、底面の高さからみて、北から南方向と推定される。時期はトレンチⅡの部分で、弥生土器の甕形土器の小片を検出しているが、覆土の状態からみて、古代以降のものと思われる。

２号溝（図26）

トレンチⅡ全域にほぼ重なるように東西方向の方位をもつ幅0.8m、深さ0.2mの溝である。断面形はＵ字形を呈する。掘り込みの面はこれより数十センチは高かったものと思われる。１号溝を切る

ため、それより新しく、やや灰色を帯びた暗褐色土であり、近世・近代のものと思われる。出土遺物は縄文土器のみで、時期を示すものは出土していない。

＜縄文時代遺物包含層と集中区＞

溝を検出後、これらが切り込む黄褐色土を掘り下げ、縄文土器およそ120点を検出した。遺物の分布状況をみると、トレンチⅠは西側に一部撹乱層が入り込んでいるが、ほぼ縄文の包含層が良く残っており、厚さ20cmほどの遺物が含まれる。土器の破片は20cmほどの大きさのものもあり、礫が周辺から出土する。この集中区は住居址である可能性も想定されたが、先にも述べたように、自然の地形の傾斜に起因するものと思われる。それを証明するように、トレンチの東側へ行くと、８層が地形の上昇とともに消失しており、遺物がまれとなる。さらに、トレンチⅡは調査区西側の一部から数点出土したのみであり、これを裏付けている。これは隣接する9907地点の調査（埋蔵文化財調査室年報６）でも縄文時代の遺物が集中する部分が地形が傾斜して低くなる調査区の南部隅に偏っており、これと一連のものと思われる。今回、遺物は117点を位置を記録して取り上げた。図26中の黒ドットの番号は取り上げ番号であり、図示した遺物の出土位置を示す。表７を参照されたい。

（4）出土遺物（図27）

縄文土器のほとんどは胴部～底部までの破片で、文様をもつ口縁部付近の破片は10点にも満たないものである。図示した口縁部破片は、御手洗Ａ式、小池原上層式、鐘崎式の特徴をもつことから、これらの土器群は後期前葉に属するものと思われる。

図27：１～４は口縁部もしくは口縁部外面に爪形の刺突文をもつ深鉢形土器の破片である。図：27：２は口唇外面に刺突文がある。器壁は薄く、口縁部は直口でやや外傾もしくは内湾気味を呈する。これらが御手洗Ａ式土器の深鉢形土器であろう。図27：５～７は山形の口縁部をもつ深鉢形土器である。図21：７は無文、同５は浅い刺突文、同６は山形口縁の頂部に刺突文、外面に波状沈線文を施す。小池原上層段階の土器である可能性がある。図27：８～12は鐘崎式土器の鉢形土器である。同９のみ磨消縄文をもたない。口縁破片（図27：８）は丹塗りが施されている。

表７　0938調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
27	1	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 7.5Y 3/2 外：Hue 7.5Y 5/2	Ⅱトレンチ３号遺構上層	口唇部刻目文，外面刺突文
	2	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 4/1 外：Hue 10YR 4/2	№21	上面爪形文
	3	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 5/3 外：Hue 5Y 4/2	№60	外面爪形文
	4	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 5/3 外：Hue 10YR 5/4	№76	外面爪形文
	5	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 4/3 外：Hue 10YR 5/4	１号溝	外面口縁部縁刺突文
	6	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 4/1 外：Hue 2.5Y 5/2	Ⅱトレンチ３号遺構上層	上面刻目文，外面凹線文・刺突文，内面刺突文
	7	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 5/3 外：Hue 10YR 6/3	２号溝	内外面ススあり
	8	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 3/1 外：Hue 10YR 3/2	№83	磨消縄文
	9	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 5/4 外：Hue 7.5YR 3/1	№42・№96	
	10	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 2/1 外：Hue 10YR 3/2	№23	磨消縄文
	11	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5YR 5/6 外：Hue 2.5YR 5/6	№117	凹線文

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
27	12	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　5YR 5/6 外：Hue　5YR 5/6	2号溝	内外面丹塗り
	13	縄文土器	鉢形土器	口径 底径　7 器高	底部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue　10YR 5/4 外：Hue　7.5YR 5/4	№99	
	14	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4/3 外：Hue　7.5YR 4/3	№45・Ⅱトレンチ撹乱	
	15	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　25Y 6/1 外：Hue　10YR 6/3	№6	
	16	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　25YR 4/2 外：Hue　10YR 5/4	包含層	
	17	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部1/5	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　25Y 6/1 外：Hue　25Y 7/1	2号溝	
	18	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue　25Y 5/3 外：Hue　7.5YR 6/6	Ⅱトレンチ1号溝	
	19	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内：ナデ，削り 外：ナデ，削り	内：Hue　10YR 6/4 外：Hue　5YR 6/6	2号溝	
	20	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4/1 外：Hue　7.5YR 6/6	2号溝	
	21	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径　10.6 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　25Y 3/1 外：Hue　25Y 6/4	№20・№68	

（5）まとめ

今回、白川沿いの地点において以前確認されていた縄文時代の包含層を調査し、その広がりを確認した。幅0.8mほどのトレンチではあったが、縄文土器の分布状況を追認でき、これらの集中区がより南側へ広がることが判明した。今回検出した土器の時期は縄文時代後期前葉を中心としており、隣接する9907調査地点でも御手洗Ａ式土器が検出されていることから、本地点はほぼ同期の比較的短い期間に形成された遺跡といえよう。また、白川を挟んで、対岸には北久根山貝塚があり、当地一帯が後期の前葉から中葉にかけての遺跡が広がることが予想される。今後は、今回発掘した遺物の分布がどのような広がりをもつのか、また、住居址などの遺構を伴うのかなど、周辺の調査に期待したい。

Ⅳ　本荘北地区の調査

1．本荘団地北地区防火水槽取設工事に伴う発掘調査（0426調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

大学病院管理棟の玄関前に防火水槽を建設する工事であり、2005年２月４日に試掘を行い、地表下1.5mで溝状の遺構を確認した。このため、市文化課に連絡し、発掘調査の許可をもらい、発掘調査に切り替え、２月８・９日に調査を実施した。この結果、北東～南西方向に延びる溝２条を検出した。溝内からは磁器や陶器片のほか、馬の下顎骨や銅銭（北宋銭）なども出土した。調査面積は84m^{2}である。

b．調査の経過

2005年２月８日　調査開始。１・２号溝を検出。掘り下げる。

2005年２月９日　遺構完掘削。清掃の後写真撮影。遺構実測。調査完了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己

事 務 担 当：前田知聖

発掘作業員：押方富江・小細工洋子・林田恵子・番山明子・福田久美子・松本和徳・宮村邦子

整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・早田咲百合・増井弘子・山嵜早苗

（2）調査区の基本層序（図29）

調査区北壁で確認した。１・２層は埋土である。それ以下は３層：黒褐色土（Hue7.5YR２/２）が1.0mほど厚く堆積しており、その下にレンズ状に4層：黒褐色土（Hue５YR ２/１）と５層（Hue7.5YR ３/１）が30cmほどの厚さで堆積している。これらの層は周辺の調査地点でみられる堆積土とは異なっており、２号溝自体の覆土の可能性もある。

（3）検出遺構

＜溝＞

１号溝（図29）

調査区西側を北東－南西方向に流れる断面逆台形の溝である。幅1.0m、深さ0.6mを測る。２号溝とは並走しており、一連の溝である可能性がある。

２号溝（図29）

調査区中央を北東―南西方向に流れる幅3.5m、深さ2.0mあまりの溝である。断面形は緩やかな逆台形を呈する。

（4）出土遺物

１号溝出土遺物（図30：１～５）

図30：１・２は陶器碗、図30：３は染付皿、図30：４は染付碗、図30：５は陶器碗である。１は海鼠釉をかける黒い胎土であり、２は京焼風の胎土と釉である。５は黒褐～緑色の釉を掛ける。

1．本荘団地北地区防火水槽取設工事に伴う発掘調査（0426調査地点）

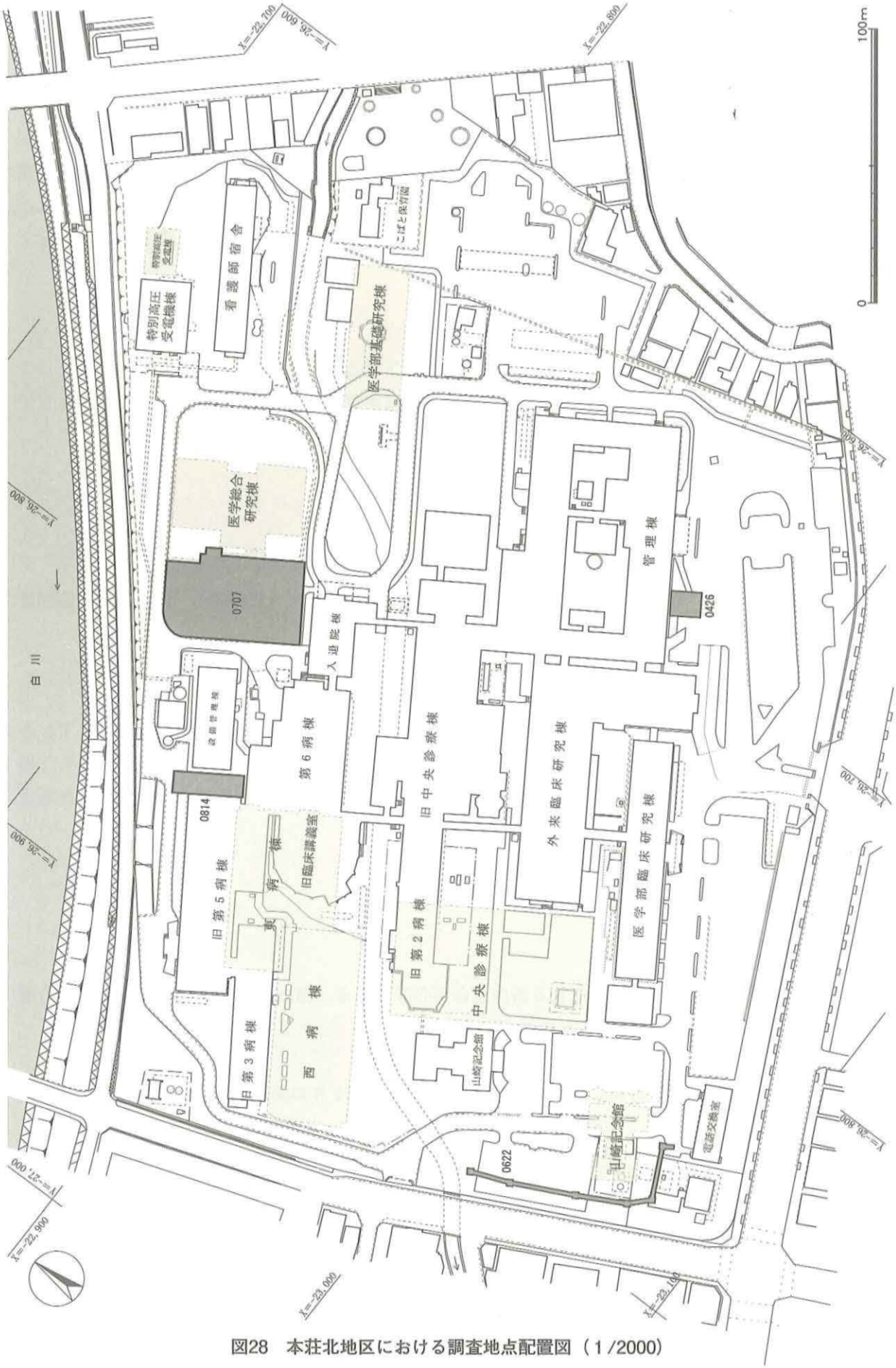


図28　本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）

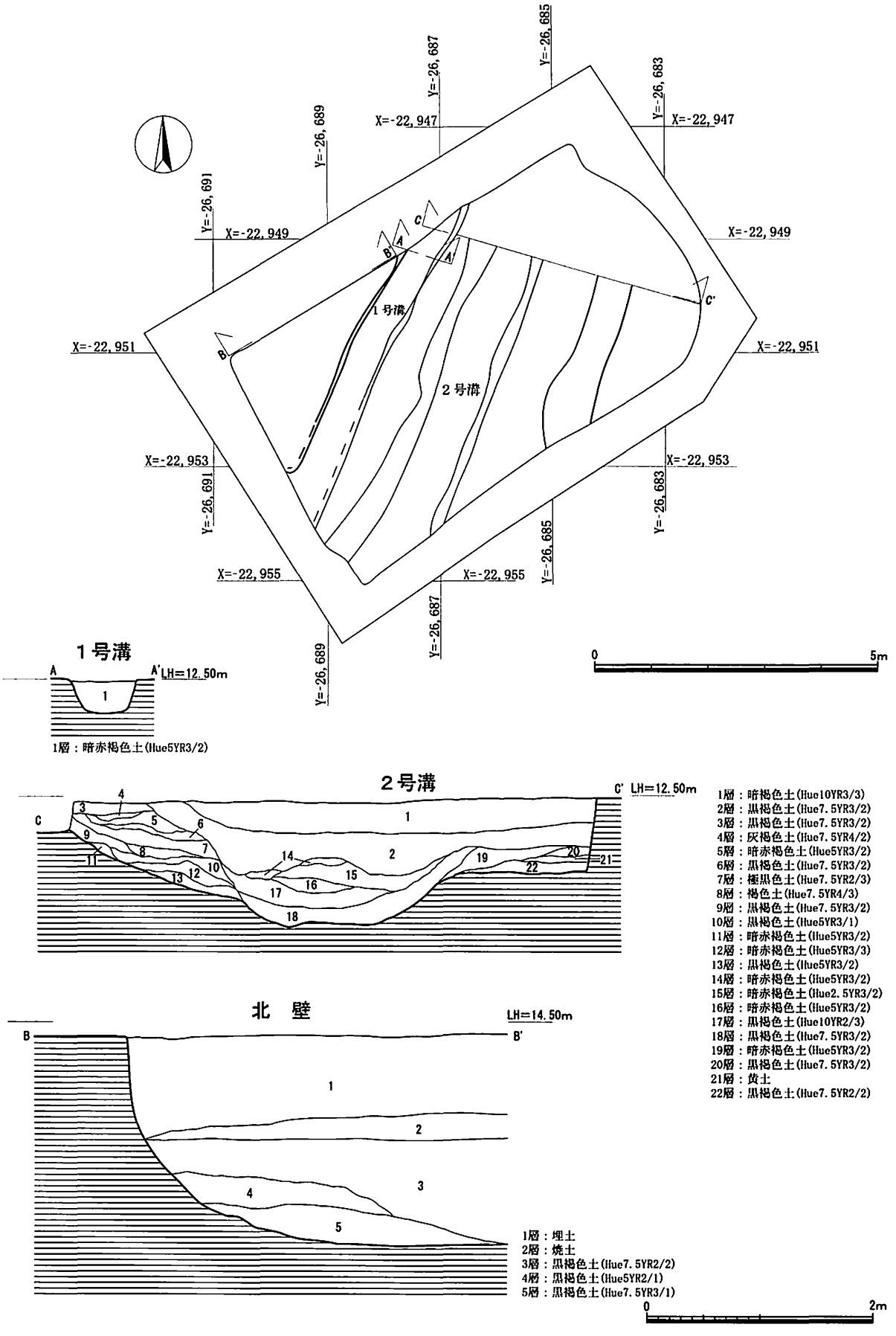


図29　0426調査地点遺構配置図・溝・北壁土層断面図（1/100・1/50）

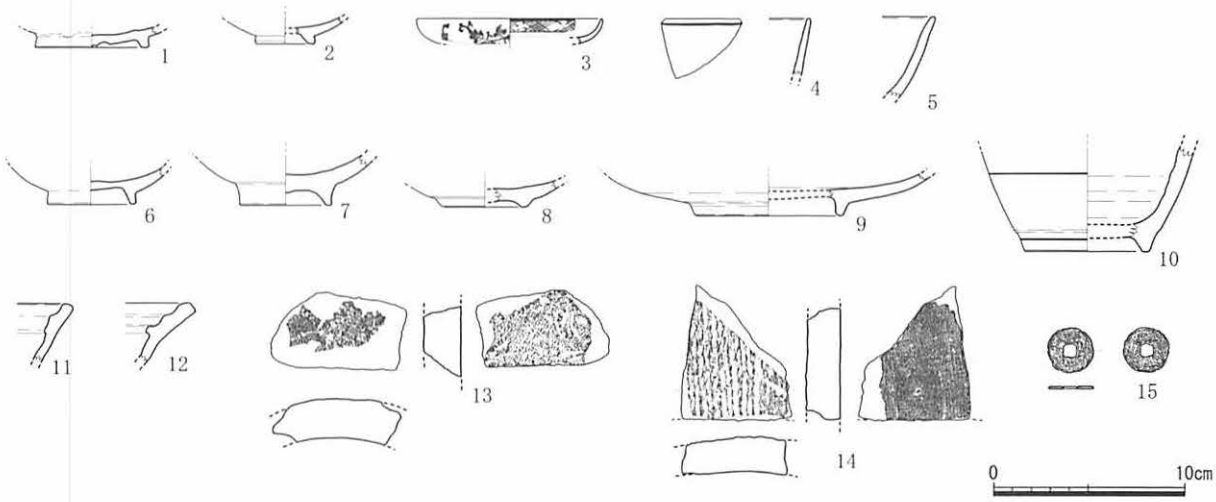


図30　0426調査地点１・２号溝出土遺物実測図（１/４）

２号溝出土遺物（図30：６～15）

図30：６は刷毛目文様、図30：７は海鼠釉、図30：８は白灰色釉の陶器の碗である。図30：８の底部は露胎である。図30：９は陶器の大皿であるが、やや赤みがかった白色の釉薬が厚く掛かっている。図30：10はやや青みがかった色調の染付の徳利もしくは壺である。図30：11・12は陶器擂鉢の口縁部破片である。口縁部のみ褐釉を掛ける。図30：13・14は砂粒が多く入る胎土を用いた平瓦の破片である。外面は粗い布目による叩きが施され、内面にはより細やかな布目の圧痕をとどめる。図30：15は北宋銭である。１号溝・２号溝ともいずれも19世紀以降の所産と考えられる。

（５）まとめ

今回の調査は周辺に既往の調査例がなく、新たな知見といえよう。白川南岸に位置する本地区を含めた本庄遺跡群内にはいく筋もの自然流路や人工的な濠や溝が巡っている。とくに医学部校舎の所在する本荘中地区は古代～近代にかけての数多くの溝や濠が検出されている。今回検出した近世末もしくは近代の溝もその一つと思われるが、このおおよそ北方向から流下する溝がどのような方向へ向かうのか、現在のところ詳らかな情報を持たない。今後の周辺での調査に期待したい。

表８　0426調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量（cm）	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
30	1	陶　器	碗？	口径 底径　5.9 器高	底部のみ約１/２	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue　7.5Y ５/２ 外：Hue　10YR ５/３	１号溝	
	2	陶　器	碗	口径 底径　3 器高	底部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue　10YR ７/４ 外：Hue　10YR ７/２	１号溝	京焼風胎土
	3	染　付	小　皿	口径　9.8 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　青白色 外：Hue　青白色	１号溝	
	4	染　付	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　青白色 外：Hue　青白色	１号溝	
	5	陶　器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　25GY ３/１ 外：Hue　25GY ３/１	１号溝	
	6	陶　器	碗	口径 底径　4.6 器高	約１/３	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y ６/３ 外：Hue　10YR ５/３	２号溝（中部）最下層	
	7	陶　器	碗	口径 底径　4.8 器高	１/３	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue　10BG ４/１ 外：Hue　10BG ４/１	２号溝上層	
	8	陶　器	碗	口径 底径　4.6 器高	底部１/２	内：ナデ 外：削り	内：Hue　10Y ７/１ 外：Hue　7.5YR ５/４	２号溝上層	

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
30	9	陶　器	大　皿	口径 底径　7.8 器高	底部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　5Y 6/1 外：Hue　5Y 6/2	2号溝（中部）最下層	
	10	染　付	徳利・壺	口径 底径　6.6 器高	底部約1/8	内：回転ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/3 外：Hue　10YR 7/2	1号溝・2号溝北側最下層）・2号溝中部最下層	
	11	陶　器	擂　鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 3/2 外：Hue　7.5YR 2/2	2号溝北側最下層	
	12	陶　器	擂　鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ	内：Hue　10YR 2/2 外：Hue　10YR 2/2	2号溝中部最下層	刷毛目文様
	13	瓦	布目瓦	口径 底径 器高	破　片	内：布目 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 7/1 外：Hue　2.5Y 7/2	2号溝南部最下層	布目
	14	瓦	布目瓦	口径 底径 器高	破　片	内：布目 外：タタキ	内：Hue　2.5Y 7/2 外：Hue　2.5Y 6/2	2号溝最下層	布目
	15	銅　銭	皇宋通寶	長さ　2.45 幅　2.3 厚さ　0.15	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	2号溝	重量2.1g，風化顕著

2．基幹環境整備（西側駐車場等）に伴う発掘調査（0622調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

中央診療棟の建設後その西側に駐車場を整備する工事である。９箇所ほどを掘削し、建設予定地内の全体的な遺構の残り具合を把握することとした。

人孔№６では地表下2.1mで包含層が検出された。遺構面は地表下2.3mの部分にあたる。土師器細片１片が出土した。

枡№56の地点では地表下1.5mで粘性の強い近代の溝もしくは埋め土と思われる層を確認．地表下2.2mまで下げると近代の陶磁器や瓦片が出土した。

人孔№９では地表下２ｍまで下げたが，途中1.5mの深さで上記枡地点と同じく近代陶磁器が出土した。

枡№20の地点では地表下1.3mまで掘り下げたが砂層と褐色の砂質土の互層であり、遺物・遺構ともに検出できなかった。

枡№９の地点は地表下1.4mまで下げるが、途中この一帯の台地部で検出される古代遺物包含層である黒褐色土層が確認できたため、精査を行ったが、遺物や遺構は検出できなかった。

枡№31の地点は地表下1.3mまで下げたが、大部分がゴミ穴で撹乱されており、わずかに破壊されていない部分で砂質土が検出されたものの、遺物・遺構ともに発見できなかった。

予定地内の中央部に位置しているクスノキの大木の根を抜く工事では、1.9mほど掘削したが、砂質土のみで、遺構・遺物ともに検出していない。

おそらく山崎記念館の北側から中央診療棟にかけては深い谷が入っており、地表下２ｍほど下げても近代の遺物が出るのみで、古代の遺構面には達していない。これに対して南東部では地表下1.8mほどで遺構や遺物包含層が検出されるという状況である。

このうち、山崎記念館の南側から西側へ抜ける部分の排水管付設のため、２ｍほど掘り下げる工事の際、南側の調査区と西側のＬ字状の角部分で古代の遺構・遺物を検出した。このため、発掘調査に切り替え、２日間で発掘調査を終了した。遺構は竪穴住居址1基および溝1条であり、この両者の間はすべて撹乱されていた。

全体の調査対象面積は8077.5m^{2}であり、発掘調査を実施した面積は50.68m^{2}であった。

b．調査の経過

2006年10月27日　立会途中で古代包含層らしき土壌を発見したので、重機で撹乱層および埋土を除去した後、壁に矢板を設置して、人力によって撹乱を掘り下げ、１号竪穴住居址を検出した。立会調査から発掘調査に切り替え、その日のうちに１号竪穴住居址の床面をほぼ掘り終えた。

2006年10月30日　２号溝掘り上げ、全体を清掃し、遺構の写真撮影を行う。測量基準点を測量システムで測量し、全体図は手書きによって実測した。その後、１号竪穴住居址の掘方を検出し、写真撮影後、実測し、調査を完了した。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己

事務担当：中川木綿子
発掘作業員：今村明美・早田咲百合・前田日出男・森川　護・森川征子・森田　登
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・古閑満代・泗水直子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・増井弘子・山嵜早苗

（2）調査区の基本層序

調査区の基本土層は、地表部分から1.3mまで埋土層（1層）、その下部が近世と思われる2層：黒褐色土層（Hue10YR 3/1）、その下部に水田もしくは畑の土壌と思われる3層：黒褐色土層（Hue5YR 3/1：厚さ20cm）、マンガンの沈殿層である4層：赤黒色土層（Hue2.5YR1.7/1：厚さ10cm）、周辺の調査地点で古代～縄文時代の遺物を含む層に相当する5層：黒褐色土層（Hue7.5YR 3/1：厚さ25cm）がある。遺構はこの5層中から掘り込まれている。基盤土は暗褐色（Hue7.5YR 3/3）のシルト質土層である。

（3）検出遺構

＜竪穴住居跡＞

1号竪穴住居址（図31）

調査区の東端で検出した竪穴住居と思われる遺構である。調査区隅に住居址のコーナー部分を検出した。住居址の覆土は黒褐色土（Hue5YR 3/1）である。住居址の深さは検出面から5～10cmである。床面と思われる部分硬化面が確認でき、その上には、少量の土器片とともに多量の焼土、砂岩ブロックが散乱した状態であった。時期を示す明確な遺物は出土していないが、周辺地点の調査成果からみて、本構造の竪穴住居址は8世紀後半代のものと推定される。

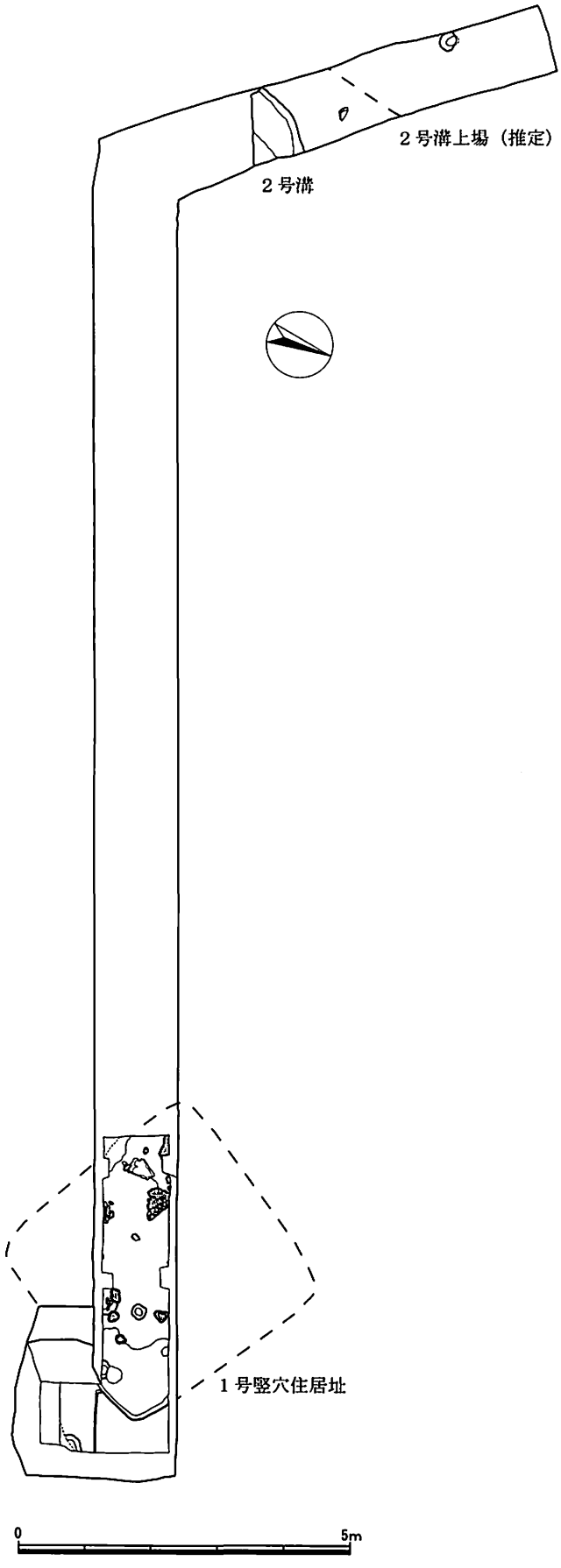


図31　0622調査地点遺構配置図（1/100）

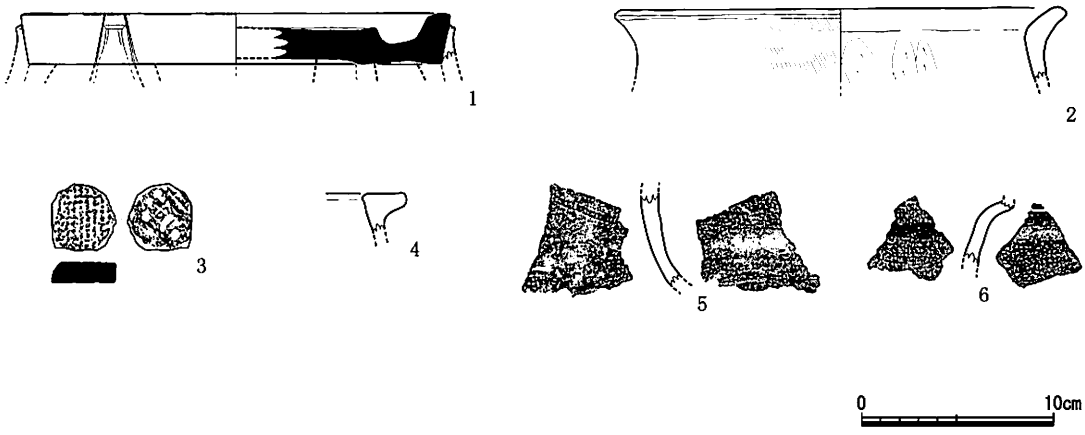


図32　0622調査地点出土遺物実測図（1／4）

表9　0622調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
32	1	須恵器	円面硯	口径 22.3 底径 器高	約1／4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 6／1 外：Hue 5Y 8／2	2号溝上層	外面に自然釉あり
	2	土師器	甕	口径 23.6 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7／4 外：Hue 10YR 7／4	2号溝上層	
	3	須恵器	円盤	長さ 3.5 幅 3.3 厚さ 1.1		内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 2.5Y 4／1 外：Hue 2.5YR 4／3	西側包含層 撹乱	再加工
	4	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6／3 外：Hue 2.5Y 7／4	1号竪穴住居址上部西半	
	5	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	頸部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5YR 5／6 外：Hue 7.5YR 5／6	1号竪穴住居址硬化面下	
	6	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	頸部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 5／3 外：Hue 2.5Y 3／1	1号竪穴住居址上部西半	

＜溝＞

2号溝（図31）

調査区の西端で検出した溝である。溝の底面近くを検出しており、図31の点線は溝の掘り込み面の推定ラインである。底面にはマンガンの沈殿層が認められた。立ち上がり面と溝のもっとも深いところの差は0.43cm である。溝内部の落ち込みラインと掘り込み推定ラインの間から須恵器の円面硯の破片（図32：1）が出土した。この溝は本調査区を間において調査された山崎記念館移設地（0509調査地点）およびポンプ室建設地（0411調査地点）の発掘調査でその延長部がそれぞれ検出されているものである。他の地点では8世紀後半を中心とした時期の遺物が出土している。

（4）出土遺物（図32）

2号溝出土遺物

図32：1は2号溝から出土した須恵器の円面硯である。復元直径は22.3cm、陸部が18cm ほどである。おそらく4つの獣脚がつくものと思われる。図32：2は土師器の甕形土器の口縁部破片である。

その他の出土遺物

図32：3は須恵器壺の胴部片の側面を面取りして整形した円盤である。図32：4は弥生時代中期初頭の甕形土器の口縁部片である。図32：5・6は縄文時代後期後半の御領式段階の深鉢形土器の頸部の破片である。

（5）まとめ

今回の調査は狭い面積ながら、山崎記念館移設地（0509調査地点）およびポンプ室建設地（0411調査地点）に挟まれており、両地点の調査成果を補足した結果となった。両地点で検出された本地点の２号溝に相当する古代溝は、２ｍほどの深さをもち、溝の下段部がきわめて狭くて深いという特徴的な構造をもつ。同様の構造をもつ溝は本地区の北東部に位置する医学部基礎研究棟（9601調査地点）でも検出されている。ここでは溝の中から多量の「寺」や「佛」などの刻書をもつ燈明皿が検出され、文献には現れていない豪族の氏寺関連の遺構ではないかと推定したことがある（熊本大学埋蔵文化財調査報告第4集）。この地点は本地区の北東部にあり、溝の方向も異なるため本地点の溝と連結することはないが、同時代の同じ構造をもつ溝である点、今回円面硯を検出した点を考慮すると、同様の性格の溝である可能性がある。溝の深さや構造からみても掘削には大変な労力が必要で、少なくとも識字層が存在しうるような施設をめぐる溝であったことは確かであろう。今後は溝がどのように巡るのか、それに囲まれた内部に存在したと思われる建物群の検出が今後の課題である。

3．医学部図書講義棟新営工事に伴う発掘調査（0707調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

医学部図書講義棟の建物建設に先立ち発掘調査を実施した。敷地内は既存建物の基礎や樹木が残っており、小さな建物基礎と樹木の撤去部の周辺を地表下0.75mほど下げ、撤去に支障のないことを確認し、撤去できる構造物はすべて事前に撤去した。しかし、撤去が不可能な建物基礎に関しては、発掘調査終了後に撤去することとし、一次掘削の際に立会しながら、掘削範囲を決定した。その結果、調査区の東半分は既存建物の基礎ですべて破壊されており、南側も基礎杭とそれを巻く基礎部が残存していていることが判明した。このため、西側を主な調査区に設定し、南側は旧排水路によって削平が著しく、発掘調査が不可能な最南端を除いて杭基礎の間をできるだけ調査することとした。

発掘調査は７月30日より開始し、台地側をⅠ区、南側斜面部をⅡ区と称し、Ⅱ区は８月９日ごろより調査を開始し、８月31日に全体の空中撮影を行って、９月３日終了した。発掘調査の面積は1,590m^{2}である。

b．調査の経過

2007年７月30日　機材の搬入およびプレハブの設営を行う。攪乱層の除去作業を行う。南西部から攪乱部分の除去および、畑上面に堆積した茶褐色土壌を掘り下げる。土師器・須恵器などの土器片が出土する。

2007年７月31日　攪乱層の除去作業と並行して、畑上面に堆積した茶褐色土壌を掘り下げを続ける。Ⅱ区の東側端の一角で水田らしき畦を確認する。

2007年８月２日　北部の攪乱層掘り。台風５号接近中のための養生を行う。

2007年８月３日　台風・雨のため、現場休み。

2007年８月６日　西側北部～中部にかけて攪乱をほぼ掘りあげる。遺構面を精査し、住居址４基ほどを確認する。

2007年８月７日　調査区北部掘り下げ。２号～８号住居址を掘り下げ。南側調査区掘り下げ・Ⅱａ区砂層掘り下げ。

2007年８月９日　２号住居址・８号住居址出土状況・土層写真撮影・同実測。M10・Ⅱａ区10号溝掘り下げ。

2007年８月20日　北部遺構出し。２号住居址･８号住居址床面出し。Ⅱｂ区掘り下げ（水田上面土）。Ⅱｃ区清掃。

2007年８月21日　北部遺構出し。Ⅱｂ区掘り下げ（水田上面土）。ほぼ水田面まで達する。

2007年８月22日　Ⅱｂ・Ⅱｃ区水田面を出し、写真撮影。

2007年８月24日　水田址を実測し、サンプル収集後、水田基盤土（暗赤褐色土）を掘り上げる。

2007年８月31日　遺構面を清掃し、模型ヘリコプターによる空中写真を行う。90・91号掘立柱建物を写真し、実測を行う。ピットにすべて番号を付け、遺物を取り上げる。

2007年９月３日　調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己

事 務 担 当：中川木綿子
発掘作業員：井手春代・江藤恵子・大越貞子・大越忠一・緒方京子・押方富江・倉元慎平・古賀敬子・田中香苗・溜渕久美子・溜渕俊子・成瀬好子・林田恵子・弘中正芳・福田久美子・堀川貞子・前田日出男・前田美恵子・増井弘子・松井昭子・三好栄太郎
整理作業員：伊藤千代子・江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・増井弘子・山嵜早苗

（2）調査区の基本層序

Ⅰ区（台地部）はすでに削平を受けていたので、検出面のすぐ上部は近世以降の耕作土（2層：にぶい黄褐色土：図36参照）である。この層は谷部で水田を被覆する洪水砂層を覆っている。台地上において遺構ののる基盤土は、暗褐色シルト質土（Hue7.5YR 3/3）である。

（3）検出遺構

調査区は長方形であるが、北東側の辺の2/3と南東側辺のすべてにわたって旧建物によって攪乱を受けていた。とくに南側は谷部に相当するため、掘り下げに従って、建物基礎が露出するという状況であった。遺構は破壊を免れた部分にほぼL字形に分布していた。L字形の長軸の部分（台地部）をⅠ区、底辺の部分をⅡ区と呼称し、Ⅱ区（谷部）は3分割し、西側からⅡa区、Ⅱb区、Ⅱc区とした。Ⅰ区も削平や配管、ごみ穴などによる攪乱でかなり破壊を受けていたが、予想を越えて、残存状況はよい方であった。

検出遺構としては、Ⅰ区台地上から、6世紀代の竪穴住居址1基、7世紀末～8世紀後半代と思われる竪穴住居址10基、柱穴多数を検出した。Ⅱ区東寄りを中心に9世紀後半～10世紀代以降の所産と思われる2×2m小区画の水田遺構19枚とそれに付設する幅0.6mあまりの水路を検出した。さらにその下からは谷の落ち際に設置された排水用の水路2条を検出した。

＜竪穴住居址＞

1号竪穴住居址（図34）

Ⅰ区の南端にあり、攪乱によってその大部分を破壊されている。削平もひどく、壁の立ち上がりは5cmほどである。床面の直径30cmほどの硬化面の上から土師器の高坏（図37：1）が割れた状態で出土した。古墳時代のものであろう。

2号竪穴住居址（図34）

Ⅰ区の北東隅で検出した2.0×2.0m、深さ0.3mの小型の竪穴住居址である。東隅に竈が設けられている。砂岩ブロックの支脚とその周辺にパミス状の焼土を含む土壌が堆積しており、竈と認定したが、北東隅に壁を掘り込むように、土師器の甑が埋め込まれており、竈の可能性もある。この甑の横には15～20cmの角礫が出土し、甑の内部からは完形の土師器の高台付碗（図37：4）が出土した。甑と土壁の接する部分は焼けており、周辺からは木炭も出土する。よって、甑を再利用した竈であり、内部から出土した土師器の高台付碗は竈や住居を壊す際に入れられた可能性もある。この甑の周辺からは破砕した土師器や須恵器の甕形土器や坏類（図37：2・5・7・11）が多数出土した。両者が竈であるとすると、2つの竈をもつ住居となる。ただし、両者の間が配管の攪乱によって破壊されているため、明確な関係は不明である。これ以外に、住居南壁の床面からは完形の須恵器の蓋（図37：3）が出土した。また床面からは砂岩ブロックの破片や礫が多数出土している。柱穴は確認できなかった。

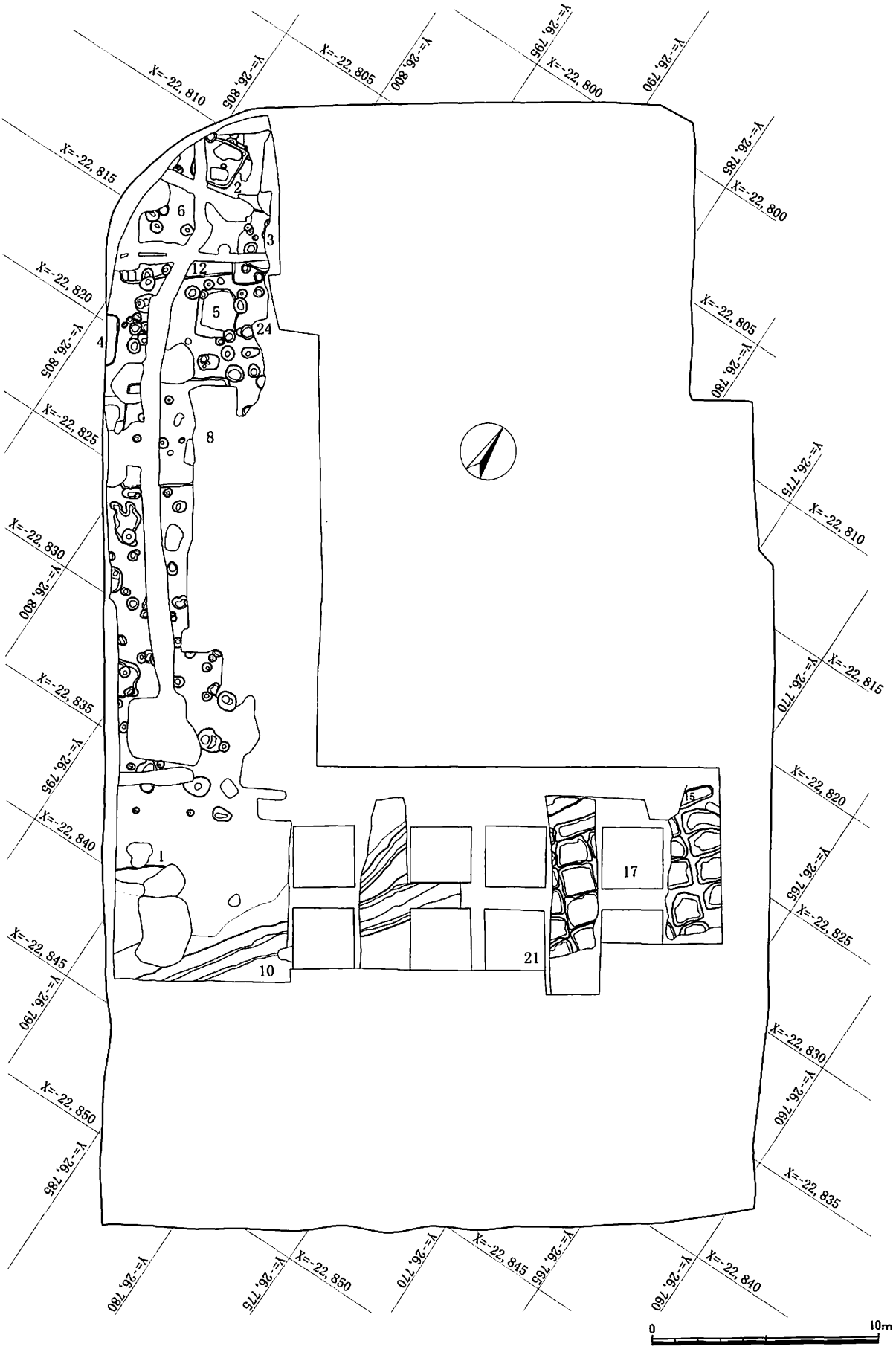


図33　0707調査地点遺構配置図（1/250）

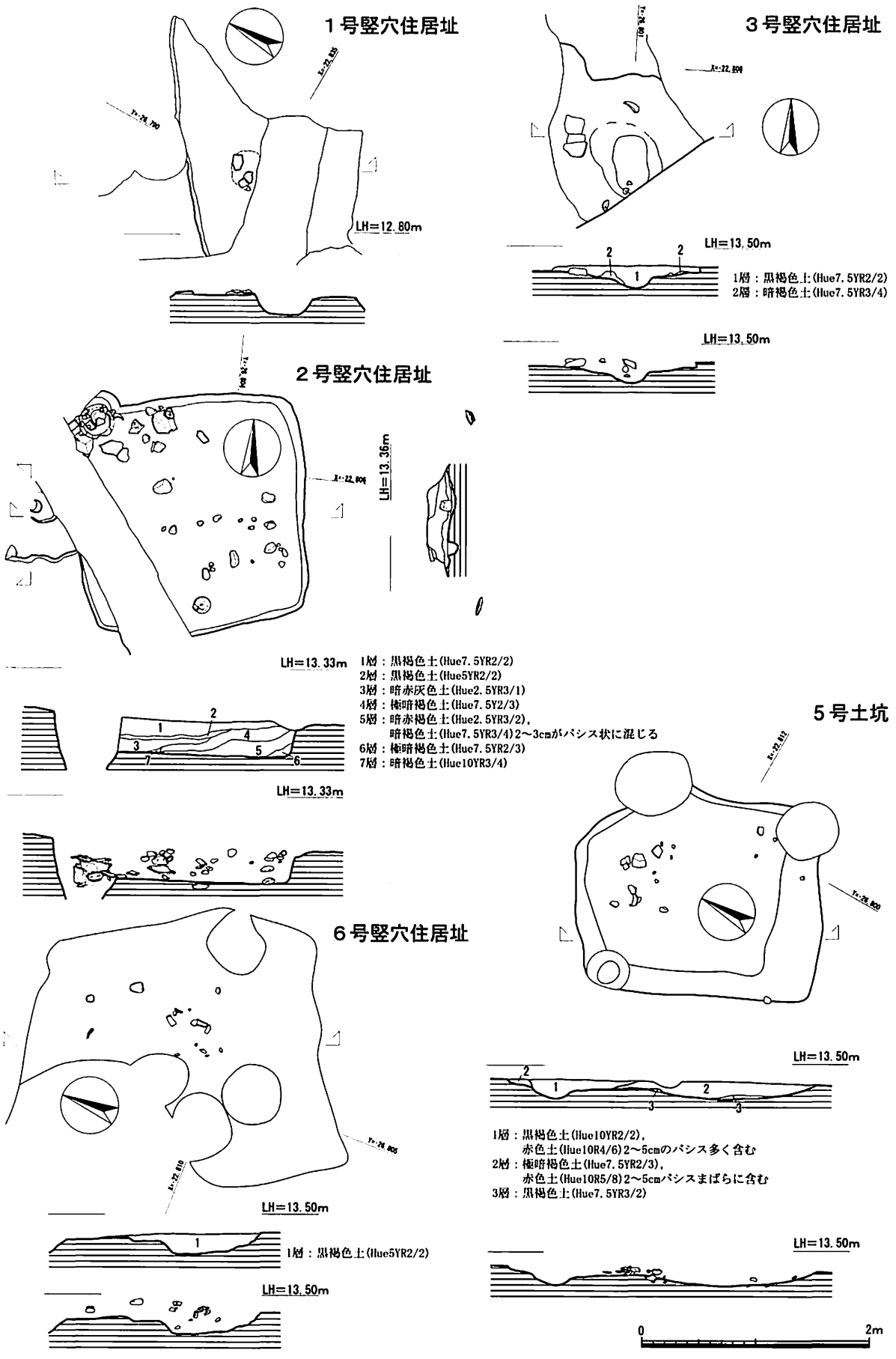


図34　1・2・3・6号竪穴住居址・5号土坑実測図（1/50）

3号竪穴住居址（図34）

Ⅰ区2号竪穴住居址の東側に隣接して検出した竪穴住居と思われる遺構である。大半を建物による攪乱で破壊されるため規模や平面プランが定かではない。砂岩ブロック3点が遺構西側に並んで出土している。中からは須恵器蓋（図37：12）や土師器の甕形土器の破片が出土した。

6号竪穴住居址（図34）

Ⅰ区2号竪穴住居址の南部で確認した竪穴住居址と思われる遺物の集中区である。周辺に壁の立ち上がりを求めたが、12号竪穴住居址や11号竪穴住居址と平面プランが合わないため、そのまま一つの住居内部と判断した。覆土は木炭の小片や砂岩ブロックの小片を含む黒褐色土（5YR 2/2）であり、その中から河原円礫2点と小片になった土師器甕（図38：17）が出土した。

12号竪穴住居址（図35）

6号竪穴住居址の南東側に竪穴住居址と思われる壁の立ち上がりを確認した。覆土より土師器高台付碗（図37：14）と土師器甑底部（図37：15）が出土した。

8号竪穴住居址（図35）

Ⅰ区中央部で検出した4.7×5.0mの竪穴住居址である。中心部を除いてほとんど攪乱を受けており、竈や柱穴などは検出できなかった。壁の立ち上がりは10cmあまり残存している。床面には10～20cm大の河原礫が11個ほど出土しており、数個集中する部分もある。その間から須恵器蓋（図38：19）や土師器の高坏（図38：21～23）などが出土した。これらは時期をたがえており、おそらく、須恵器蓋は後世の混入の可能性がある。古墳時代の住居址と思われる。

＜土　壙＞

5号土坑（図34）

Ⅰ区3号竪穴住居址の南隣に位置する2×1.5m、深さ20cmあまりのやや不整形な長方形を呈する土壙である。土坑の深さは深い部分で20cmほどである。遺物としては、甑の把手部分の破片（図37：13）以外に特徴的なものはなく、ほとんど土師器甕もしくは甑の胴部片である。土器が集中する部分を中心として直径20cmほどの範囲にパミス状の焼土を含む黒褐色土が分布していた。

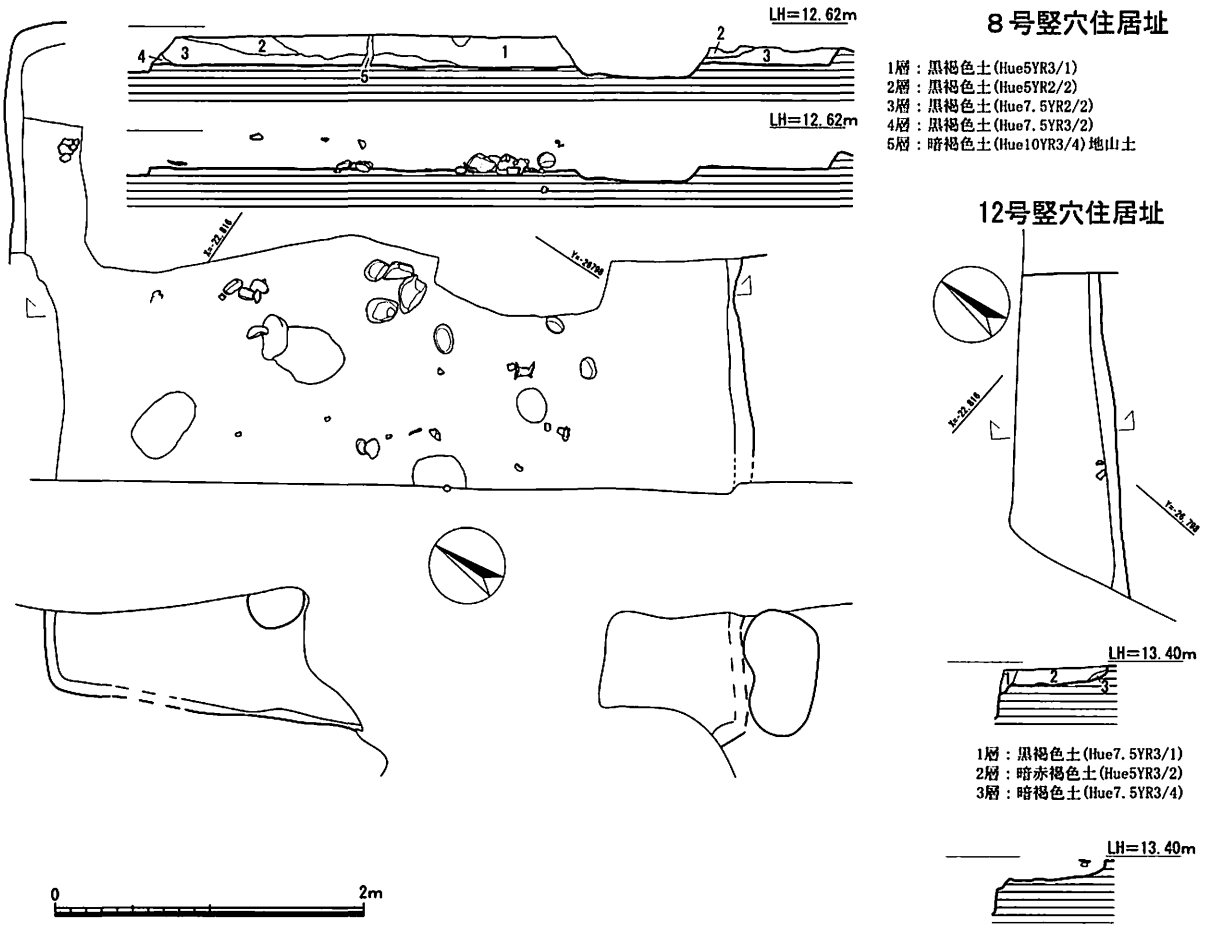
＜掘立柱建物＞

90・91号掘立柱建物（図35）

Ⅰ区南よりの調査区壁際で検出した2間×2間の総柱と推定される掘立柱建物址である。90号と91号柱穴は、直径70～80cmあまり、深さは60～80cmほどで、直径20cm弱の柱痕跡と思われる土壌を確認した。西側は削平のためか柱穴が小さいものもあり、攪乱および調査区外に出るためすべての柱穴が検出されているわけではない。柱穴の覆土からは8世紀代と思われる須恵器類（図38：26～28）が出土している。

＜水　田＞（図33）

Ⅱb・Ⅱc区で検出した2×1.5mほどの小区画の水田である（水田17）。この部分は地形が南東側の谷へ傾斜する変換点（斜面の頂点）にあたる。水田基盤土は黒褐色土層（図36：東壁4層 Hue7.5YR 1/3）であり、すべて粗砂層（同3層：オリーブ粗砂 Hue 5Y 1/3）に覆われており、検出が容易であった。建物基礎のため破壊されており、残存する部分だけで19枚を確認している。畔の幅は頂部が細く尖っており（図36東壁土層参照）、基部で20～30cm程度である。水口や排水口はなく、斜面の傾斜を利用して畔越しに水を取排水する方式と考えられる。遺物としては土師器の高台付碗（図38：31）がある。



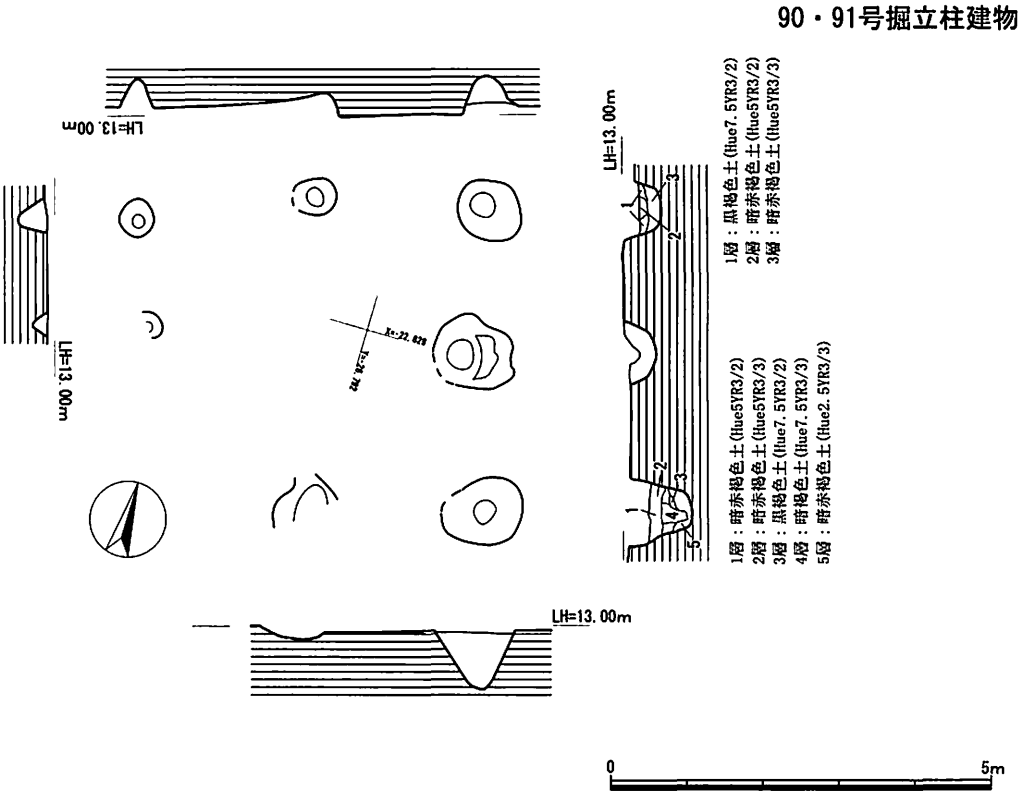


図35　8・12号竪穴住居址・90・91号掘立柱建物実測図（1/50・1/100）

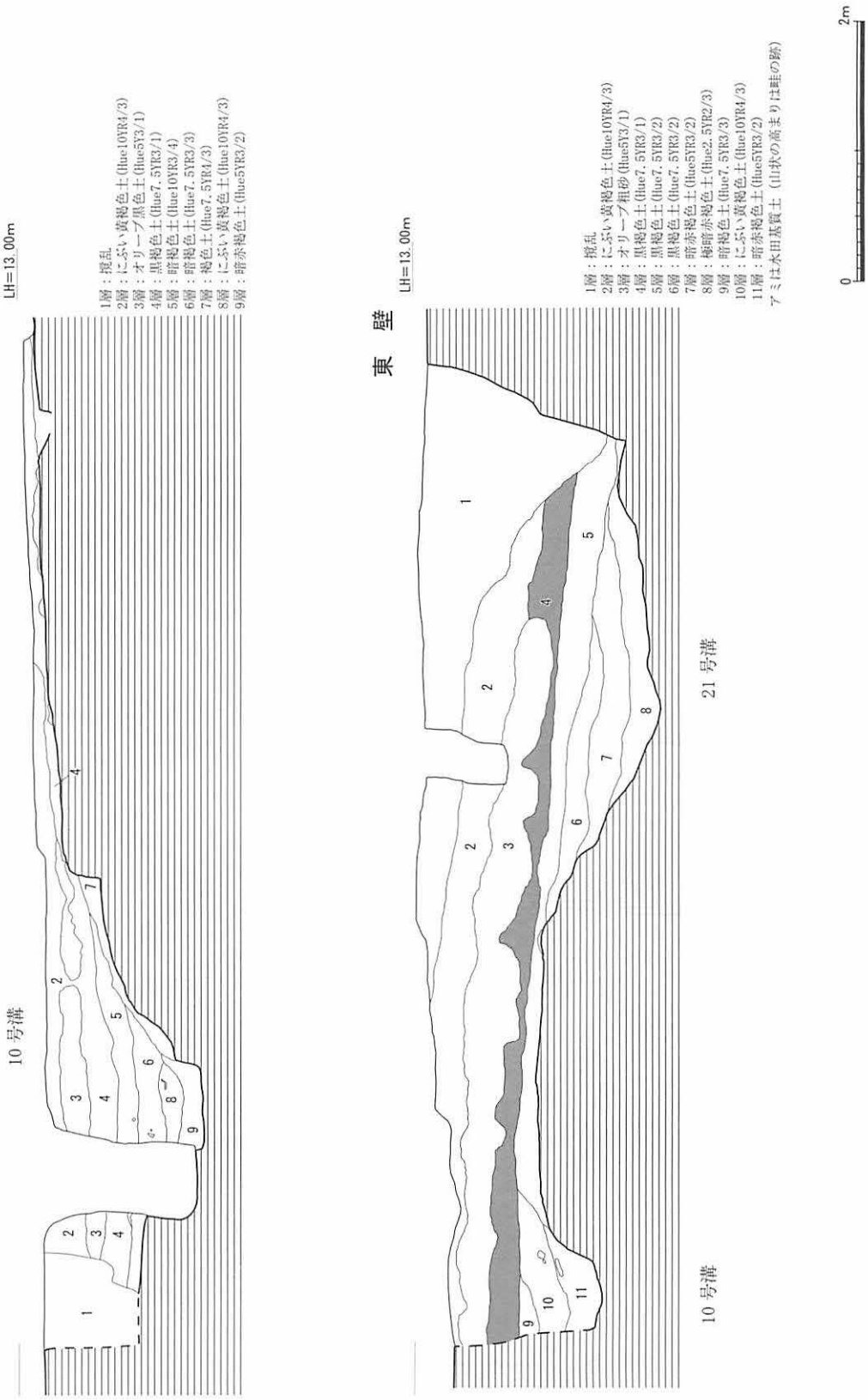


図36　10・21号溝・調査区東壁土層断面図（1/50）

＜溝＞

15号溝（図33）

Ⅱｃ区の水田で検出した幅0.8m、深さ0.5mの溝であり、水田17へ水を供給する集水路である。堰の痕跡などは検出していないため、どのようにして水田へ水を供給していたかは不明である。ただし、水の流れは北東方向から南西方向である。西側のⅡａ・Ⅱｂ区では確認できなかった。10号溝との関連は不明である。須恵器壺片（図38：30）が出土している。

10号溝（図36）

Ⅱａ区およびⅡｂ区の西半分で検出した幅2.5m、深さ1.0mの断面逆台形の溝である。底の部分は二段掘り状になっている。東に隣接する医学部図書館棟の発掘調査（0101調査地点）で確認した15号溝につながる可能性が高い。溝内部からは８世紀後半～９世紀後半を中心とする時期の土師器や須恵器の類が多量に出土した。

21号溝（図36）

Ⅱｂ区およびⅡｃ区の水田遺構の下で検出した幅3.5m、0.6mの緩い逆Ｖ字形の溝である。谷部を流れる自然流路の一つと考えられる。図36のⅡ区東壁土層図に示したように、21号溝が５層で覆われているのに対して、10号溝はこの５層を切っていることから、10号溝の方が新しいことがわかる。出土遺物も８世紀後半を中心とした土師器・須恵器の類（図38：32～36）であり、この層位的な検出状況と一致する。

（４）出土遺物

１号竪穴住居址出土遺物（図37：１）

図37：１は土師器の高坏の坏部の破片である。屈曲部がやや肥厚する。

２号竪穴住居址出土遺物（図37：２～11）

図37：２・３は須恵器の蓋である。２は口縁部にかえしをもち、頂部には鈕がつくタイプである。3は無鈕でかえしもない。図37：４・５は土師器の高台付の碗である。図37：６は土師器の高坏片である。図37：７・８・11は土師器の甕である。図37：10は甑であり、両側の把手部が残っている。図37：９と図37：10は同一個体である可能性もある。

３号竪穴住居址出土遺物（図37：12）

図37：12は頂部にヘラ記号をもつ須恵器のかえしのある蓋の破片である。

６号竪穴住居址出土遺物（図38：16～18）

図38：16は流紋岩製（天草砥石）の砥石である。断面が三角形状になるほどまで使用されている。図38：17は土師器の甕型土器の口縁部片である。図38：18は土師器坏の底部の小片であるが、外面に「水？」銘のヘラによる刻書がある。

12号竪穴住居址出土遺物（図37：14～15）

図37：14は土師器の高台付碗の底部片である。図37：15は土師器の甑の底部の破片である。0.6cmほどの円形の孔が９個ほど確認できる。

８号竪穴住居址出土遺物（図38：19～24）

図38：19は須恵器の鈕をもつ蓋である。図38：20は土師器の甕形土器の口縁部の破片である。図38：21～23は同タイプの土師器の高坏である。図38：24は鉄製品である。刃物ではないことは断面が台形である点からわかるが、具体的な種類・機能については不明である。

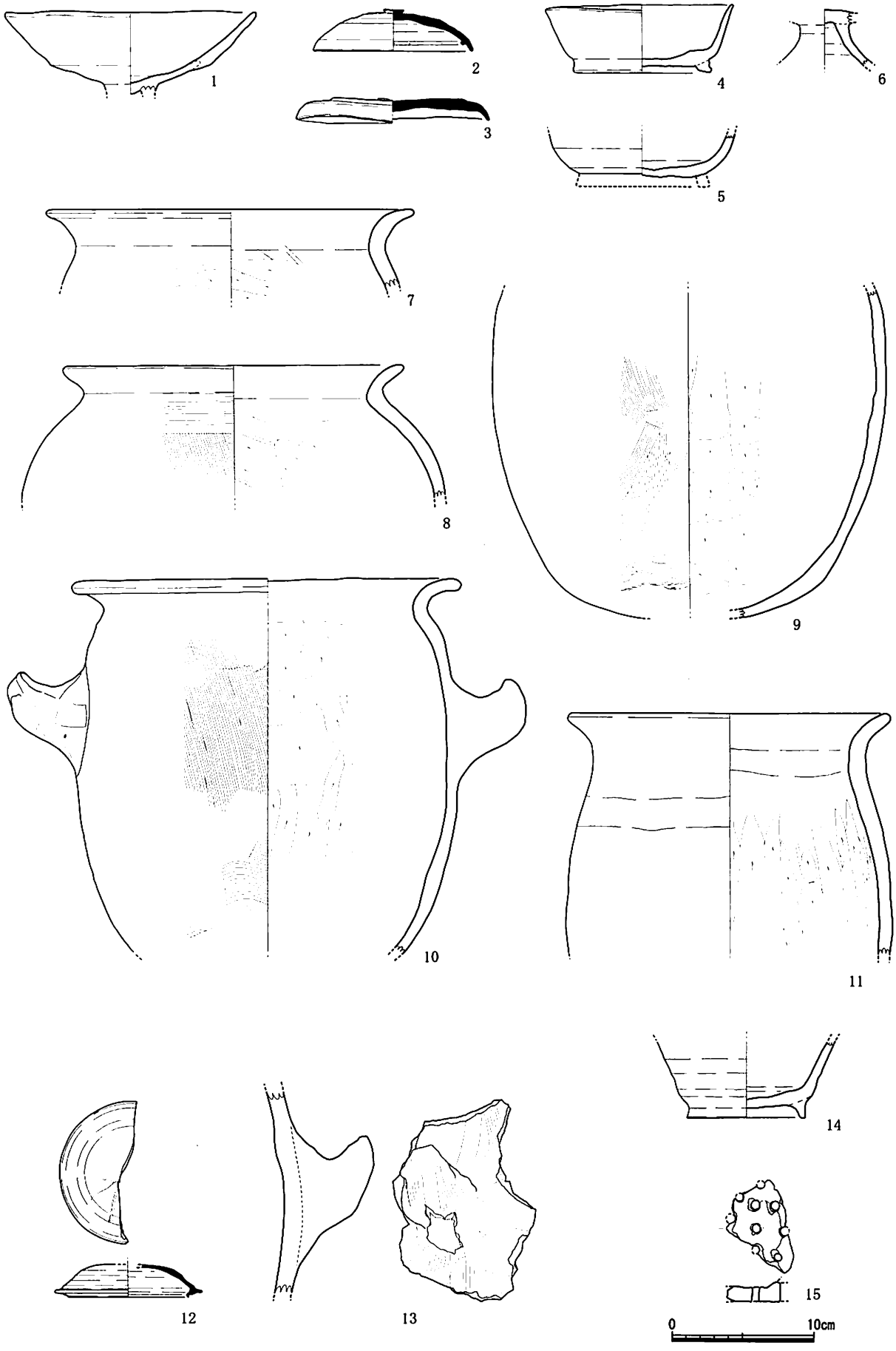


図37　0707調査地点出土遺物実測図１（１/４）

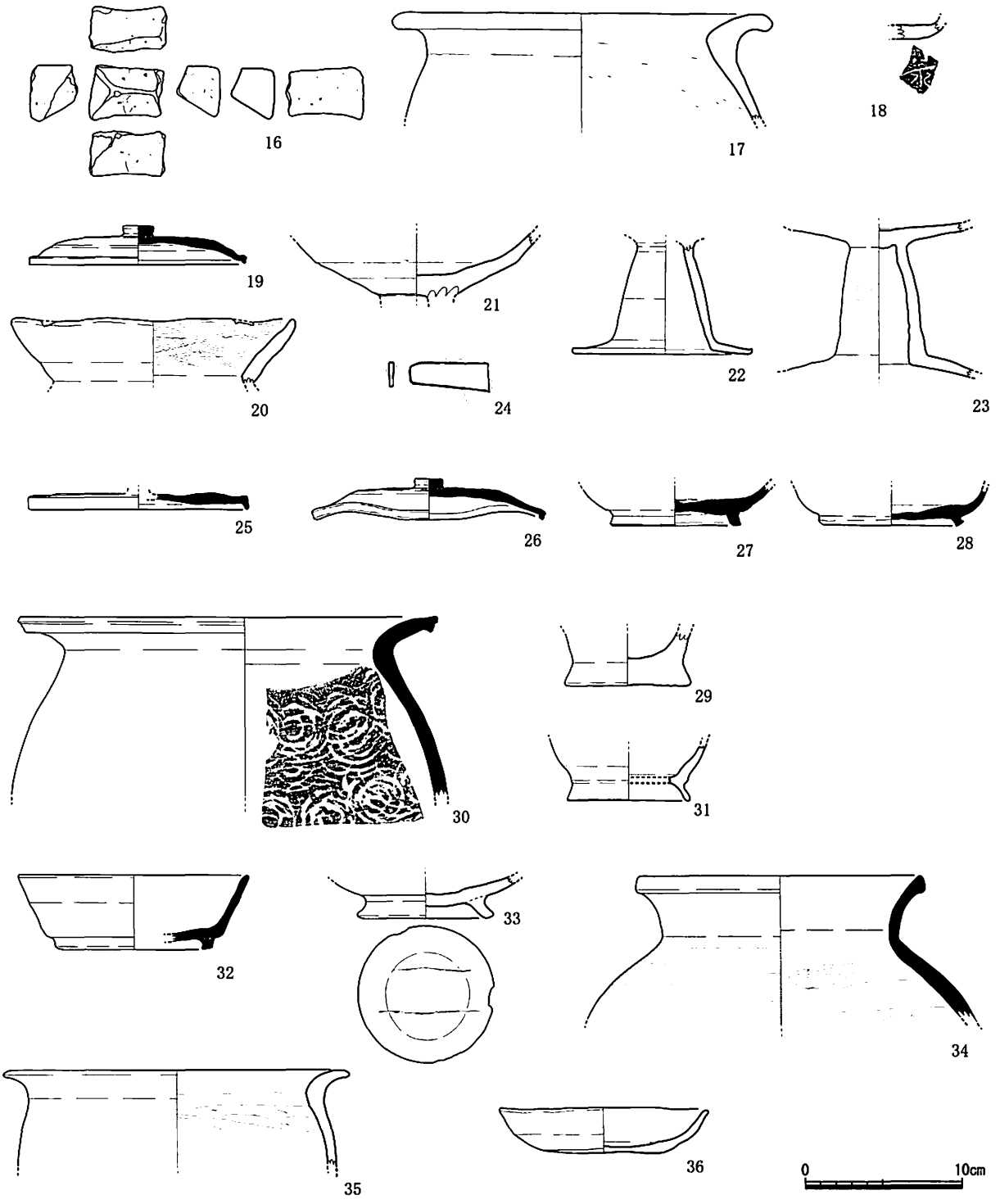


図38　0707調査地点出土遺物実測図２（1/4）

５号土坑出土遺物（図37：13）

図37：13は土師器の甑の把手の破片である。

90・91号掘立柱建物出土遺物（図38：26～28）

図38：26は須恵器の鈕付の蓋であるが、焼き歪みが激しい。図38：27・28は須恵器の高台付碗の底部片である。26は90号ピットから、27・28は91号ピットから出土した。

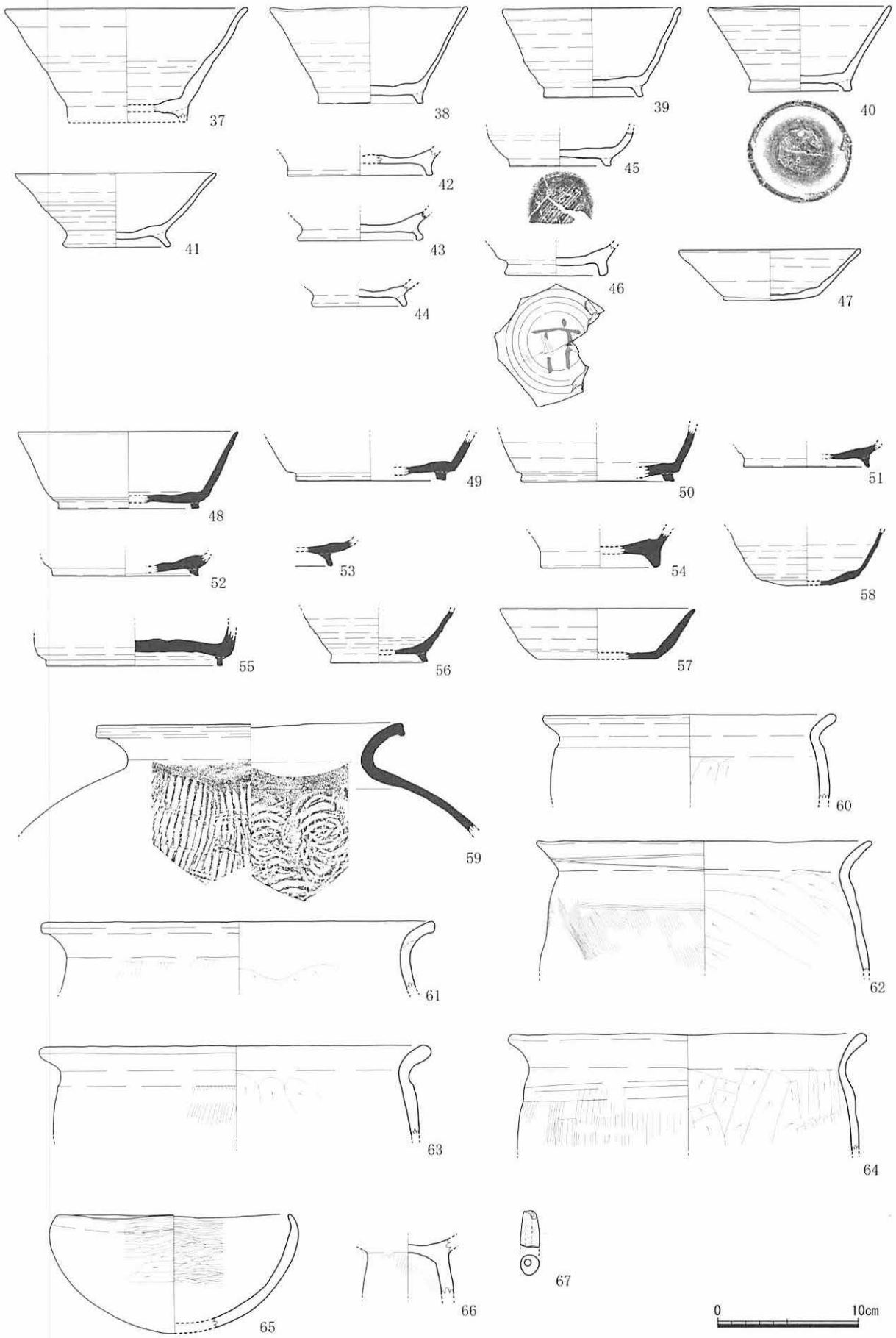


図39　0707調査地点出土遺物実測図３（1/4）

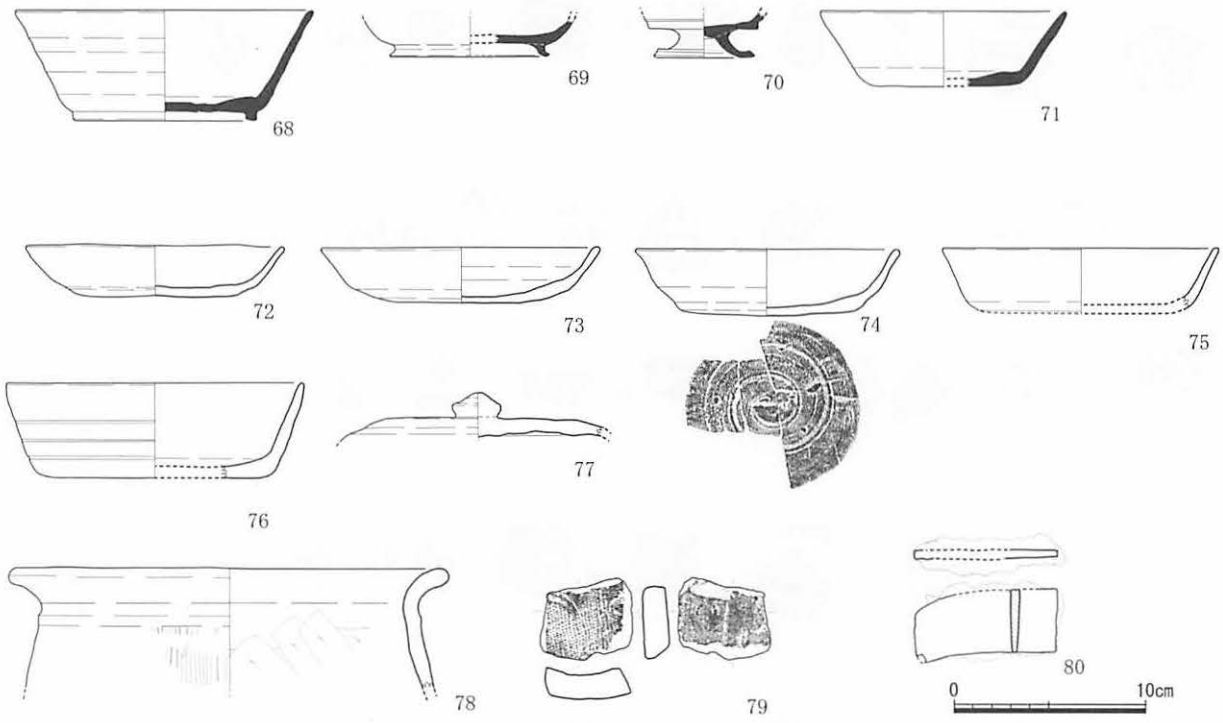


図40　0707調査地点出土遺物実測図４（１/４）

水田址出土遺物（図38：31）

図37：31は高台付の土師器の碗の底部片である。

15号溝（図38：30）

図38：30は須恵器壺の口縁部片である。胴部から口縁部へかけてかなり湾曲している。遺構の時期を直接示すものではないと思われる。

10号溝（図39：37～67）

図39：37～46は土師器の高台付碗である。37～44は器高や口径は異なるが、口縁部がラッパ状に開く同じタイプのものである。45の外面には板目痕、46には判読できないが、墨書がある。図39：47は土師器の坏である。図39：48～56は須恵器の高台坏碗である。図39：57・58は底部形状は異なるが、いずれも須恵器の坏である。図39：59は須恵器壺の口縁部片、図39：60～64は土師器の甕形土器の口縁部片である。図39：65は内外面を細かく磨いた碗であり内面は黒い。図39：66は土師器の高坏の破片である。図39：67は土製の管状錘の破片である。

21号溝（図38：32～36）

図38：32は須恵器の高台坏碗である。図38：33は土師器の高台坏碗の底部片であるが、外底に併行する２本の細い沈線が「二」状に描かれている。図38：34は須恵器壺の口縁部片、図35は土師器甕の口縁部片、図38：36は土師器坏である。

それ以外の古代遺物（図38：25・29，図40：68～80）

図38：25は須恵器の鈕をもつ坏蓋の破片である。24号ピットから出土した。図38：29は弥生土器の甕もしくは壺形土器の底部と思われる。やや丸底になっており、後期前半の所産であろうか。37号ピットから出土した。図40：68～80は包含層および攪乱から出土した遺物である。図40：68・69は須恵器の高台坏碗であり、図40：70は高坏、図40：71は坏である。図40：72～76は土師器の坏、図40：

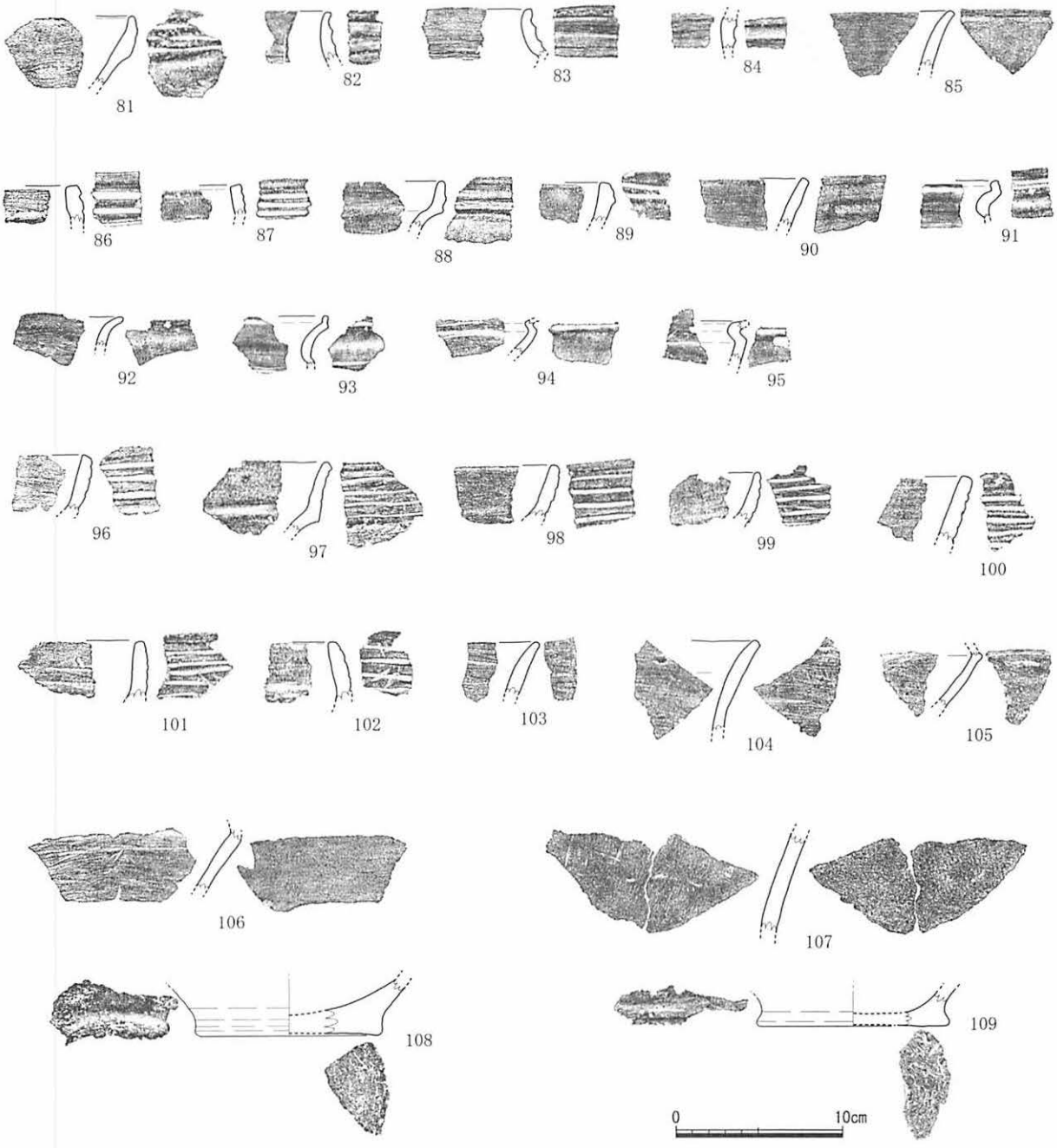


図41　0707調査地点出土遺物実測図５（1/4）

77は鈕をもつ坏蓋、図40：78は甕形土器の破片である。図40：79は布目をもつ平瓦の破片である。図40：80の鉄製品は一見鎌状を呈するが、刃部に相当する部分が鋭利でなく、種類は不明である。

縄文土器（図41：81～109）

各種遺構や包含層、攪乱から縄文土器片がパンコンテナ1箱ほど出土した。その中から抜粋して紹介する。図41：81は肥厚する口縁部外面に沈線と縄文をもつ深鉢形土器で、太郎迫式の範疇に入るものと思われる。図41：82～84は口縁部外面に太い沈線を横走させており、鳥井原式の深鉢形土器と思われる。図41：85も同型式の屈曲しないタイプの口縁部である可能性が高い。図41：86～95は御領式～天城式段階の土器片と思われる。86～90が深鉢形土器、91～95が浅鉢形土器もしくは鉢形土器である。図41：96～105は古閑式段階でも天城式段階の影響を残すものを含んでいる。96～102は口縁部が

表10　0707調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
37	1	土師器	高坏	口径 17.6 底径 器高	坏部1/4	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 10YR 6/4	1号竪穴住居址 P-1・包含層	
	2	須恵器	蓋	口径 11.5 底径 器高 3	4/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 8/1 外：Hue 5Y 8/1	2号竪穴住居址 P-1・同覆土	
	3	須恵器	蓋	口径 13.9 底径 器高 1.8	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 6/2 外：Hue 2.5GY 5/1	2号竪穴住居址 P-11	上面にヘラ切り痕あり，外面自然釉あり
	4	土師器	碗	口径 13.4 底径 9.8 器高 4.9	ほぼ完形	内：ナデ，回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 6/8 外：Hue 5YR 7/8	2号竪穴住居址 P-12	
	5	土師器	碗	口径 底径 10.2 器高	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 7/8 外：Hue 7.5YR 7/4	2号竪穴住居址 P-6	
	6	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 7/6 (坏部) Hue 7.5YR 7/4 (脚部) 外：Hue 7.5YR 7/4	2号竪穴住居址覆土	
	7	土師器	甕	口径 26 底径 器高	口縁部1/4	内：ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR 7/4 外：Hue 7.5YR 7/4	2号竪穴住居址床面直上・同 P-2・P-3	
	8	土師器	壺	口径 24 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 7.5YR 7/6	2号竪穴住居址覆土・攪乱西側北部	
	9	土師器	甕・甑	最大径28	胴部1／3	内：削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR 7/4 外：Hue 5YR 7/6	2号竪穴住居址P-8・P-9・P-10・同覆土	外面にススあり
	10	土師器	甑	口径 27.6 底径 器高	1/2	内：ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR 8/4 外：Hue 7.5YR 7/4	2号竪穴住居址床面直上・2号竪穴住居址 P-8・P-9・P-10	外面ススあり
	11	土師器	甕	口径 23 底径 器高	1/6	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7/3 外：Hue 7.5YR 7/4	2号竪穴住居址 P-4	外面にスス・吹きこぼれあり
	12	須恵器	蓋	口径 10.4 底径 器高	約1/2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10BG 3/1 外：Hue 5BG 4/1	3号竪穴住居址 P-1	ヘラ記号？あり
	13	土師器	甑	口径 底径 器高	取手のみ	内：削り 外：ナデ，ハケ目，指ナデ，指オサエ	内：Hue 2.5YR 6/8 外：Hue 2.5YR 6/6	5号土坑 P-2	外面にススあり
	14	土師器	碗	口径 底径 8.4 器高	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 5YR 6/6	12号竪穴住居址	
	15	土師器	甑	口径 底径 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6/4 外：Hue 7.5YR 6/4	12号竪穴住居址・水田砂層	
38	16	石器	砥石	長さ 4.7 幅 3.6 厚さ 2.7				6号竪穴住居址覆土	重量70.5g
	17	土師器	甕	口径 24.6 底径 器高	1/8	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR 8/3 外：Hue 7.5YR 8/4	6号竪穴住居址 P-1・P-3・P-4・M-6・P-7・P-9・同覆土	
	18	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 5YR 7/6	6号竪穴住居址覆土	刻書「水」
	19	須恵器	蓋	口径 13.8 底径 器高 2.5	1/4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 6/2 外：Hue 7.5Y 6/1	8号竪穴住居址 P-3	
	20	土師器	甕	口径 18 底径 器高	口縁部約1/4	内：ハケ目 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	8号竪穴住居址床直上・同覆土・62号遺構	外面に吹きこぼれあり
	21	土師器	高坏	口径 底径 器高	坏部約1/2	内：ナデ，ハケ目 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 7/3	8号竪穴住居址 P-4	
	22	土師器	高坏	口径 底径 11.6 器高	脚部4/5	内：回転ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 8/6 外：Hue 7.5YR 7/6	8号竪穴住居址 P-10	焼きむらあり
	23	土師器	高坏	口径 底径 器高	3/5	内：回転ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7/6 外：Hue 10YR 7/6	8号竪穴住居址 P-11	外面に指圧痕あり，坏内面にスス？あり
	24	鉄器	不明	長さ 5.3 幅 3.1 厚さ 0.7				8号竪穴住居址	重量16.6g
	25	須恵器	蓋	口径 14 底径 器高	約1/4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 6/1 外：Hue N 6/1	24号ピット	
	26	須恵器	蓋	口径 15 底径 器高 2.6	約1/4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10Y 6/1 外：Hue 5Y 6/1	90号ピット　P1	
	27	須恵器	碗	口径 底径 8.4 器高	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 5/1 外：Hue 5Y 7/1	91号ピット	
	28	須恵器	碗	口径 底径 9.3 器高	底部2/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 10Y 5/1 外：Hue 10Y 6/1	91号ピット	外面に自然釉あり
	29	弥生土器？	甕	口径 底径 8.1 器高	底部約1/4	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6/4 外：Hue 7.5YR 6/4	37号ピット	
	30	須恵器	壺	口径 26.6 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，タタキ 外：回転ナデ，タタキ，削り	内：Hue 2.5Y 3/2 外：Hue 5Y 7/2	15号溝北側沈澱層	自然釉あり
	31	土師器	碗	口径 8 底径 器高	1/8	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 7/3	17号水田被覆砂層・水田荒盤土（暗赤褐色土）	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
38	32	須恵器	碗	口径 14.6 底径 10 器高 4.8	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 8/3 外：Hue 10YR 8/3	21号溝 P-1	焼成悪し
	33	土師器	碗	口径 底径 8.8 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR 7/6 外：Hue 2.5YR 6/6	21号溝 P-2	ヘラ記号？あり
	34	須恵器	壺	口径 18.6 底径 器高	1/8	内：回転ナデ，タタキ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 2.5Y 8/2 外：Hue 10YR 8/3	21号溝	
	35	土師器	甕	口径 22 底径 器高	1/8	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR 8/4 外：Hue 7.5YR 8/3	21号溝	
	36	土師器	坏	口径 13.6 底径 7.1 器高 2.9	4/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8/3 外：Hue 10YR 8/1	21号溝明赤褐色土	焼きむらあり
39	37	土師器	碗	口径 17.2 底径 器高	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 5/6 外：Hue 2.5YR 5/6	10号溝下層	内外面赤色化粧土，外面にスス？あり
	38	土師器	碗	口径 14.2 底径 7.6 器高 6.9	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 2.5YR 6/6	10号溝 P-8・同下層	内外面赤色化粧土
	39	土師器	碗	口径 12.8 底径 7.2 器高 6.4	約1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 5/6 外：Hue 5YR 5/6	10号溝下層・水田茶褐色土	内外面赤色化粧土
	40	土師器	碗	口径 13.2 底径 7.4 器高 6.1	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	10号溝下層	底部圧痕あり
	41	土師器	碗	口径 14.2 底径 7.6 器高 5.3	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 6/4 外：Hue 7.5YR 6/4	10号溝 P-9	
	42	土師器	碗	口径 底径 10.4 器高	底部1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	10号溝	
	43	土師器	碗	口径 底径 9 器高	底部約1/2	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 2.5YR 5/6	10号溝	内面にススあり
	44	土師器	碗	口径 底径 6.8 器高	底部1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	10号溝上層	赤色化粧土
	45	土師器	碗	口径 底径 7 器高	底部2/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 7/6 外：Hue 5YR 6/6	10号溝上層	板目圧痕
	46	土師器	碗	口径 底径 7.4 器高	底部3/4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 7.5YR 7/4	10号溝上層	墨書あり
	47	土師器	坏	口径 13 底径 6.8 器高 3.6	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 6/6 外：Hue 5YR 6/6	10号溝上層	内外面赤色化粧土
	48	須恵器	碗	口径 15.6 底径 10 器高 5.5	約1/8	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5Y 5/1 外：Hue 7.5Y 6/1	10号溝上層	
	49	須恵器	碗	口径 底径 10.6 器高	1/6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 7/1 外：Hue 7.5Y 7/1	10号溝下層	
	50	須恵器	碗	口径 底径 10.8 器高	底部1/8	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y 7/1 外：Hue 5Y 7/1	10号溝上層	
	51	須恵器	碗	口径 底径 8 器高	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 7/1 外：Hue 5Y 7/1	10号溝上層	
	52	須恵器	碗	口径 底径 10.4 器高	底部約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 7/2 外：Hue 2.5Y 7/2	10号溝上層	
	53	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 6/1 外：Hue 7.5Y 6/1	10号溝上層	
	54	須恵器	碗	口径 底径 8.6 器高	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 7/1 外：Hue 7.5Y 7/1	10号溝上層	
	55	須恵器	碗	口径 底径 12.6 器高	底部1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 5GY 6/1 外：Hue 10GY 5/1	10号溝上層	
	56	須恵器	碗	口径 底径 7 器高	底部1/4	内：ナデ，回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5Y 7/1 外：Hue 7.5Y 7/1	10号溝上層	
	57	須恵器	坏	口径 13 底径 8.6 器高 3.6	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 6/1 外：Hue 7.5Y 6/1	10号溝上層	
	58	須恵器	坏	口径 底径 7.4 器高	底部3/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y 7/1 外：Hue 5Y 7/1	10号溝上層	
	59	須恵器	壺	口径 22 底径 器高	口縁部・胴部1/8	内：回転ナデ，タタキ 外：回転ナデ，タタキ，削り	内：Hue 2.5YR 4/3 外：Hue 5PB 6/1	10号溝 P-2	外面口縁部に自然釉あり
	60	土師器	甕	口径 21 底径 器高	口縁部・胴部1/8	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 8/4 外：Hue 10YR 7/3	10号溝下層	外面にススあり
	61	土師器	甕	口径 28 底径 器高	口縁部のみ1/8	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8/4 外：Hue 10YR 8/4	10号溝上層	外面に吹きこぼれ痕あり
	62	土師器	甕	口径 24 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR 7/8 外：Hue 10YR 8/4	10号溝上層	
	63	土師器	甕	口径 27.8 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 7/4	10号溝下層	
	64	土師器	甕	口径 25.6 底径 器高	口縁部・胴部1/8	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7/6 外：Hue 10YR 7/4	10号溝 P-1・同下層	内外面にコゲ・吹きこぼれあり

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
39	65	土師器	坏	口径 16.4 底径 器高 8.5	2/3	内：磨き 外：磨き	内：Hue N 2/0 外：Hue 10YR 7/2	10号溝 P-7・同下層	内黒
	66	土師器	高　坏	口径 底径 器高	脚部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 5/6 外：Hue 10YR 6/4	10号溝上層	脚部内面にハケ目あり
	67	土製品	錘	長さ 幅 1.3 厚さ 1.4	約1/2	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR 6/4	10号溝上層	
40	68	須恵器	碗	口径 15.5 底径 9.6 器高 5.9	約1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5GY 6/1 外：Hue 2.5GY 6/1	17号水田上部	
	69	須恵器	碗	口径 底径 8.2 器高	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10Y 6/1 外：Hue 10G 4/1	包含層・撹乱	外面に自然釉あり
	70	須恵器	高　坏	口径 底径 5.4 器高	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5GY 6/1 外：Hue 5GY 5/1	撹　乱	
	71	須恵器	坏	口径 13 底径 8 器高 4	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6/2 外：Hue 2.5Y 6/2	包含層（明赤褐色土）	
	72	土師器	坏	口径 13.4 底径 8.4 器高 2.7	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 7/4	包含層Ⅱc区明赤褐色土	
	73	土師器	坏	口径 14.6 底径 9 器高 2.9	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 7/6 外：Hue 7.5YR 7/6	包含層（水田基盤土）暗茶褐色	
	74	土師器	坏	口径 14 底径 9.2 器高 3.5	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 7/8 外：Hue 5YR 7/8	包含層Ⅱc区明赤褐色土	
	75	土師器	坏	口径 14.6 底径 器高	口縁部1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR 7/8 外：Hue 5YR 7/8	撹　乱	
	76	土師器	坏	口径 15.4 底径 10.5 器高 5	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 7.5YR 6/6	包含層・撹乱	
	77	土師器	蓋	口径 底径 器高	約2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 7/6 外：Hue 10YR 7/4	撹　乱	
	78	土師器	甕	口径 22.8 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6/6 外：Hue 10YR 7/4	包含層Ⅱb区暗赤褐色土	外面，内側口縁部ススあり
	79	土師器	平　瓦	長さ 4.9 幅 4.2 厚さ 1.65	破　片	内：布目 外：ナデ	内：Hue 10YR 7/3 外：Hue 7.5YR 6/4	包含層Ⅱb区暗赤褐色土	布目
	80	鉄　器	不　明	長さ 8.05 幅 4.3 厚さ 2.2				17号水田上部	重量68.0g
41	81	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 10YR 5/3	10号溝上層	
	82	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 8/4	撹　乱	
	83	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7/6 外：Hue 10YR 7/6	包含層・撹乱	
	84	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 6/6 外：Hue 10YR 6/4	5号竪穴住居址覆土	
	85	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 8/2 外：Hue 10YR 8/2	撹　乱	
	86	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7/4 外：Hue 10YR 6/6	包含層Ⅱc区明赤褐色土	
	87	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6/4 外：Hue 7.5YR 6/4	10号溝（上層）Ⅱb区	
	88	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6/3 外：Hue 2.5Y 5/2	90号ピット	
	89	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 5/2 外：Hue 10YR 5/2	17号水田被覆砂層	
	90	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 3/1 外：Hue 2.5Y 3/1	包含層	
	91	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 5Y 2/2 外：Hue 5Y 4/2	包含層Ⅱc区暗茶褐色（水田基盤土）	
	92	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6/2 外：Hue 2.5Y 6/3	91号ピット	
	93	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 2/1 外：Hue 2.5Y 4/3	包含層	
	94	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 4/1 外：Hue 2.5Y 2/1	91号ピット	
	95	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 2/1 外：Hue 2.5Y 4/1	10号溝上層	
	96	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 6/3 外：Hue 2.5Y 5/2	包含層・撹乱	
	97	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 10YR 5/3	撹　乱	
	98	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 6/4 外：Hue 10YR 7/3	撹　乱	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
41	99	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 8/3 外：Hue 10YR 8/3	攪乱	
	100	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 5/3 外：Hue 10YR 4/2	10号溝上層	
	101	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6/4 外：Hue 2.5Y 5/2	包含層	
	102	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 7/3 外：Hue 10YR 6/2	10号溝上層	
	103	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5YR 4/4 外：Hue 7.5YR 4/2	3号竪穴住居址覆土	
	104	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6/3 外：Hue 2.5Y 3/2	5号竪穴住居址覆土	
	105	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 5/2 外：Hue 10YR 5/3	8号竪穴住居址床直上	
	106	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6/2 外：Hue 2.5Y 4/1	57号ピット	
	107	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7/6 外：Hue 10YR 6/4	93号ピット	
	108	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 11.5 器高	底部約1/4	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 4/1 外：Hue 10YR 8/3	81号ピット	
	109	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 11.6 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 6/3 外：Hue 10YR 6/3	10号溝下層	

屈曲するタイプ、103・104は直口外反タイプである。105は鉢形土器の屈曲部であろう。図41：106・107は御領式～古閑式段階の深鉢形土器の胴部、図41：108・109は同時期の深鉢形土器の底部の破片である。

以上のように縄文時代の後期後半の土器を中心とした土器が出土している。

（5）まとめ

本地点は本庄遺跡の中でも白川に近い北端部に位置する地点である。この地域は削平が著しいため遺構は地表下50cm ほどで現れる。隣接する医学部図書棟の発掘調査でも北側の遺構はかろうじて残存する状況であった。しかし、本荘北地区では、既往の調査によって明らかにされているように、弥生時代前期の環濠や古墳時代前期の溝（濠）群など、白川（北川）へ近づくにつれ検出される遺構の時期が古くなり、他の時代も含めた遺構自体の密度が濃くなる。今回は当該期の遺構は検出できなかったが、台地上には古代の住居をはじめとする遺構群が、谷部には古代末と推定される水田や溝などが良好に残っていることを明らかにすることができた。

本地点で確認できる最古の時期は古墳時代であるが、7世紀～9世紀にかけての遺構群が目立って検出された。洪水砂の時期は不明であるが、隣接する図書講義棟（0101調査地点）では同じく谷への落ち際で、砂でおおわれた畑址が検出されている。0101調査地点の成果によると、おそらくこれらは台地上まで連続していたものと思われる。この一帯は飽田郡への国衙の移転に伴い、耕作地へと転化したことが知られており、9世紀代後半以降のものと推定される。今回発見された水田址は、1枚が3～4 m^2の区画で、しかも畔越えの水調整という構造であり、古代末としては一見原始的にみえるが、川へ落ちていく斜面をうまく利用して、最小限の労力で最大の水田面積を作り出すというきわめて合理的なものである。残念ながら台地上も含め、その広がりや台地上での水田の構造が不明であるのでこれが当時の水田を代表するものとは言えないが、可耕地を限りなく有効利用した優れた作田方式であったと評価できよう。

残念なのはこれらが旧建物によって一部破壊されていた点である。ただし、これらの被害を免れた遺構はそのものも本遺跡の性格や地域の歴史を語るうえで貴重であるし、その中にはそれらを雄弁に物語る多量の遺物群が遺されている。今後も攪乱の激しい構内遺跡ではあるが、わずかに残された遺構であっても、これらを丹念に紡いでいくことで遺跡全体の復元が可能と思われる。

4．東病棟新営工事に伴う発掘調査（0814調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

調査区は建設予定地の北東隅にあたり、周辺地域の調査（0104調査地点）において、弥生時代～古墳時代の溝や住居址などが検出されている。この0104調査地点の125号溝は弥生前期の環濠と思われる溝であり、溝の方向が南北方向をとることから、今回の調査区内においてもその延長部が発見されることが予想された。

2008年8月18日に実施した立会調査の結果、予想どおり溝の延長部が幅1.0mほど発見された。このため、熊本市文化財課に連絡し、急遽発掘調査に切り替え調査を行った。発掘調査は８月20日～22日の３日間実施した。これより南側は、旧病棟の基礎のため2.5～３mほど掘削されているとの情報であったが，溝の深さが1.5mほどあるため，残存している可能性があり，重機で攪乱層を除去して，遺構の検出に努めた。その結果、幅1.0mほどではあったが、溝の基底部が20cmほど残存していることが判明した。溝の方向性がおおまかであるが、確認できたのはおおきな収穫であった。遺物としては弥生時代前期の土器片数点が出土した。発掘調査面積は212m^{2}である。

b．調査の経過

2008年８月20日　人力による作業開始。２号溝を掘り進めながら、南方向への延長部を確認するために、旧建築部の基礎掘り部分の下を確認し、深さ20～30cmほどが削平を免れて残存していることを確認。

2008年８月21日　共同溝建設部全体に溝が残存している可能性があるため、南側部分から掘削を始めたが、地表下３mほどまで削平を受けており、遺構はなにも検出できなかった。同日作業終了間際に一段削平が50cmほど浅い部分があり、この部分において溝の続きを確認した。

2008年８月22日　溝底より弥生土器片を１点回収した。写真撮影・実測を行い、調査を終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己
事 務 担 当：中川木綿子
発掘作業員：江藤恵子・田中香苗・溜渕俊子・早田咲百合・福島　実・森川征子・森川　護
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・髙松あゆみ・長谷智子・増井弘子・山嵜早苗

（2）調査区の基本層序

基本層序は周辺が矢板によって囲まれており、確認できなかった。

（3）検出遺構

共同溝建設のための旧調査（0104調査地点）部と旧建物の基礎掘りとの間2.0m余りが調査対象と予想された。埋土および攪乱層を除去したところ、北端の共同溝連接部において地表下1mほどで遺構面が残存していることを確認。遺構として西端に近世～近代の溝（深さ30cm）ほどや古代と思わ

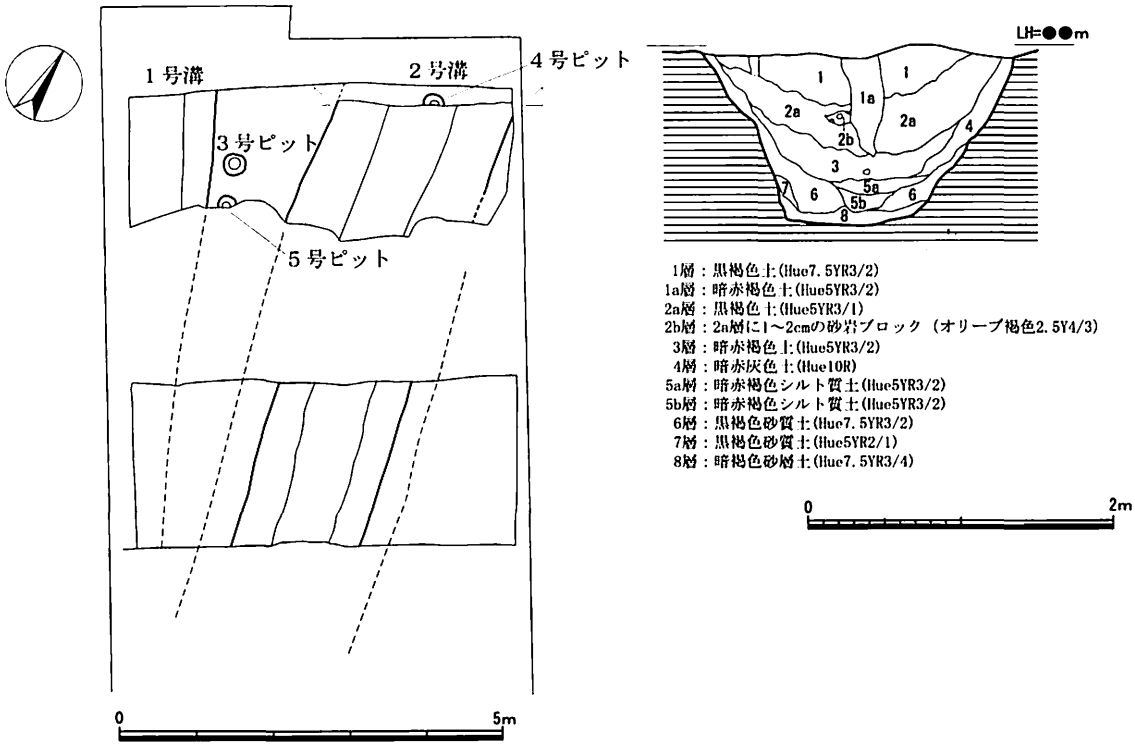


図42　0814調査地点遺構配置図・２号溝土層断面図（1/100・1/50）

れるピットなどを確認した。西側で弥生時代前期の環濠である２号溝を検出、より南側へ延びることを確認した。

＜溝＞

１号溝

調査区北側の西端で検出した、断面台形の近世～近代の溝で、幅1.0mほど確認している。ほとんどが調査区外へ延びるため、全形は不明である。検出したもっとも深い部分で深さは30cmほどで、溝底10cm部分に硬く土壌が固化した部分が認められ、この部分から砕片となった陶磁器類を回収した。年代的に19世紀後半以降のものと思われる。

２号溝

調査区北側の東端からほぼ南方向へ延びる、幅2.3m、深さ2.2mほどの溝である。わずかにカーヴを描きながら南方向へ延びる。長さは6.3mほどを確認できたが、その南側は旧建物の削平によってまったく残存していない。覆土は大きく８枚に分離できる。下部の３層（第６～８層）は掘削後まもなく埋まった土壌と推定され、第５層は溝が機能していたころの溝底の堆積物と思われる。土層の記載は以下のとおりである。

第１層　黒褐色土層（Hue7.5YR３/２）

第２ａ層　黒褐色土層（Hue５YR３/１）

第２ｂ層　２ａ層中に直径１～２cmの砂岩ブロック（Hue2.5Y４/３：オリーブ褐色）が入る

第３層　暗赤褐色土層（Hue５YR３/２）

第４層　暗赤灰色土層（Hue10R３/２）

第５ａ層　暗赤褐色シルト質土（Hue５YR３/２）

第５ｂ層　直径５mm前後の砂岩（砂）ブロックの層で分けられる

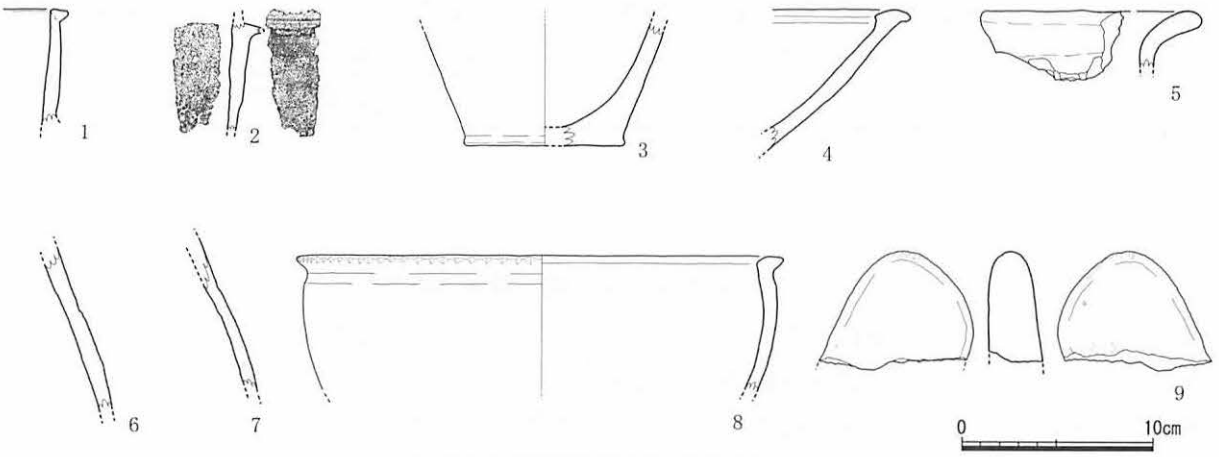


図43　0814調査地点出土遺物実測図（1/4）

第６層　　黒褐色砂質土層（Hue7.5YR３/２）
第７層　　黒褐色砂質土層（Hue５YR２/１）
第８層　　暗褐色砂質土層（Hue５YR３/４）（下部層の直径２cm の砂のブロックが混じる）
出土遺物は弥生前期の土器が少量出土した。

＜ピット＞

3・4・5号ピット

黒褐色土（Hue５YR２/２）の覆土をもつ直径20cm あまり、深さ50cm ほどの柱穴と思われる遺構である。出土遺物は古代の土師器・須恵器の小片である。

（4）出土遺物

２号溝出土および関連遺物（図43）

２号溝から出土した土器と周辺の攪乱から出土した弥生時代前期の土器および石器について述べる。

図43：１・２は甕形土器の口縁部および胴部の破片である。図３は同時期の甕形土器もしくは壺形土器の底部である。図43：４は高坏の口縁の破片である。図43：５～７は壺形土器の口縁部と胴部の破片である。図43：８は鉢形土器の口縁部片である。口唇部外面に刻目を施す。図43：９は安山岩の偏平な河原礫を利用した叩き石である。側面頂部に叩いた痕跡が認められる。

表11　0814調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量（cm）	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
43	1	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 6/4 外：Hue　7.5YR 6/6	２号溝	
	2	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7/4 外：Hue　10YR 6/3	攪　乱	口縁上面ススあり，圧痕あり
	3	弥生土器	甕形土器	口径 底径　8.5 器高	胴部・底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　5YR 7/6 外：Hue　10YR 8/4	２号溝	
	4	弥生土器	高　坏	口径 底径 器高	口縁部・胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue　7.5YR 7/6 外：Hue　5YR 6/6	２号溝最下層拡張部	
	5	弥生土器	壺形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6/6 外：Hue　10YR 6/4	２号溝	
	6	弥生土器	壺形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue　2.5Y 5/1 外：Hue　2.5Y 5/2	２号溝	
	7	弥生土器	壺形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue　2.5Y 5/1 外：Hue　2.5Y 5/2	２号溝	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
43	8	弥生土器	鉢形土器	口径 25.6 底径 器高	口縁部・胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 8/2 外：Hue 10YR 8/2	撹乱	
	9	石器	敲石	長さ 8.1 幅 6.2 厚さ 2.8				撹乱	重量184g. スス厚く付着

（5）まとめ

今回の調査においては、弥生時代前期板付Ⅰ式平行期の環濠の続きを確認した。この環濠はその一部（総延長10m未満）しか確認できていないが、北側15mほどでほぼ直線的に現白川河岸に達するものと思われる。よって、この部分は近世の白川改修によって破壊されたものと推定される。また、南側はやや西にカーヴしながら南へ延びており、その延長部は旧建物に破壊を受け、その軌跡は不明である。しかし、より南側にあたる東病棟本体部の発掘調査（0712調査地点）においてはその延長部は確認していないため、おそらくより西側へ振れて弧状に延びていたものと思われる。

また、今回の調査では、旧建物によって破壊されていたと思われた部分においても深い溝などの一部遺構が残存していることが判明した。今後は既存建物部分においても、これら遺構の残存の可能性についても考慮しながら慎重に工事を進めなければならない。

V　本荘中地区の調査

本荘団地中地区医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事に伴う発掘調査（0314調査地点）

（1）調査の目的と経過

ａ．調査地と調査経緯

本調査地点は，2003年度に開始されたPFI事業による発生医学研究センター建設の整備事業の一環として実施された基礎研究棟Ｂ棟と基礎研究棟Ｅ棟の解体工事に伴う発掘調査である。隣接地で実施した1998年度の医学部エイズ学研究センター建設に伴う図書館の解体工事の際は、基礎撤去後に現場において埋蔵文化財の有無を確認したが、基礎撤去に伴い、すでに削平されていた。このため今回は建物上物の撤去後、基礎部分において試掘を行い、埋蔵文化財の有無を確認することとした。12月23日、Ｂ棟解体時に試掘を実施した。この部分は地下室となっていたが、基礎掘削部の間に旧地表面が比較的良好に残存していることを確認することができた。このため基礎上部の撤去後に機械を入れて確認したところ、一部に遺構が残存していることが判明したため、すぐに発掘調査に切り替え、調査を開始した。

Ｅ棟においても、Ｂ棟での経験から、遺構が残存する可能性が高いため、施工業者と協議の上、基礎上部撤去後、３月５日に試掘を実施した。この結果、一部において遺構が検出できたため、発掘調査に切り替えた。Ｂ棟部分をⅠ区、Ｅ棟部分をⅡ区と呼称し、遺構番号は連続して付した。なお、Ⅰ区の調査面積は700m^2、Ⅱ区の調査面積は300m^{2}である。

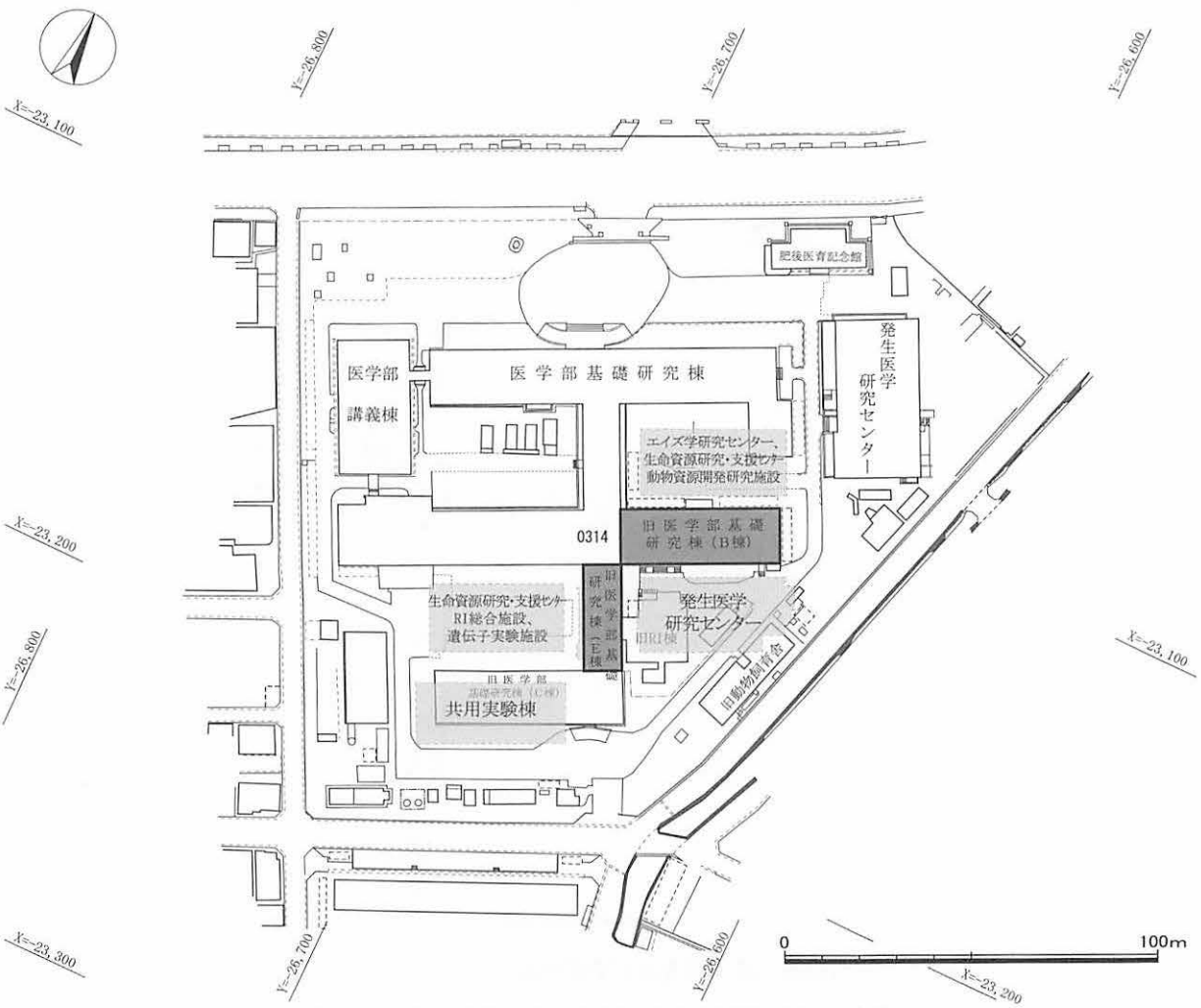


図44　本荘中地区における調査地点配置図（1/2000）

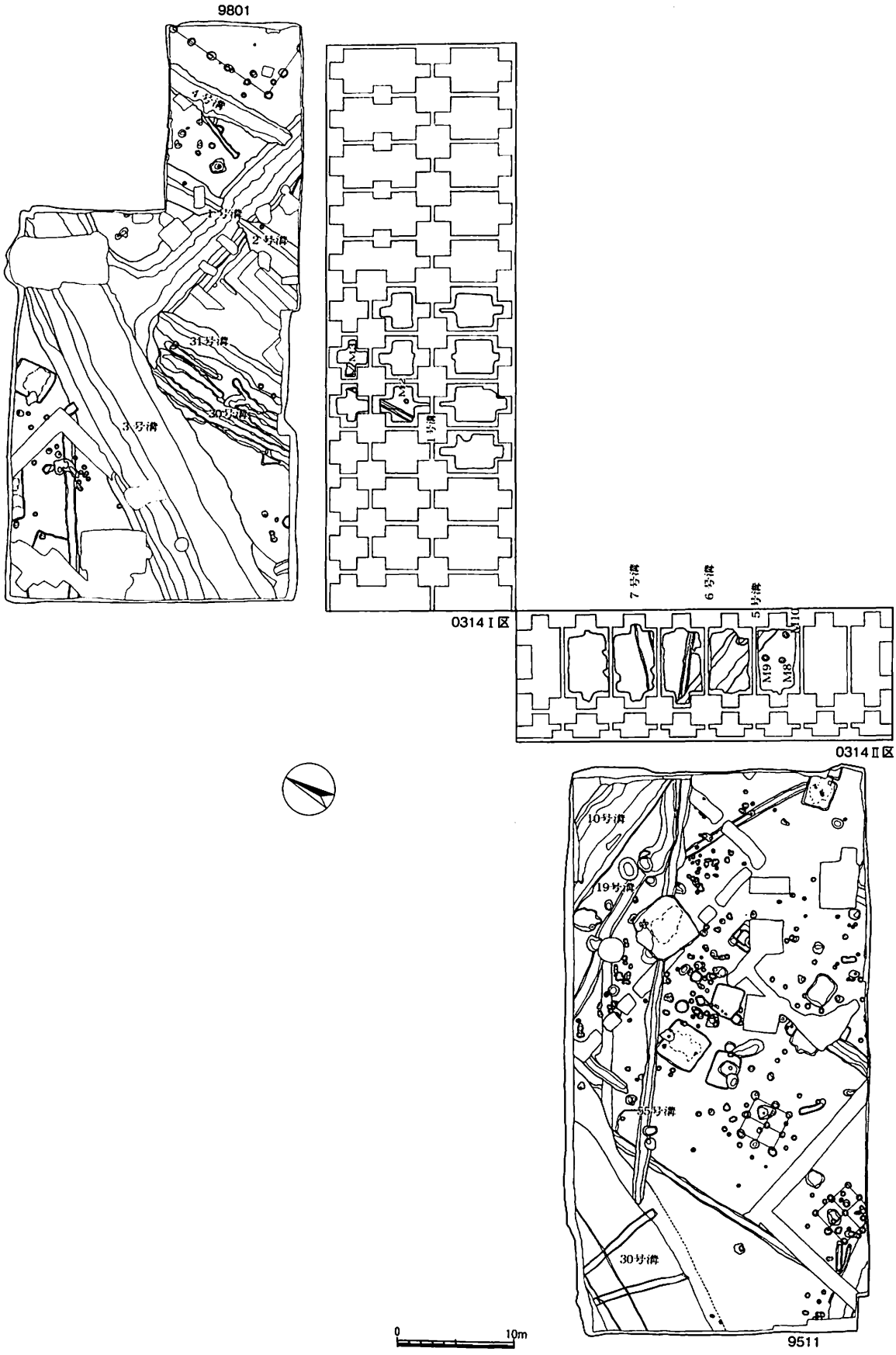


図45　0314調査地点遺構配置図（1/500）

b．調査の経過

2004年１月23日　Ⅰ区調査開始。重機による攪乱土除去。
2004年１月24日　Ⅰ区遺構検出。掘り下げ。
2004年１月27日　Ⅰ区全景写真撮影。遺構実測。調査終了。
2004年３月５日　Ⅱ区試掘後、調査開始。
2004年３月６日　Ⅱ区遺構検出。５号溝など遺構掘り下げ。
2004年３月９日　Ⅱ区全景写真撮影。遺構実測。調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己
事 務 担 当：坂元紀乃
発掘作業員：河野義勝・白石美智子・溜渕俊子・林田恵子・早田咲百合・番山明子・松井昭子・森川征子・森川　護
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・早田咲百合・林田恵子・増井弘子・山嵜早苗

（２）調査区の基本層序

Ⅰ区・Ⅱ区ともいずれの調査区も地表下２ｍほど削平されていたが、黄褐色の地山（遺構面）と称する土壌は残存していた。しかし、10cmほど掘り下げるとシルト質が強くなり、灰黄褐色～淡緑灰色のシルト・砂層へと移行する。このため堆積層の上部がかなり削平されていることが判明した。もっとも深い溝（５号溝）は、硬いシルト層を貫いており、その底は灰褐色粗砂層まで達していた。

（３）検出遺構

＜溝＞

５号溝

Ⅱ区中央部を東西に走る幅2.0m、深さ0.6mの溝である。断面形は台形状を呈する。16世紀後半の明染付碗や陶器擂鉢の破片が古代の土器片などとともに出土した。その方向と位置関係から9511調査地点の北西隅で検出された10号溝に繋がるものと思われる。溝の形状および出土遺物の種類・時期も一致している。

６号溝

Ⅱ区中央部を東北東から西南西方向に走る幅0.5m、深さ0.07mの小溝である．遺物は土師器・須恵器の小片があるのみであるが、その位置関係から、9511調査地点の55溝に連続することがわかる。断面形は浅いレンズ状を呈している。８世紀後半代の住居址に切られていることから、時期はそれより遡る可能性がある。

７号溝

Ⅱ区北側を北東から南西方向に走る断面形逆台形の幅1.0m、深さ0.15mの溝である。土師器小片が出土した。その位置関係から9511調査地点の19号溝に連続するものと思われる。9511地区での切り合い関係から、６号溝より新しいものと思われる。

１号溝

Ⅰ区中央部西よりの部分で検出した幅0.4m、深さ0.05mの断面形が浅いレンズ状をなす溝である。

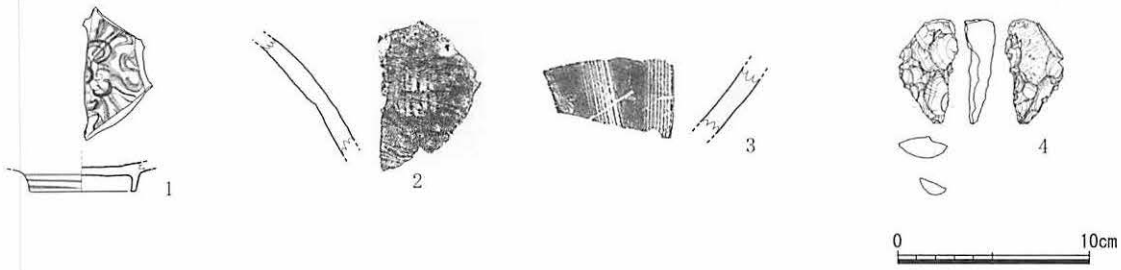


図46　0314調査地点出土遺物実測図（１/４）

表12　0314調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
46	1	磁　器	碗	口径 底径　5.7 器高	底部のみ１/２	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　青白色 外：Hue　青白色	Ⅱ区５号溝下層	呉須染付け
	2	陶　器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR ５/３ 外：Hue　7.5Y ５/３	Ⅱ区５号溝上層	外面施釉，タタキあり
	3	陶　器	擂　鉢	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y ６/２ 外：Hue　2.5Y ６/３	Ⅱ区５号溝下層	
	4	石　器	黒曜石	長さ　5.6 幅　3.1 厚さ　1.1	削　器			Ⅱ区５号溝下層	重量20g

方向は南北方向に走る。9801地点の状況からみて同地点の30号～32号溝と一連の性格をもつものと思われるが、北側に延長した部分にあたる9801点の調査区内にはその延長部と思われる部分は検出されていない。時期の詳細は不明であるが、覆土の状況から古代のものと思われる。

このほか、Ⅰ区において２個、Ⅱ区において３個のピットを検出した。Ⅱ区において検出した３個のピット（Ｍ８～Ｍ９）は一連の構造物である可能性もある。遺物は１点も検出できていないが、覆土は黒褐色であり、その色具合から本地点でも古い遺構の部類に属しており、古代以前の遺構と思われる。

（４）出土遺物

５号溝出土遺物（図46：１～４）

図46：１は明代の染付碗である。見込みに草花文を描く。図46：２は陶器壺の肩部の破片である。図46：３は陶製擂鉢の胴部片である。図46：４は縄文時代の黒曜石製のスクレイパーである。溝の時期はおそらく16世紀後半～末と考えられる。

（５）まとめ

今回の調査によって、医学部敷地内の東南側部分に遺構が広がることと、さらには既存建物部分であっても、地表下２ｍ前後であれば、遺構が削平を一部免れて残存していることが明らかになった点は重要である。これは、今後建物新設のみならず、既存建物の解体に際して、基礎を撤去する際にも埋蔵文化財の有無を確認する必要があることを実証したもので、今後の学内整備の計画の際に留意すべき点である。

Ⅵ　本荘南地区の調査

こばと保育園新営機械設備工事（変更２）に伴う発掘調査（0830調査地点）

（１）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

工事は建物周辺を機械設備のため配管を行うものである。また、その一部は南側で市道部分の掘削を伴っている。熊本市文化財課により試掘調査によって発掘調査の指導が降りた物件である。建物南側部分の掘削規模は幅2.0m、長さ14.0mであり、この部分において11月19日より発掘調査を開始した。その他の建物周囲の部分は幅0.7mほどであり、重機によって包含層の検出に努めたが、撹乱が多く、遺構・遺物ともに確認していない。また、市道部分は地表下1.0mで黒褐色土、地表下1.15mで黄褐色土を確認したが、明確な遺構・遺物は検出していない。

市文化財課による試掘の結果、水田基盤土とマンガン沈殿層、その上部に遺物包含層を確認とのことであったが、発掘調査部分においては、地表下1.6mほどまで掘り下げたが、撹乱が多く、また、東側半分は大きな溝らしき遺構が存在し、包含層および溝部分からは、磨耗した土師器・須恵器などが数片出土したに過ぎない。市文化財課に連絡し、これ以上の掘削はないため、土層を確認・記録して調査を終了した。調査面積は20m²である。

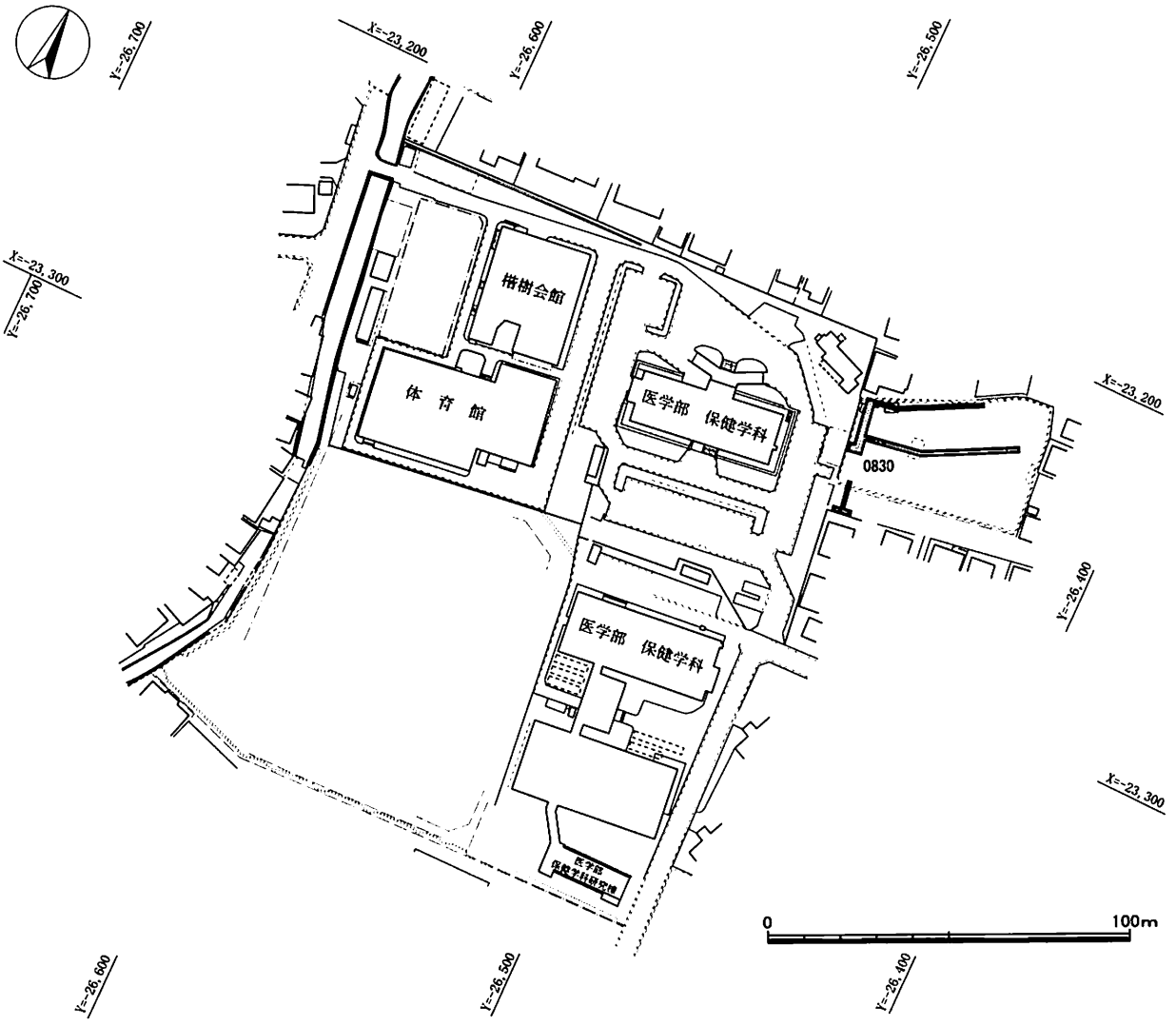


図47　本荘南地区における調査地点配置図（１/2000）

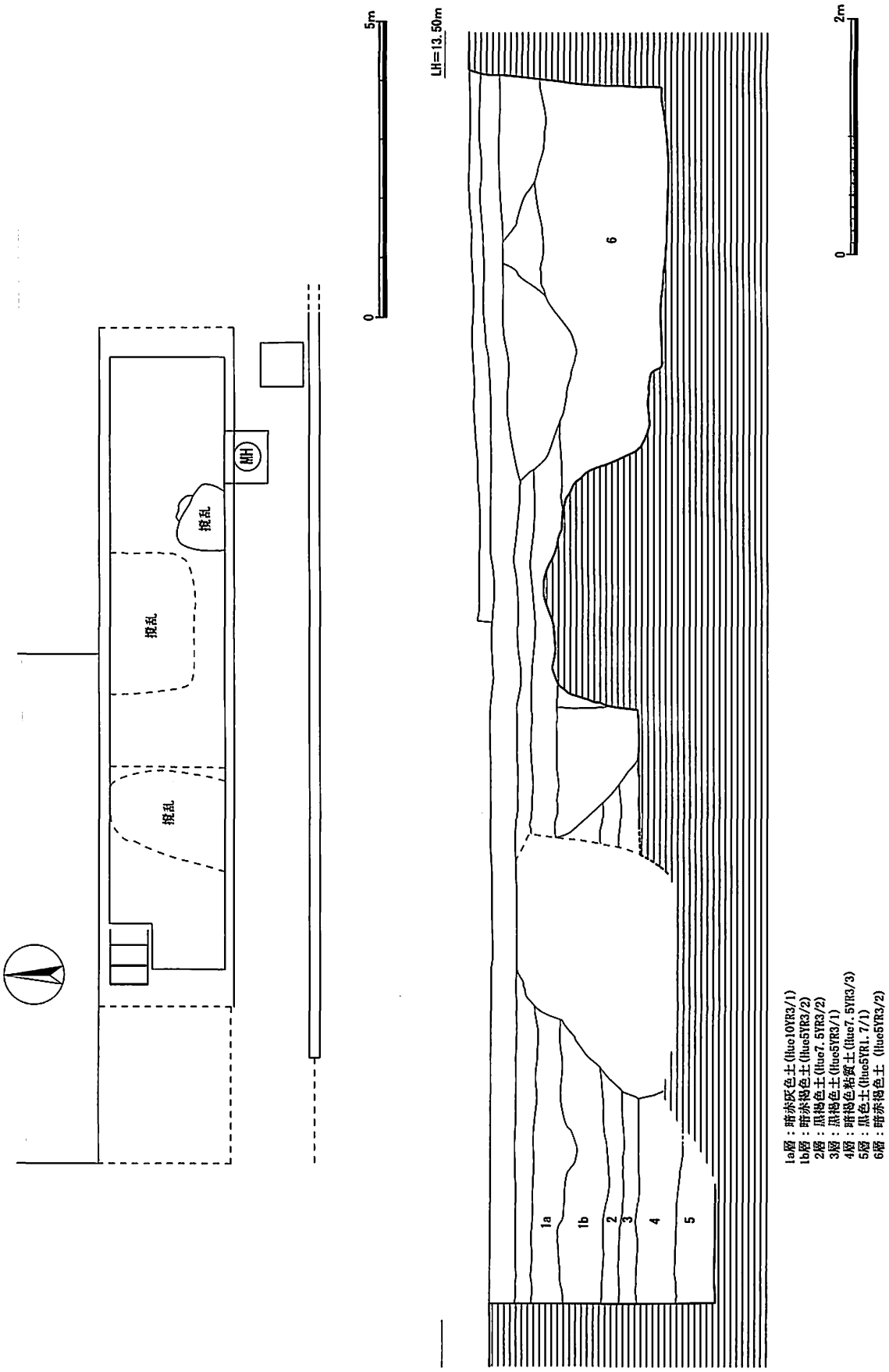


図48　0830調査地点遺構配置図・北壁土層断面図（1/100・1/50）

b．調査の経過

2008年11月19日　調査開始。攪乱層を掘った後、遺物包含層を下げる。
2008年11月20日　調査区東側において溝らしき遺構を確認。
2008年11月21日　調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己
事 務 担 当：中川木綿子
発掘作業員：澤ひとみ・増田理子・増田由美・森永聡子
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古閑満代・首藤優子・末吉美紀・髙松あゆみ・長谷智子・増井弘子・山寄早苗

（2）調査区の基本層序（図48）

表土・埋土の下は、1a層：暗赤灰色土（Hue10YR３/１）、1b層：暗赤褐色土（Hue５YR３/２）、２層：黒褐色土（Hue7.5YR３/２）、３層：黒褐色土（Hue５YR３/１）、４層：暗褐色粘質土（Hue7.5YR３/３）、５層：黒色土（Hue５YR1.7/１）である。

（3）検出遺構

調査区の大部分が攪乱されており、遺構の検出が困難であった。しかし、調査区東側の２/３が1b層から切り込まれた大きな溝（濠）であることが判明した。この中からは摩耗した遺物が数点でるのみで、おそらく近現代の遺構と思われたため、地表から1.7mほど下げた時点で調査を終了している。

（4）出土遺物

図49：１は瓦質の擂鉢の口縁部片である。断面三角形であり、中世のものと思われる。図49：２は白磁の合子の蓋の破片である。近世以降のものと思われる。３は須恵器の坏蓋の破片である。古代のものと思われる。

図49　0830調査地点出土遺物実測図（1/４）

表13　0830調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量（cm）	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
49	1	瓦質土器	（東幡系）擂鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue　7.5Y ６/２ 外：Hue　7.5Y ６/１	調査区東側包含層	外面口縁部ふちのみに釉あり
	2	白　磁	合　子	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y ８/１ 外：Hue　2.5Y ８/１	調査区東側包含層	口唇部釉ハゲ
	3	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue　7.5YR ６/６ 外：Hue　7.5YR ６/４	調査区西側包含層	

（5）まとめ

医学部保健学科の所在する本地区は旧水田地区であり、それを裏付けるように、地下を掘ると近現代の水田土壌がでてくる。ただし、敷地南側の一部には古代遺物を含む包含層が残っており、その広がりが不明であった。今回、敷地の北東部にあたる部分を調査したことになるが、ここからも古代遺物は出土するものの、摩耗しており、原位置を保っているものではないことが明らかになった。

写 真 図 版

写真１　Ⅰａ区全景（西より）

写真２　Ⅰｂ区全景（南より）

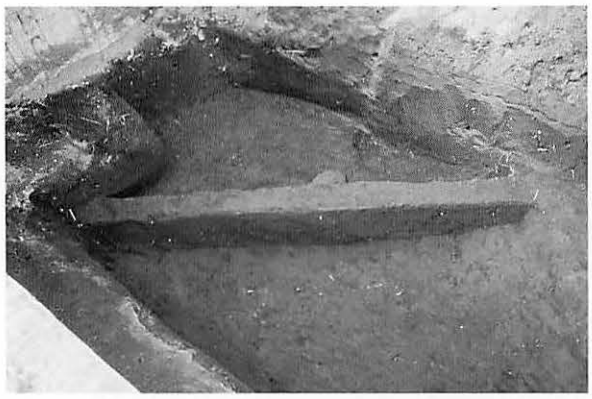


写真３　１号竪穴住居址掘り方土層（南より）

写真４　Ⅱ区全景（西より）

写真５　15号竪穴住居址完掘状況（西より）

図版２　0854調査地点

写真６　20号土壙検出状況（南西より）

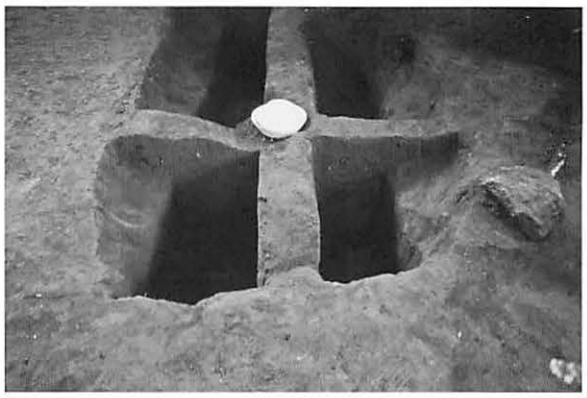


写真７　20号土壙検出状況（南東より）

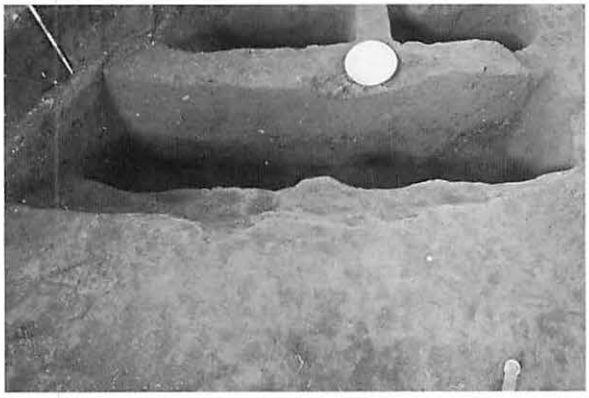
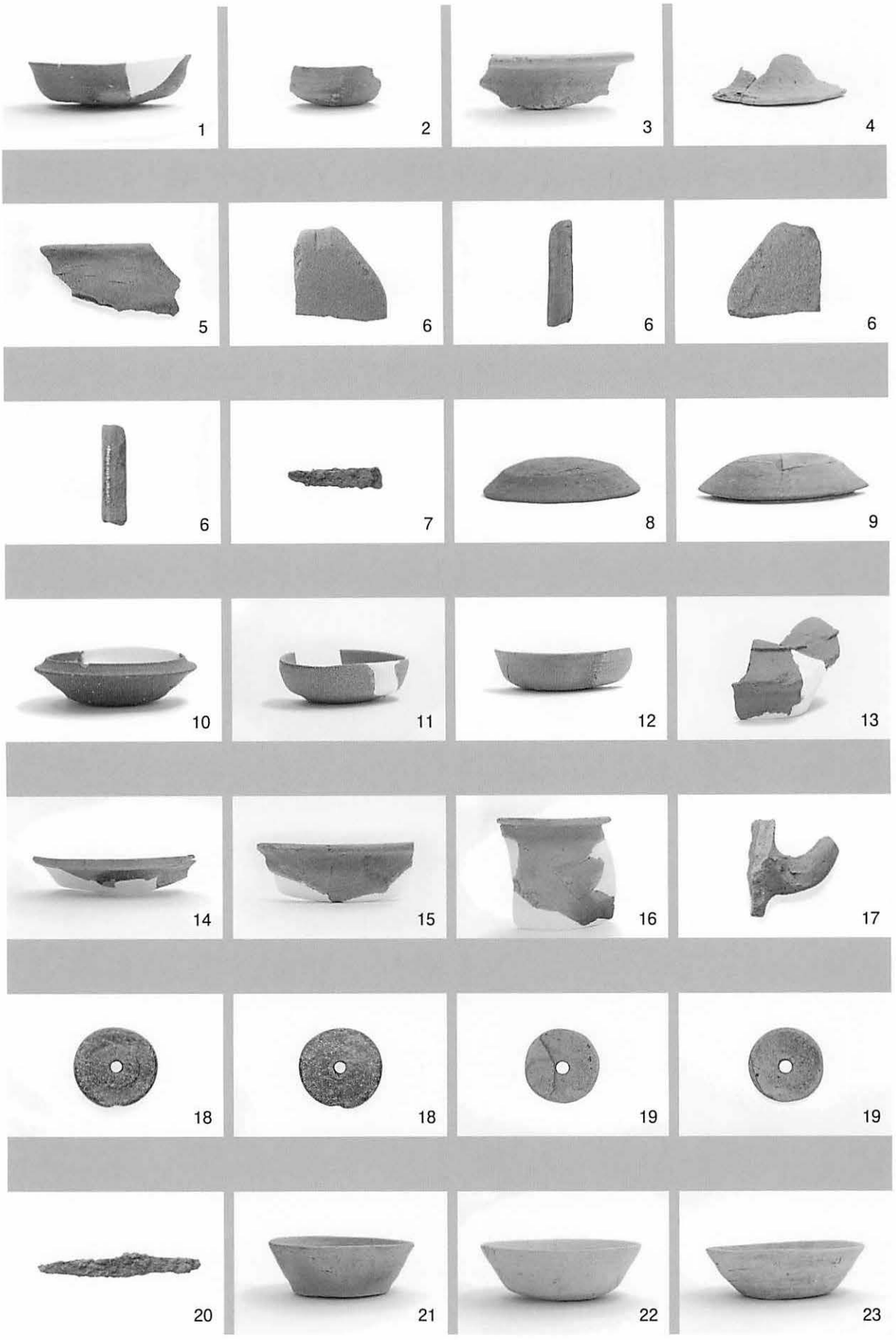


写真８　20号土壙土層断面（南西より）

写真９　20号土壙土層断面（南より）

写真10　20号土壙（北西より）

図版３　0854調査地点出土遺物１



図版４　0854調査地点出土遺物２

23

24

25

26

27

28

29

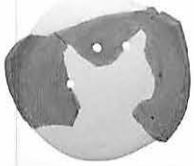
30

31

32

33

34


35

36

37

38

39

40

41

写真11　道路横断部分掘削風景（北より）

写真12　道路横断部分掘削後（北東より）

写真13　人孔No.１掘削風景（北より）

写真14　人孔No.１北壁土層拡大（南より）

写真15　人孔No.１完掘状況（北より）

図版６　0935調査地点・同出土遺物

写真16　冠雪の武夫原（2009. 1 .13）（南より）

写真17　体育館前工区掘削風景（北より）

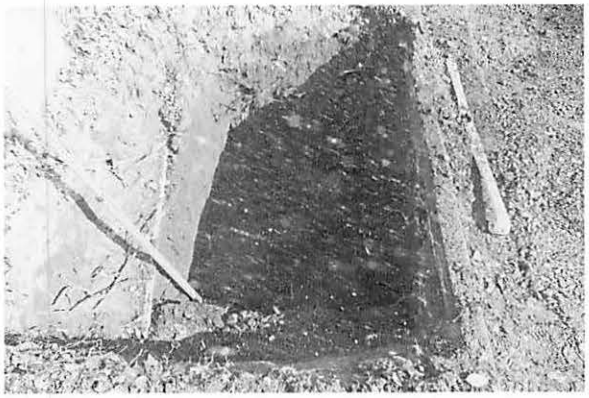
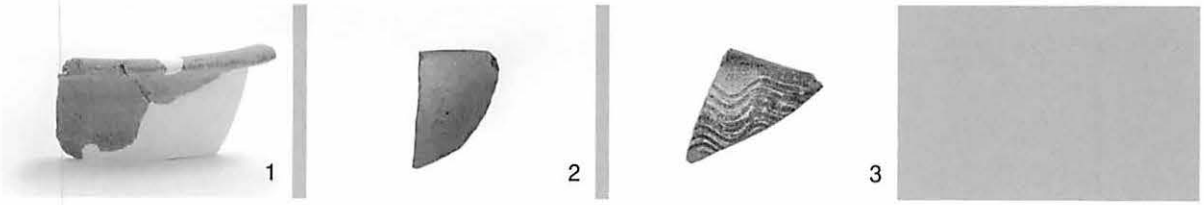


写真18　人孔No.３掘削後状況（西より）

写真19　学生会館西側道路掘削状況（北より）

写真20　人孔No.４掘削後状況（西より）

写真21　人孔No.５掘削後状況（南より）



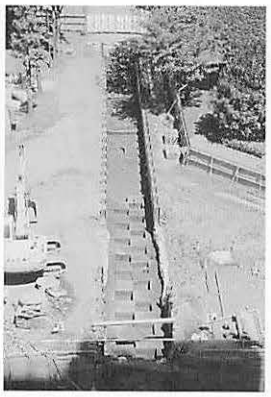


写真22　Ｉ区全景（南より）

写真23　黒曜石出土状況（北より）

写真24　６号溝完掘状況１（東より）

写真25　６号溝完掘状況２（西より）

写真26　遺物出土状況（北より）

写真27　遺物集中区（南より）

写真28　土器出土状況（北より）

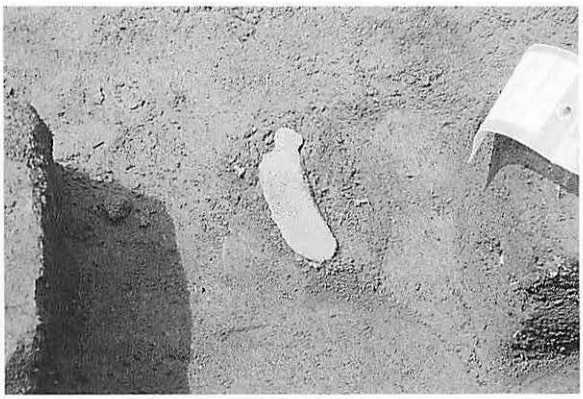


写真29　石器出土状況（東より）

図版８　0302調査地点Ⅱ区

写真30　完掘状況１（北より）

写真31　完掘状況２（南より）

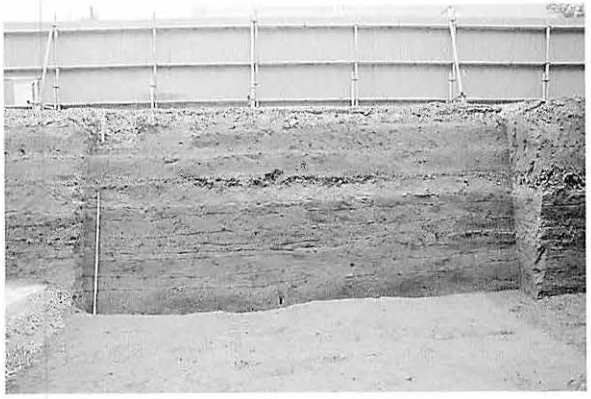


写真32　調査区西壁土層（東より）

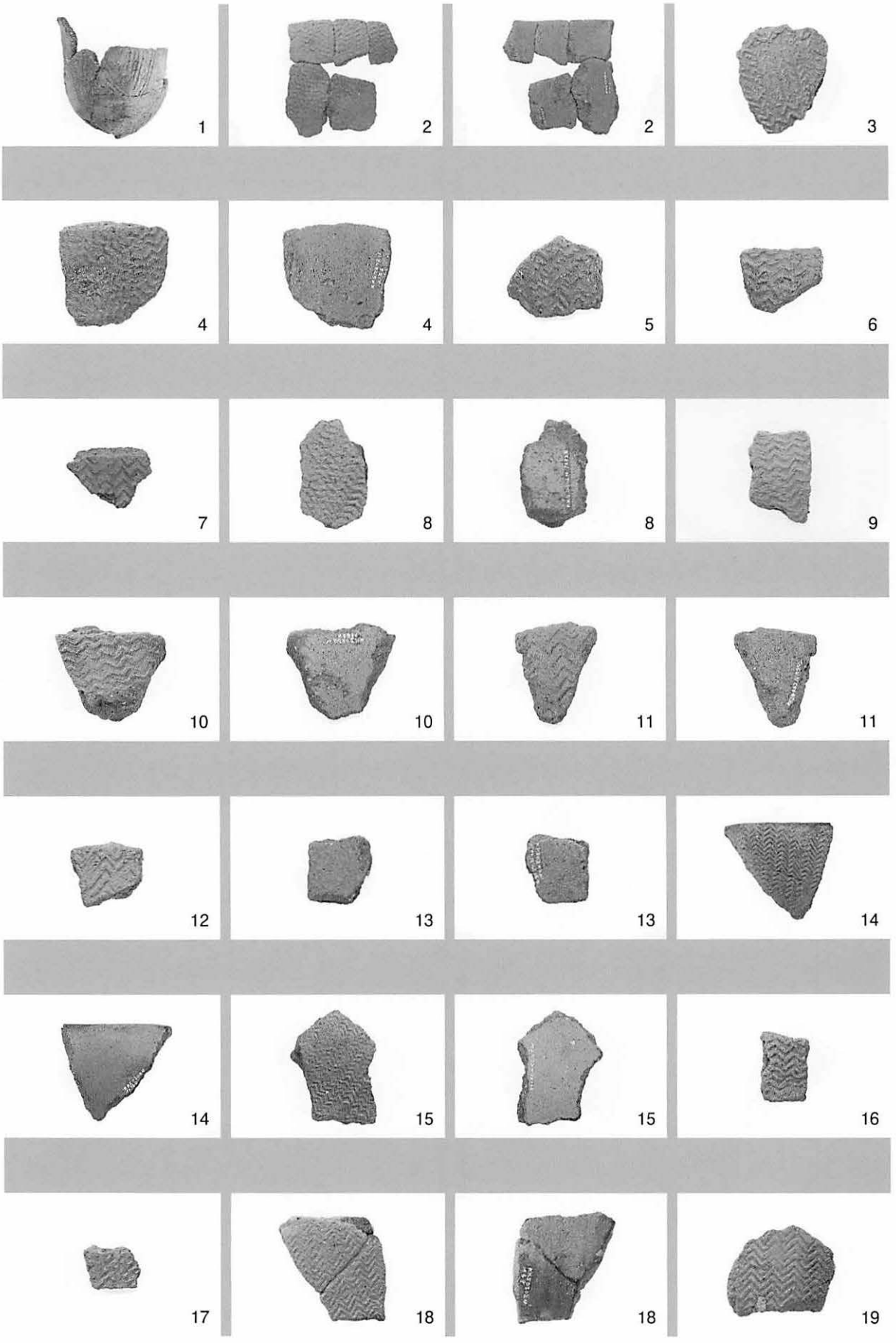
写真33　調査風景（南より）

写真34　包含層完掘状況（遺物出土状況）（南より）

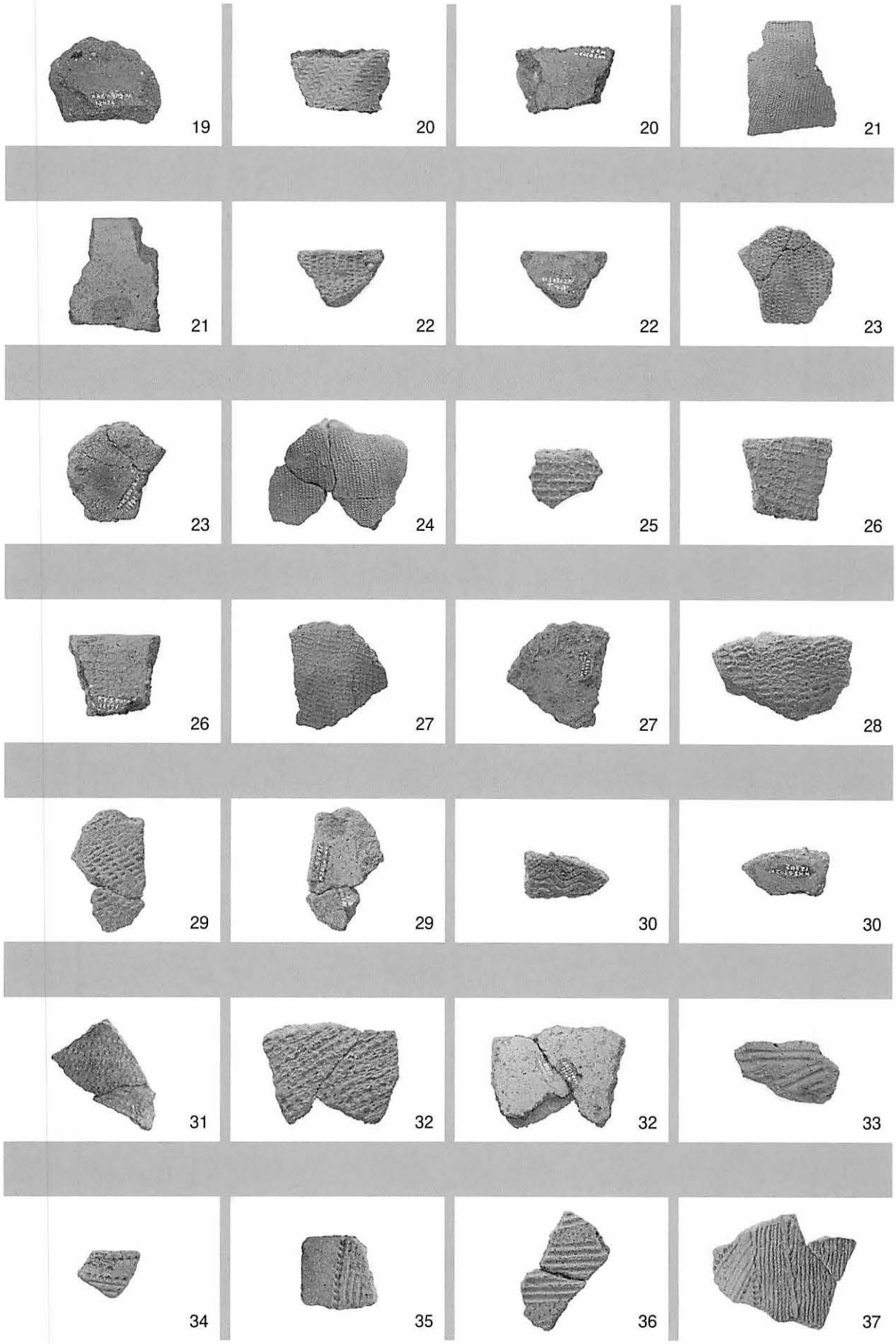
写真35　土器出土状況１（南より）

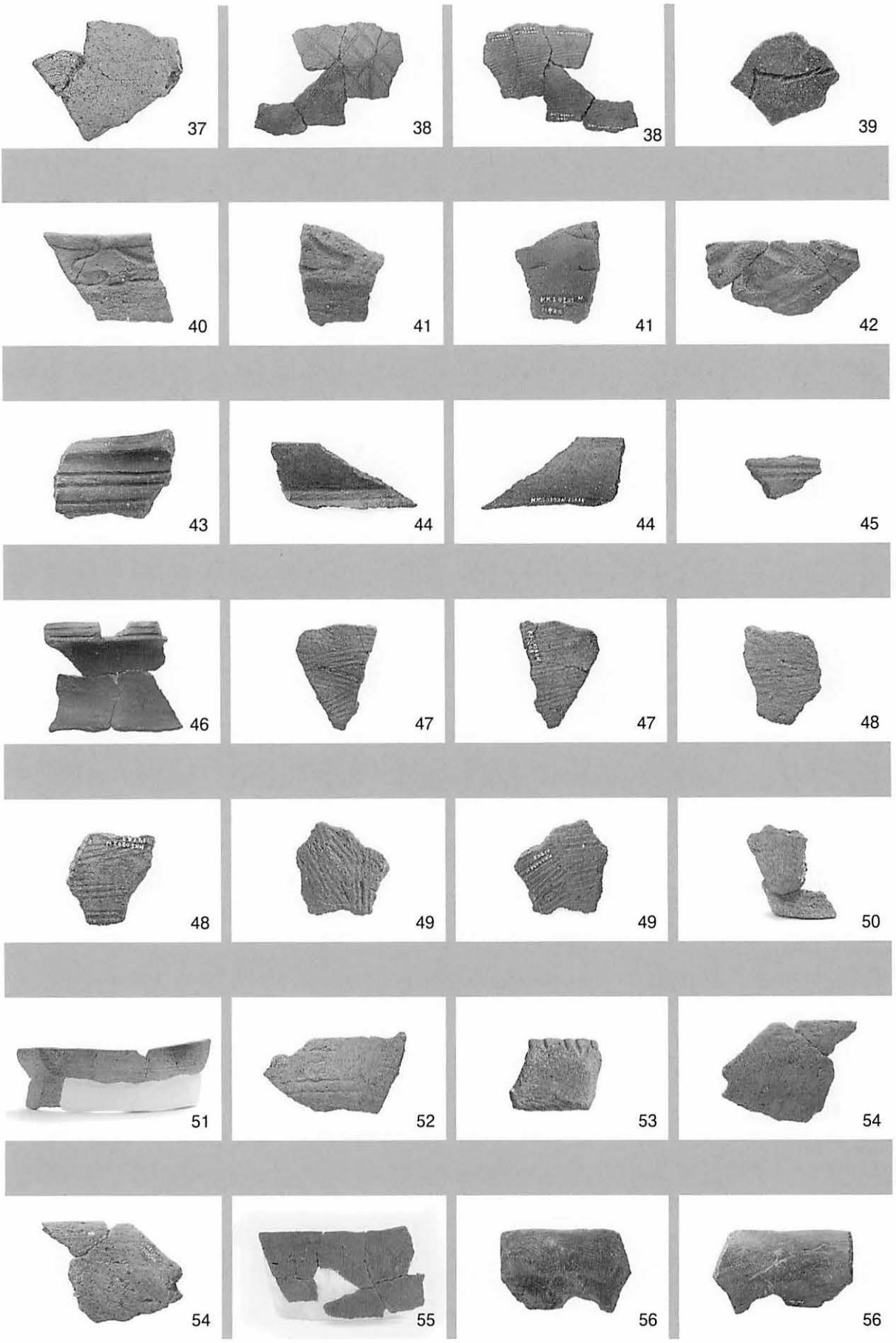
写真36　土器出土状況２（南西より）

写真37　土器出土状況３（南西より）

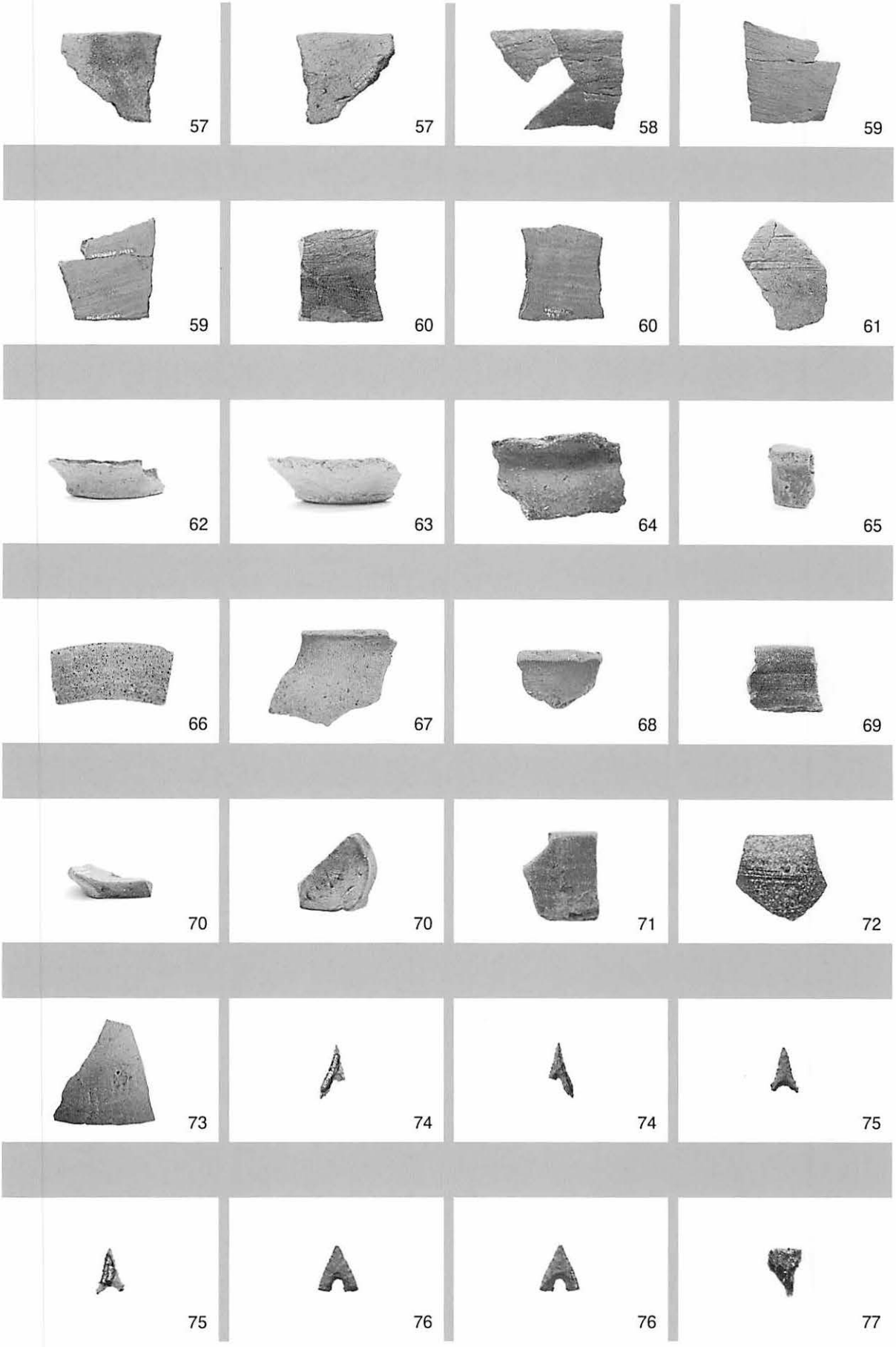

1
2
2
3
4
4
5
6
7
8
8
9
10
10
11
11
12
13
13
14
14
15
15
16
17
18
18
19

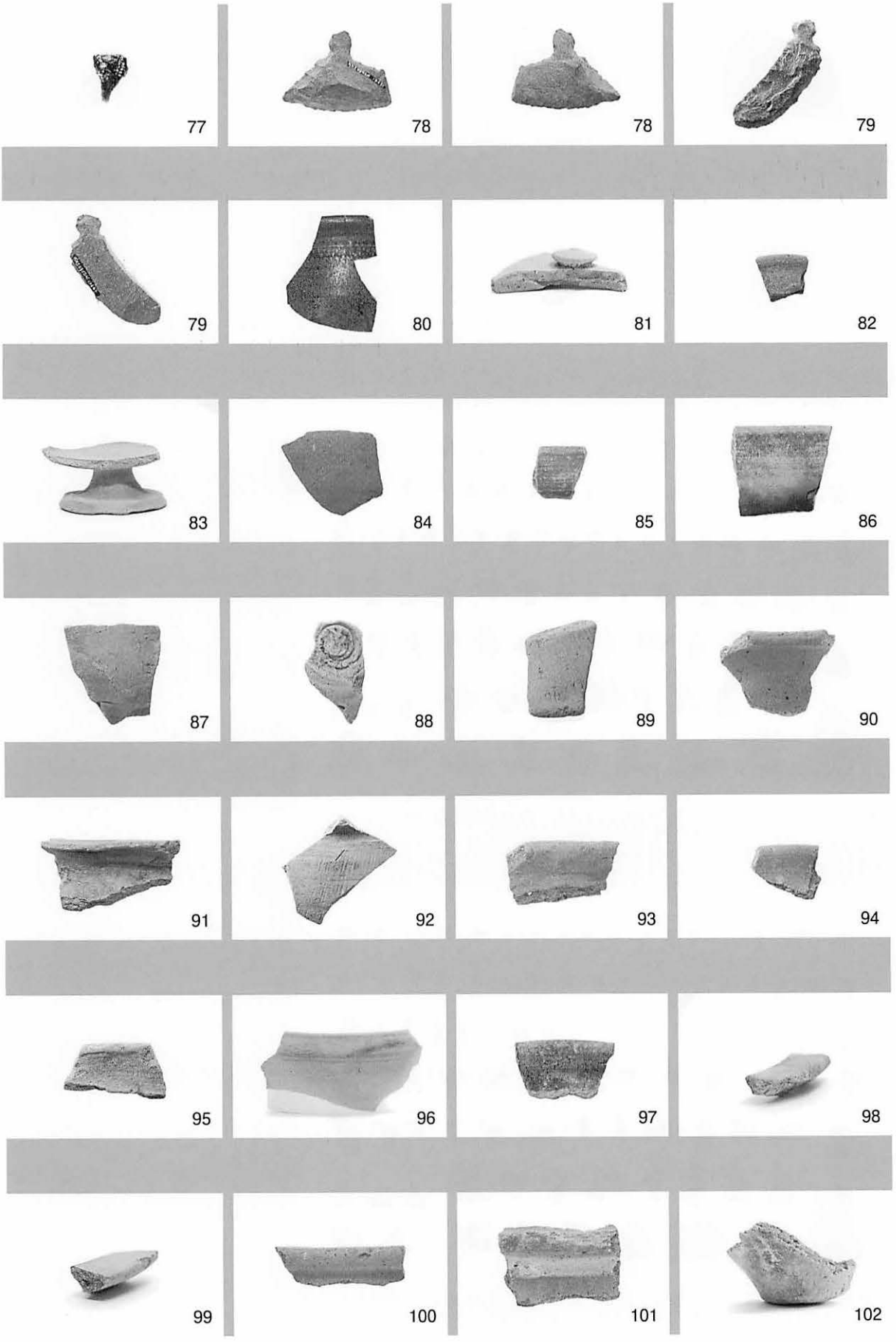
図版10　0302調査地点出土遺物２




37
38
38
39
40
41
41
42
43
44
44
45
46
47
47
48
48
49
49
50
51
52
53
54
54
55
56
56

図版12　0302調査地点出土遺物４




77
78
78
79
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102

図版14　0302調査地点出土遺物６

103

104

105

106

107

108

109

黒曜石製剥片・チップ（表）

黒曜石製剥片・チップ（裏）

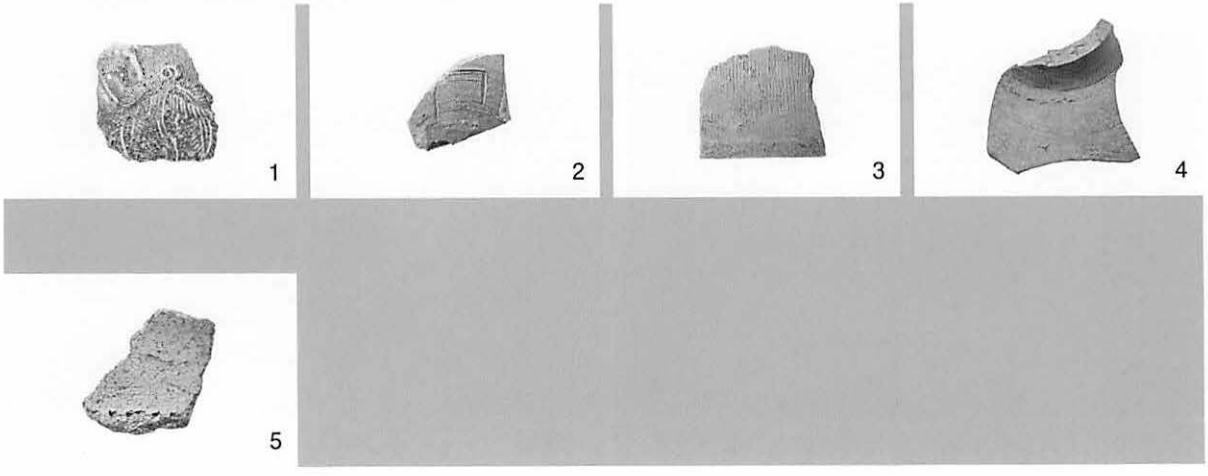
写真38　Ⅱ・Ⅲ区完掘後状況（南より）

写真39　Ⅱ区遺物出土状況（東より）

写真40　1号溝1（西より）

写真41　1号溝2（東より）

写真42　赤レンガ基礎（南西より）



図版16　0938調査地点

写真43　Ⅰトレンチ調査風景（東より）

写真44　Ⅱトレンチ全景（東より）

写真45　Ⅰトレンチ1号溝（西より）

写真46　Ⅰトレンチ1号溝掘り上げ後（南より）

写真47　Ⅱトレンチ1号溝（南より）

写真48　Ⅰトレンチ縄文土器出土状況（東より）

写真49　Ⅰトレンチ西側遺物集中区（東より）

写真50　Ⅰトレンチ西側遺物集中区（西より）

写真51　遺物集中区遺物出土状況（西より）

写真52　縄文土器出土状況（西より）

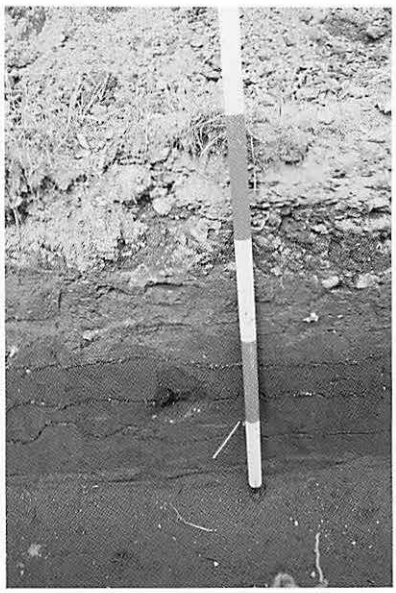


写真53　Ⅰトレンチ西側遺物集中区土層（南より）

写真54　Ⅰトレンチ掘り上げ後土層（東より）

写真55　遺物出土状況（東より）

図版18　0938調査地点出土遺物

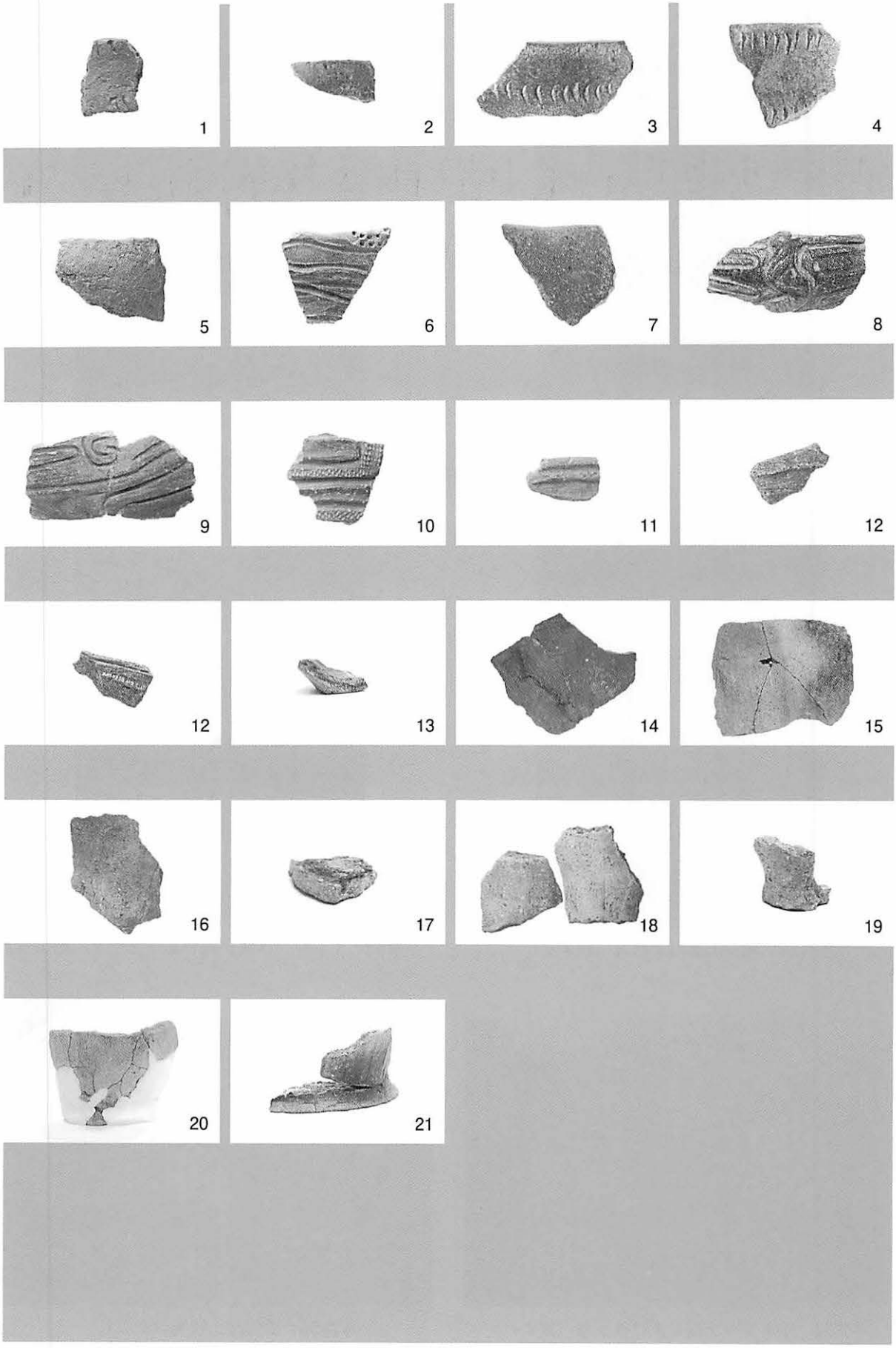


写真56　調査区全景（西より）

写真57　２号溝完掘土層状況（南西より）

写真58　２号溝出土馬骨（南より）

写真59　調査区北壁土層（南より）

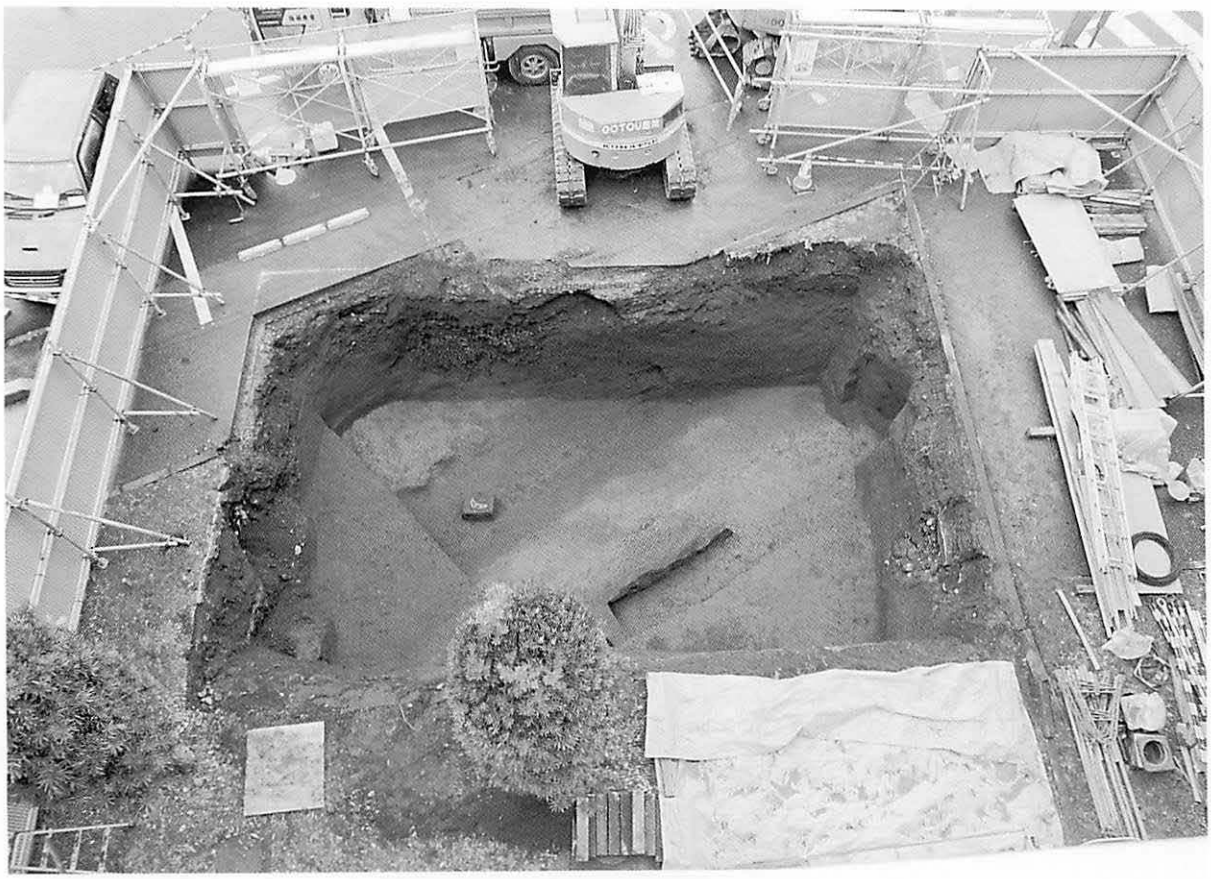
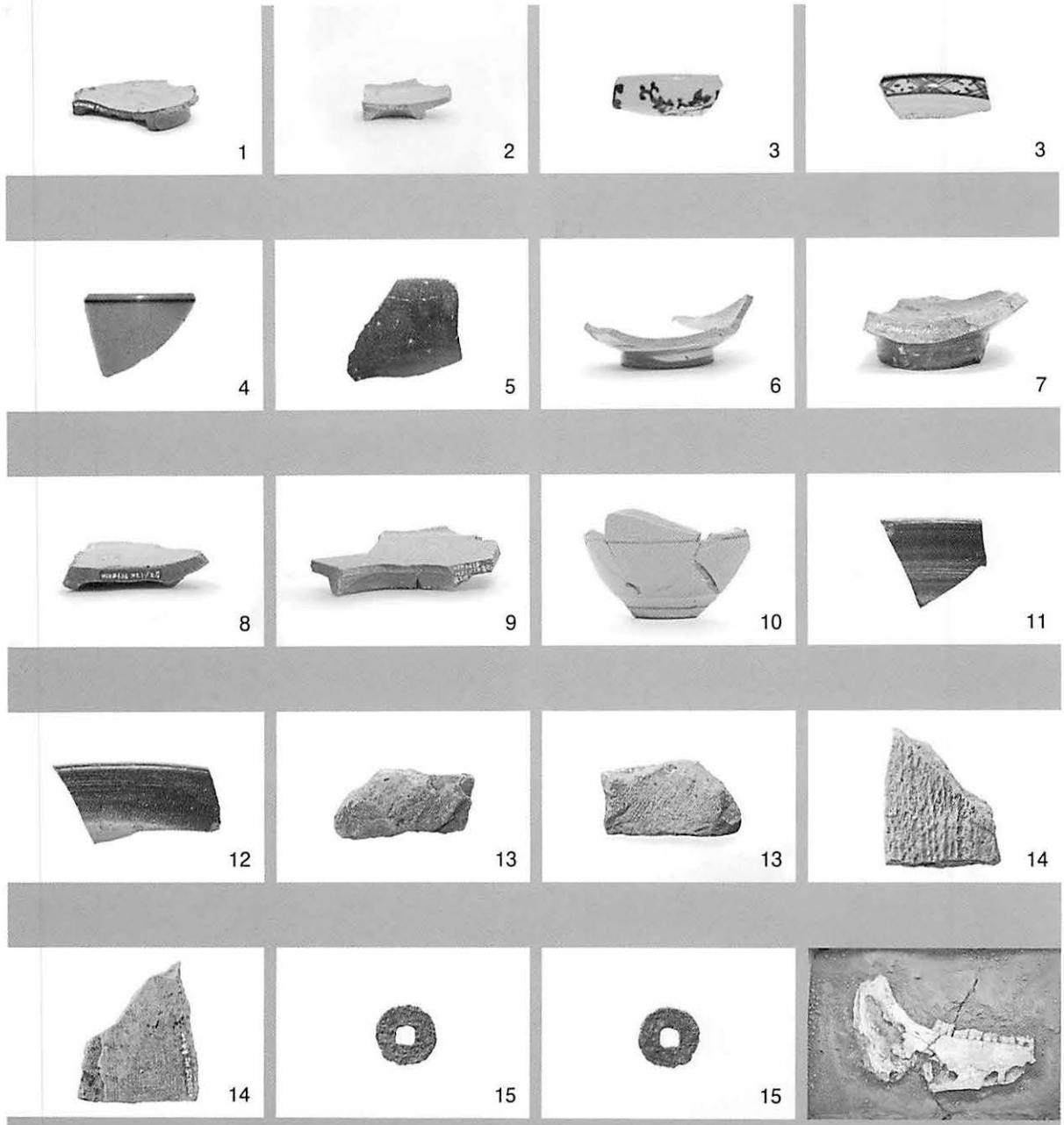


写真60　調査区全景（北より）

図版20　0426調査地点出土遺物



２号溝出土馬骨

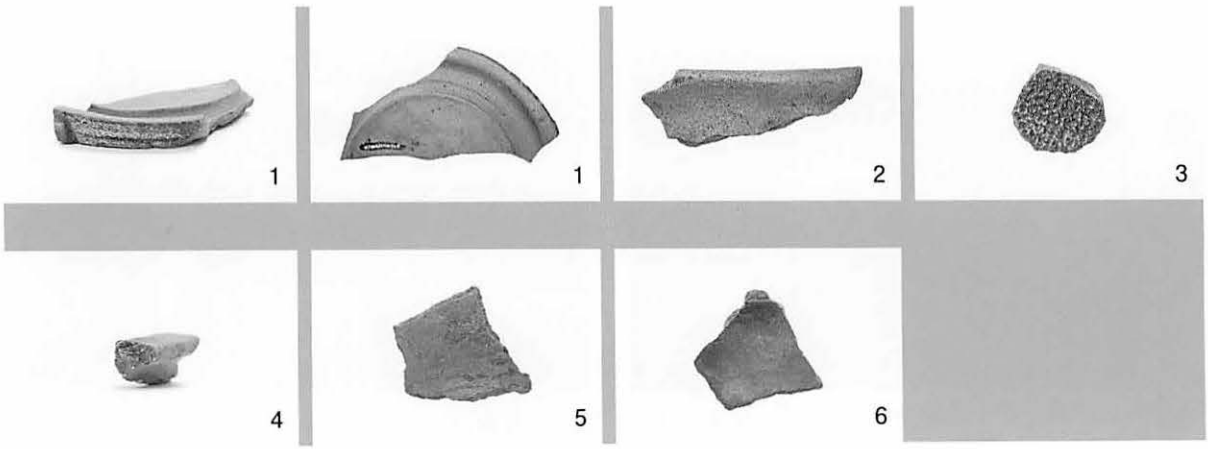
写真61　調査区掘削開始状況（東より）

写真62　調査区掘削後状況（西より）

写真63　１号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真64　２号溝遺物出土状況（北より）

写真65　２号溝掘り上げ状況（南より）



図版22　0707調査地点

写真66　Ⅰ区全景（北より）

写真67　Ⅰ区全景（南より）

写真68　１号竪穴住居址（南より）

写真69　２号竪穴住居址遺物出土状況（東より）

写真70　２号竪穴住居址北隈遺物出土状況（北西より）

写真71　２号竪穴住居址北西隈甑（南より）

写真72　２号竪穴住居址掘り上げ状況（南東より）

写真73　２号竪穴住居址竈甑（南より）

写真74　２号竪穴住居址西側（焼土）竈（東より）

写真75　２号竪穴住居址床面出土須恵器蓋（南より）

写真76　３号竪穴住居址遺物出土状況（東より）

写真77　５号土坑遺物出土状況（南より）

写真78　６号竪穴住居址遺物出土状況（西より）

写真79　６号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真80　８号竪穴住居址（西より）

写真81　８号竪穴住居址遺物状況（南西より）

図版24　0707調査地点

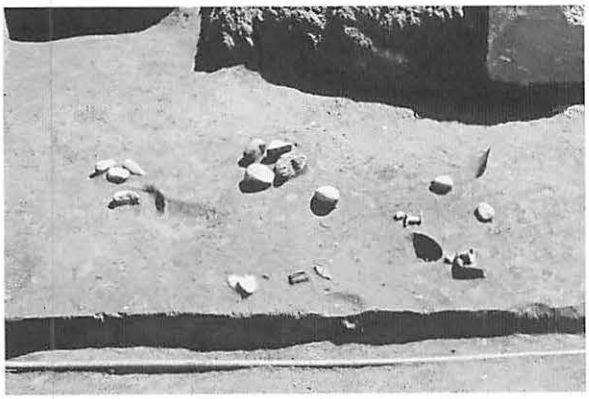


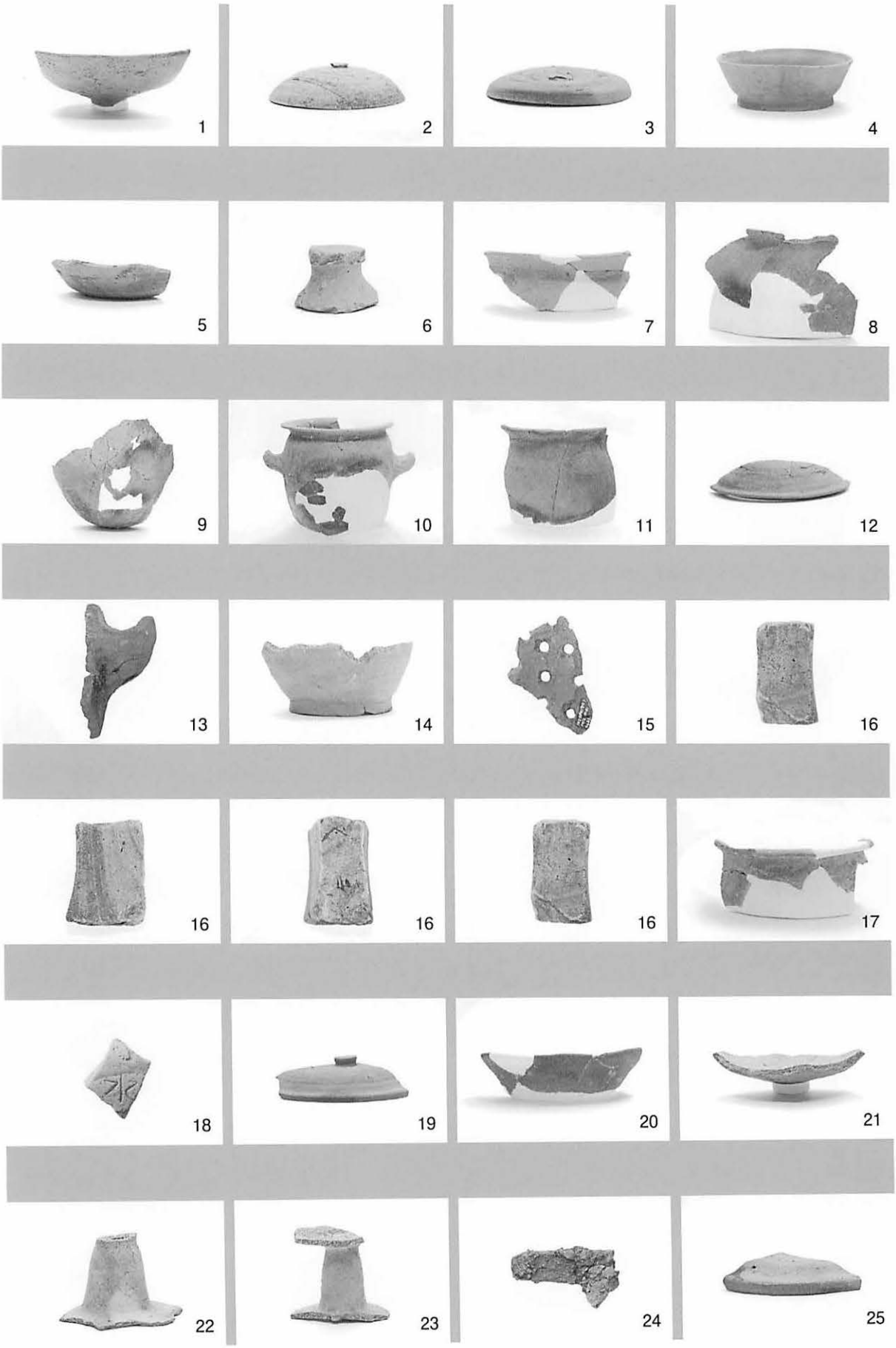
写真82　８号竪穴住居址遺物出土状況（西より）

写真83　90・91号掘立柱建物址（西より）

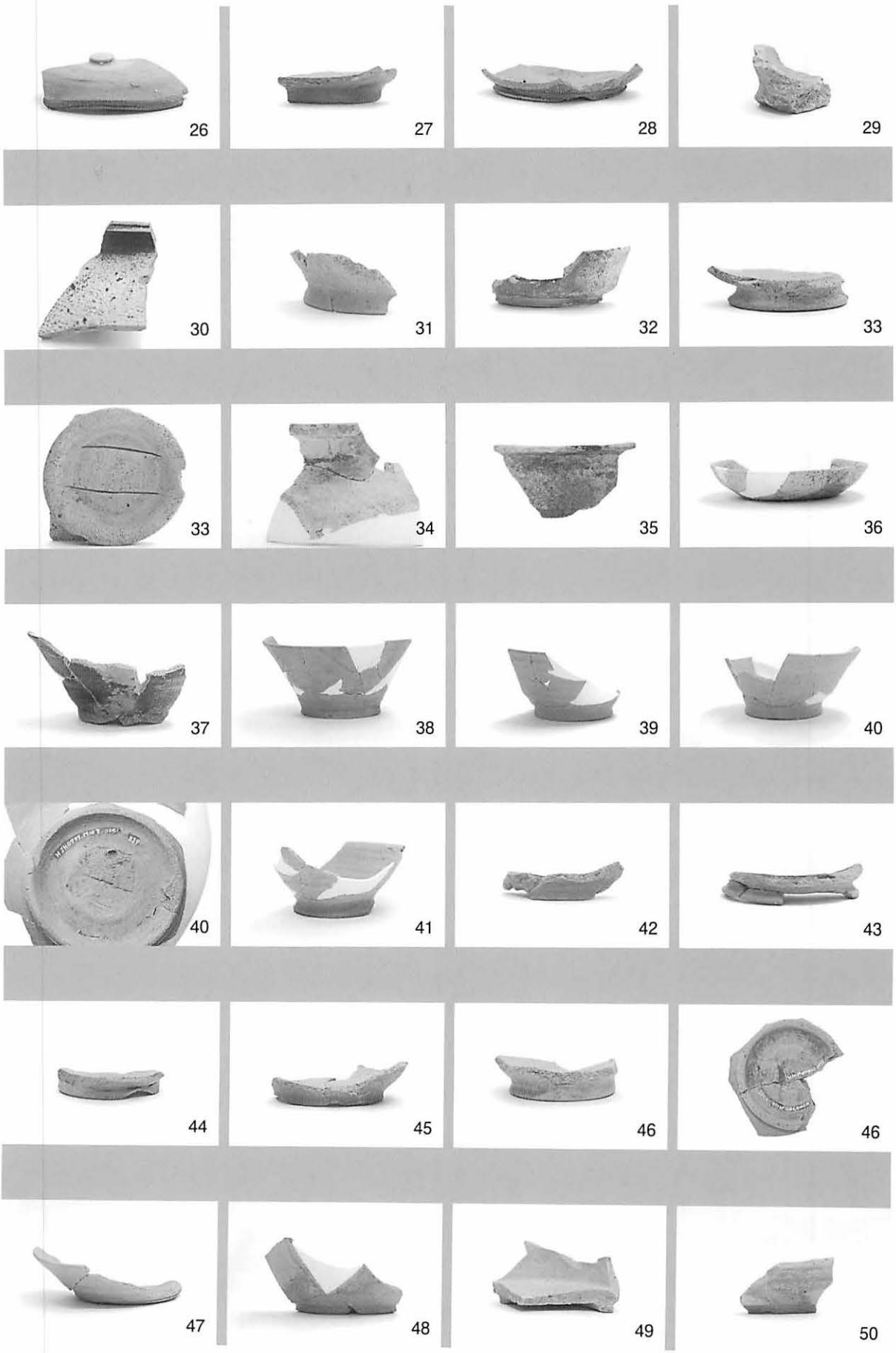
写真84　Ⅱｂ・Ⅱｃ区水田（砂埋没状況）（南より）

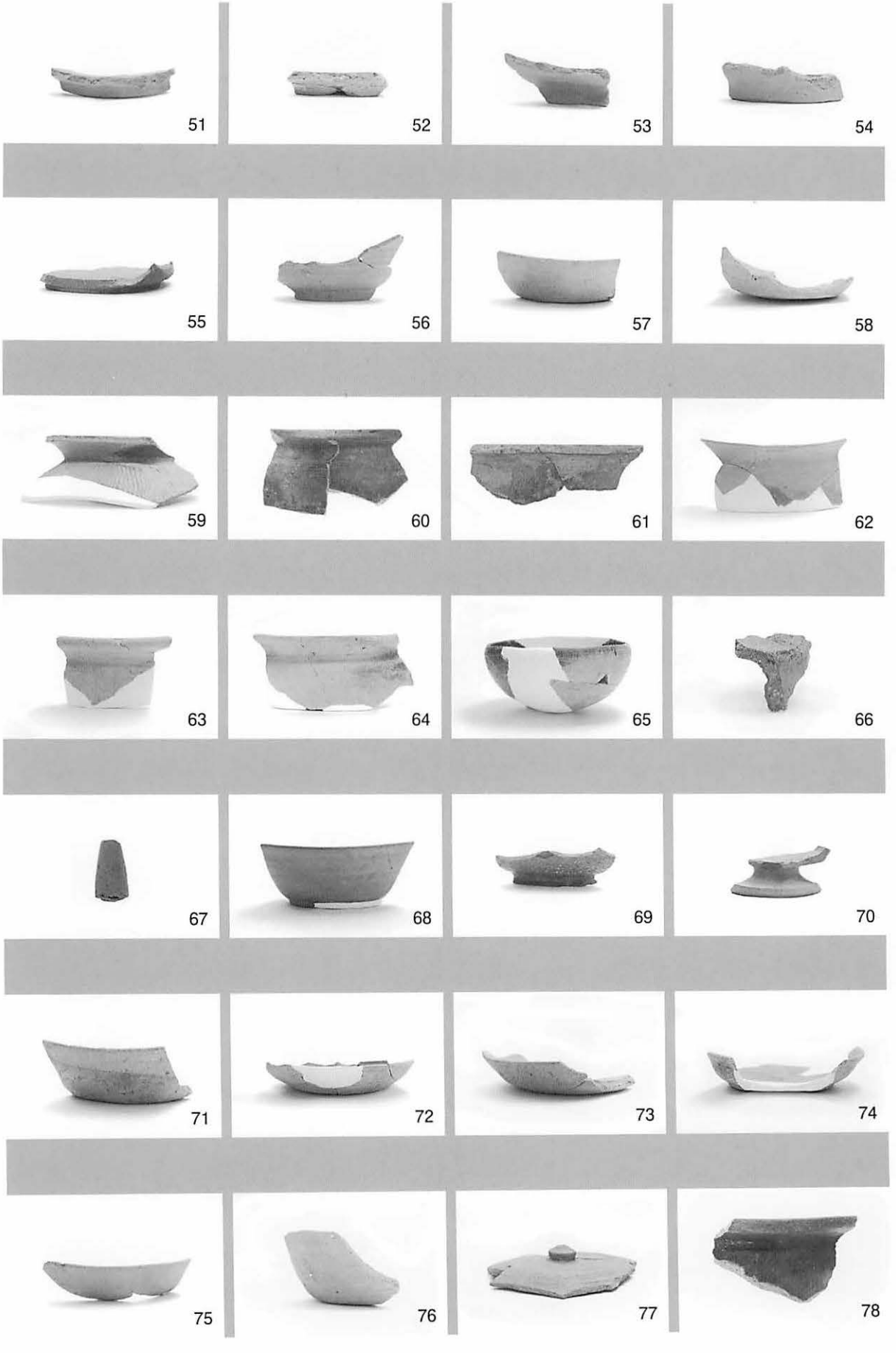
写真85　10号溝土層断面（東より）

写真86　Ⅱｂ・Ⅱｃ区水田（掘り上げ後）（北より）

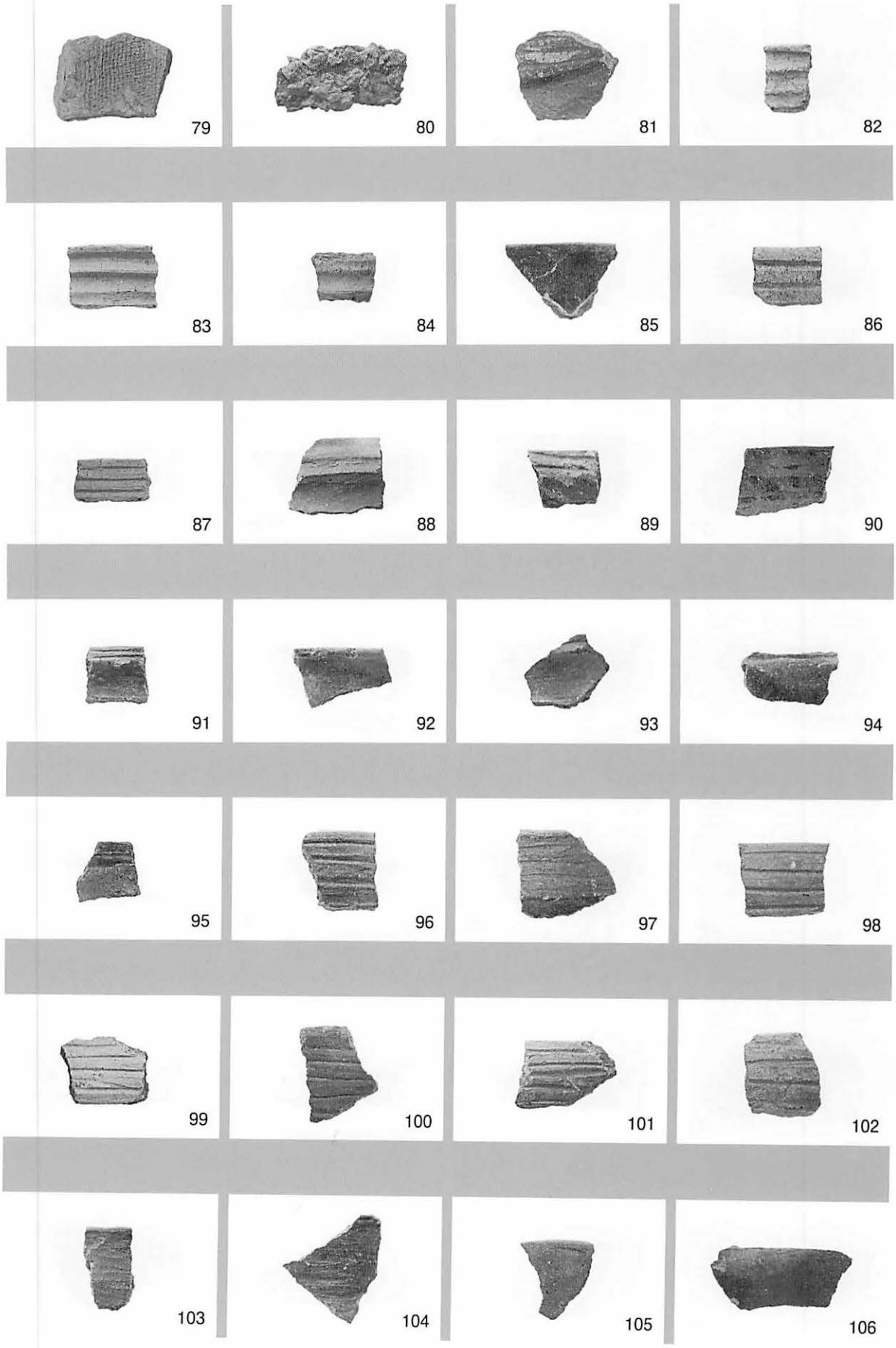

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
16
16
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

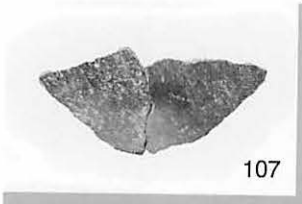
図版26　0707調査地点出土遺物２




51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78

図版28　0707調査地点出土遺物４




107

108

109

図版30　0814調査地点

写真87　調査区掘削風景（北より）

写真88　２号溝掘削風景（東より）

写真89　調査区北部調査風景（南より）

写真90　調査区北部遺構検出状況（南より）

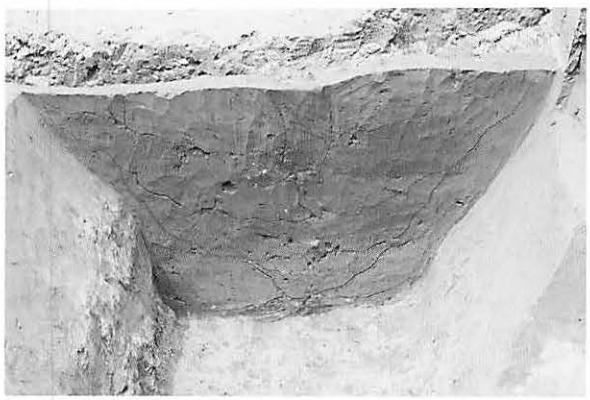


写真91　２号溝土層断面１（南より）

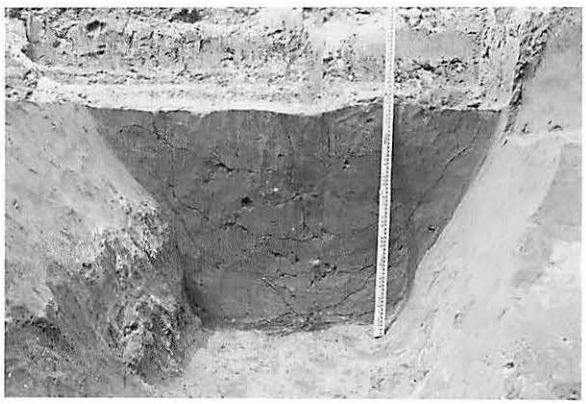


写真92　２号溝土層断面２（南より）

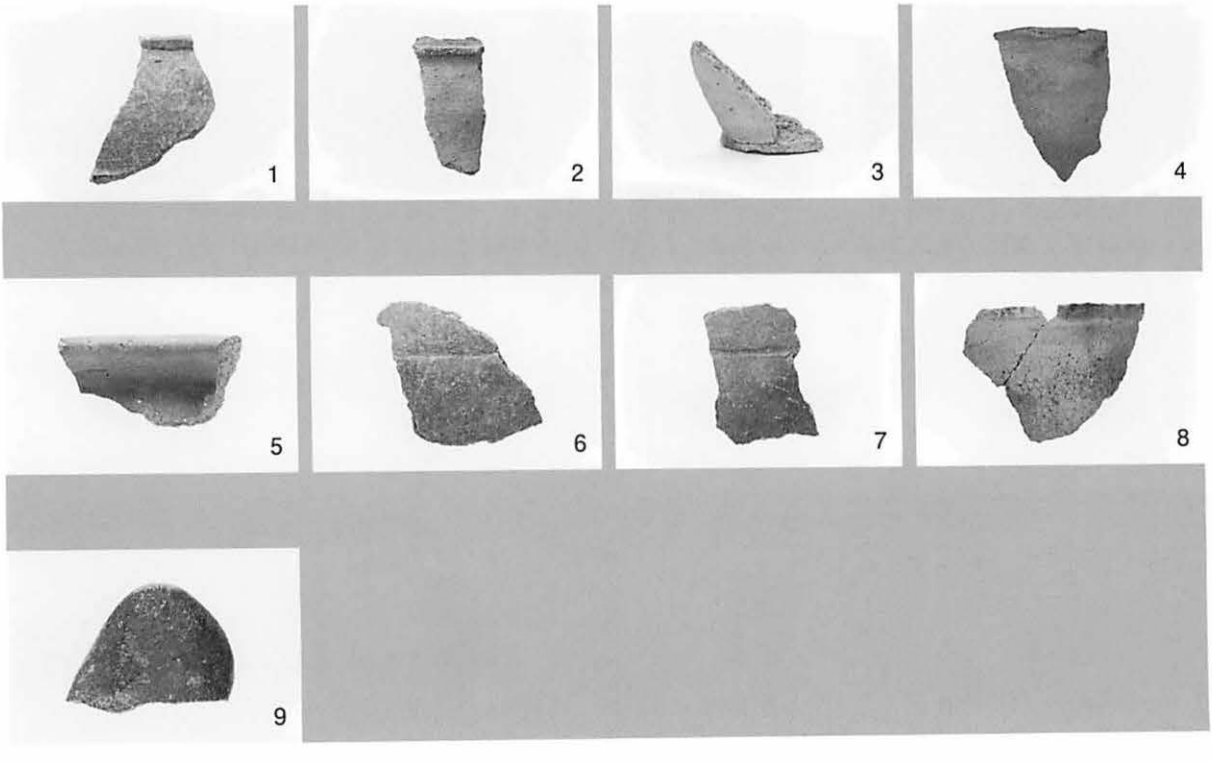
写真93　調査区北部全景（北より）

写真94　調査区南部調査風景１（東より）

写真95　調査区南部調査風景２（北より）

写真96　調査区南部２号溝検出状況（東より）

写真97　２号溝と延長方向（北より）



図版32　0314調査地点・同出土遺物

写真98　Ⅰ区掘削前全景（南西より）

写真99　Ⅱ区調査風景（南より）

写真100　Ⅱ区調査区完掘状況（南より）

写真101　Ⅱ区５号溝土層断面（南東より）

写真102　Ⅱ区７号溝完掘状況（西より）

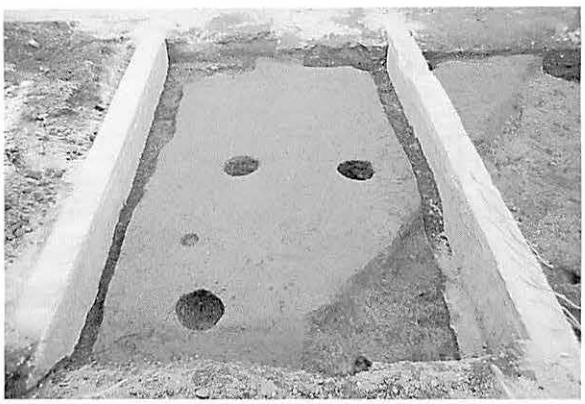


写真103　Ⅱ区８～11号ピット（西より）

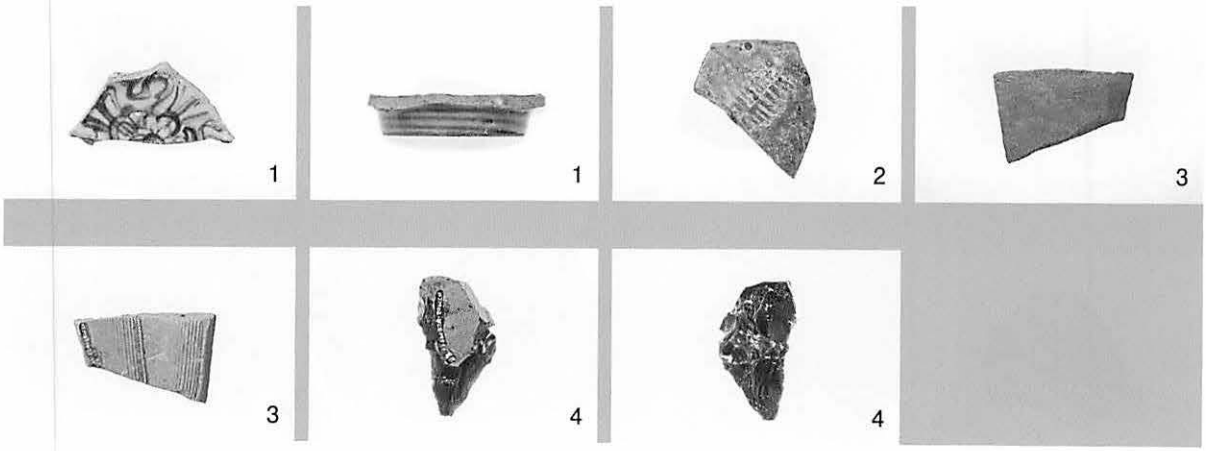


写真104　建物南側調査区調査風景（東より）

写真105　建物南側調査区全景（東より）

写真106　建物南側調査区東側全景（南より）

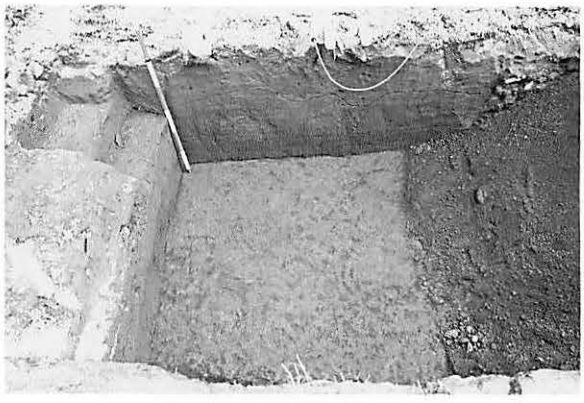


写真107　建物南側調査区西側全景（南より）

写真108　建物東側調査区掘削風景（南より）

写真109　建物東側調査区掘削状況（東より）

1

2

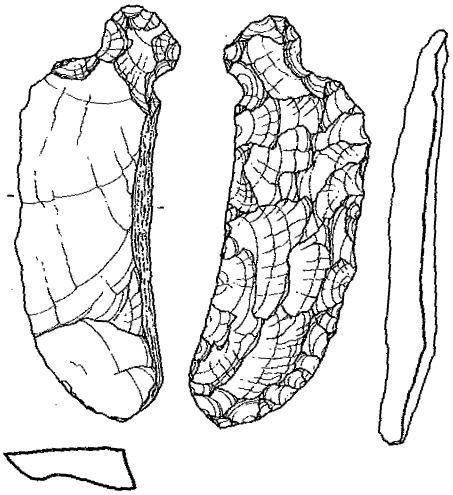
3

報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはっくつちょうさほうこくⅧ
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅷ
副書名	
巻次	
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書
シリーズ号	8
編著者名	小畑弘己・大坪志子・村田知聖
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター
所在地	〒860－8555　熊本県熊本市黒髪２－39－１TEL. 096－342－3832　FAX.096－342－3832
発行年月日	2012年３月31日

所収遺跡名(ふりがな)	所在地(ふりがな)	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
黒髪町遺跡(くろかみまち) (0302地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201	278	32° 48' 34"	130° 43' 43"	20030806 ～ 20030912 20031001 ～ 20031010	421.7㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(ほんじょう) (0314地点)	熊本県 熊本市 本荘	43201	285	32° 47' 25"	130° 42' 51"	20040123 ～ 20040127 20040305 ～ 20040309	1,000㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(ほんじょう) (0426地点)	熊本県 熊本市 本荘	43201	285	32° 47' 46"	130° 42' 46"	20050204 20050208 ～ 20050209	84㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(ほんじょう) (0622地点)	熊本県 熊本市 本荘	43201	285	32° 47' 41"	130° 42' 39"	20061002 20061016 20061027 20061030 20061113	50.68㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(ほんじょう) (0707地点)	熊本県 熊本市 本荘	43201	285	32° 47' 50"	130° 42' 42"	20070730 ～ 20070903	1,590㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(ほんじょう) (0814地点)	熊本県 熊本市 本荘	43201	285	32° 47' 47"	130° 42' 38"	20080820 ～ 20080822	212㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(ほんじょう) (0830地点)	熊本県 熊本市 本荘	43201	285	32° 47' 37"	130° 42' 56"	20081118 20081119 ～ 20081121 20081125	20㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡(くろかみまち) (0854地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201	278	32° 48' 58"	130° 43' 45"	20090226 ～ 20090312	106㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡(くろかみまち) (0932地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201	278	32° 48' 50"	130° 43' 42"	20091110 20091130 ～ 20091203 20091214	231.68㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡(くろかみまち) (0935地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201	278	32° 48' 57"	130° 43' 34"	20100107 20100112 20100119 20100128 20100202	423.21㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡(くろかみまち) (0938地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201	278	32° 48' 48"	130° 43' 51"	20100114 20100217 ～ 20100219	10㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
黒髪町遺跡 (0302地点)	散布地	縄文・古代	溝・土坑・ピット・遺物包含層	縄文土器・縄文石器・古代土器・鉄鏃	縄文時代早期～晩期の遺物包含層を確認
本庄遺跡 (0314地点)	集落址	中世・古代	溝・ピット	土師器・陶磁器	古代～中世の溝検出
本庄遺跡 (0426地点)	集落址	近世	溝	土師器・須恵器・馬骨・銅銭	近世の溝と馬下顎骨検出
本庄遺跡 (0622地点)	集落址	古代	竪穴住居址・溝	土師器・須恵器	古代溝から獣脚円面硯発見
本庄遺跡 (0707地点)	集落址	縄文・古代	竪穴住居址・水田遺構・ピット	縄文時代石器・縄文土器 土師器・須恵器・古代鉄器	河川への斜面で古代末の小規模区画水田検出・縄文後晩期土器多数出土
本庄遺跡 (0814地点)	集落址	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝	弥生土器・石器・近世陶磁器	弥生時代前期環濠検出
本庄遺跡 (0830地点)	集落址	近代	溝	古代土師器・須恵器・石器	
黒髪町遺跡 (0854地点)	集落址	古代	ピット・竪穴住居址・道状遺構・土壙墓	土師器・須恵器・石製紡錘車	木炭を敷いた古代末の土壙墓
黒髪町遺跡 (0932地点)	集落址	古代	溝	古代土師器・須恵器	長沙窯黄釉陶器水注片出土
黒髪町遺跡 (0935地点)	集落址	古代・近代	ピット	土師器・須恵器・磁器	
黒髪町遺跡 (0938地点)	散布地	縄文	溝・包含層	縄文土器・弥生土器	縄文後期前半の遺物包含層を確認

熊本大学埋蔵文化財調査報告書　第８集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告書Ⅷ
（2003～2009年度）

平成24年３月25日　印刷
平成24年３月31日　発行
編集・発行　熊本大学埋蔵文化財調査センター
〒860－8555　熊本市黒髪２丁目39－１
TEL　096(342)3832　　FAX　096(342)3832
印　　刷　シモダ印刷株式会社